

本資料のうち、枠囲みの内容は、  
営業秘密又は防護上の観点から  
公開できません

東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	工認-007 改2
提出年月日	平成30年4月13日

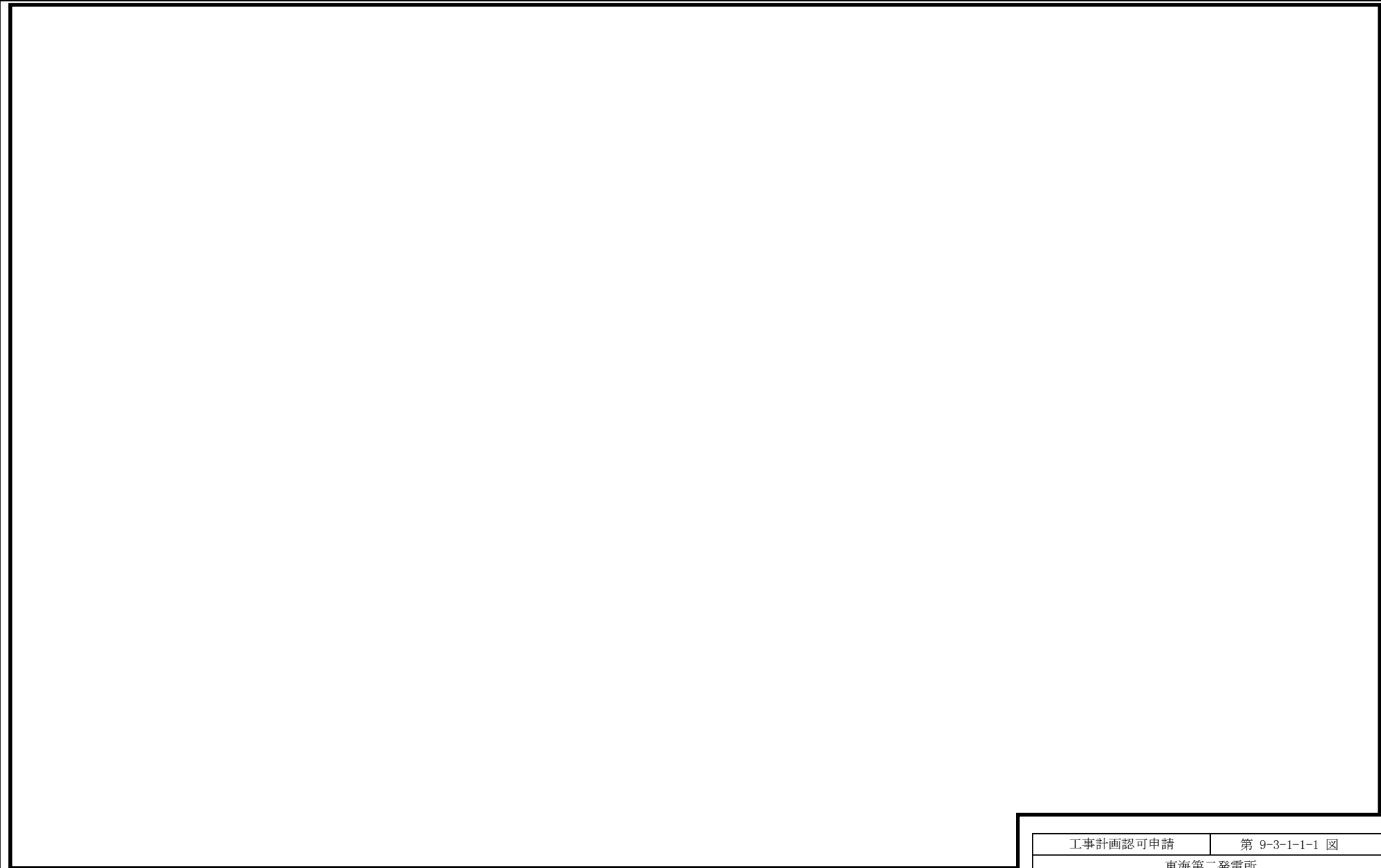
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所 工事計画審査資料


その他発電用原子炉の附属施設のうち


火災防護設備

(添付書類 (図面))




凡例

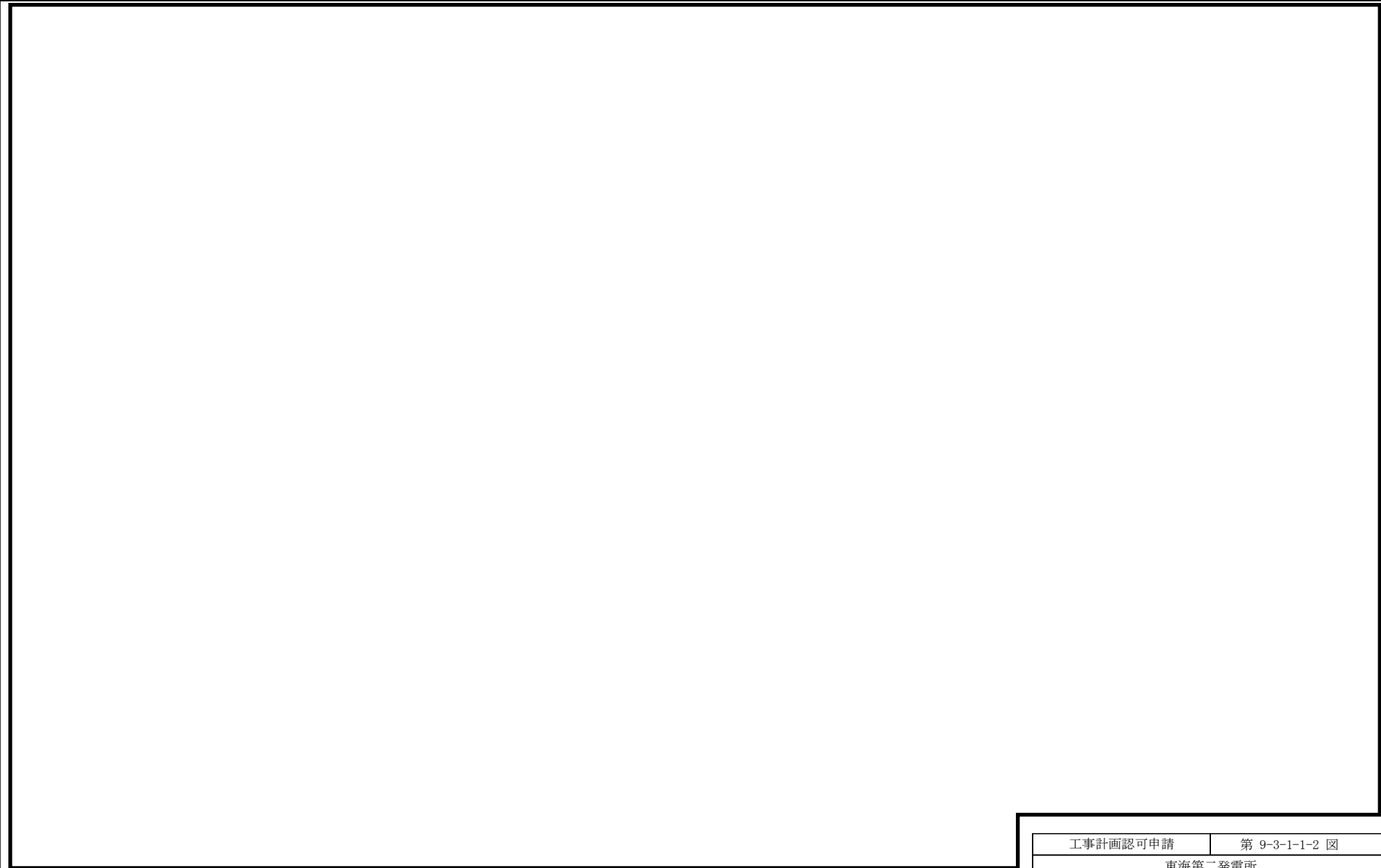
 火災区域の境界

 火災区画の境界


※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位

工事計画認可申請		第 9-3-1-1-1 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (1/39)		
	日本原子力発電株式会社		




凡例

 火災区域の境界

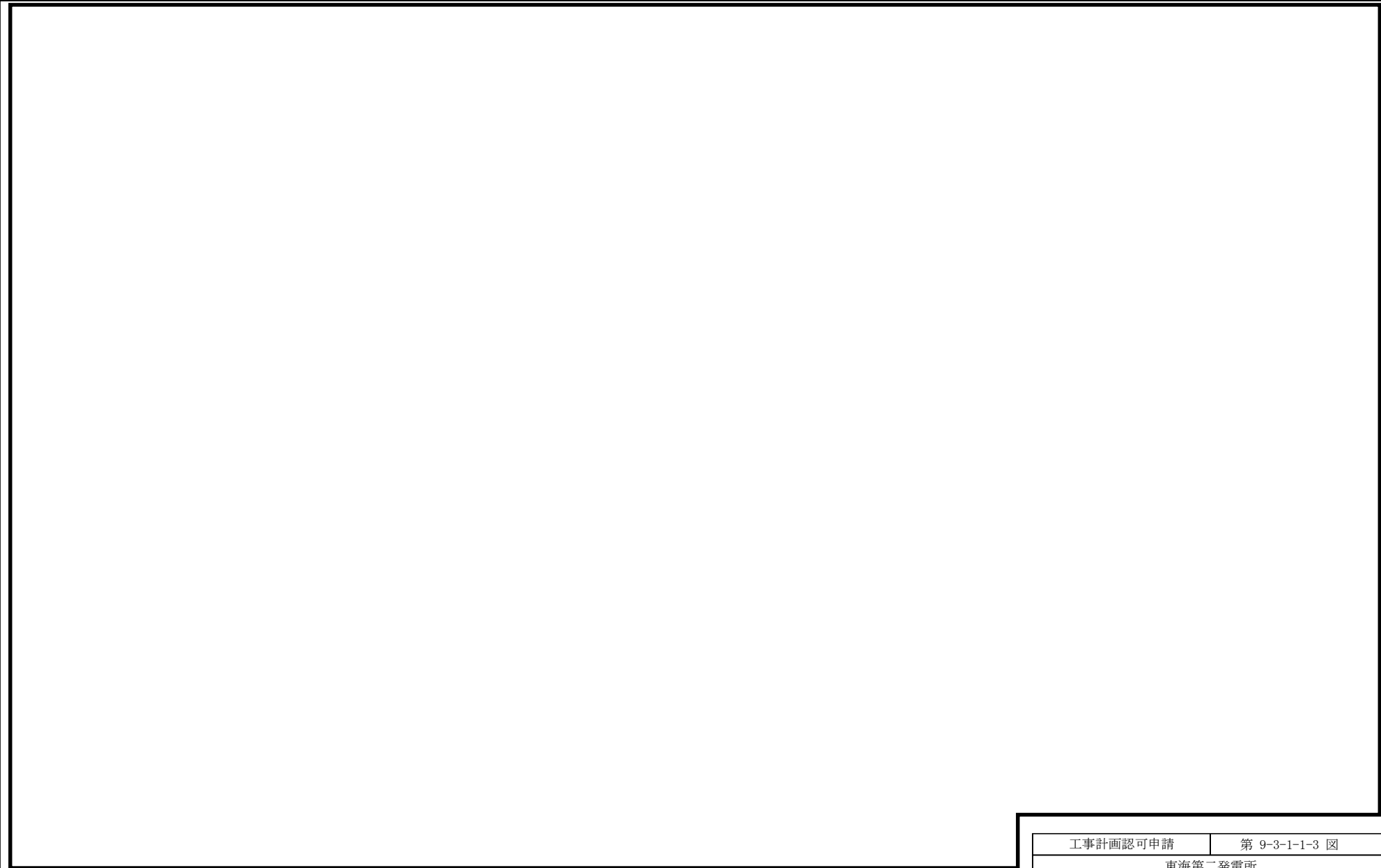
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-2 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (2/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

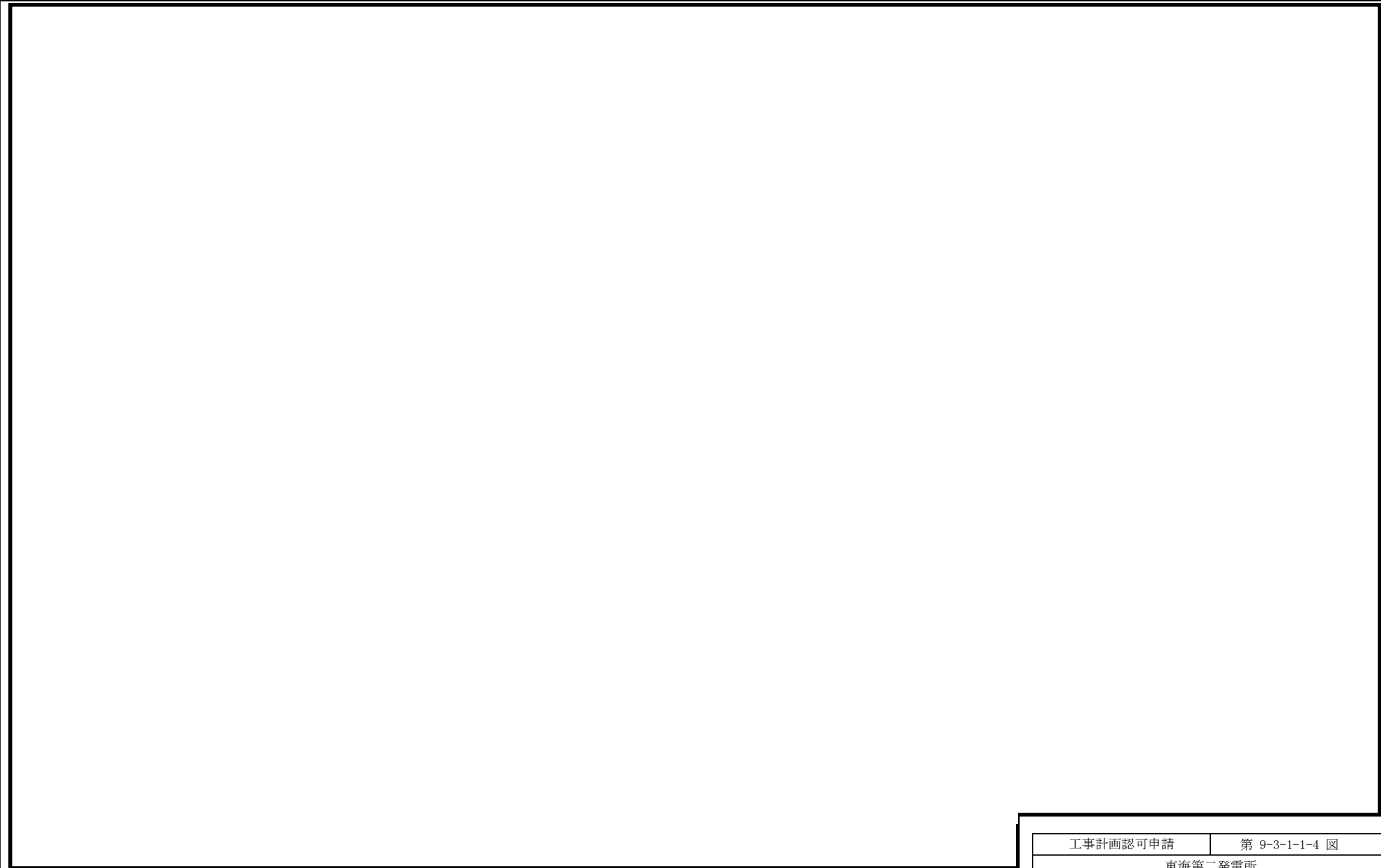
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-3 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (3/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

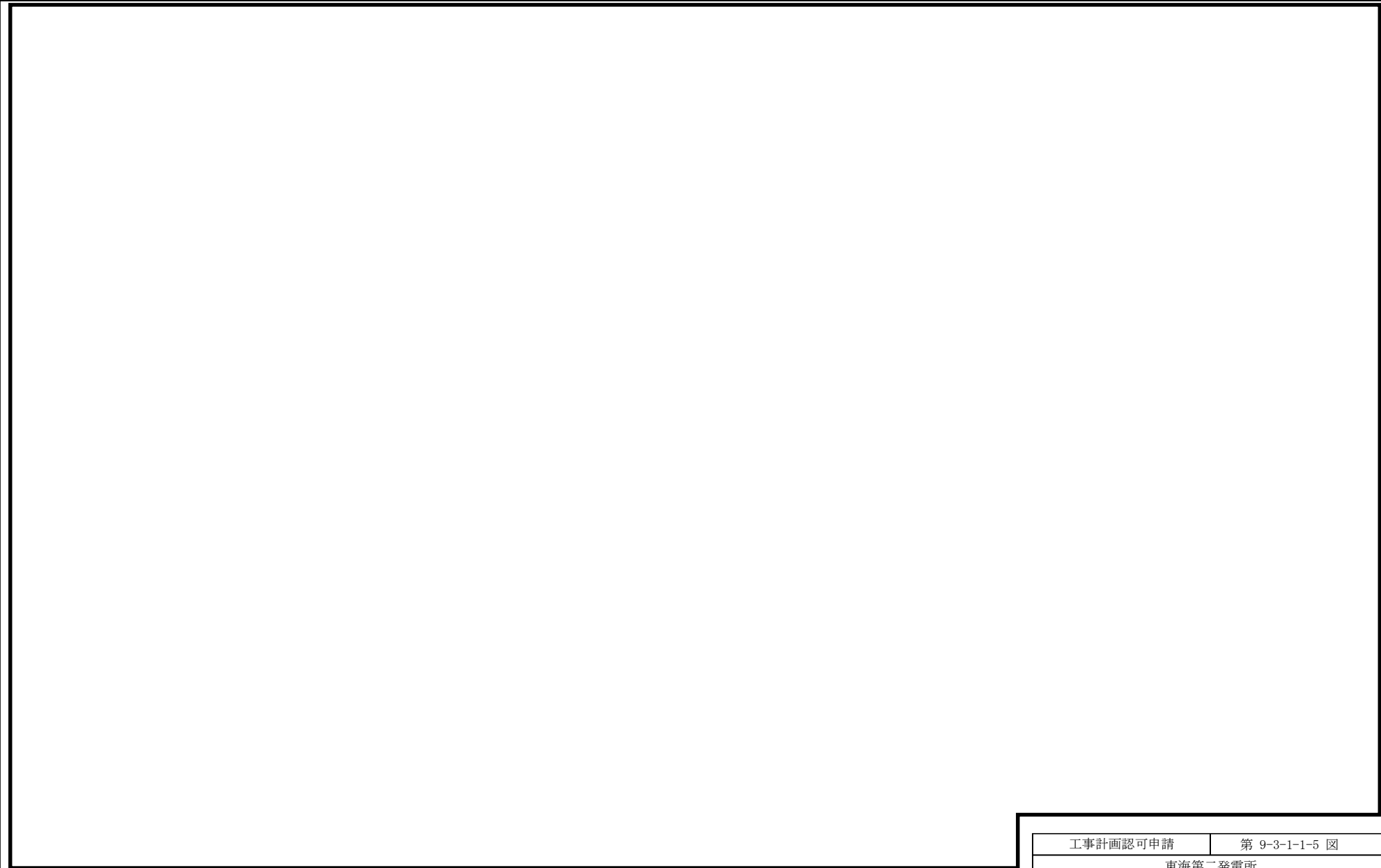
 火災区域の境界

 火災区画の境界


※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位

工事計画認可申請		第 9-3-1-1-4 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (4/39)		
	日本原子力発電株式会社		




凡例

 火災区域の境界

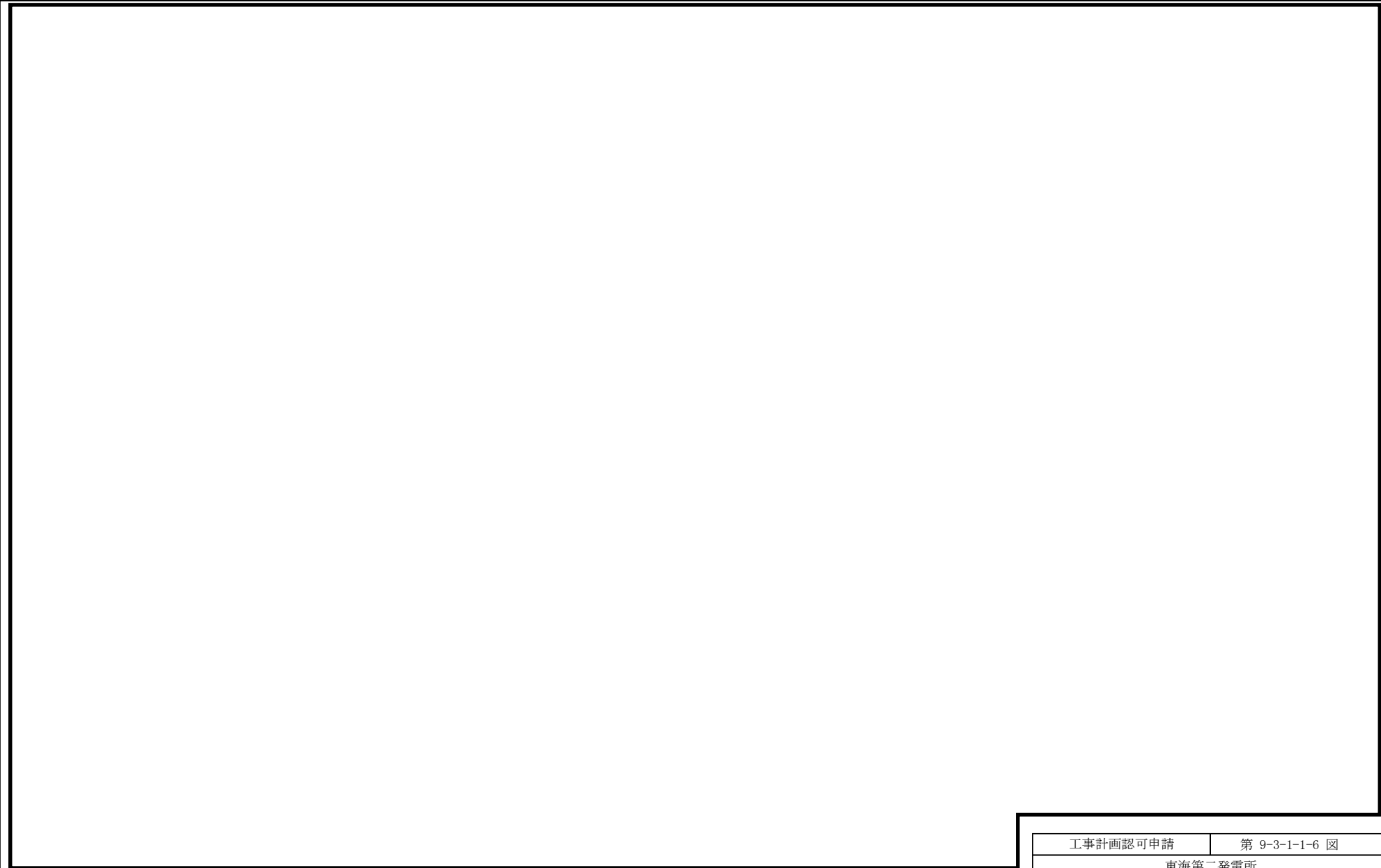
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-5 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (5/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

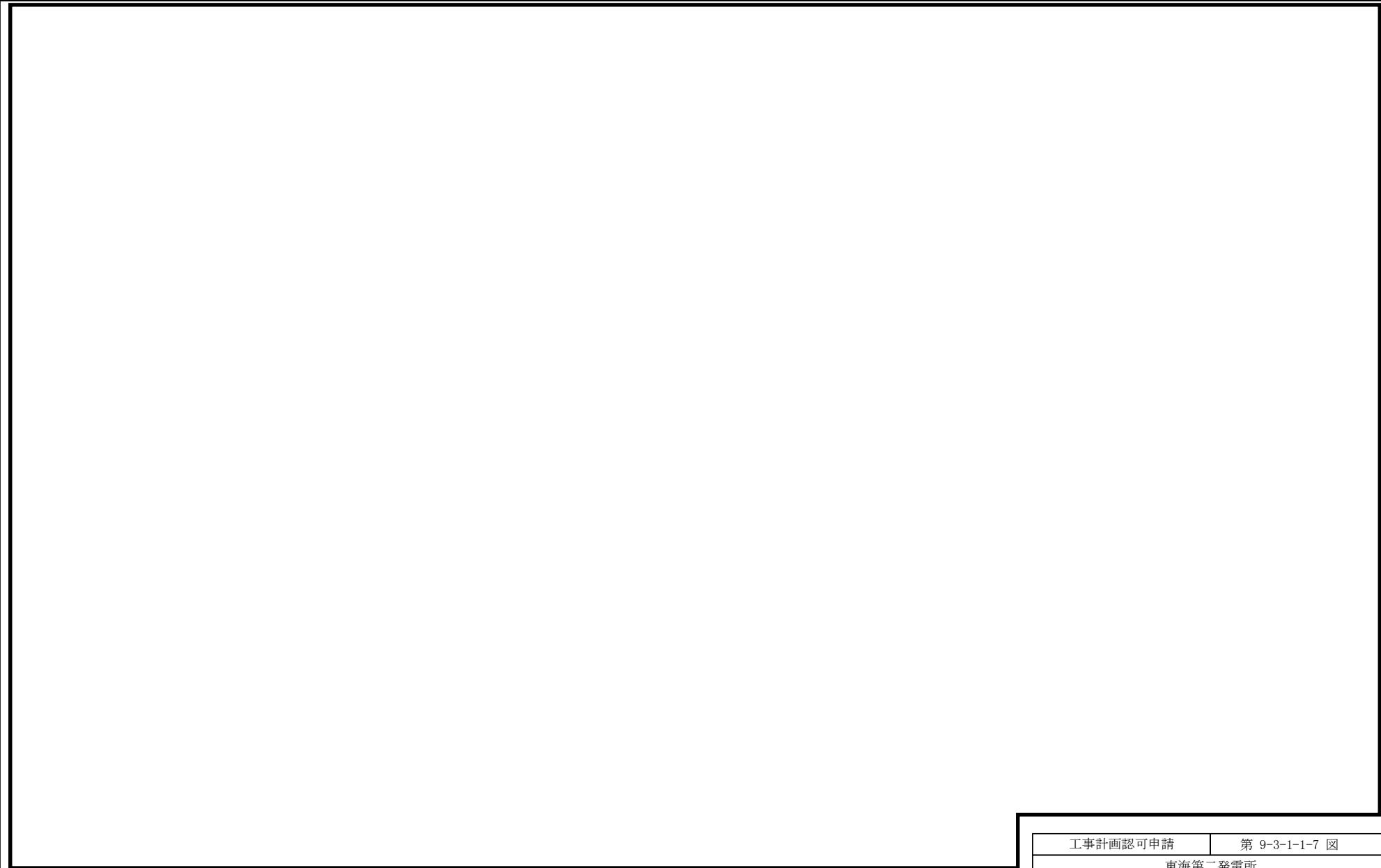
 火災区域の境界

 火災区画の境界


※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位

工事計画認可申請		第 9-3-1-1-6 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (6/39)		
	日本原子力発電株式会社		




凡例

 火災区域の境界

 火災区画の境界

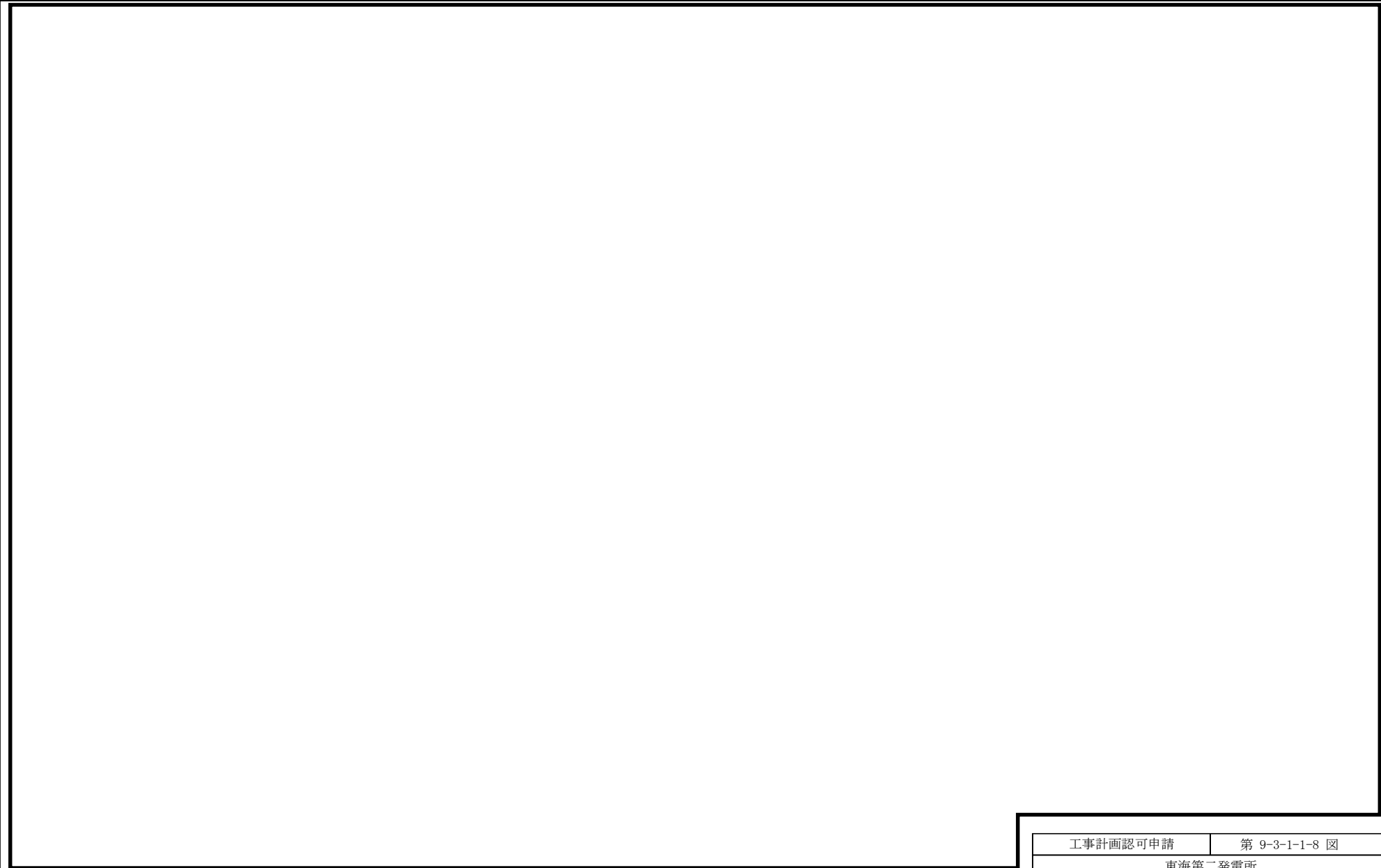
※ 上下階と繋がっている火災区域

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請	第 9-3-1-1-7 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (7/39)
日本原子力発電株式会社	


8323






凡例

 火災区域の境界

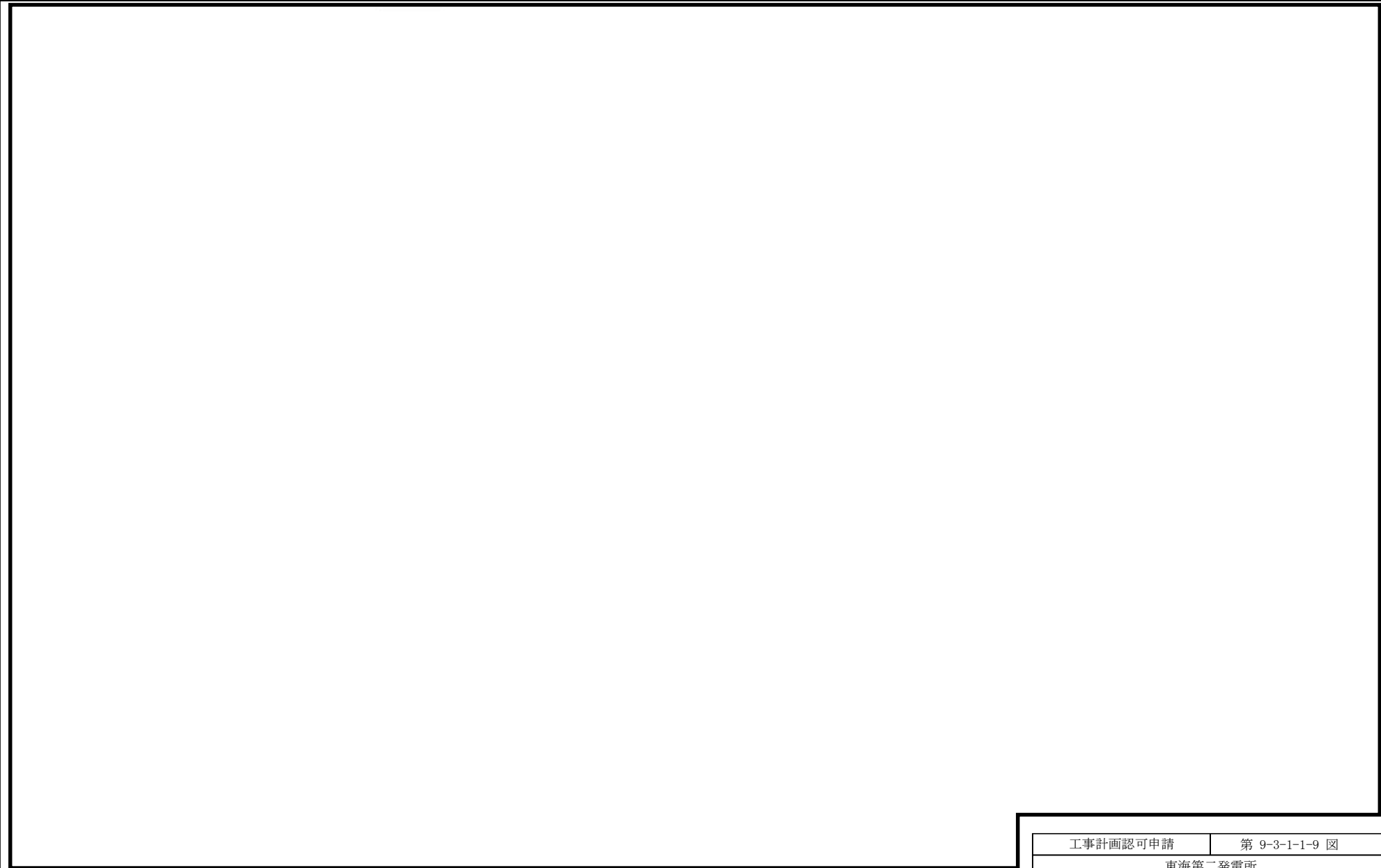
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-8 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (8/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位

工事計画認可申請

第 9-3-1-1-9 図

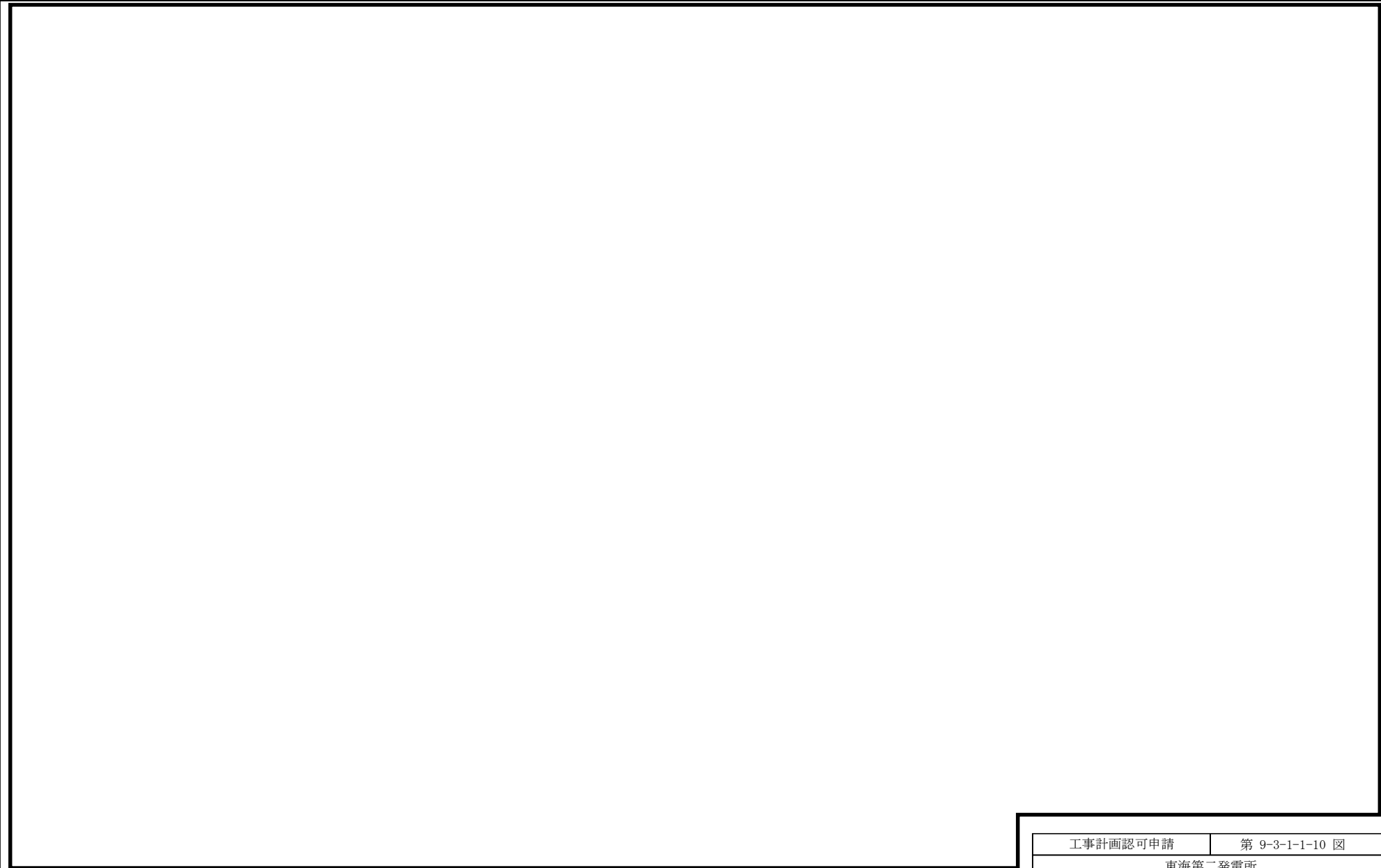
東海第二発電所

名称


その他発電用原子炉の附属施設のうち  
火災防護設備に係る  
機器の配置を明示した図面  
(火災区域構造物及び火災区画構造物) (9/39)


日本原子力発電株式会社

8323




凡例

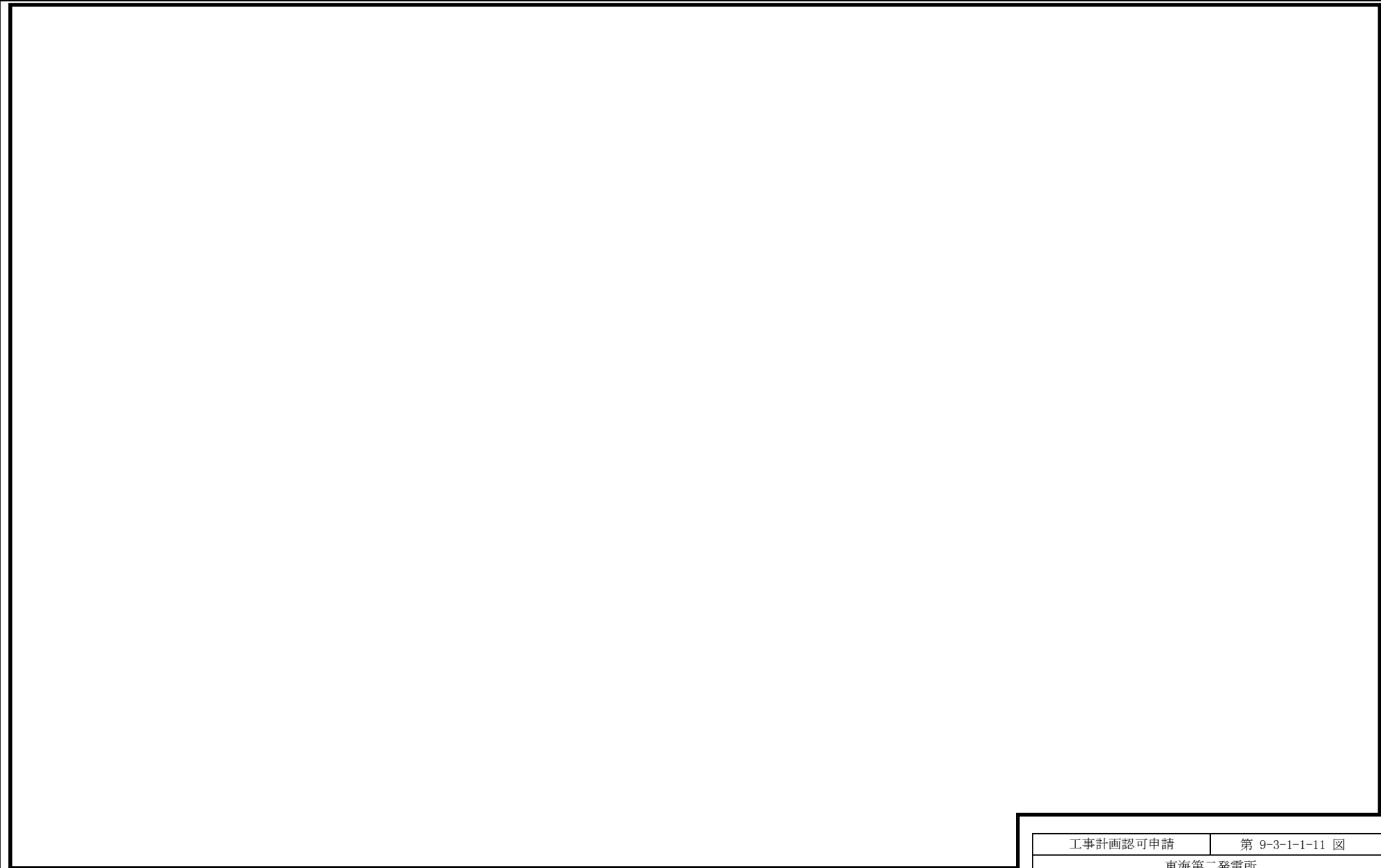
 火災区域の境界

 火災区画の境界


※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位

工事計画認可申請		第 9-3-1-1-10 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (10/39)		
	日本原子力発電株式会社		




凡例

 火災区域の境界

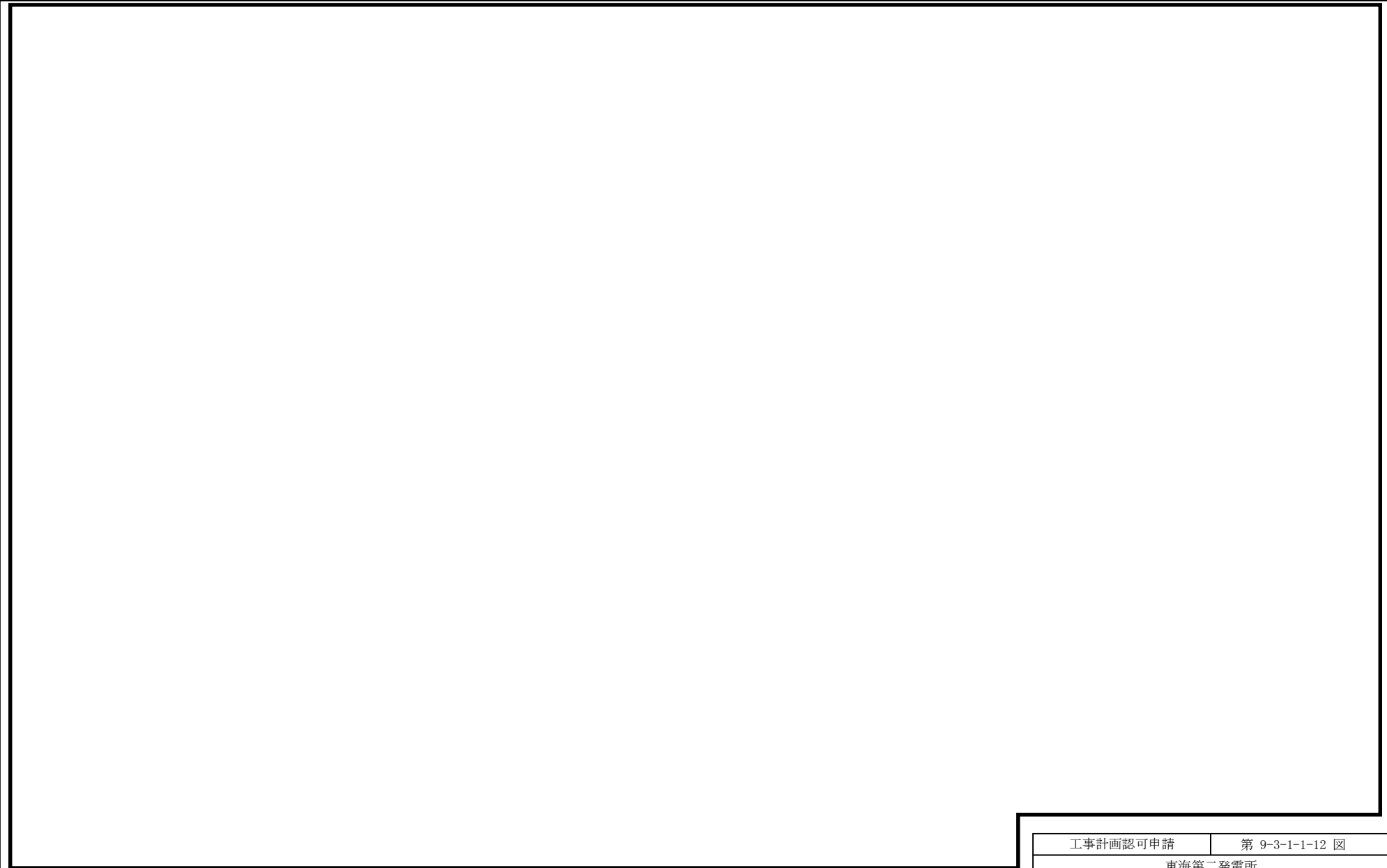
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-11 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (11/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

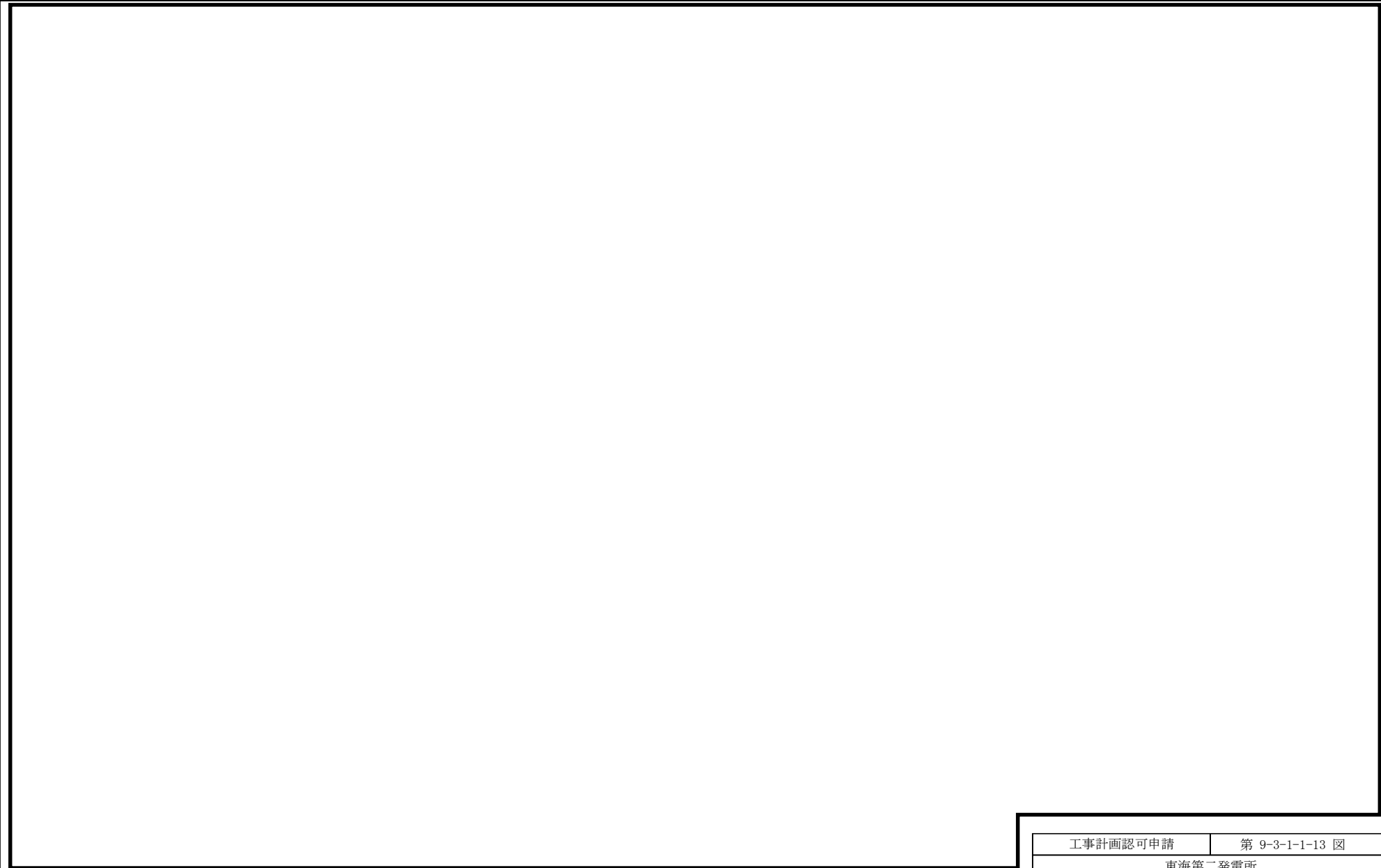
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-12 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (12/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

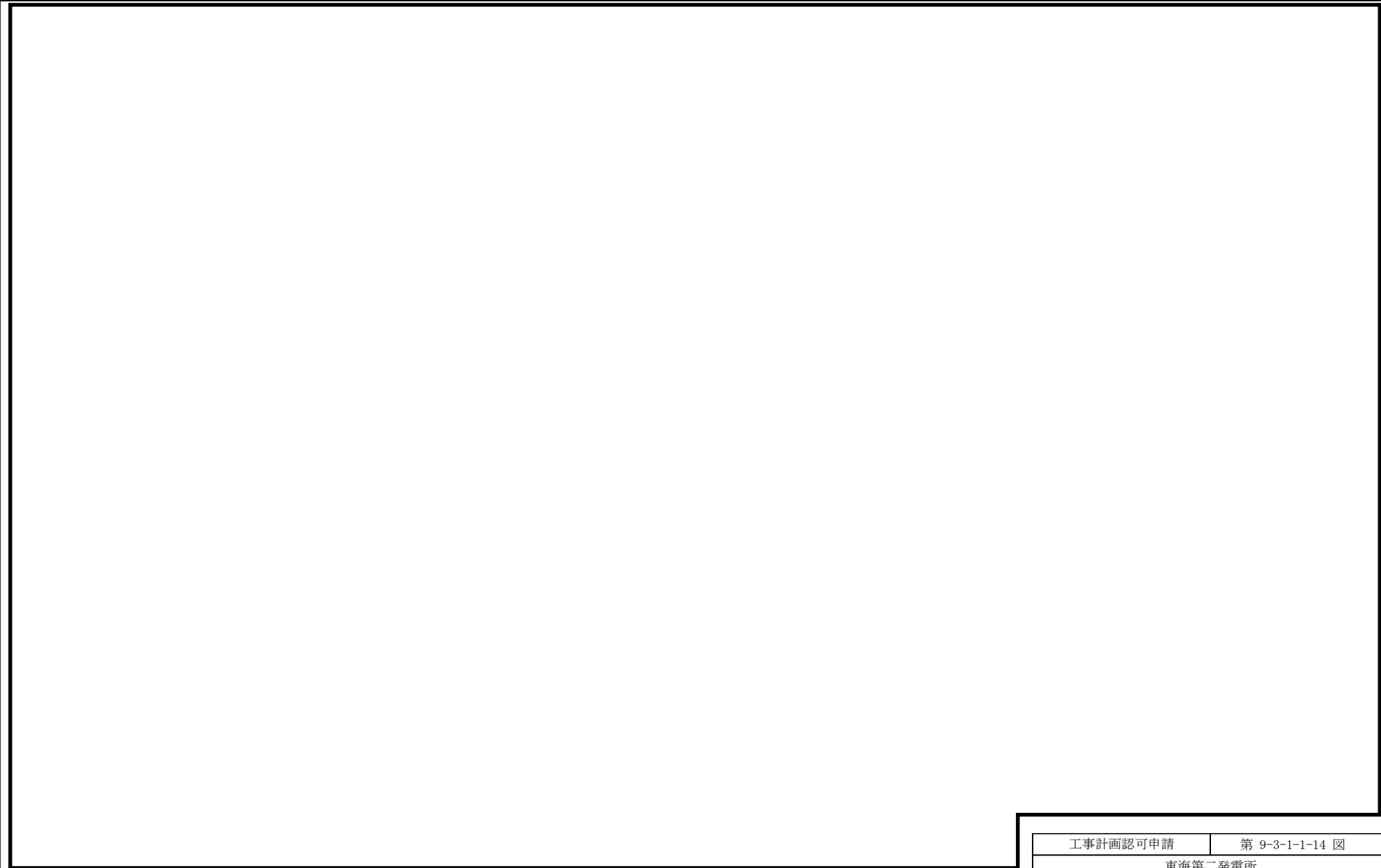
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-13 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (13/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

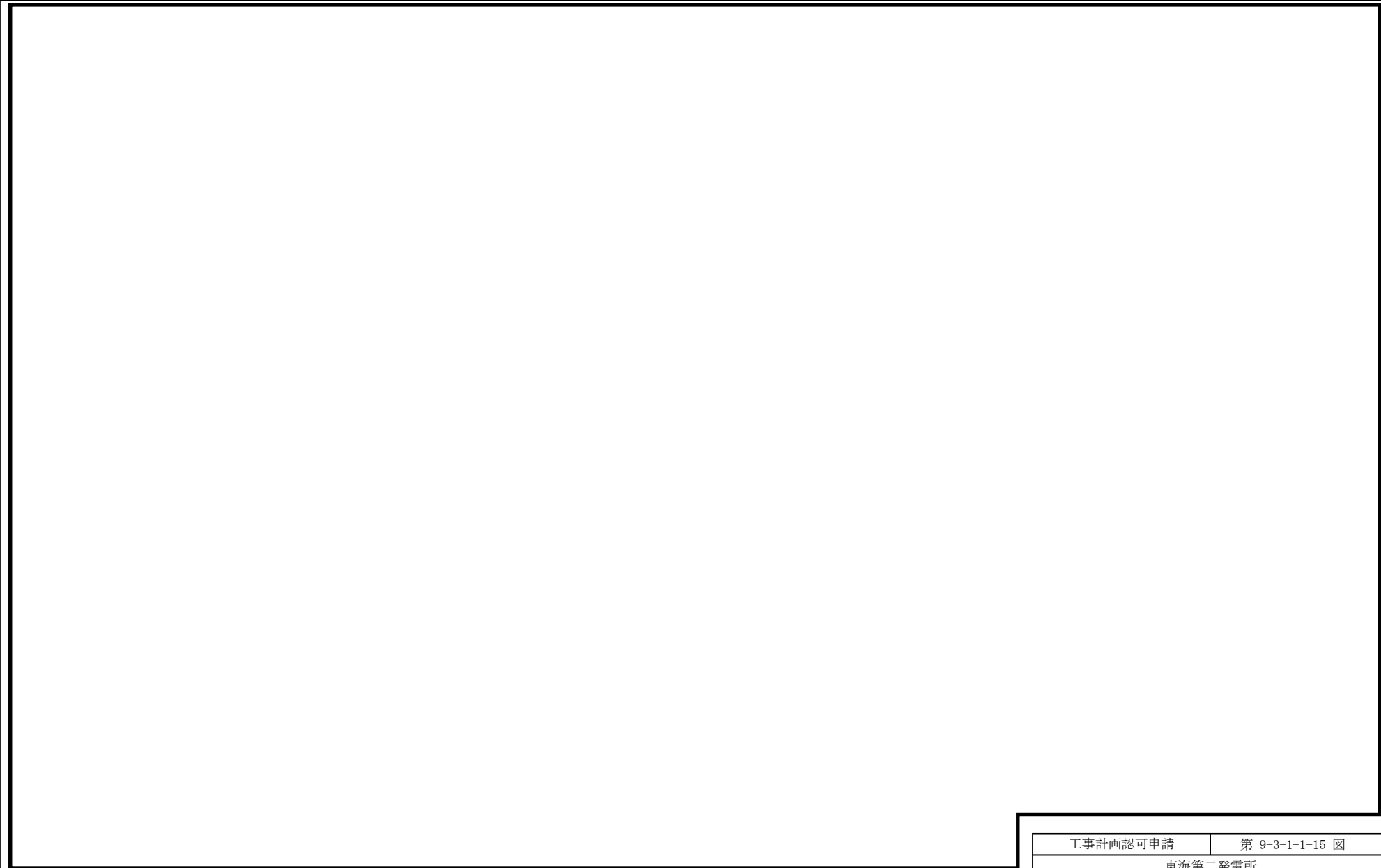
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-14 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (14/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

 火災区画の境界

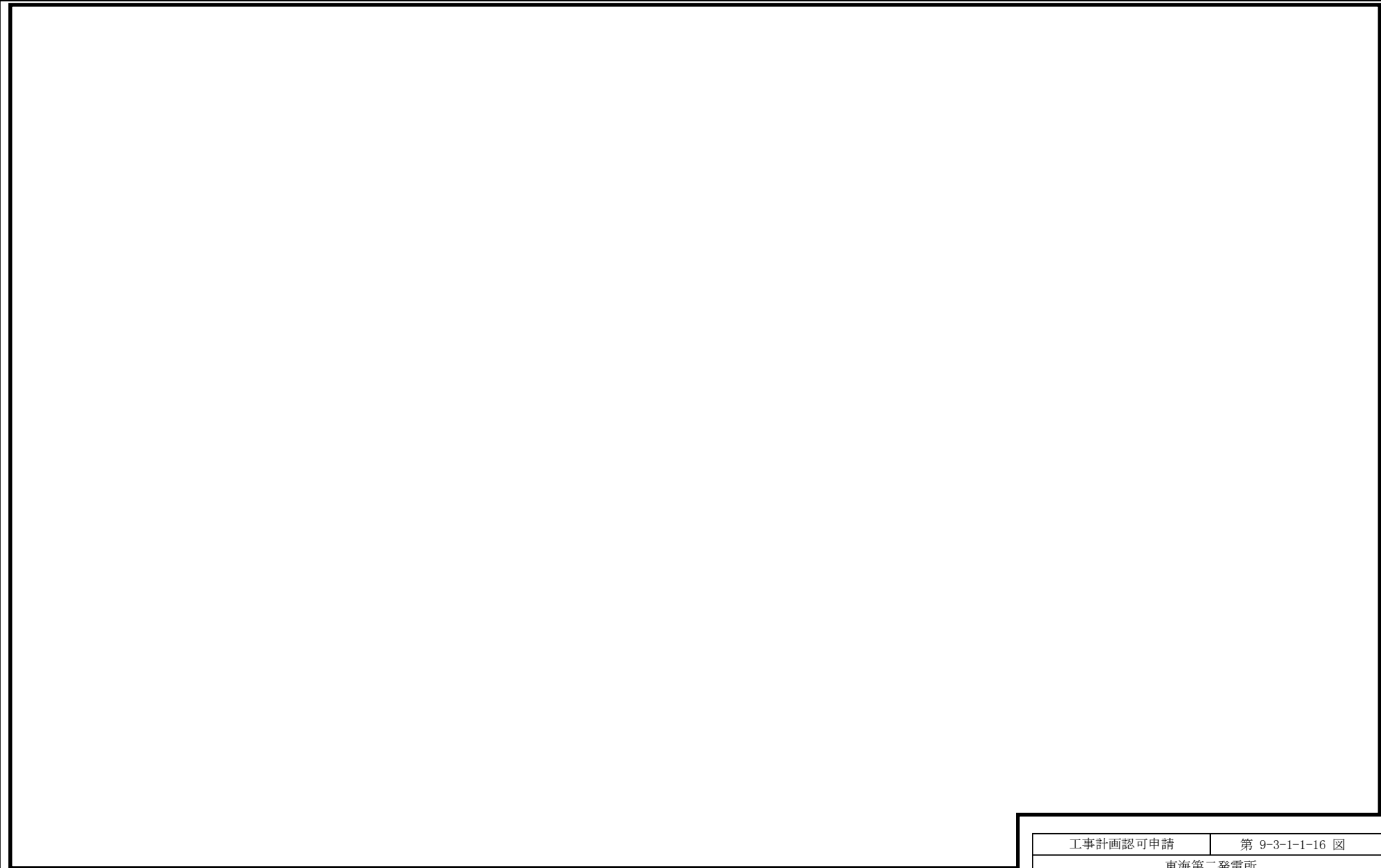
※ 上下階と繋がっている火災区域

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-15 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (15/39)		
	日本原子力発電株式会社		


8323






凡例

 火災区域の境界

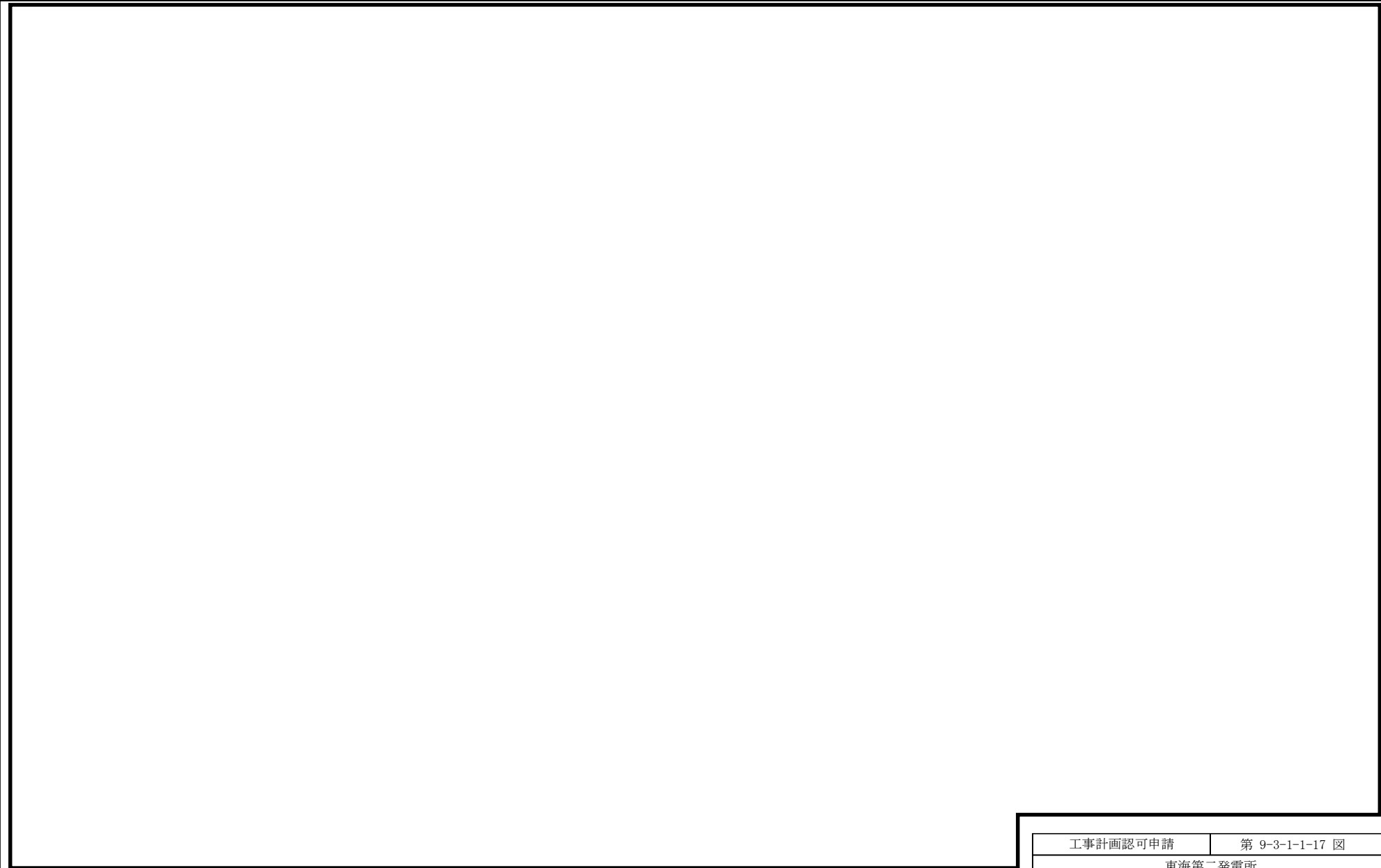
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-16 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (16/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

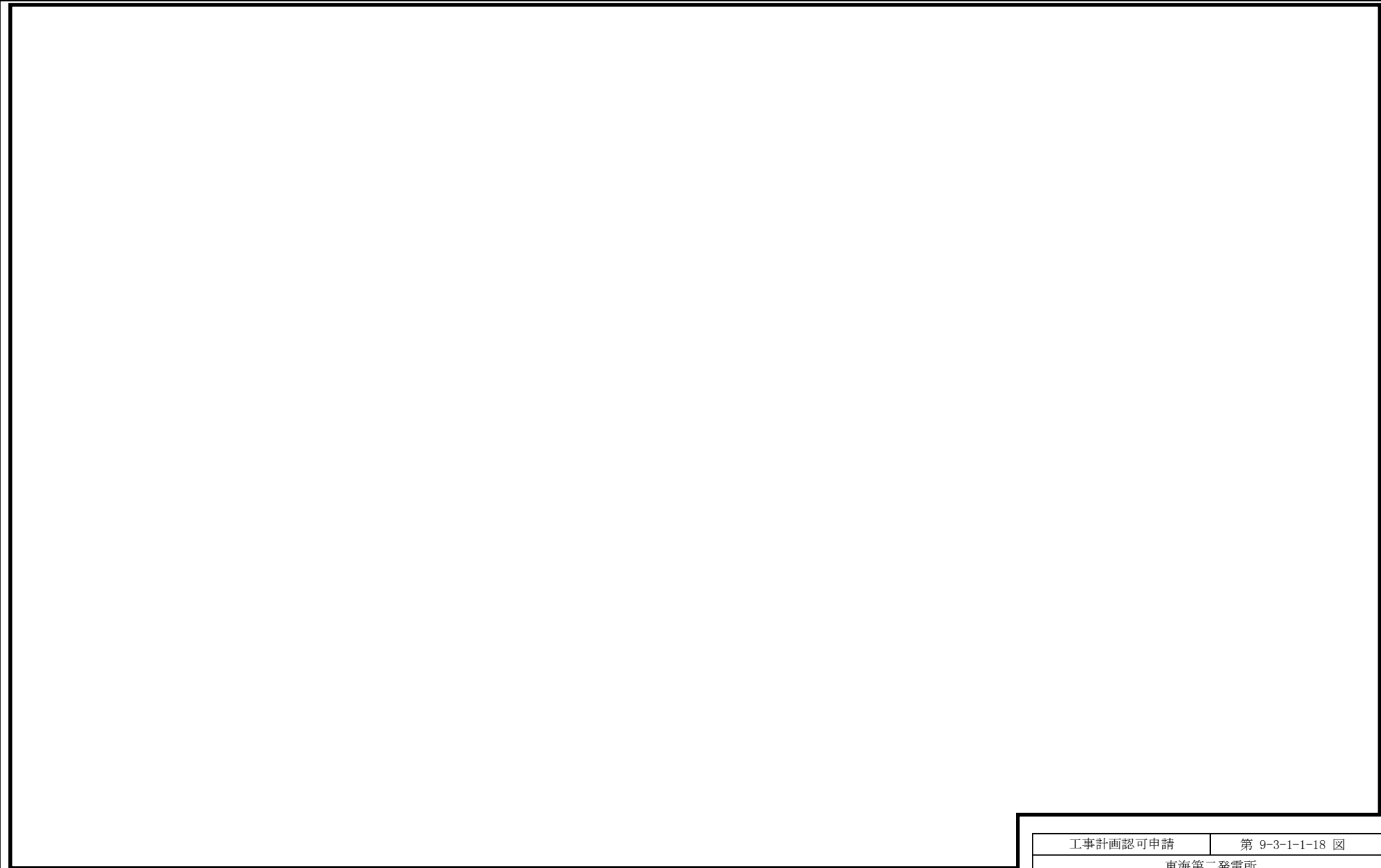
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-17 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (17/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

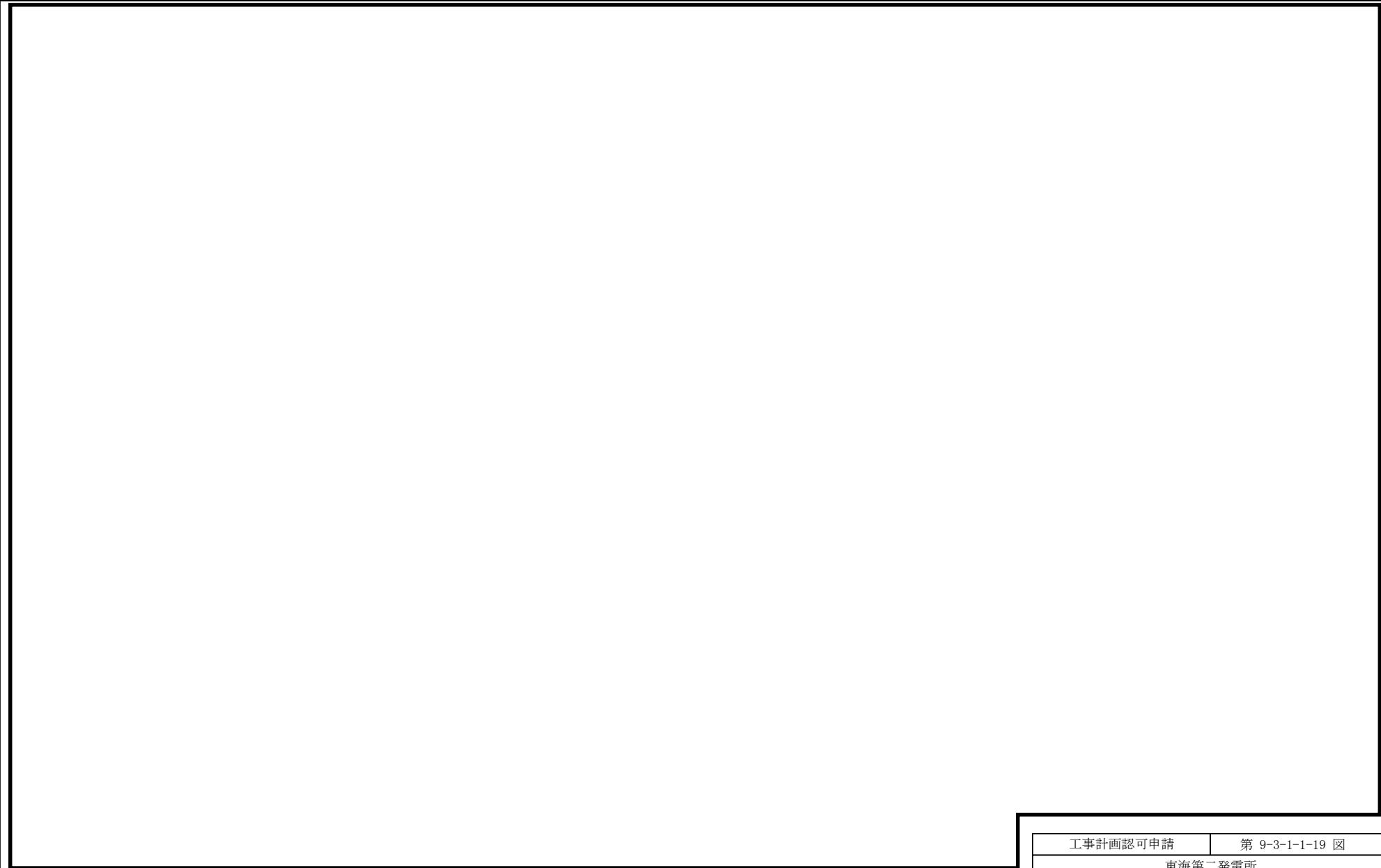
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-18 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (18/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8301




凡例

 火災区域の境界

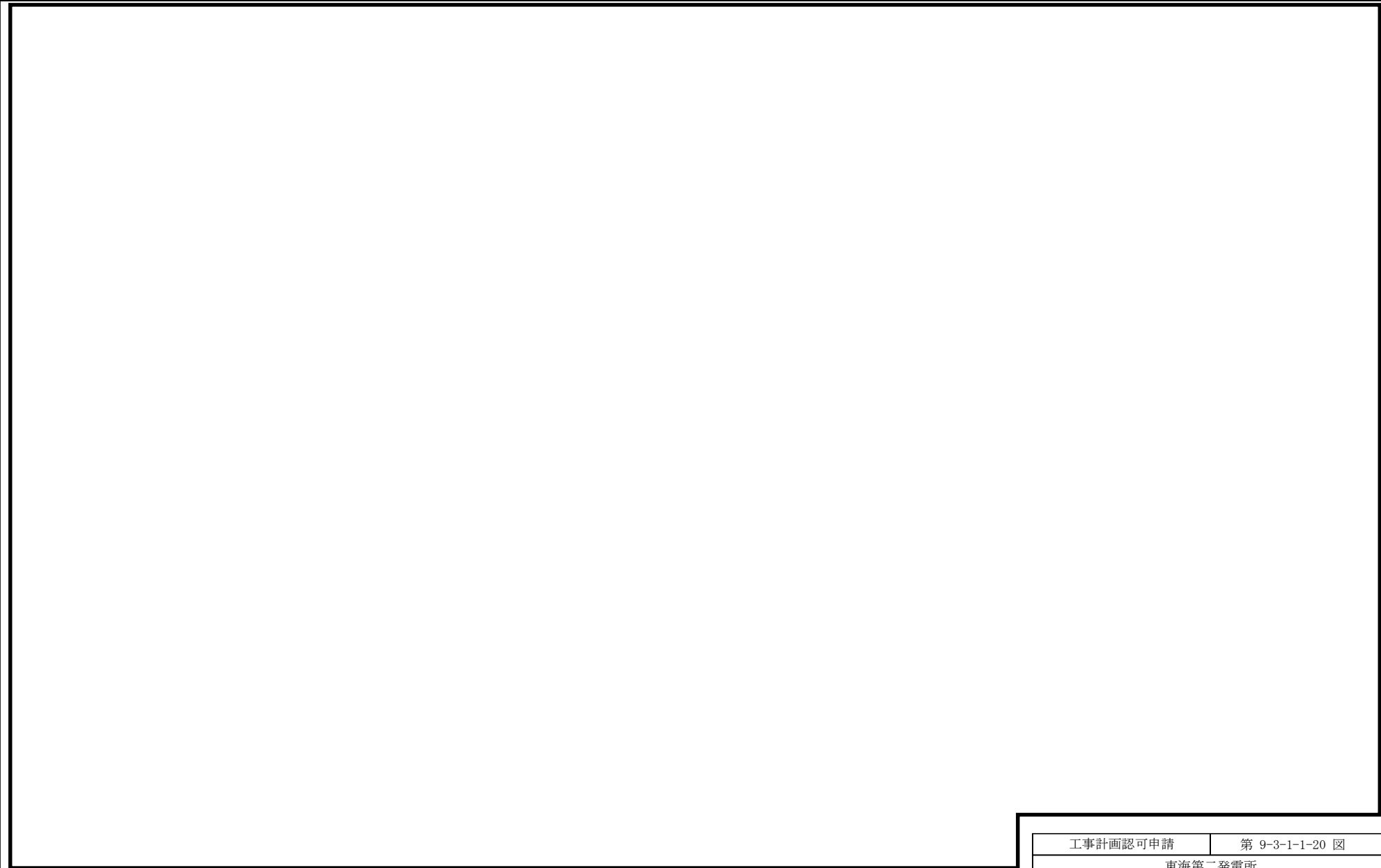
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-19 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (19/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

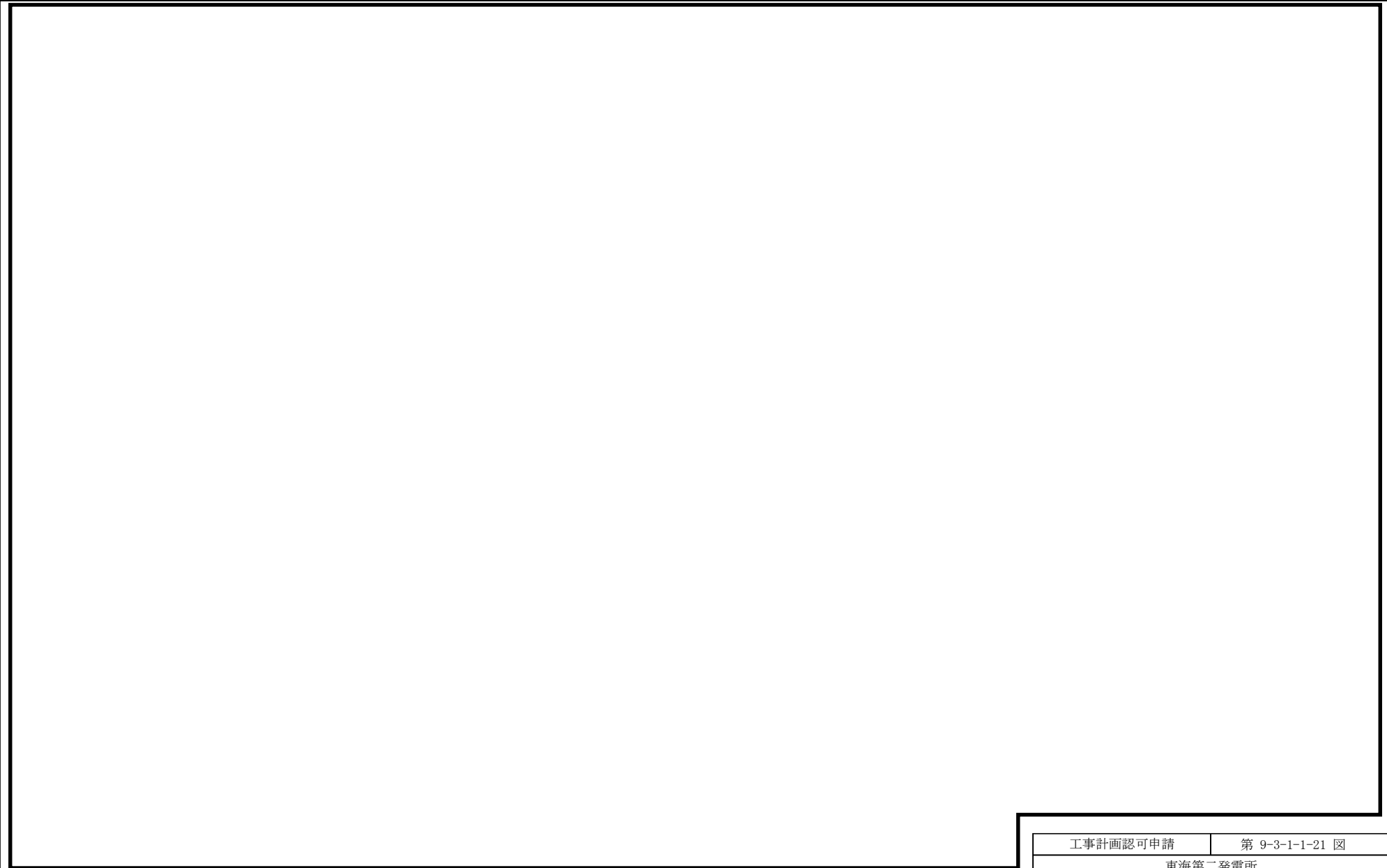
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-20 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (20/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

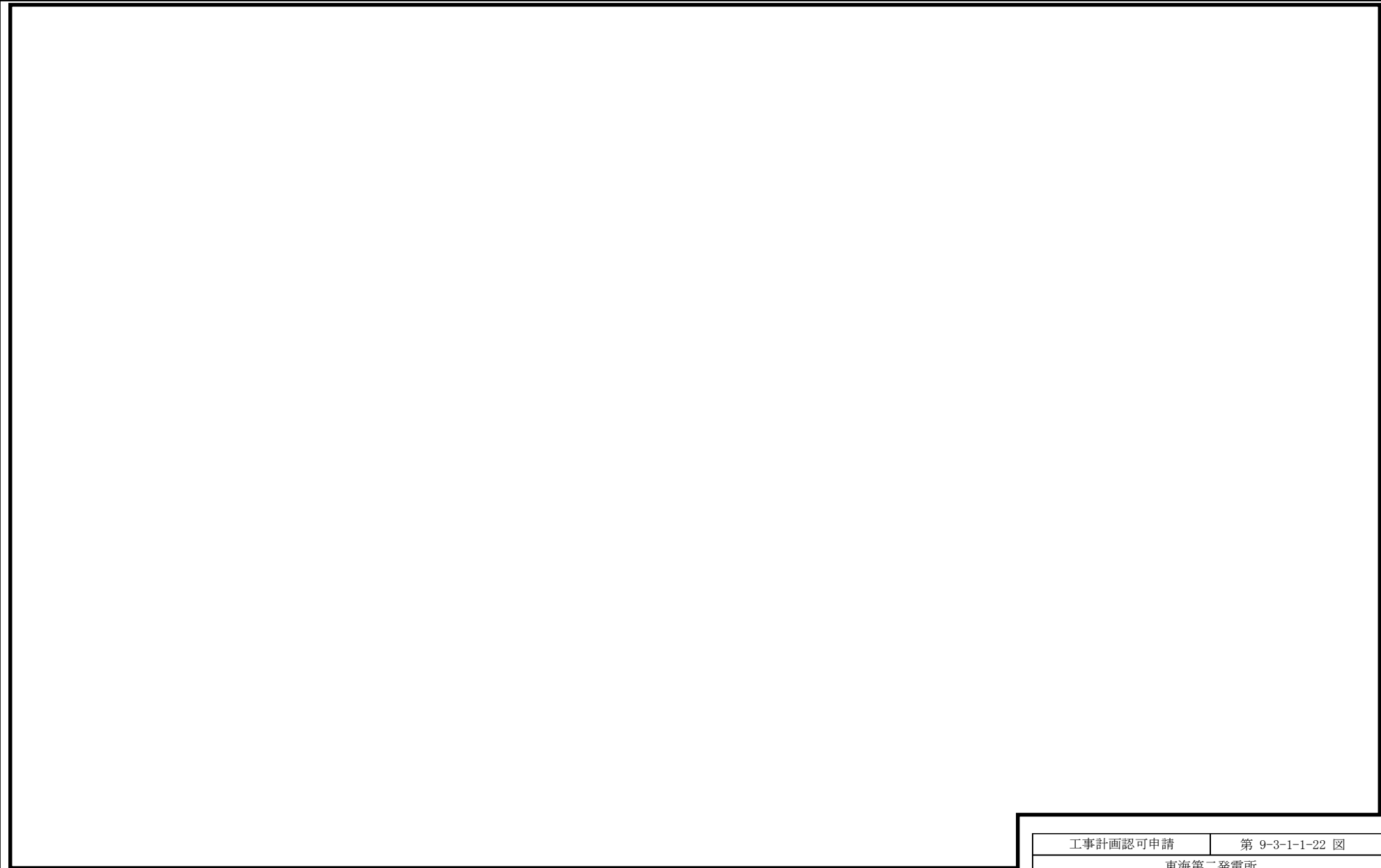
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-21 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (21/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

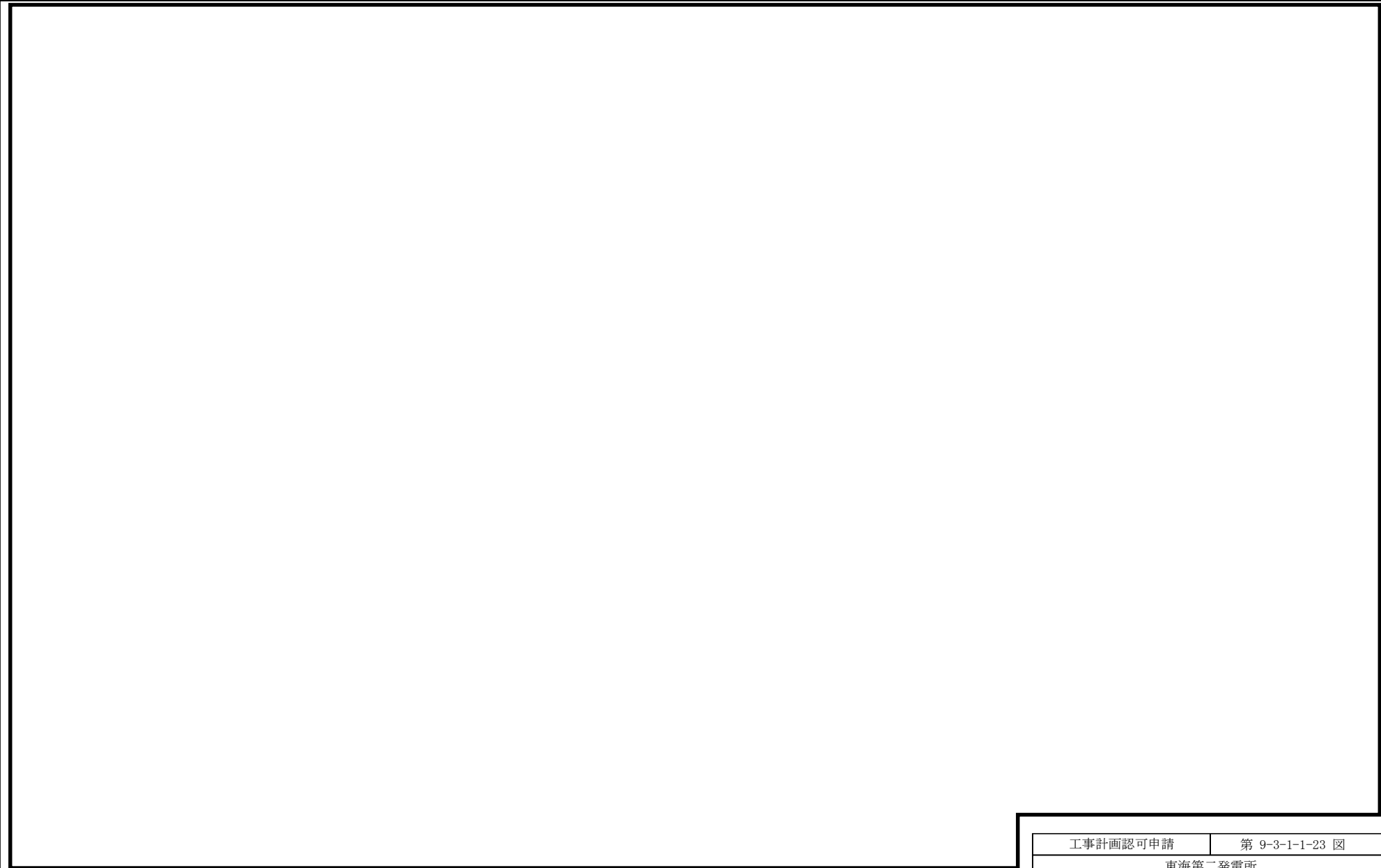
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-22 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (22/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位

工事計画認可申請

第 9-3-1-1-23 図

東海第二発電所

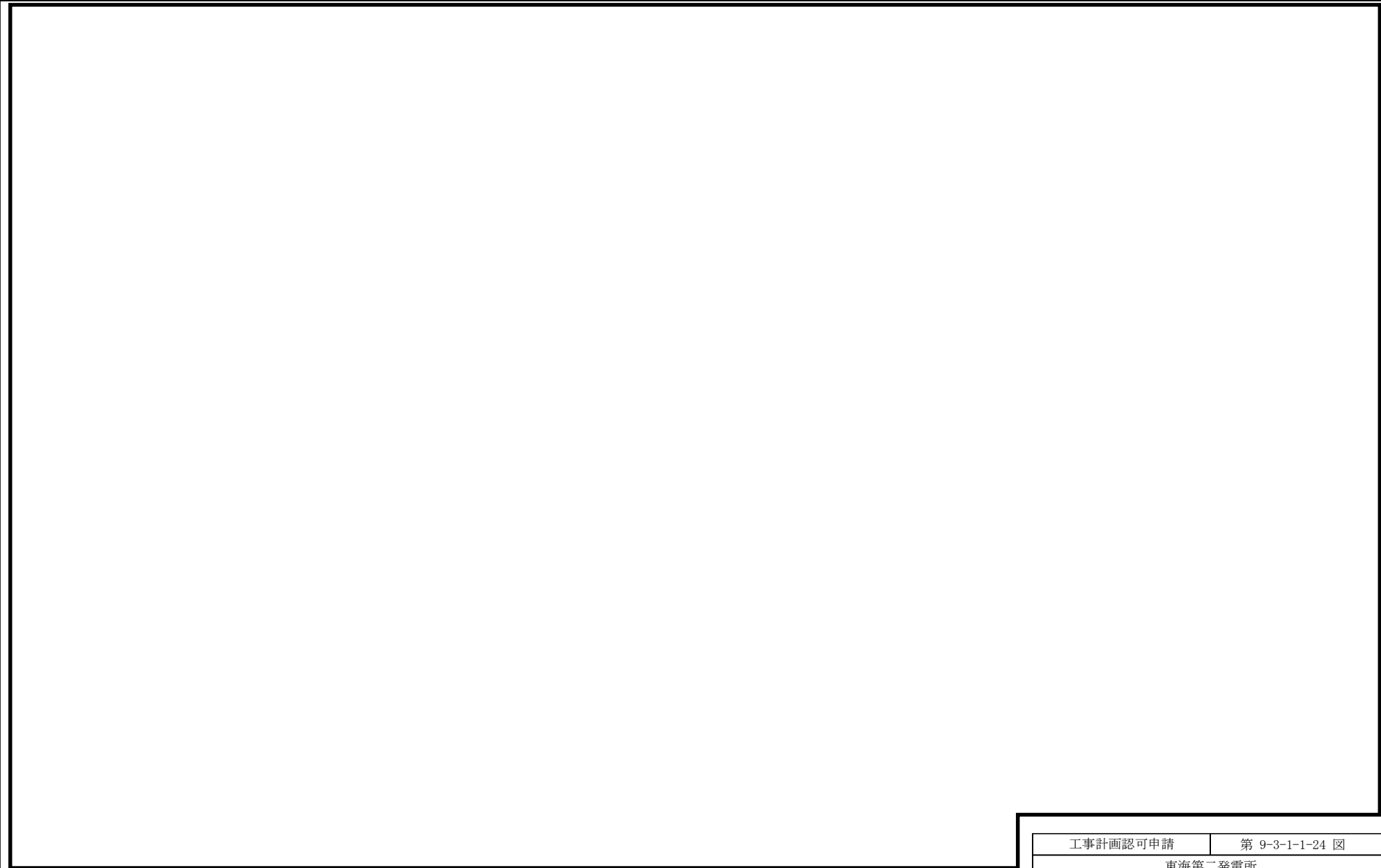
名称

その他発電用原子炉の附属施設のうち  
火災防護設備に係る  
機器の配置を明示した図面  
(火災区域構造物及び火災区画構造物) (23/39)


日本原子力発電株式会社


8323






凡例

 火災区域の境界

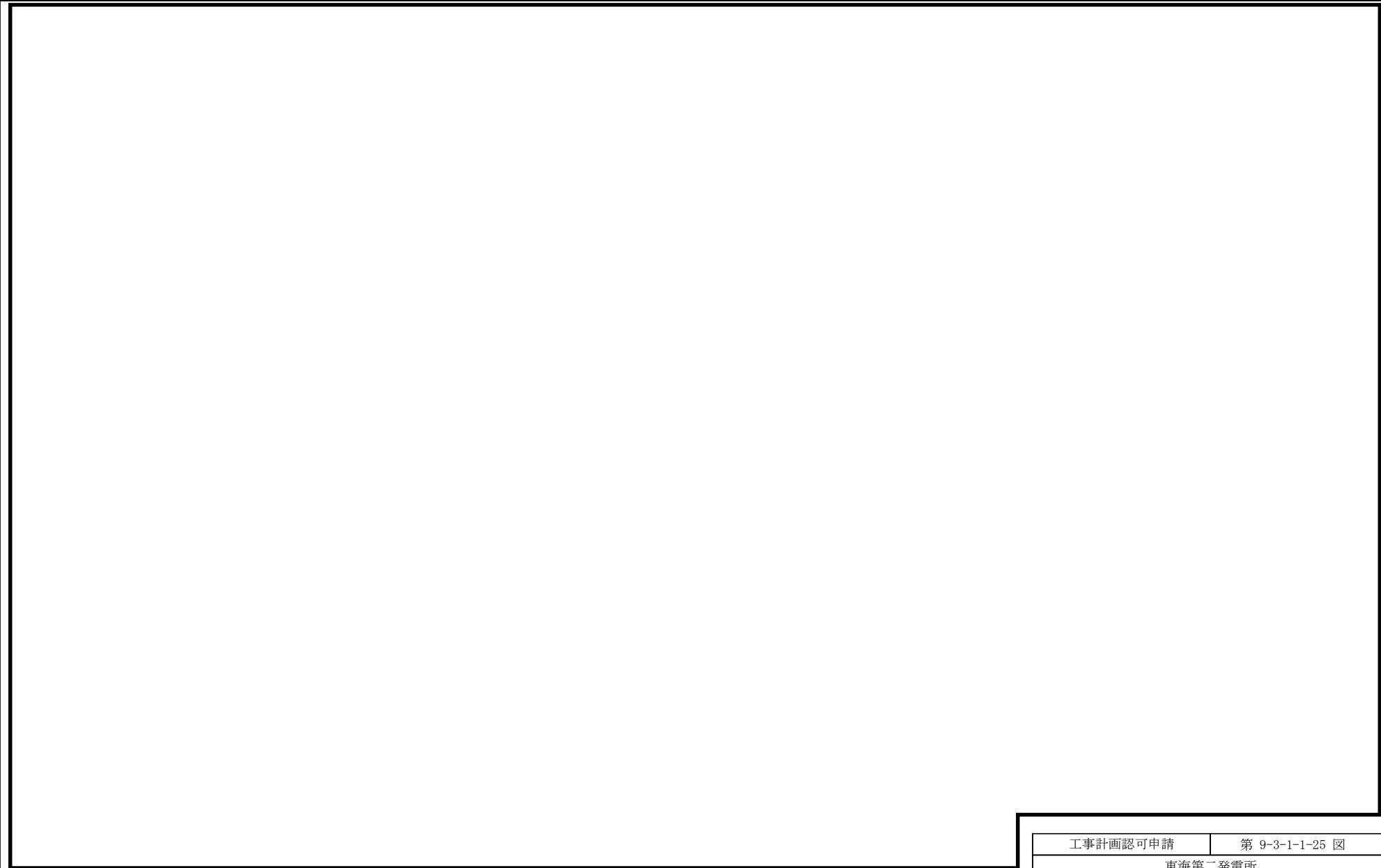
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-24 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (24/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

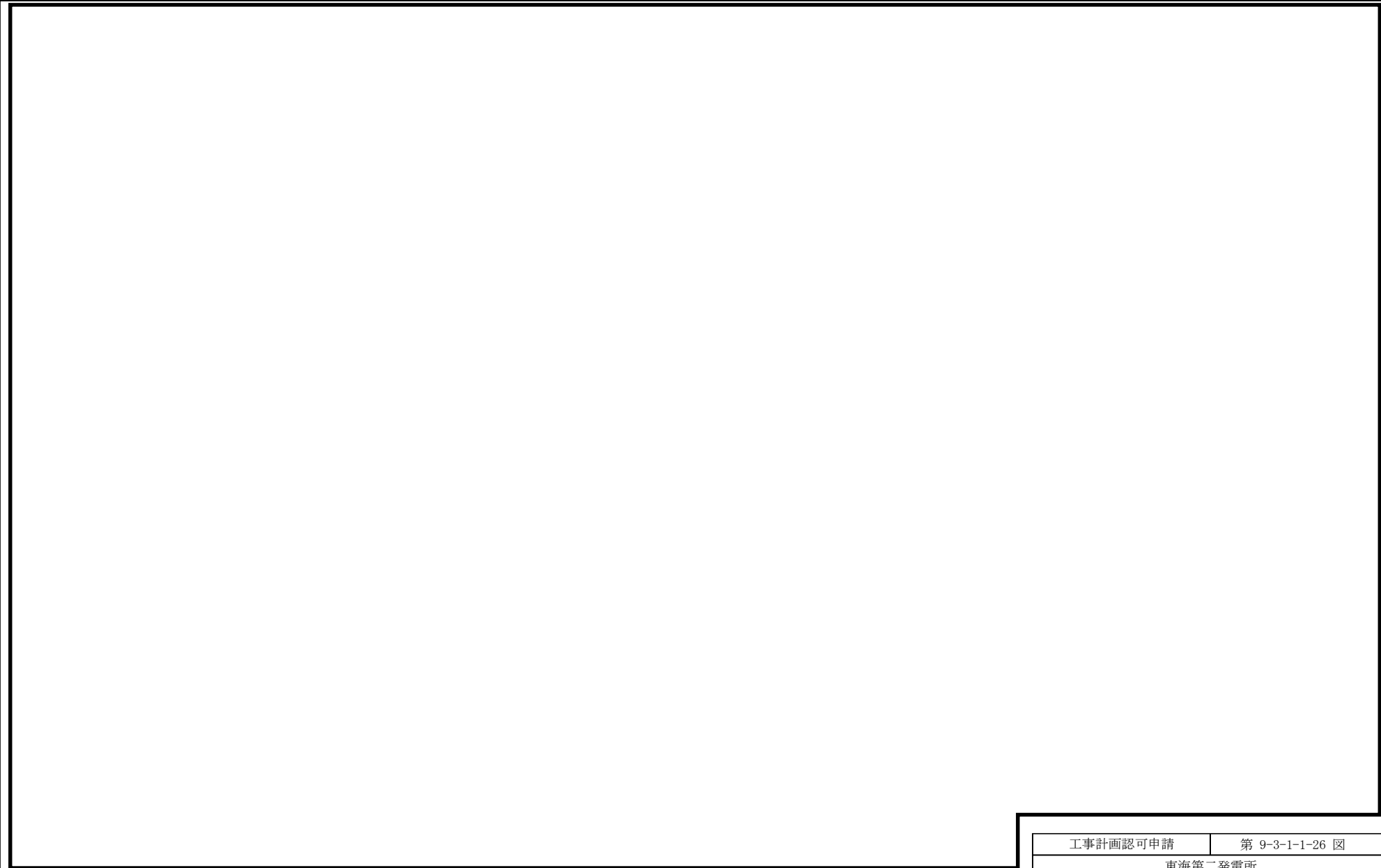
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-25 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (25/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

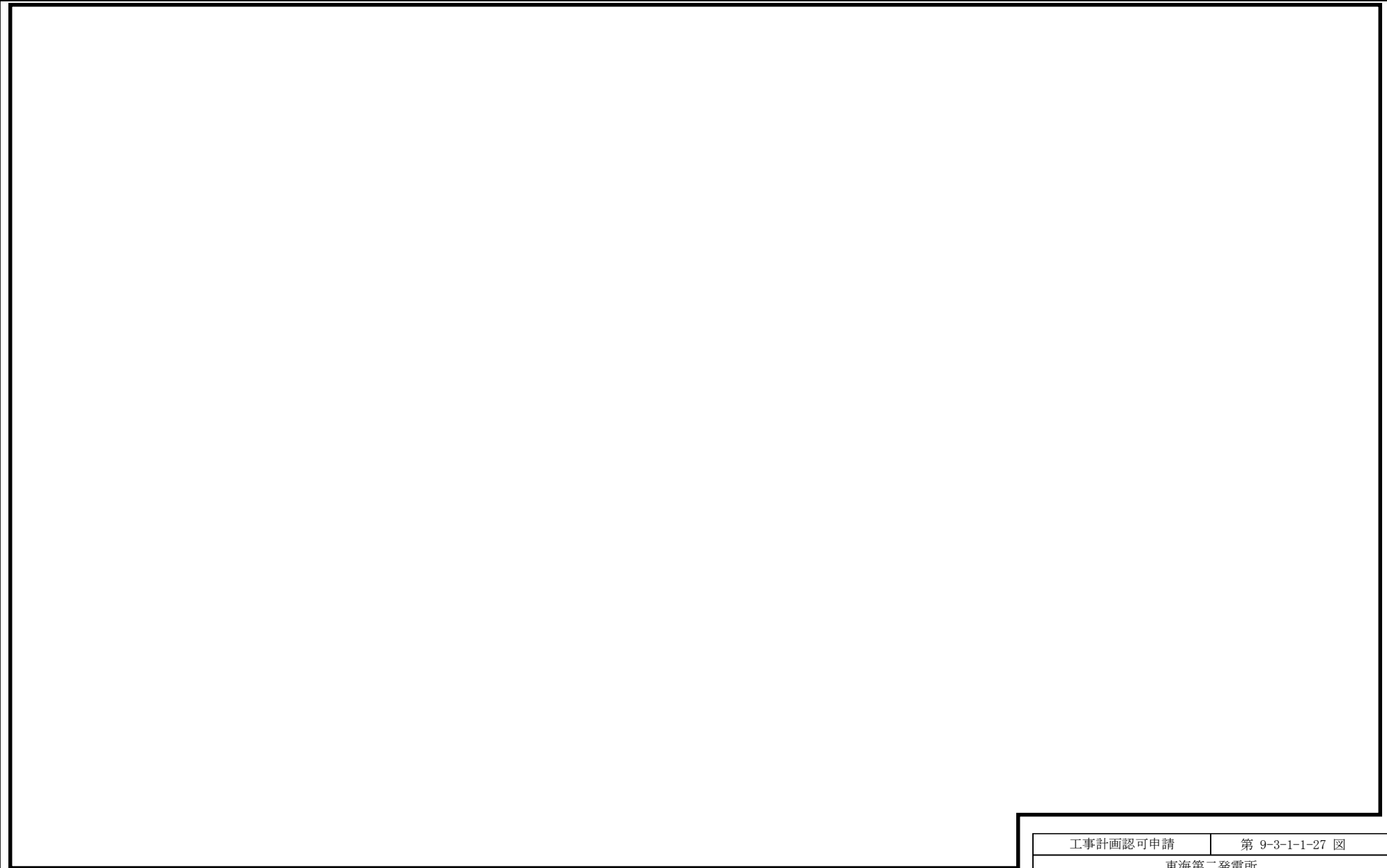
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-26 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (26/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

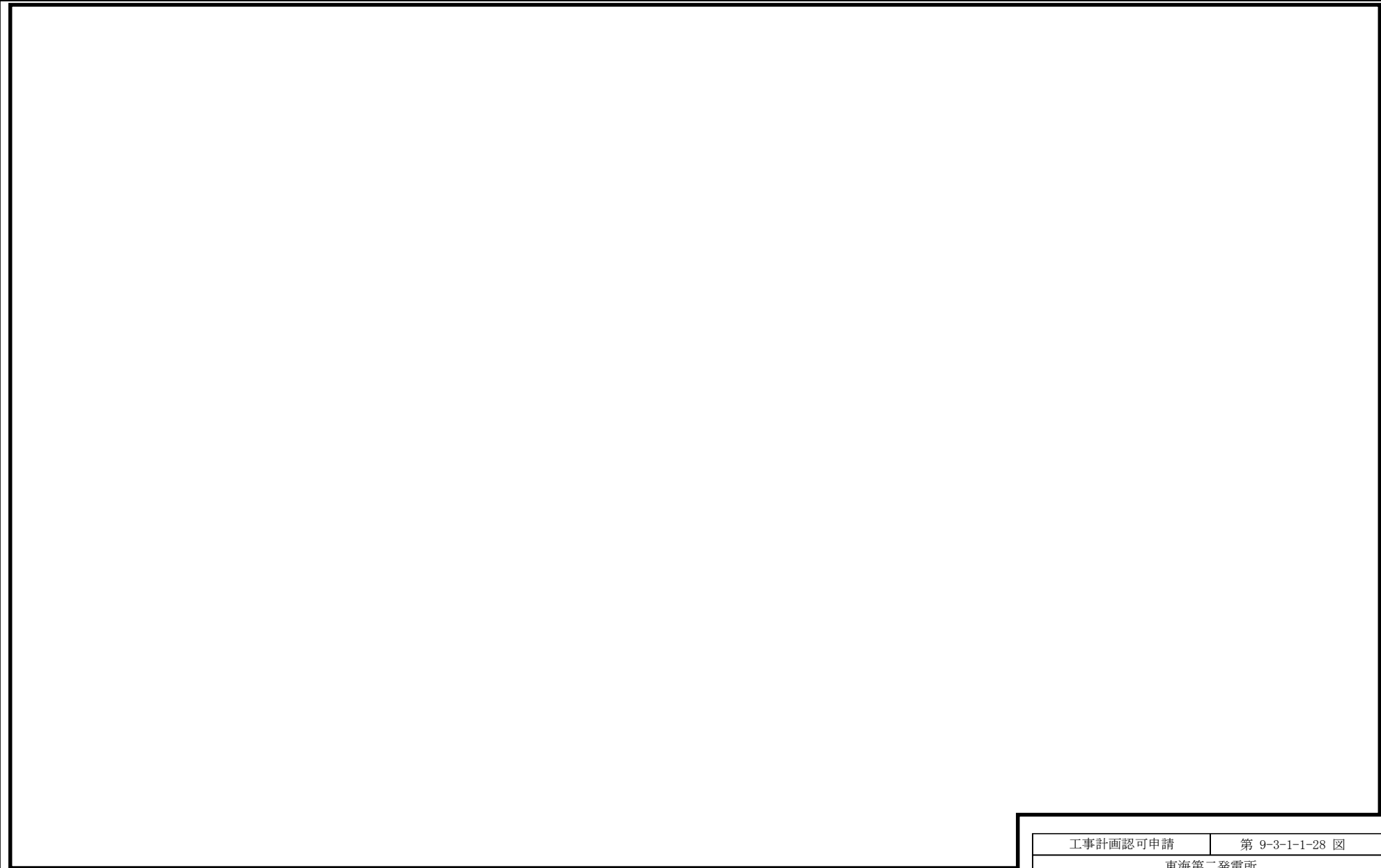
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-27 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (27/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

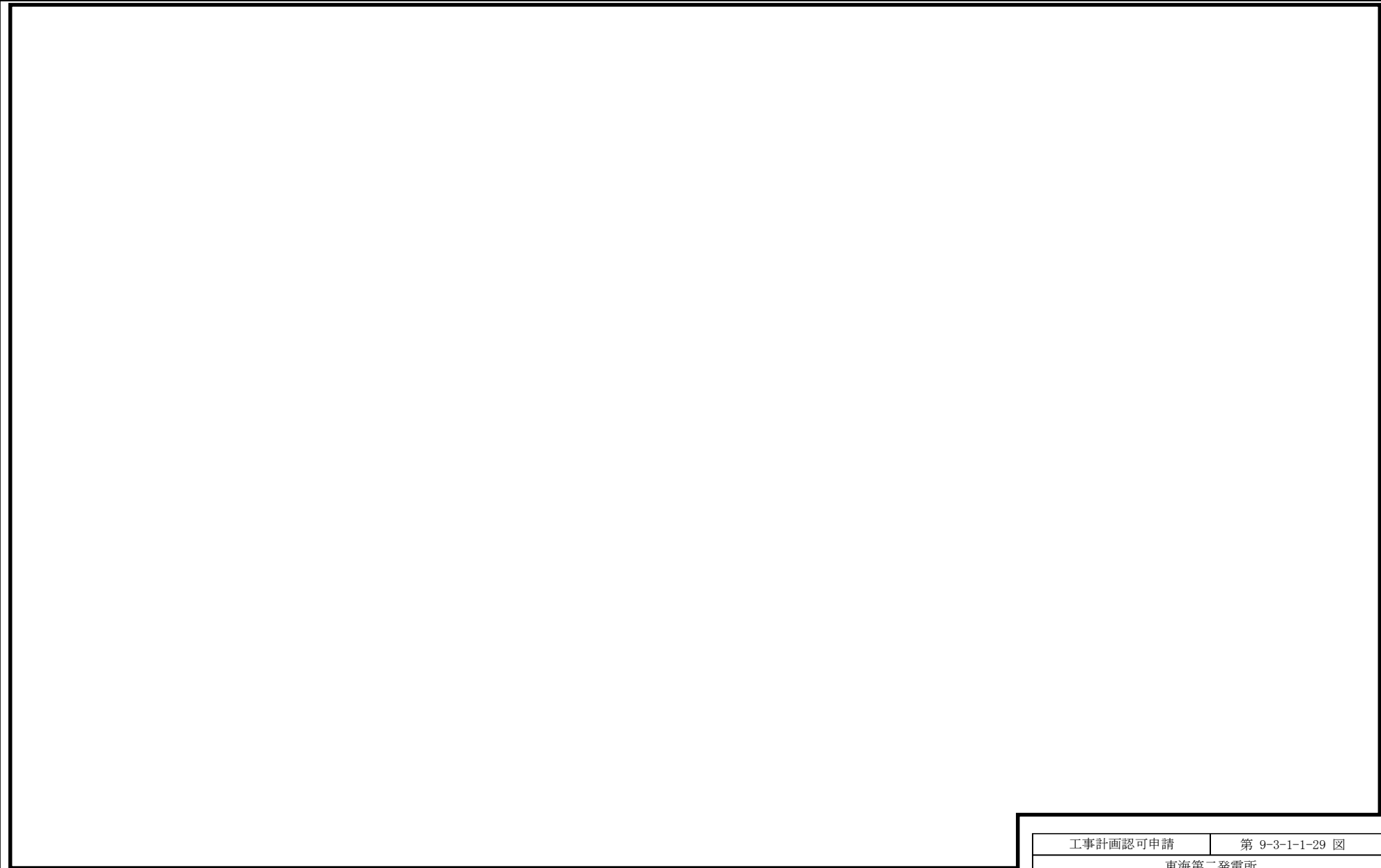
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-28 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (28/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

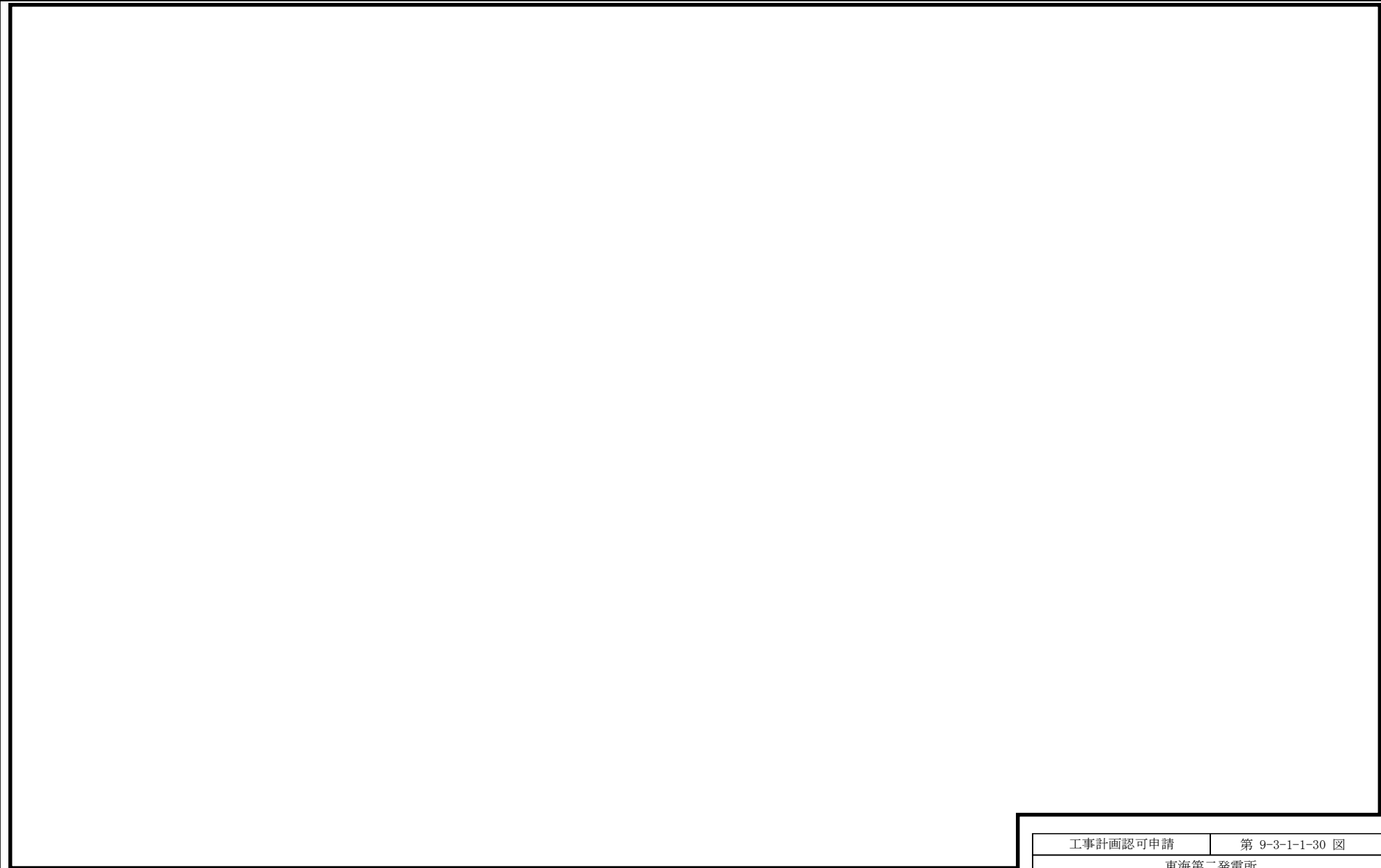
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-29 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (29/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

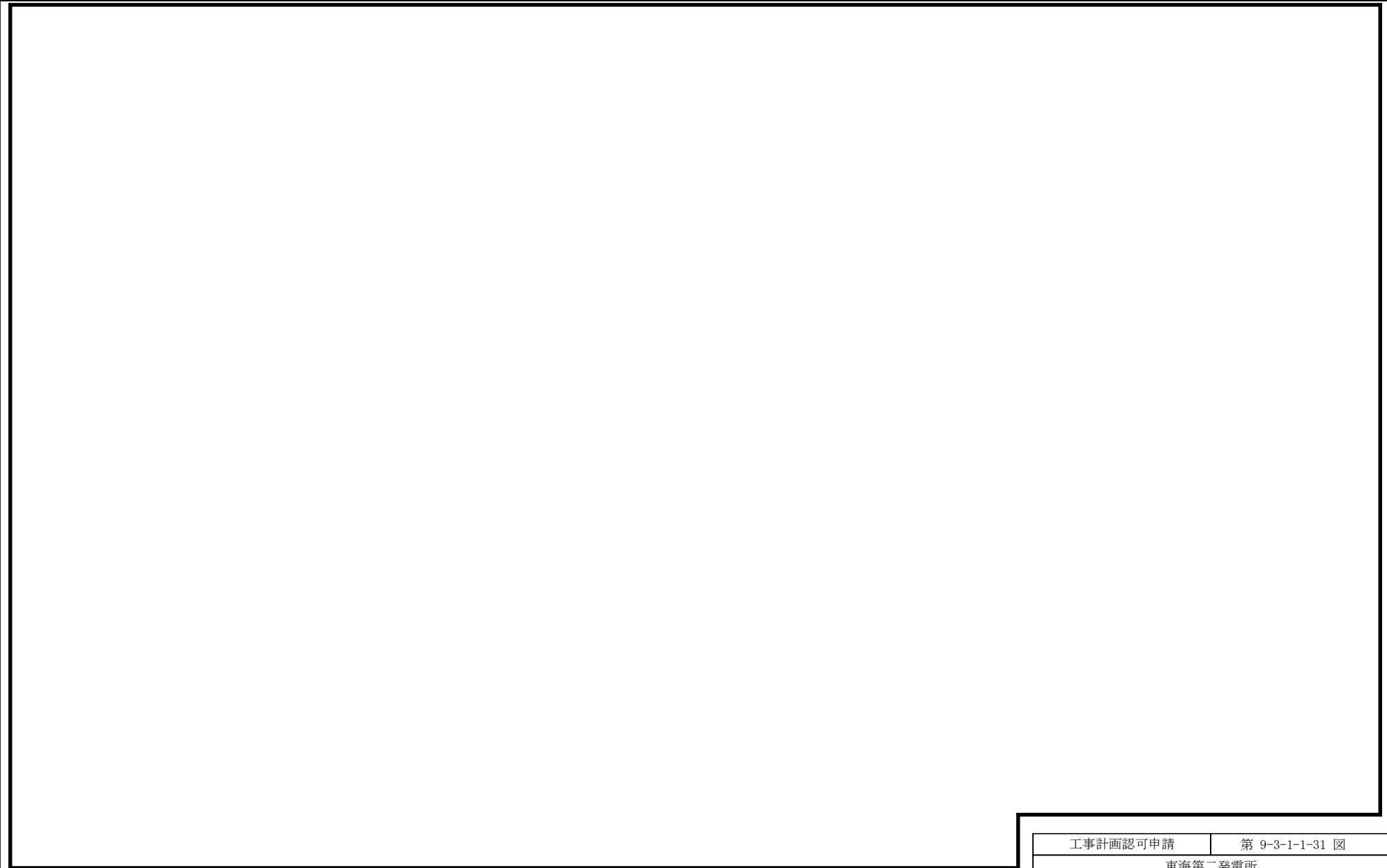
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-30 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (30/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位

工事計画認可申請

第 9-3-1-1-31 図

東海第二発電所

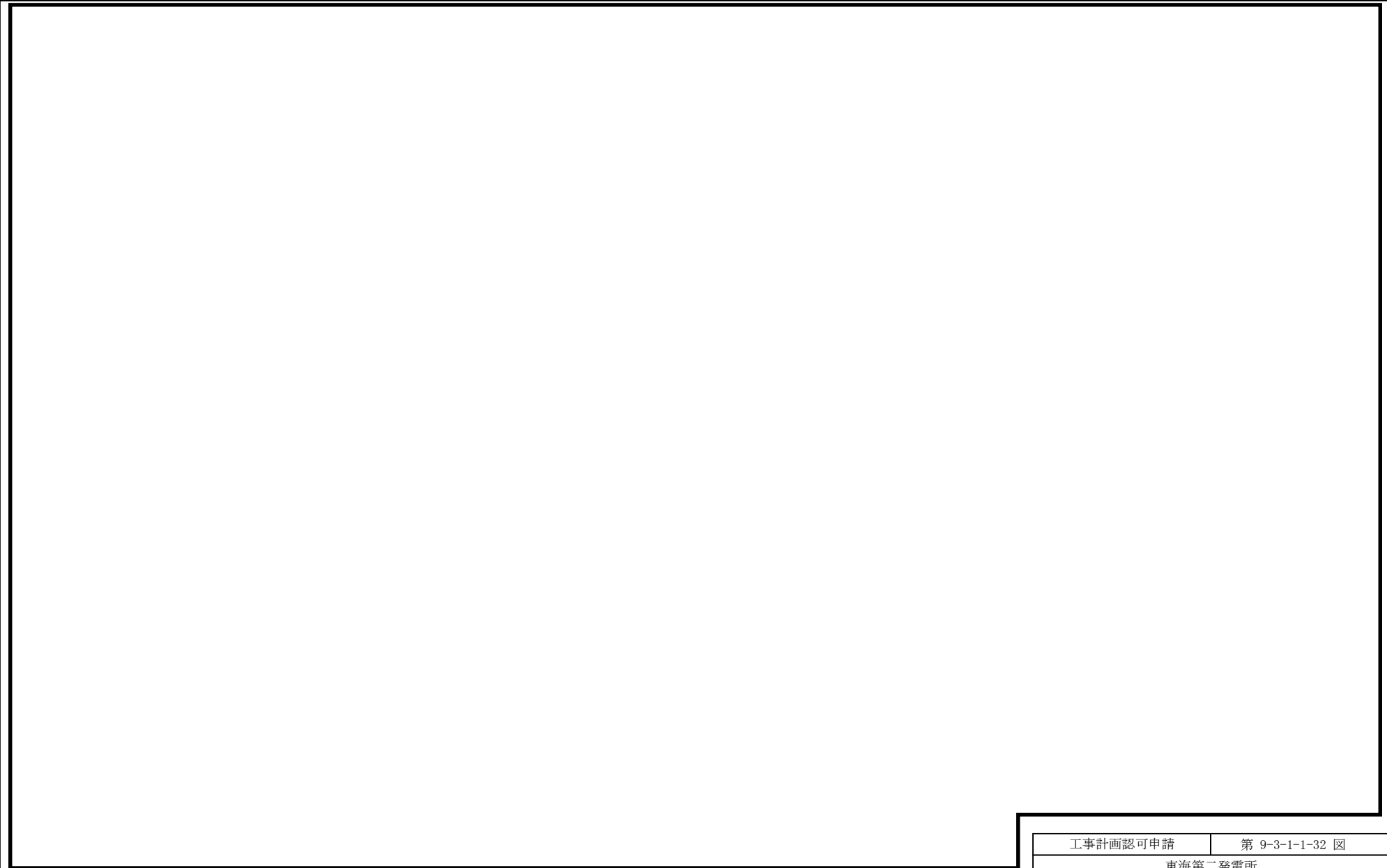
名称

その他発電用原子炉の附属施設のうち  
火災防護設備に係る  
機器の配置を明示した図面  
(火災区域構造物及び火災区画構造物) (31/39)


日本原子力発電株式会社


8323






凡例

 火災区域の境界

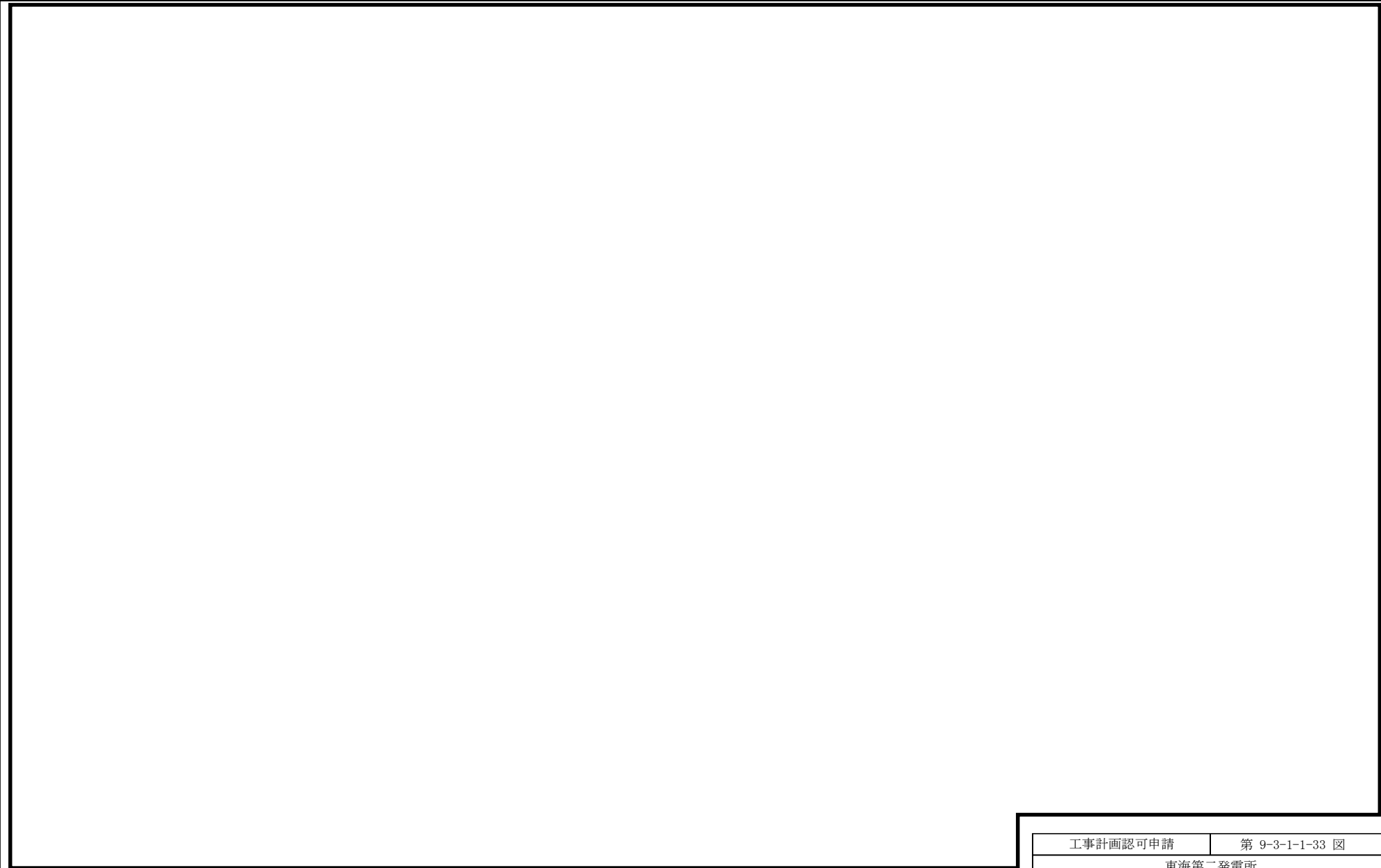
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-32 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (32/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

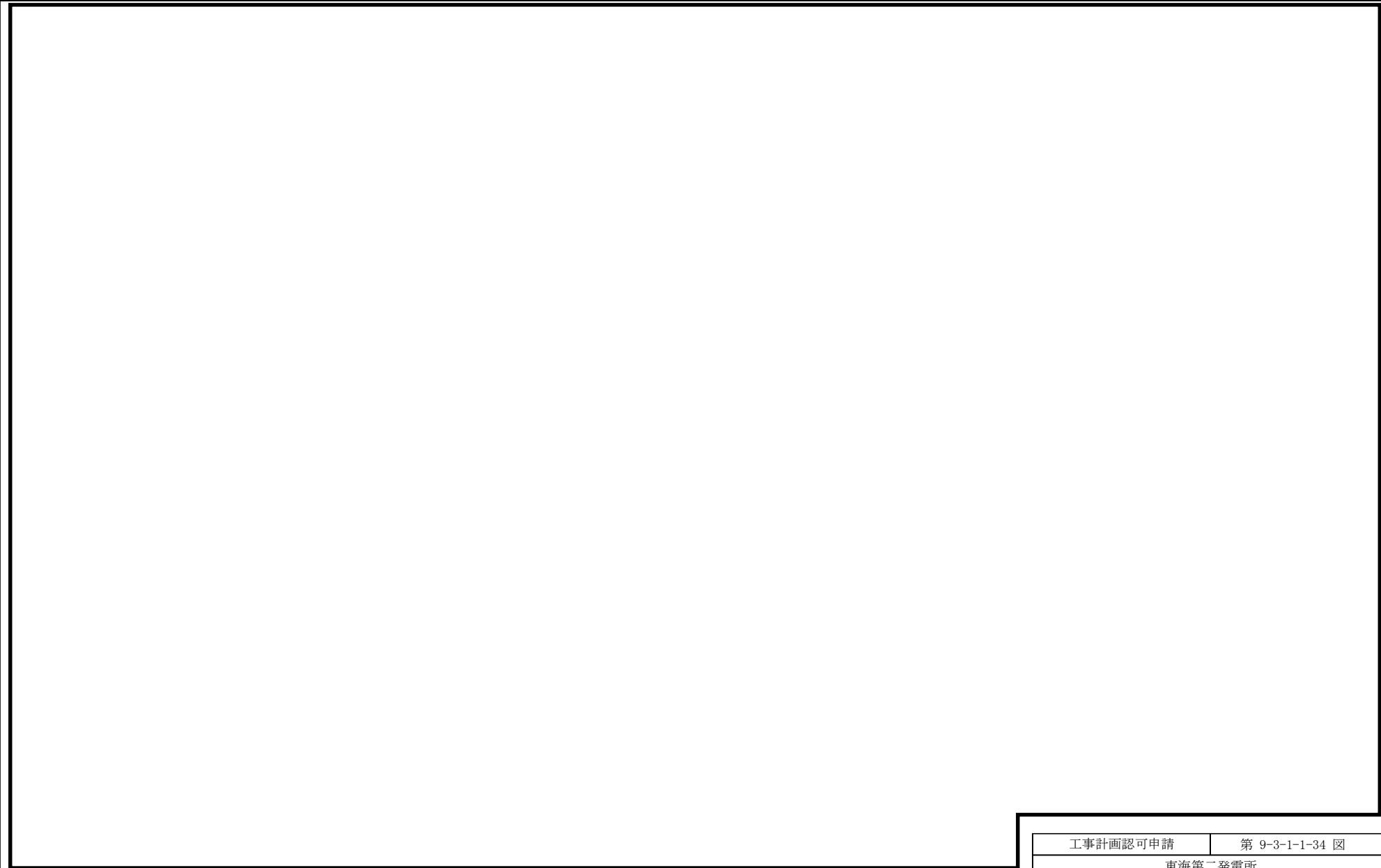
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-33 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (33/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

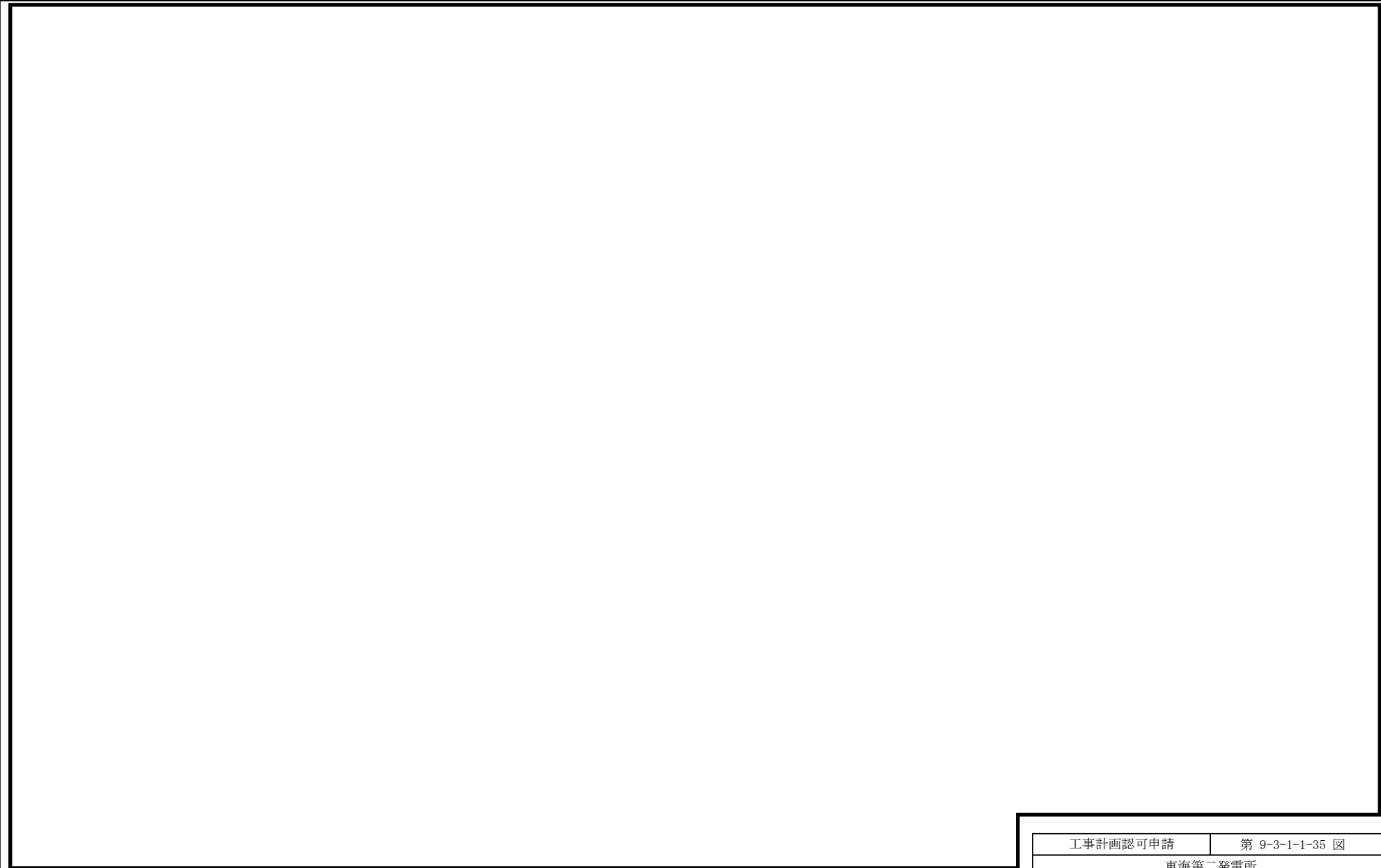
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-34 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (34/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

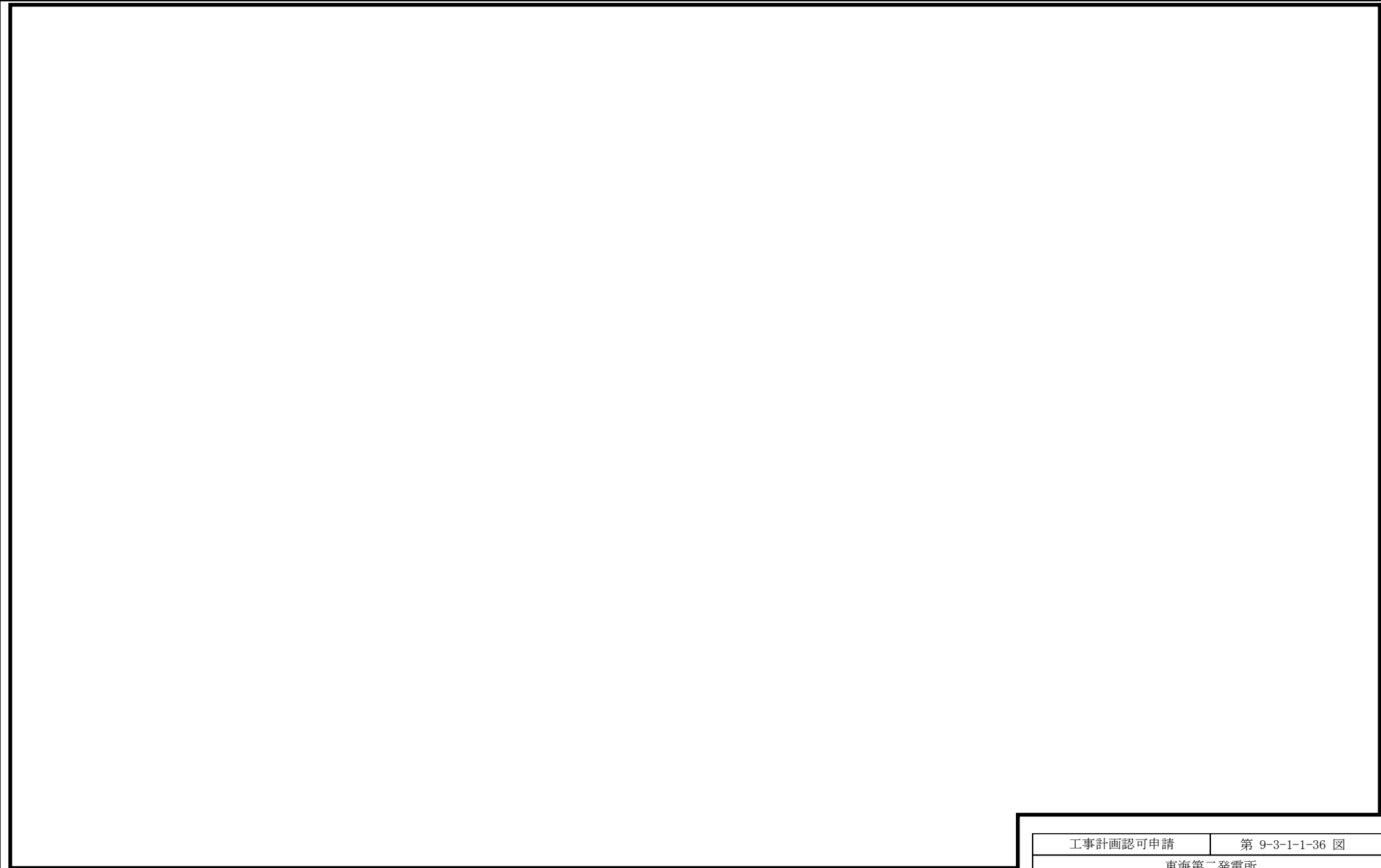
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-35 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (35/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

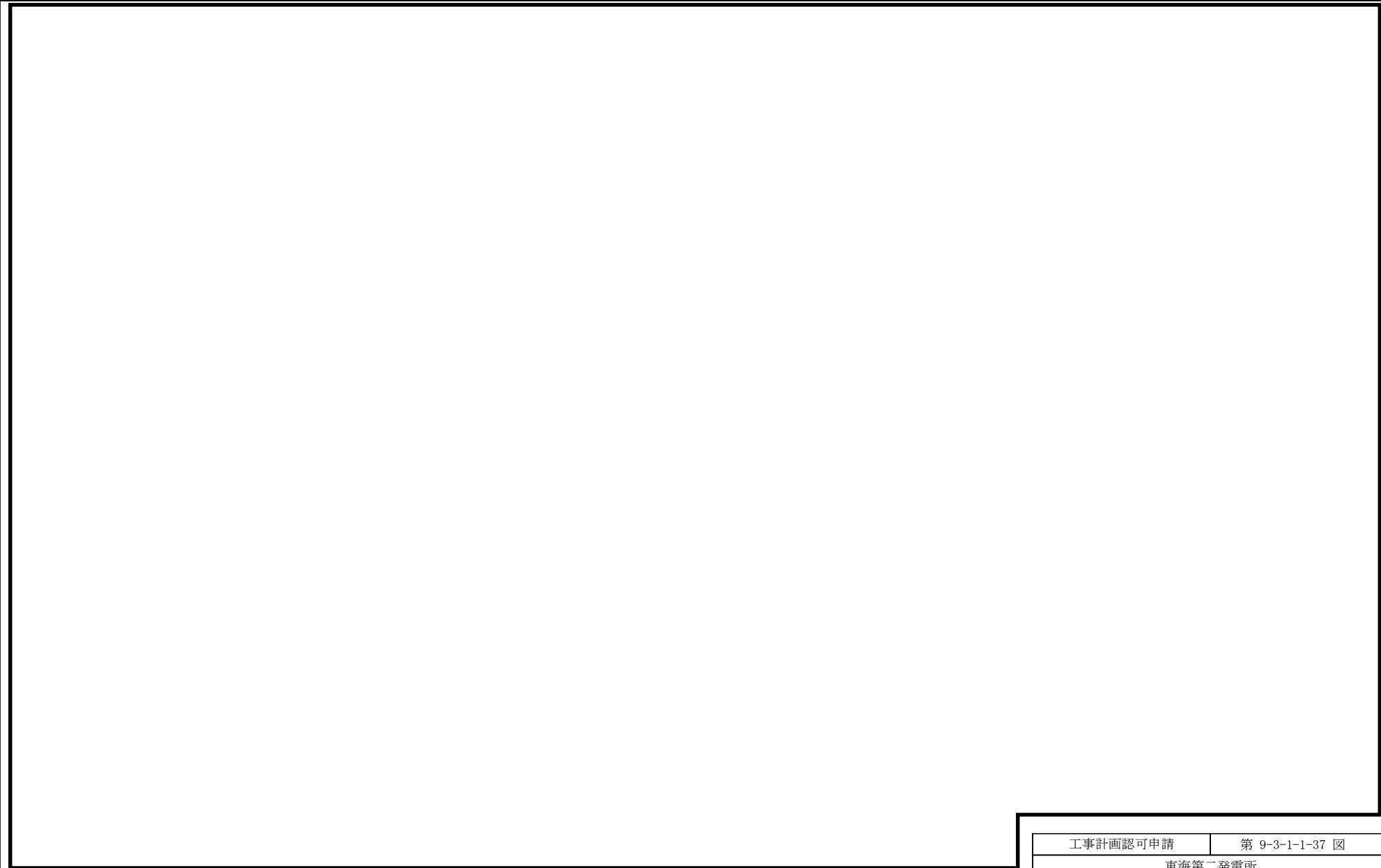
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-36 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (36/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

 火災区域の境界

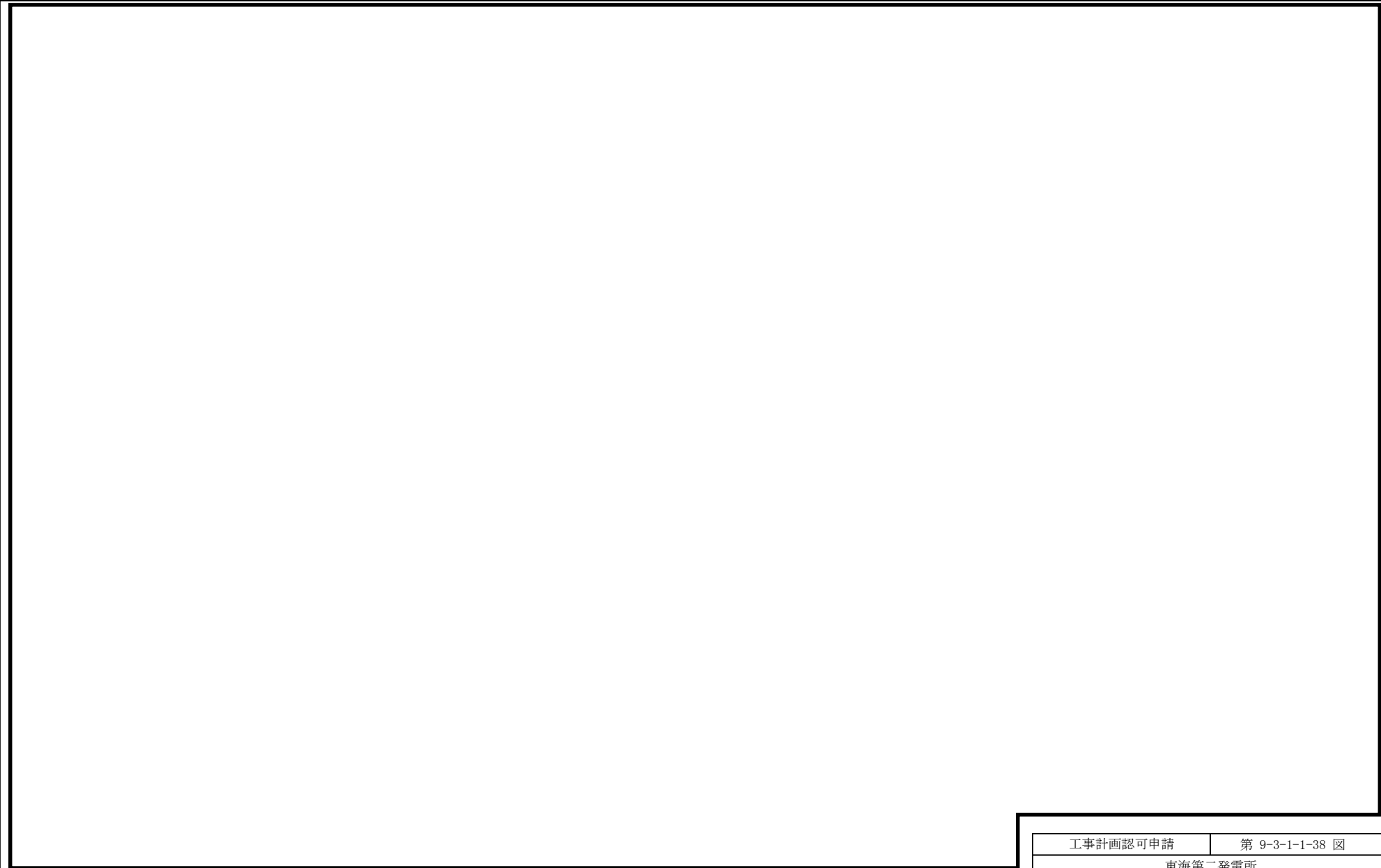
 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位


工事計画認可申請		第 9-3-1-1-37 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (37/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323




凡例

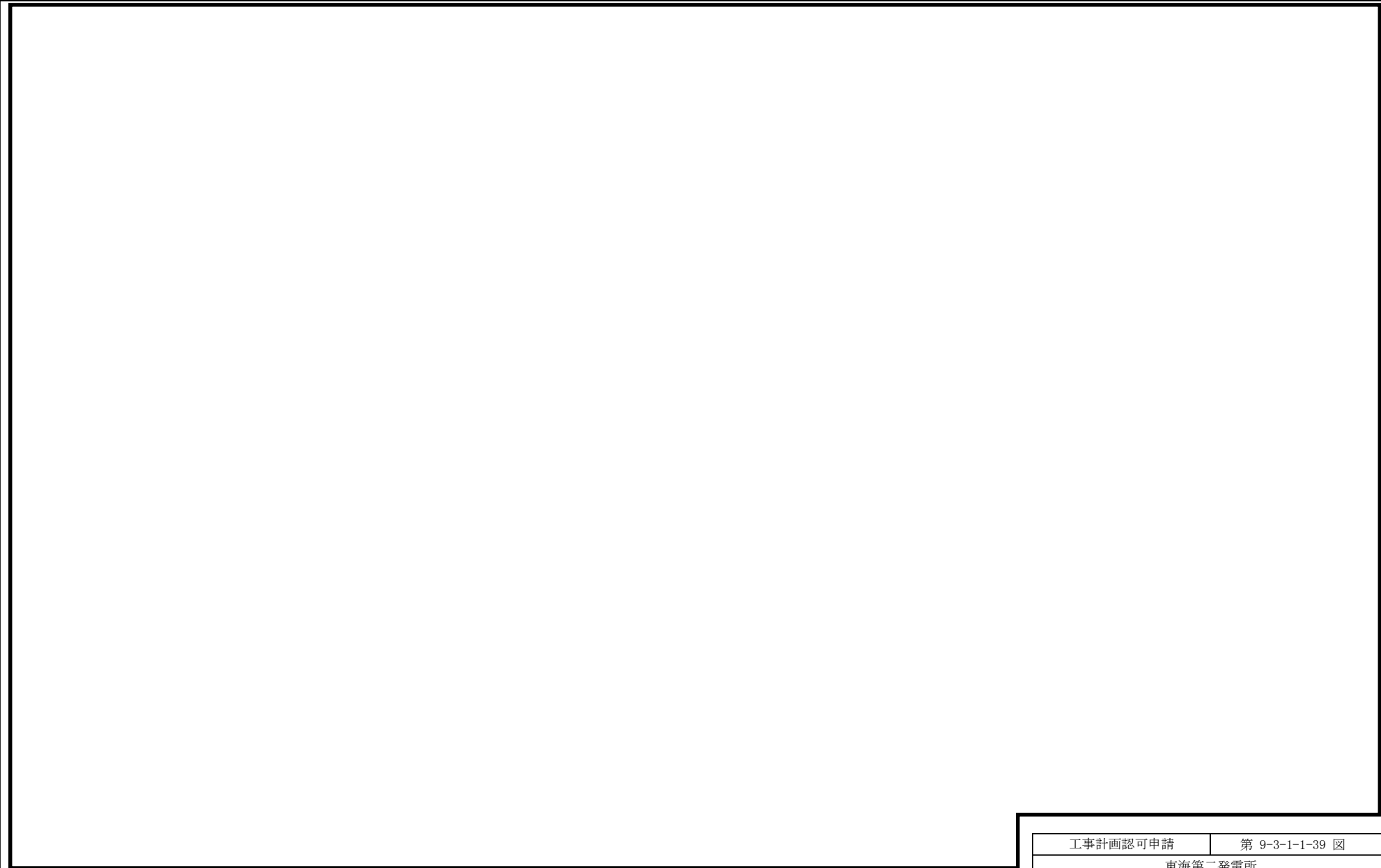
 火災区域の境界

 火災区画の境界


※ 上下階と繋がっている火災区域


 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位

工事計画認可申請		第 9-3-1-1-38 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (38/39)		
	日本原子力発電株式会社		




凡例

 火災区域の境界

 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位

工事計画認可申請		第 9-3-1-1-39 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (39/39)		
	日本原子力発電株式会社		

8323

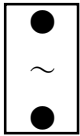



第9-3-1-1-1図～第9-3-1-1-39図「その他発電用原子炉の附属施設 火災防護に係る機器の配置を明示した図面（火災区域構造物及び火災区画構造物）」の補足

(1) 配管の寸法許容範囲及び根拠

工事計画記載の火災区域構造物及び火災区画構造物に関する公称値の許容範囲及び許容範囲の根拠となる許容差は次のとおり。

[第9-3-1-1-1図～第9-3-1-1-39図]

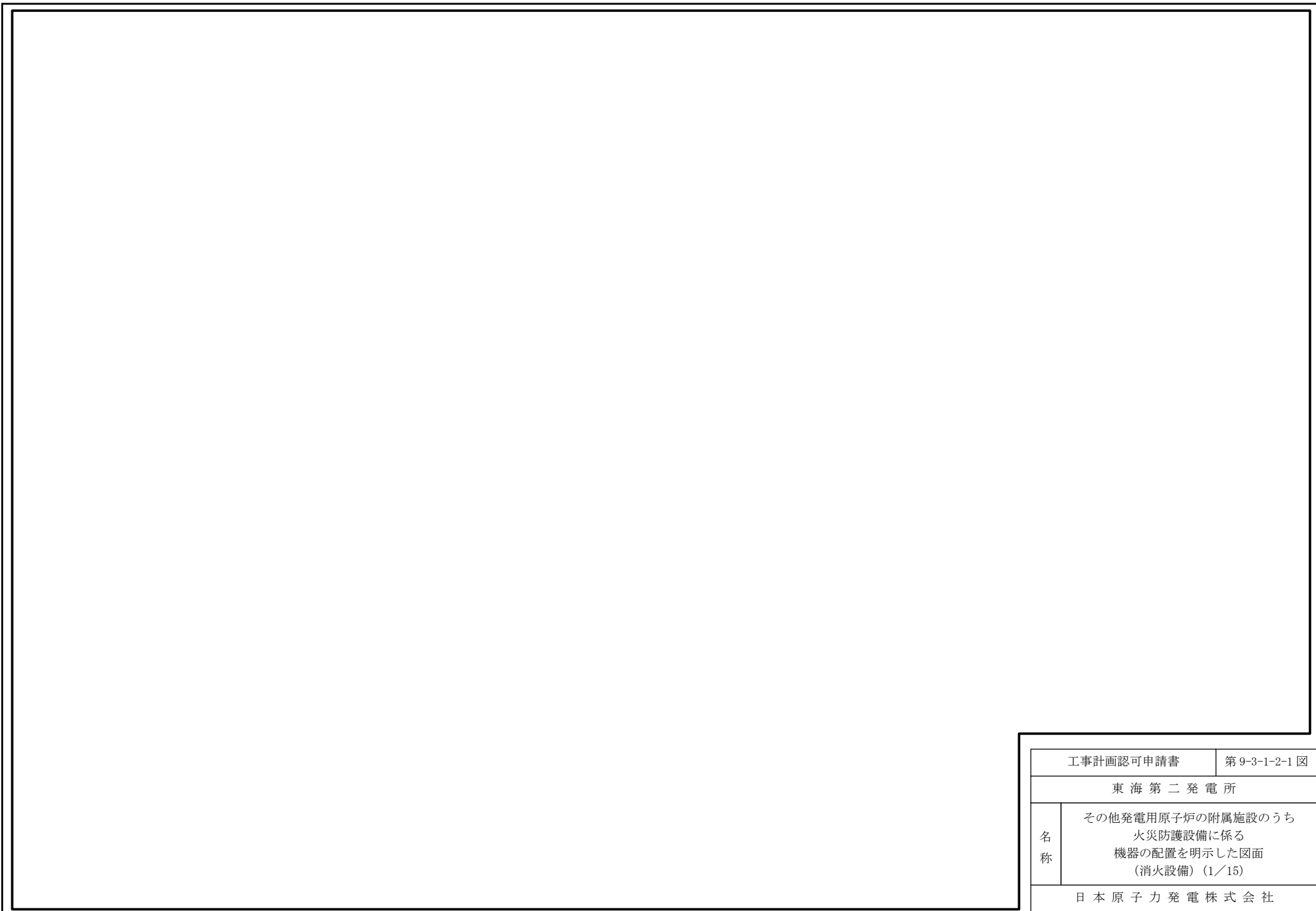
名称		寸法許容範囲(mm)			許容範囲の根拠	
		最大値*1	公称値*2	最小値	許容差(mm)	備考
●●建屋	壁	—			公称値 <sup>+</sup> 規定しない*1 公称値 <sup>-</sup> 5*2,3	

注記 \*1：火災区域又は火災区画構造物の耐火能力として，+側の許容差は規定しない。

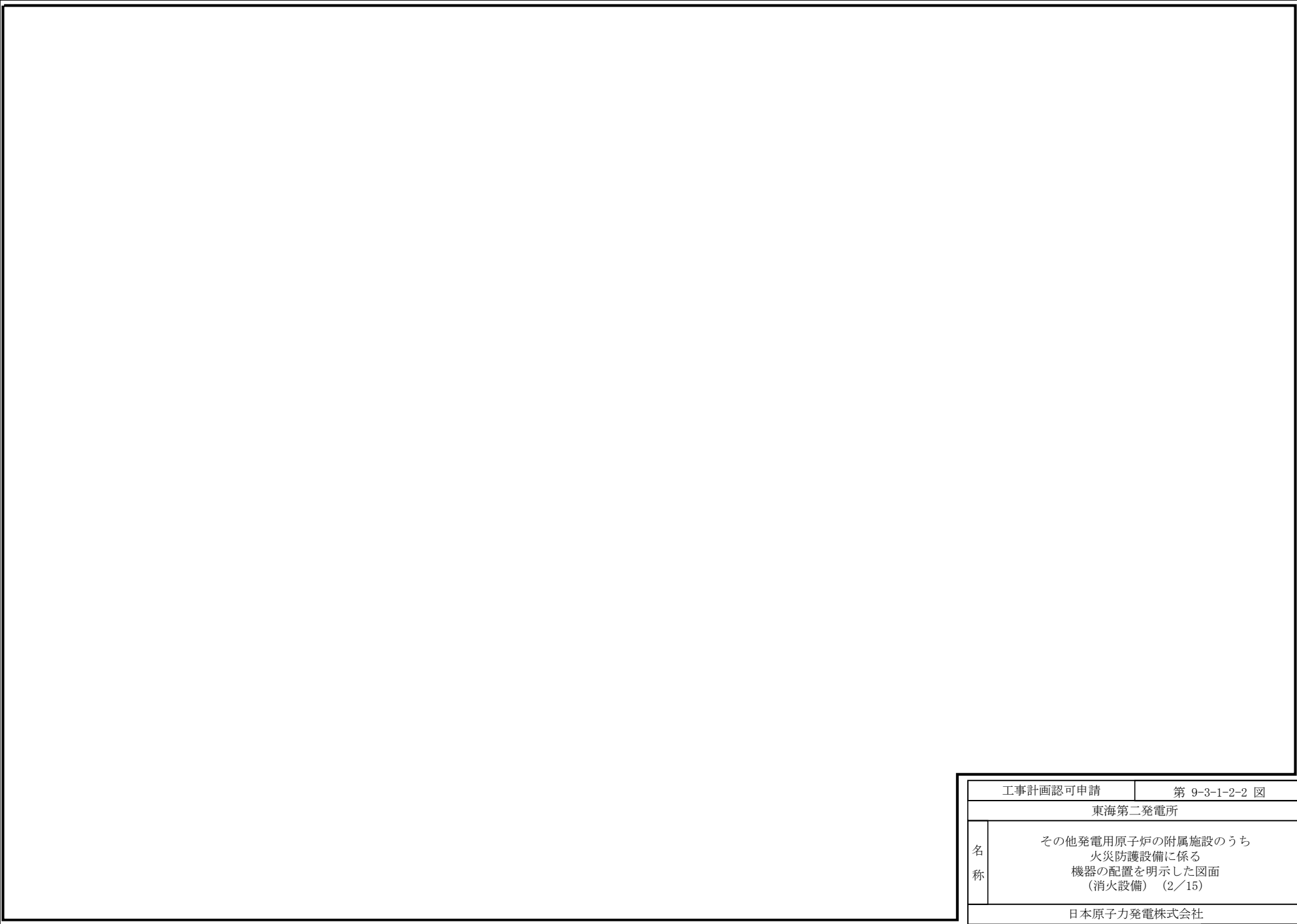
\*2：公称値のうち最少のもの

\*2：出典 日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 原子力発電所施設における鉄筋コンクリート工事 JASS 5N」

\*3：出典 日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 鉄筋コンクリート工事 JASS 5」

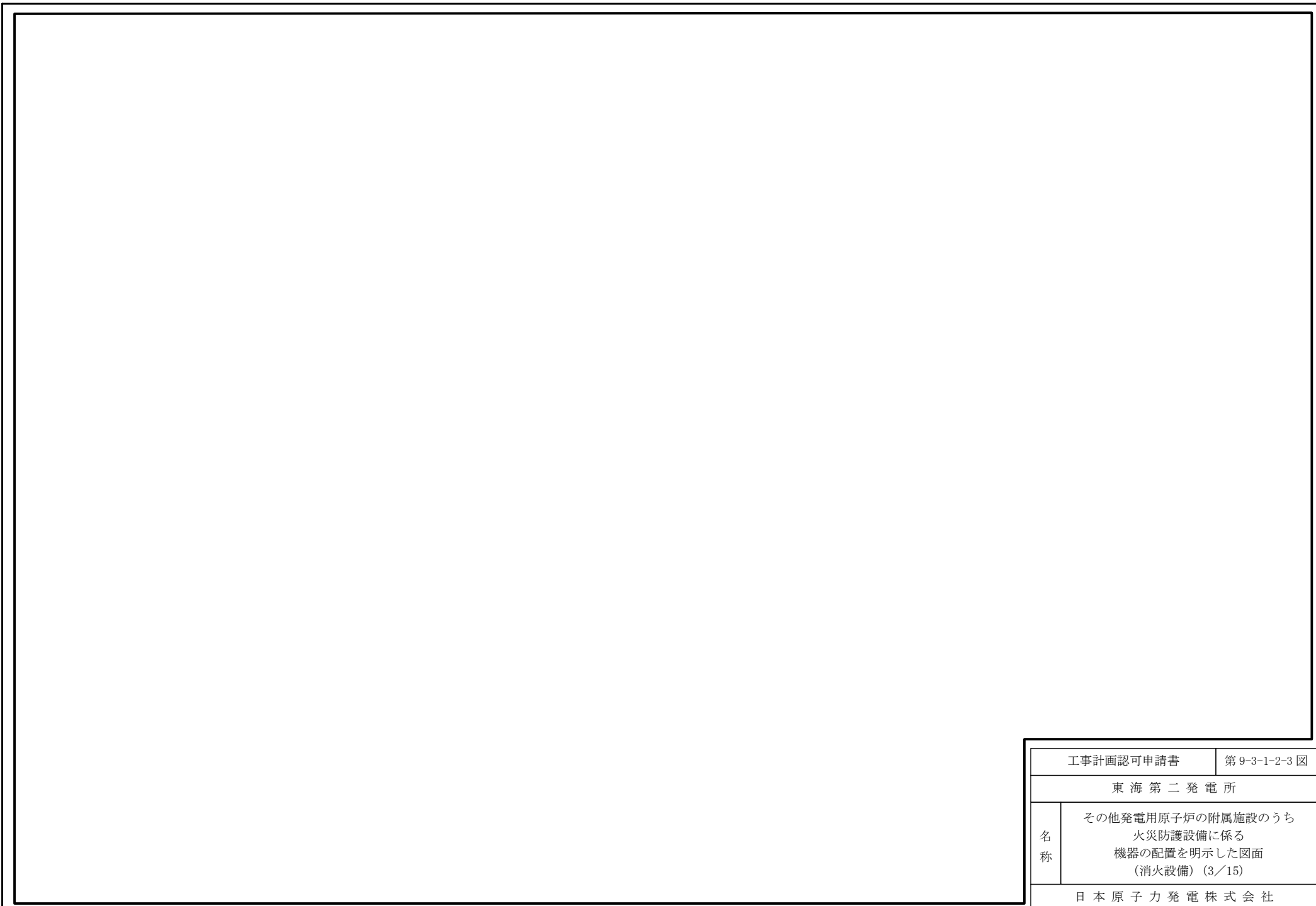


工事計画認可申請書		第9-3-1-2-1 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (消火設備) (1/15)	
日本原子力発電株式会社		

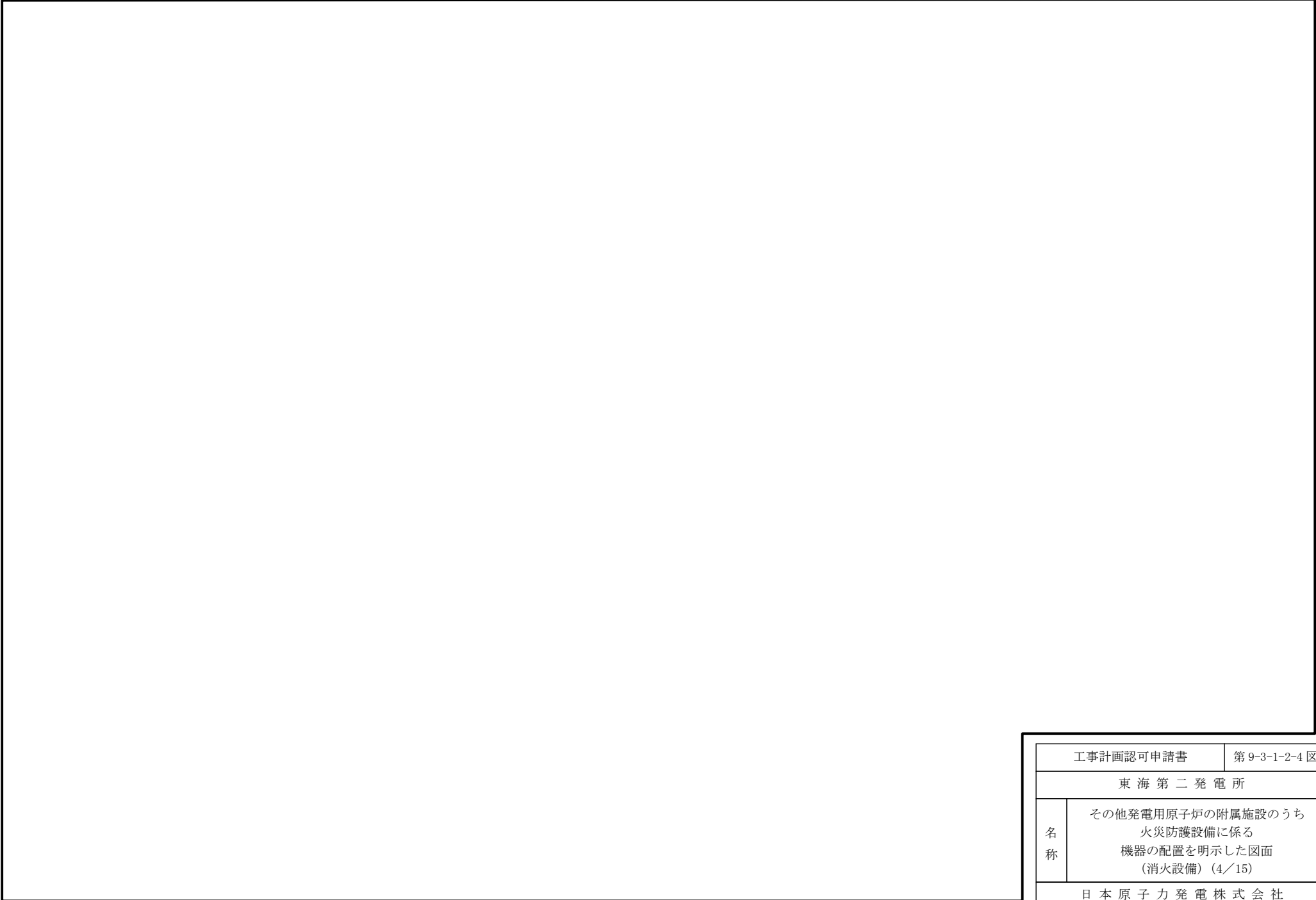


工事計画認可申請		第 9-3-1-2-2 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (消火設備) (2/15)	
	日本原子力発電株式会社	

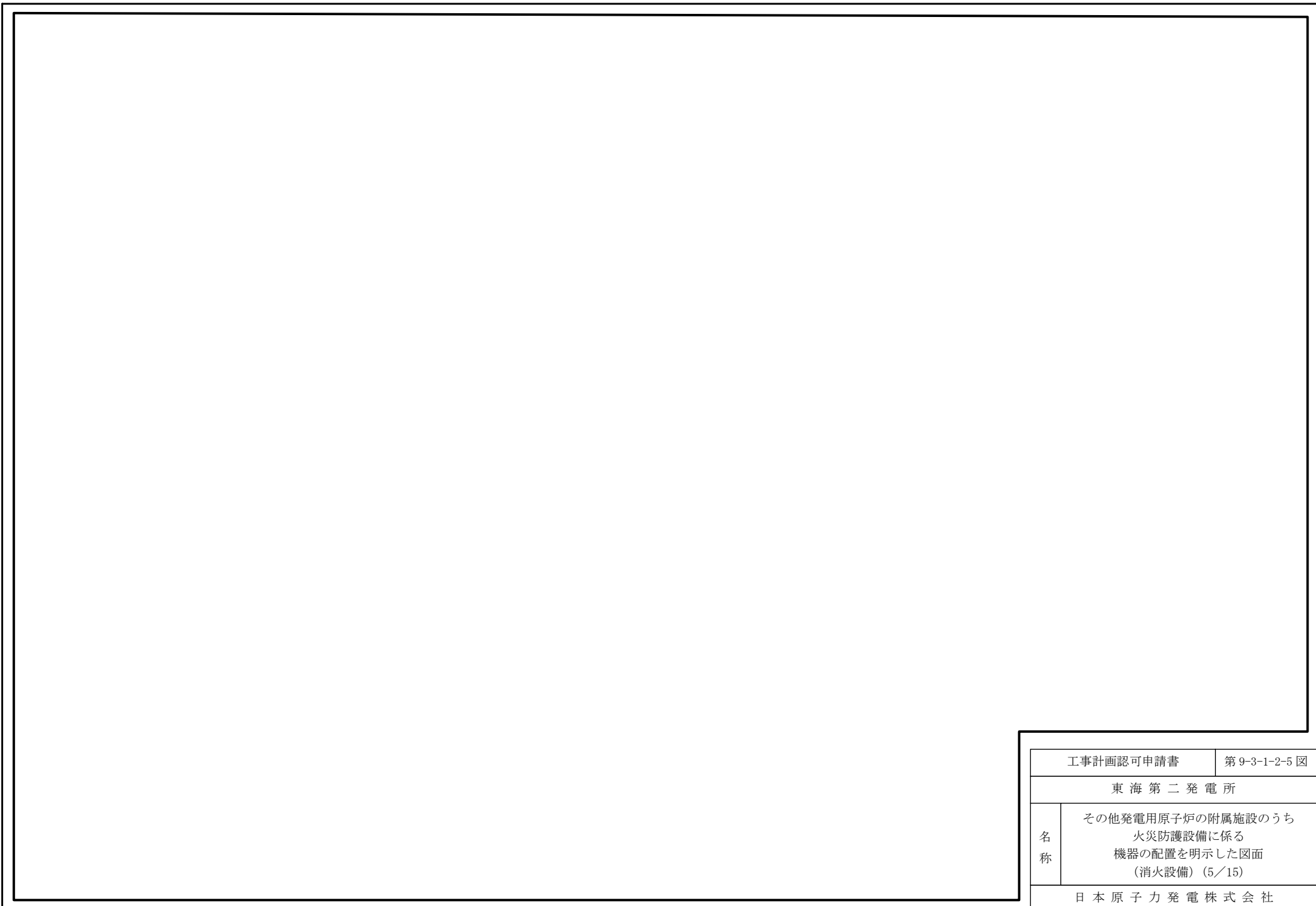
8301



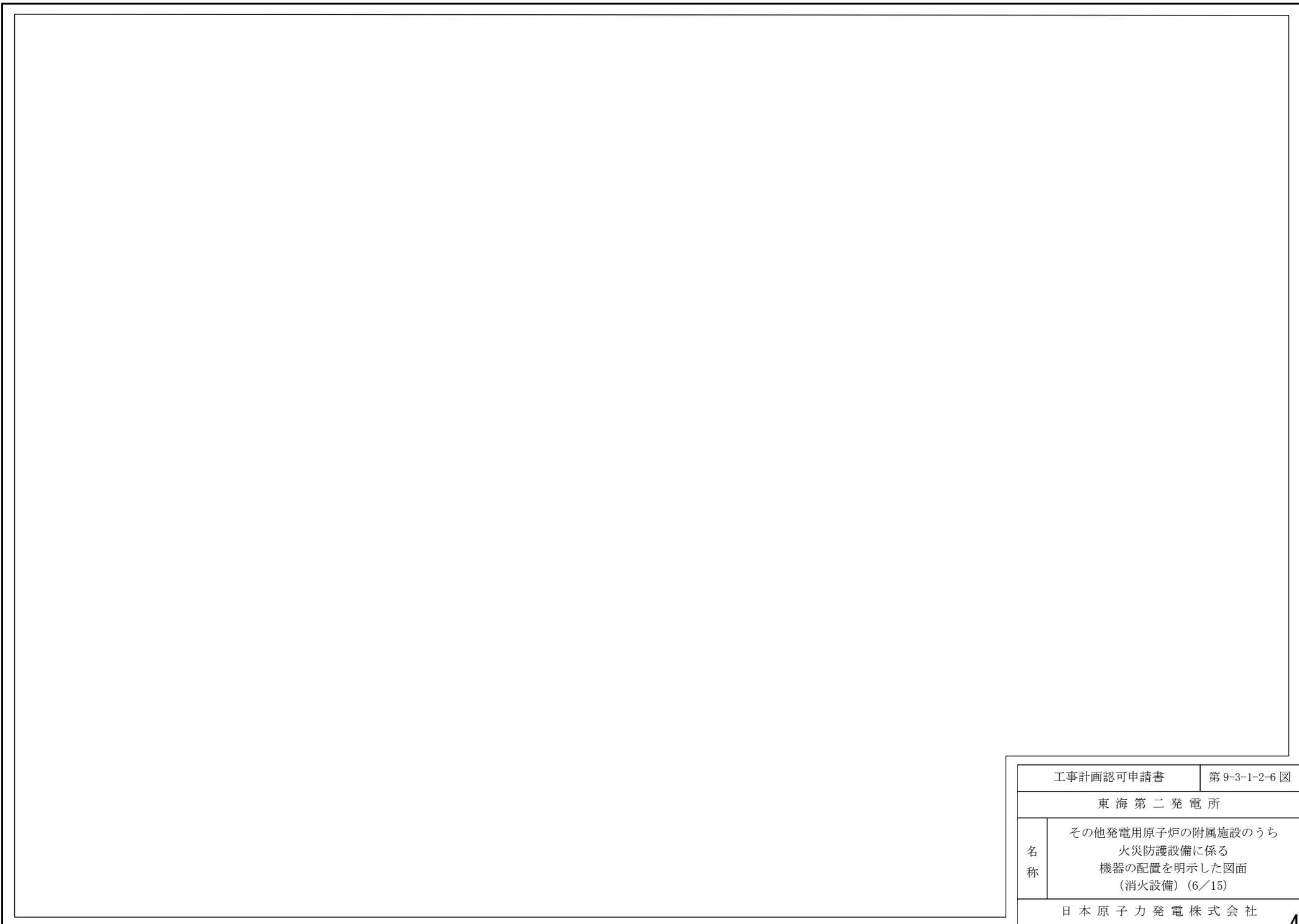
工事計画認可申請書		第 9-3-1-2-3 図
東 海 第 二 発 電 所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (消火設備) (3/15)	
日 本 原 子 力 発 電 株 式 会 社		



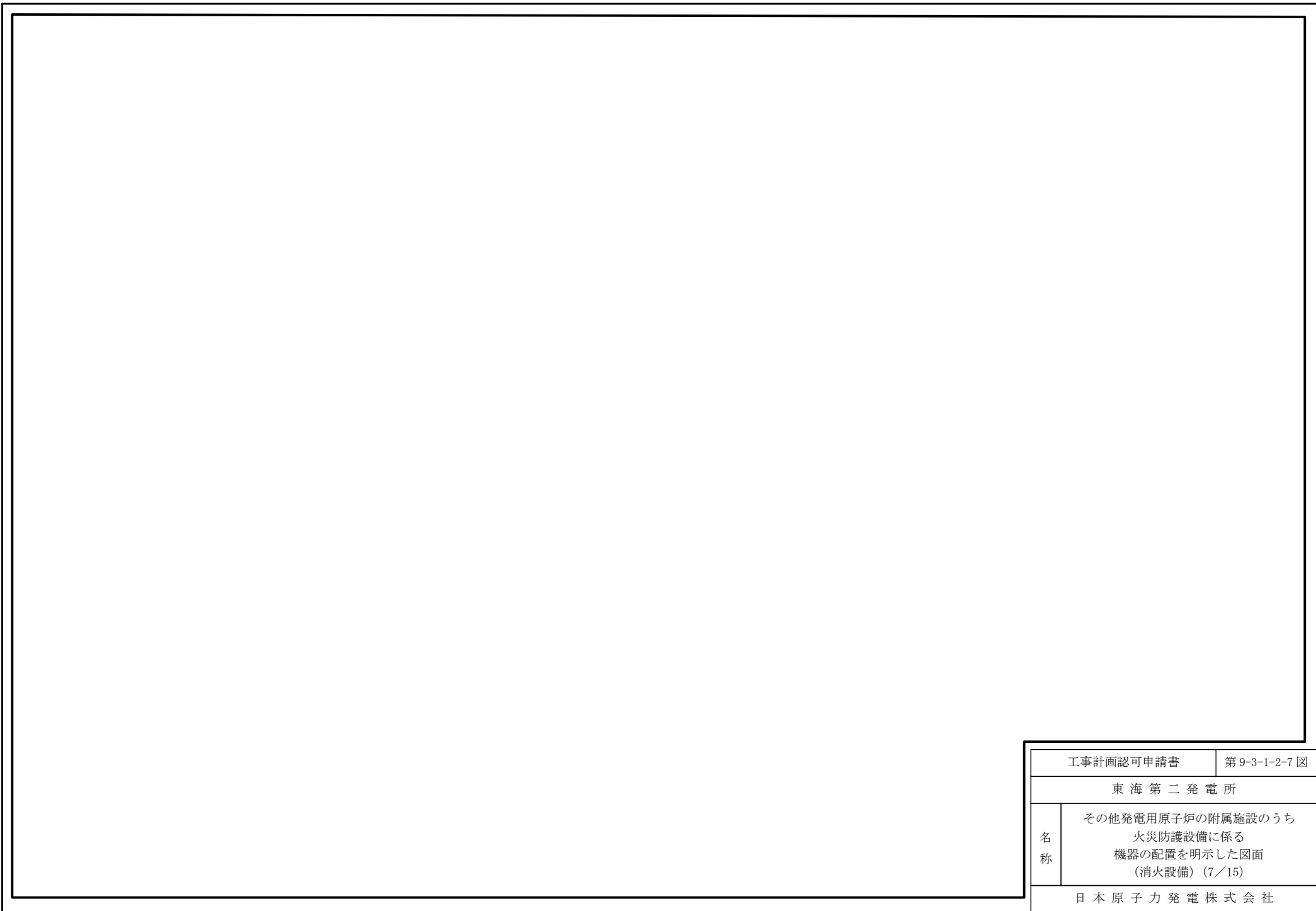
工事計画認可申請書		第9-3-1-2-4 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (消火設備) (4/15)	
日本原子力発電株式会社		



工事計画認可申請書		第9-3-1-2-5 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (消火設備) (5/15)	
日本原子力発電株式会社		

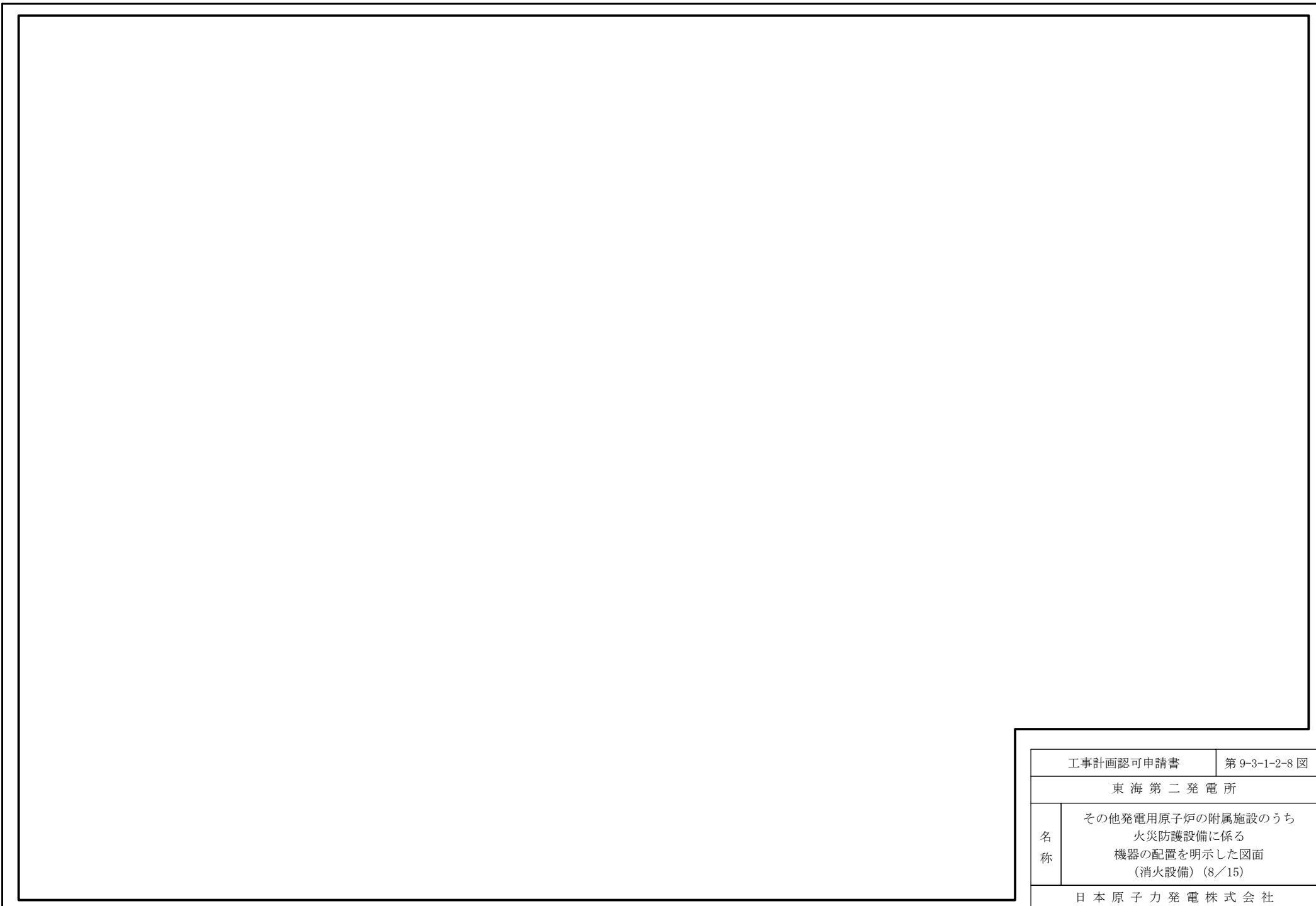


工事計画認可申請書	第9-3-1-2-6 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (消火設備) (6/15)
日本原子力発電株式会社	

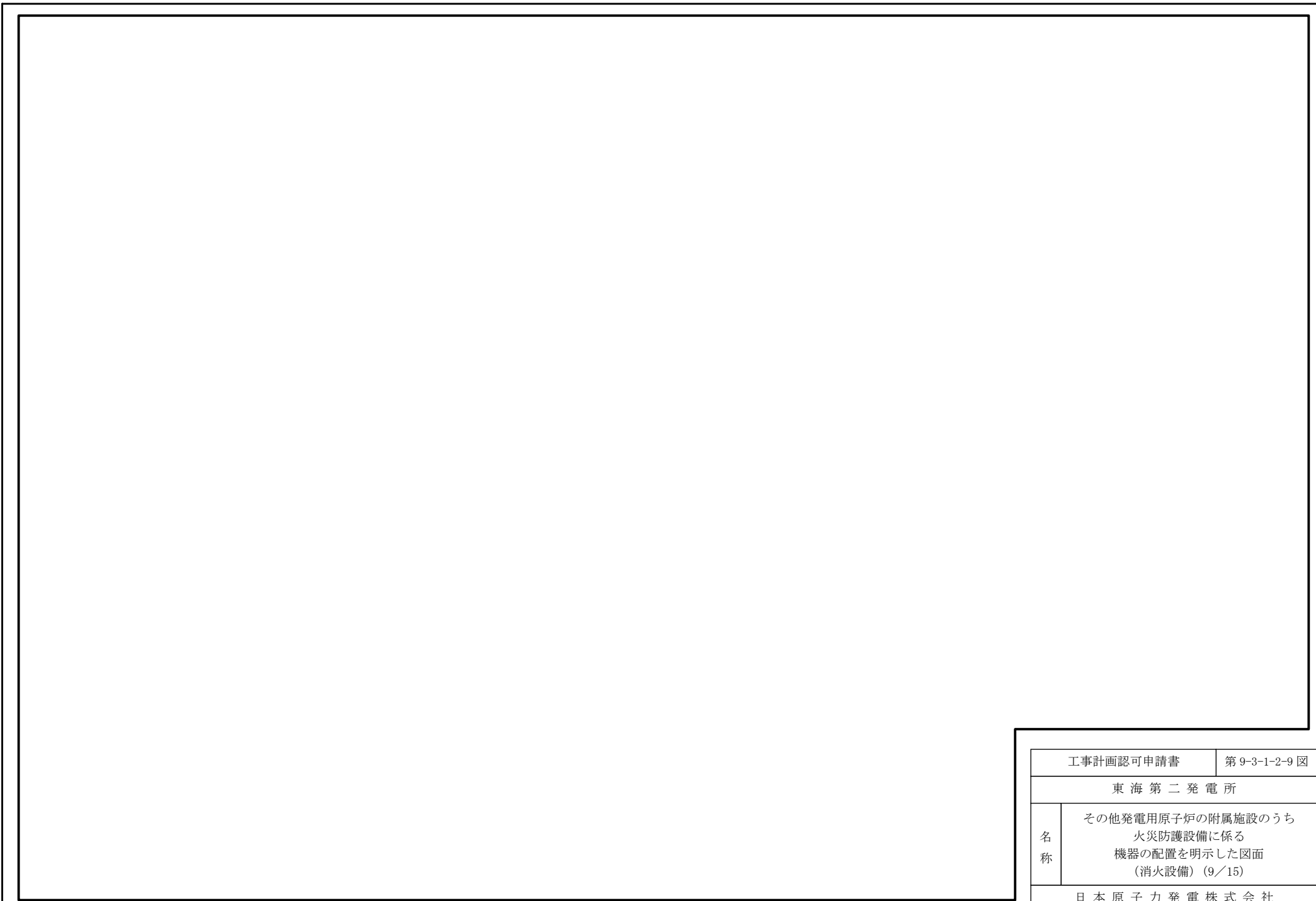


工事計画認可申請書		第9-3-1-2-7 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (消火設備) (7/15)	
日本原子力発電株式会社		

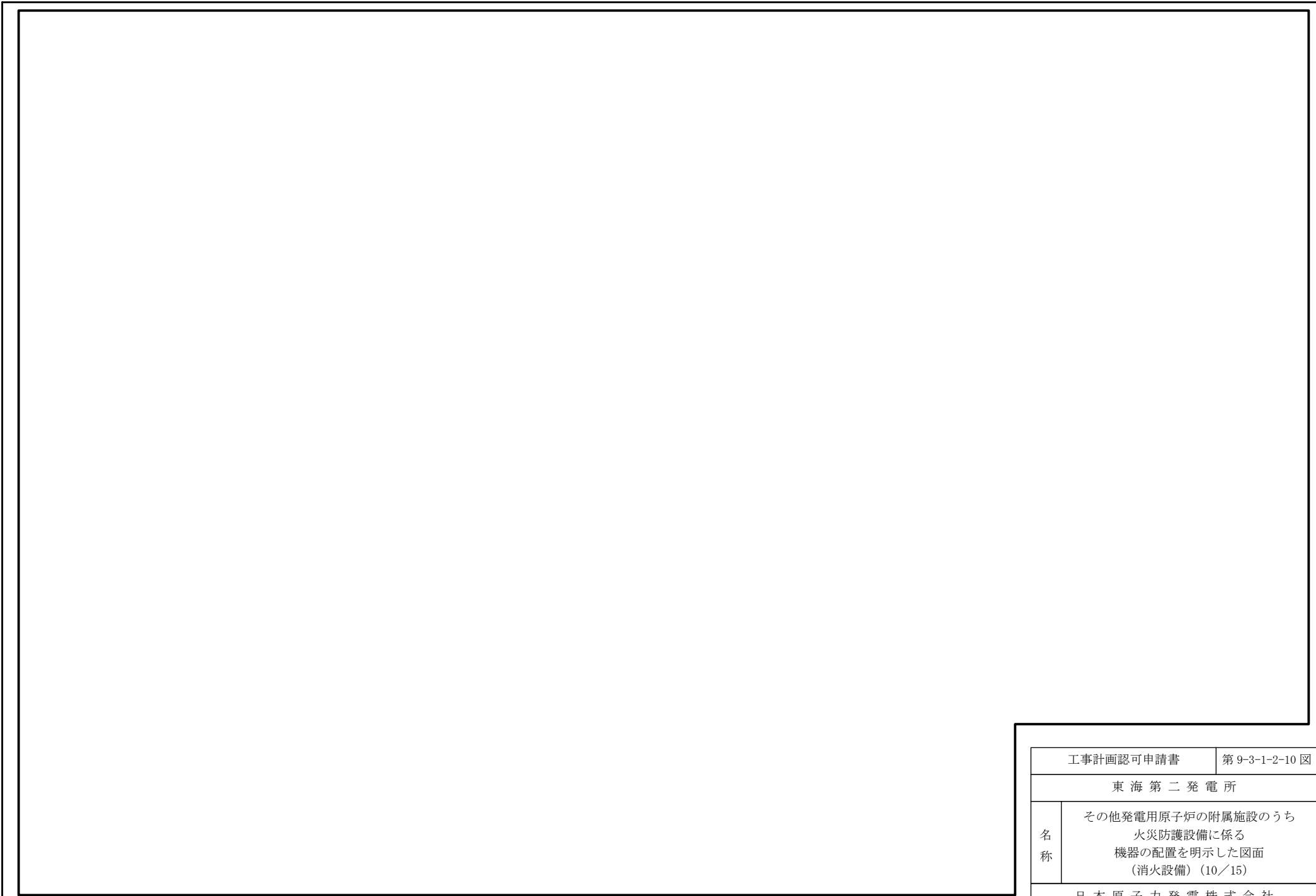




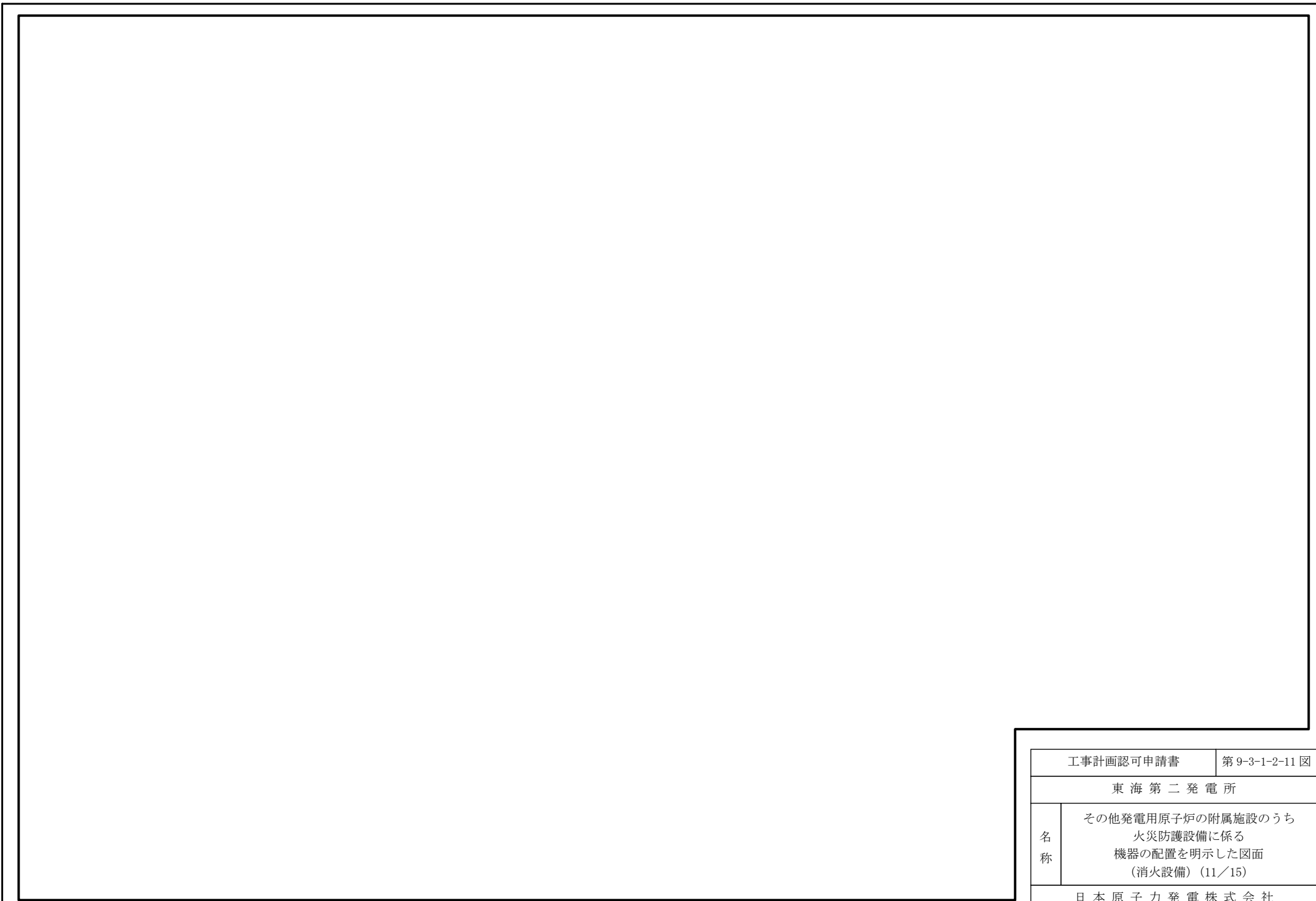
工事計画認可申請書		第9-3-1-2-8 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (消火設備) (8/15)	
日本原子力発電株式会社		



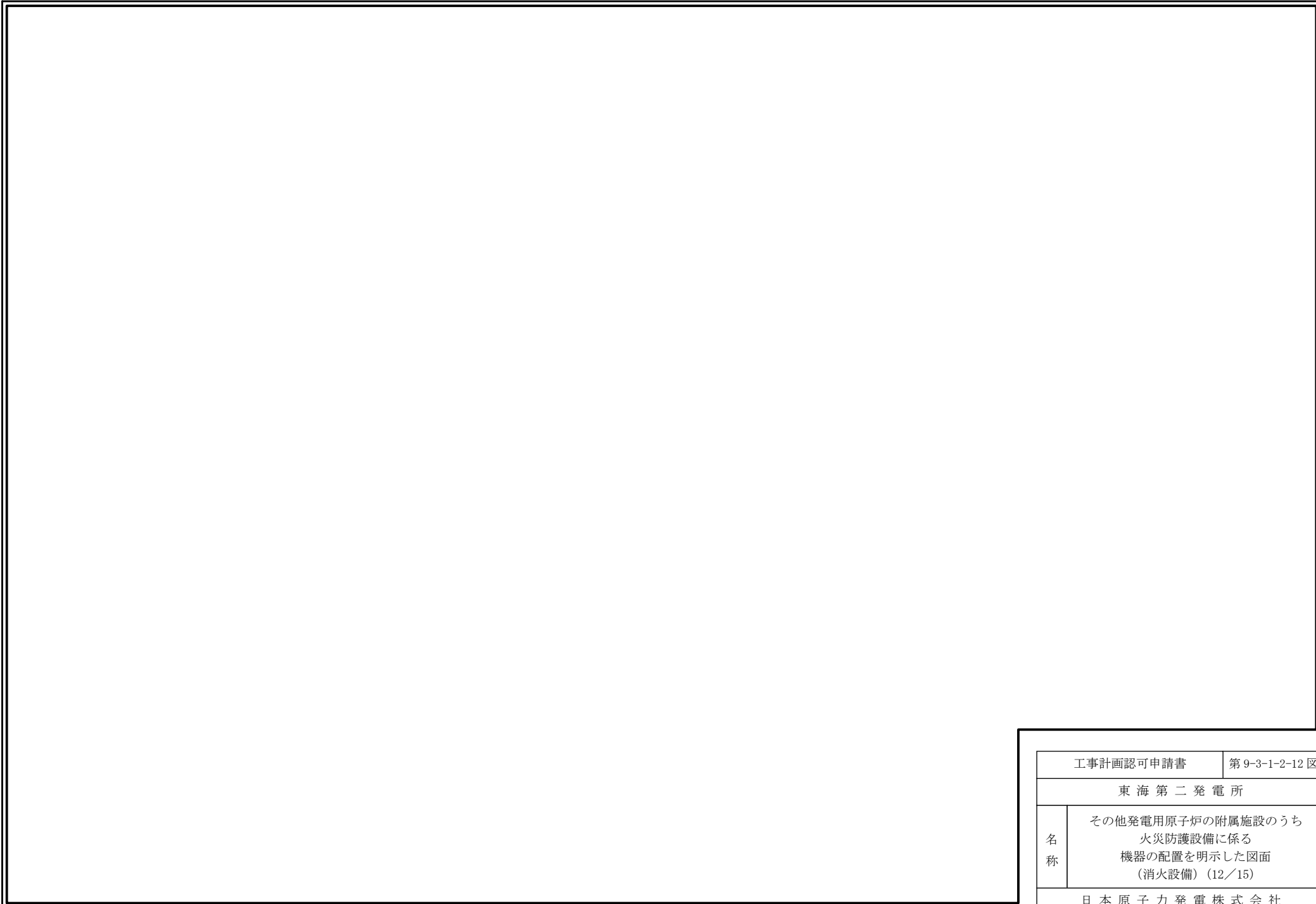
工事計画認可申請書		第9-3-1-2-9 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (消火設備) (9/15)	
日本原子力発電株式会社		



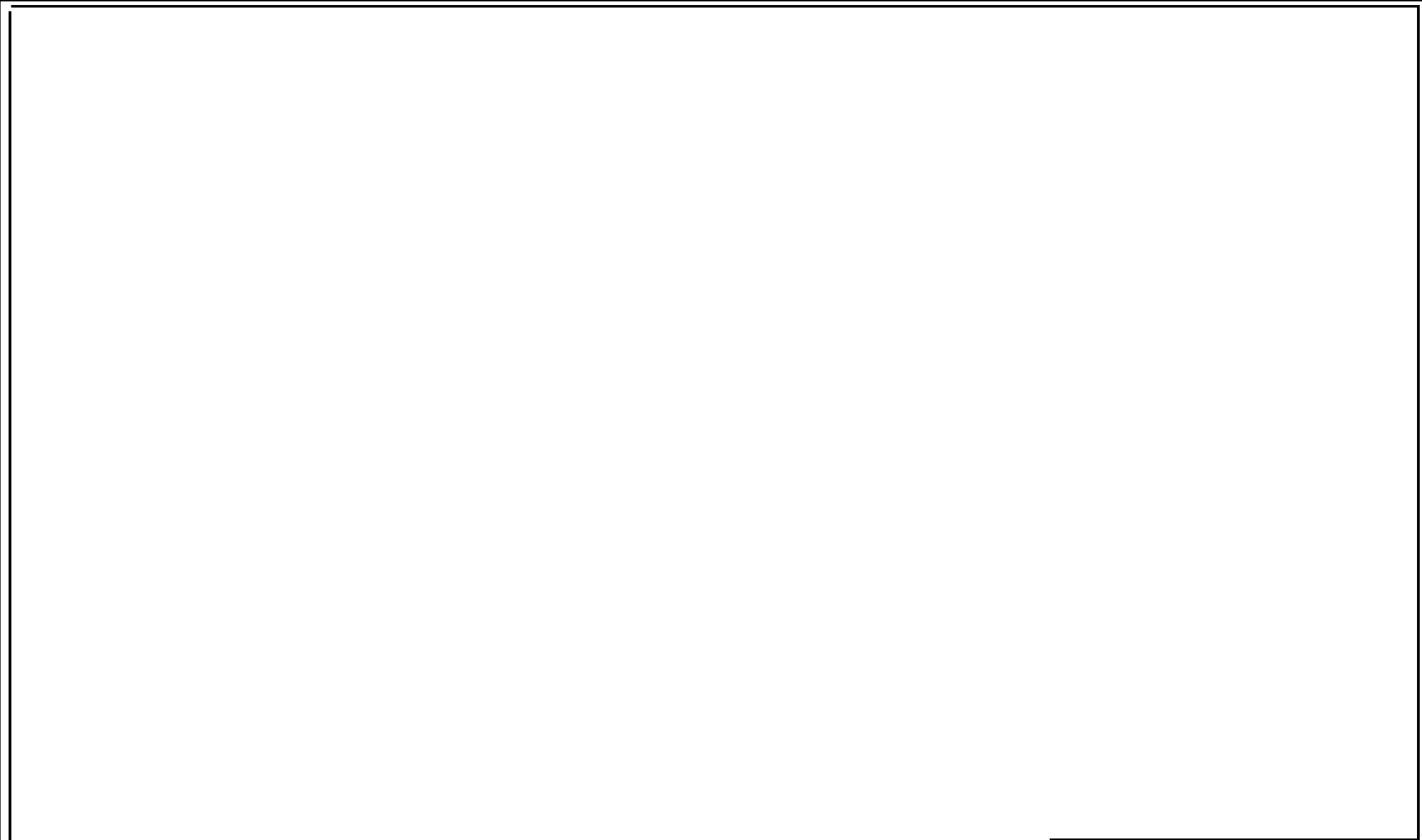
工事計画認可申請書		第 9-3-1-2-10 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (消火設備) (10/15)	
日本原子力発電株式会社		



工事計画認可申請書		第9-3-1-2-11 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (消火設備) (11/15)	
日本原子力発電株式会社		

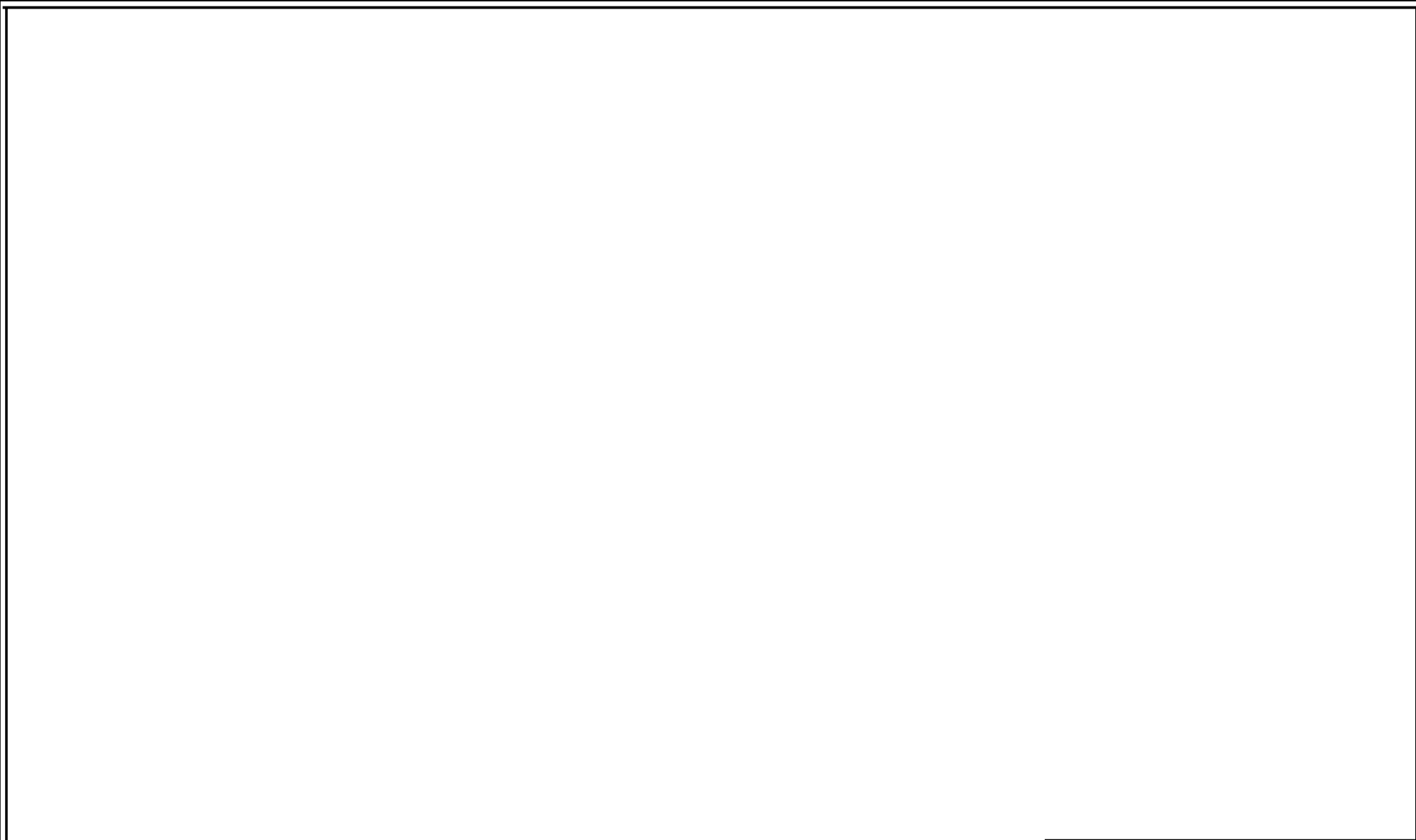


工事計画認可申請書		第9-3-1-2-12 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (消火設備) (12/15)	
日本原子力発電株式会社		



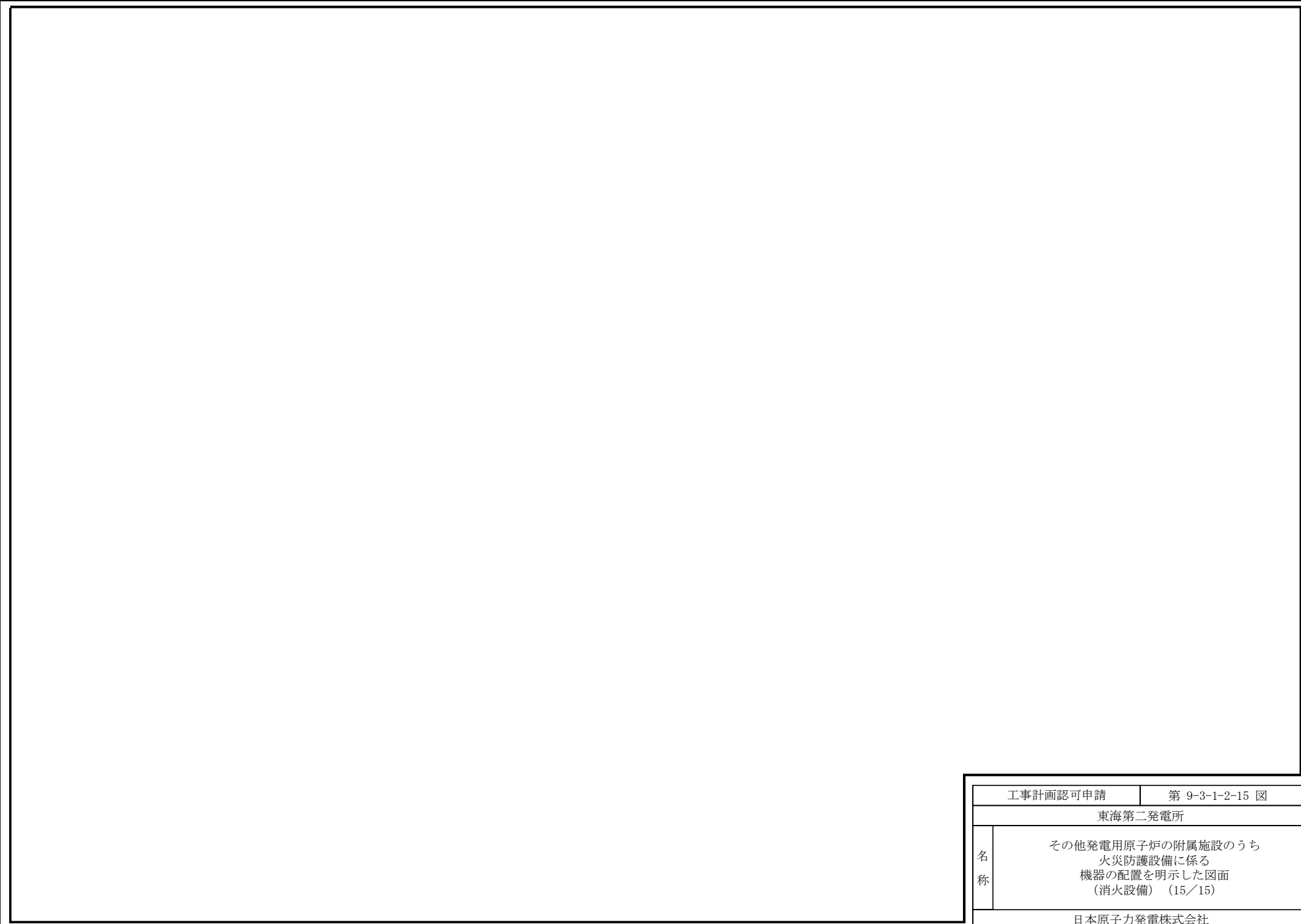
工事計画認可申請		第 9-3-1-2-13 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (消火設備) (13/15)		
	日本原子力発電株式会社		

8323



工事計画認可申請		第 9-3-1-2-14 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (消火設備) (14/15)		
	日本原子力発電株式会社		

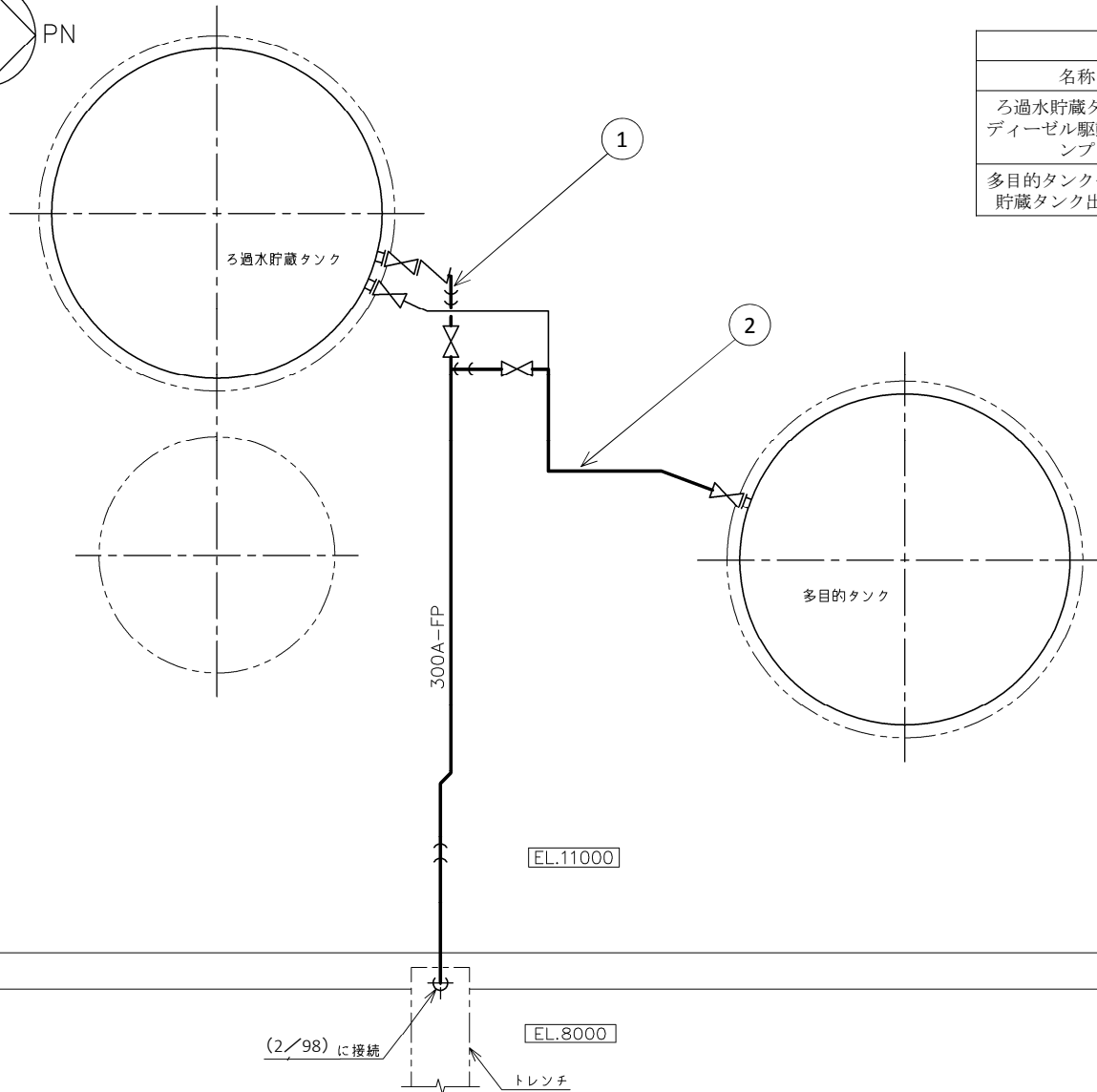
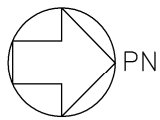
8301



工事計画認可申請		第 9-3-1-2-15 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (消火設備) (15/15)		
	日本原子力発電株式会社		

8301



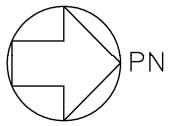


管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ろ過水貯蔵タンク～ ディーゼル駆動消火ボ ンプ	1	318.5	10.3	STPG370
多目的タンク～ろ過水 貯蔵タンク出口配管	2	318.5	10.3	STPG370

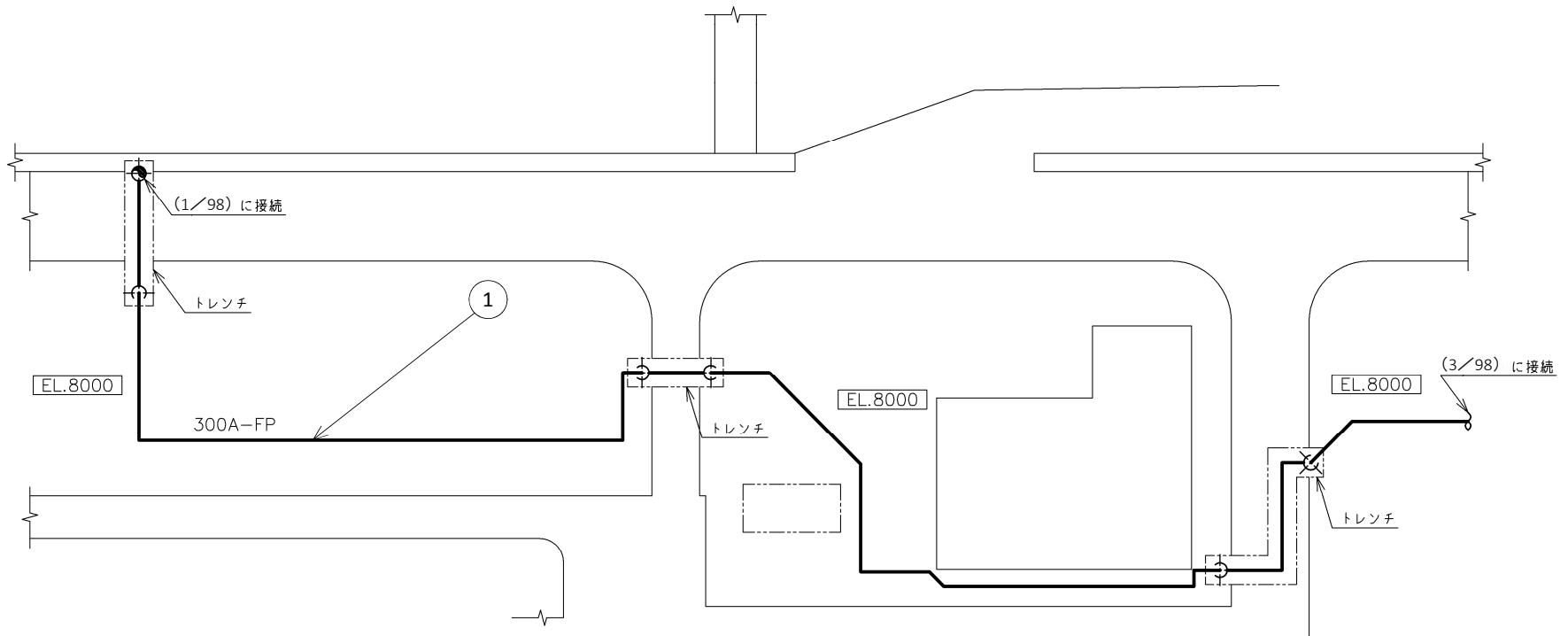
注1；太線は今回の申請範囲を示す。  
注2；寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-1 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (1/98)
日本原子力発電株式会社	

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。



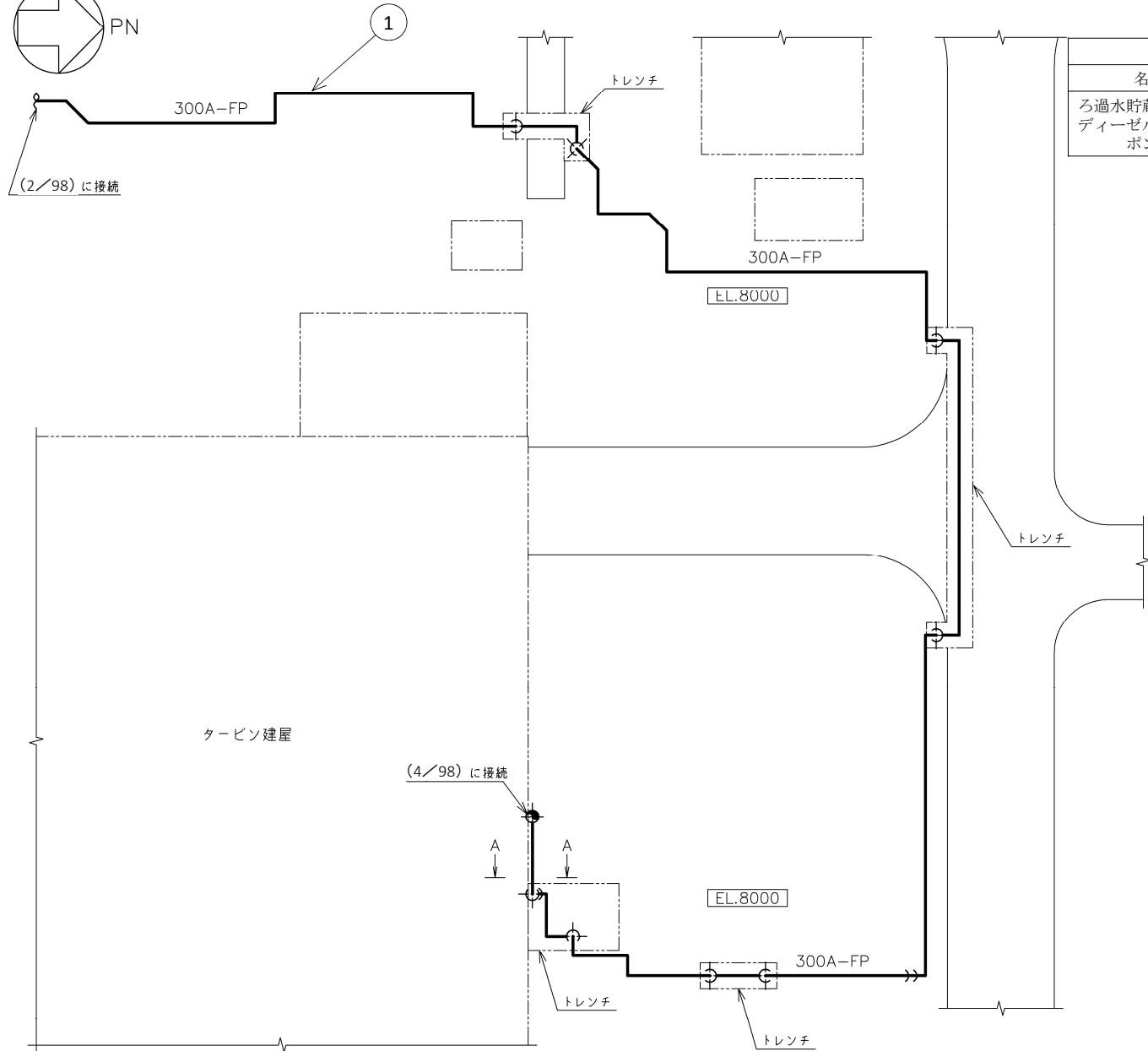
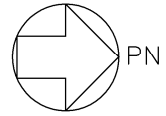
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ろ過水貯蔵タンク～ ディーゼル駆動消火 ポンプ	1	318.5	10.3	STPG370



注1；太線は今回の申請範囲を示す。  
注2；寸法はmmを示す。

注3；管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-2 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (2/98)
日本原子力発電株式会社	
8301	



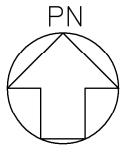
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ろ過水貯蔵タンクへディーゼル駆動消火ポンプ	1	318.5	10.3	STPG370



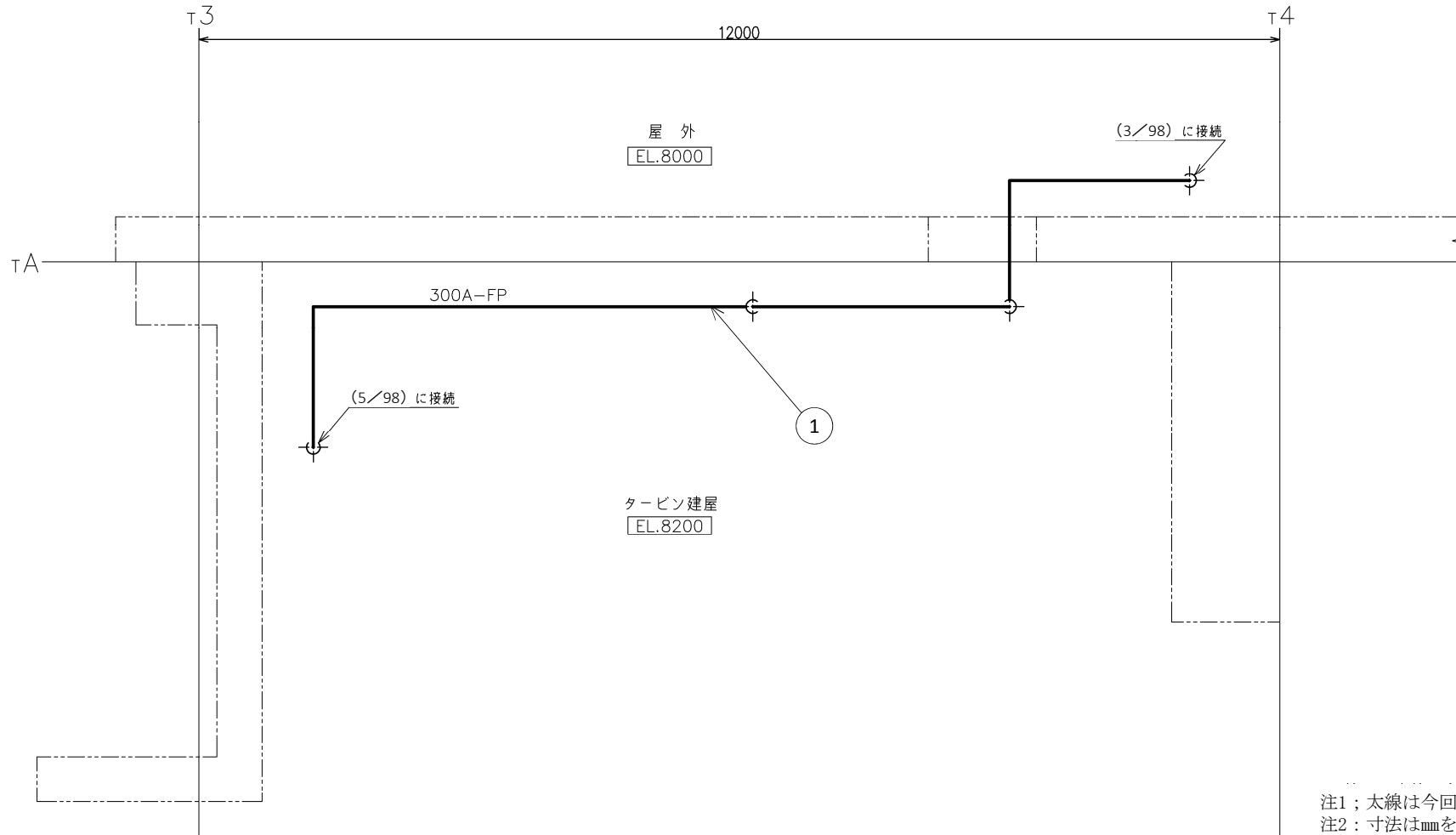
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-3 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (3/98)
日本原子力発電株式会社	

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ろ過水貯蔵タンク～ ディーゼル駆動消火 ポンプ	1	318.5	10.3	STPG370



注1；太線は今回の申請範囲を示す。  
注2；寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

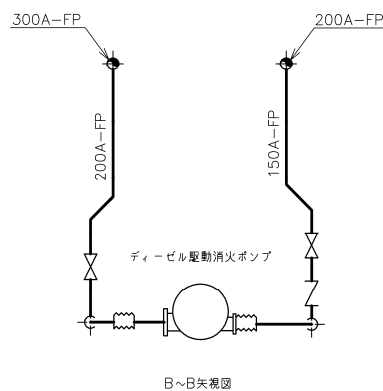
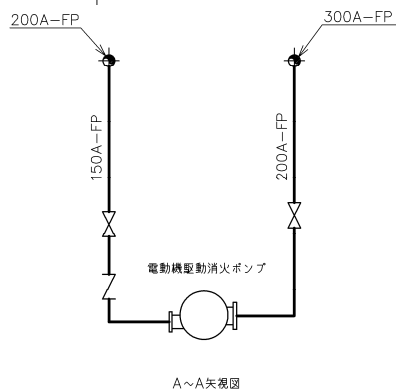
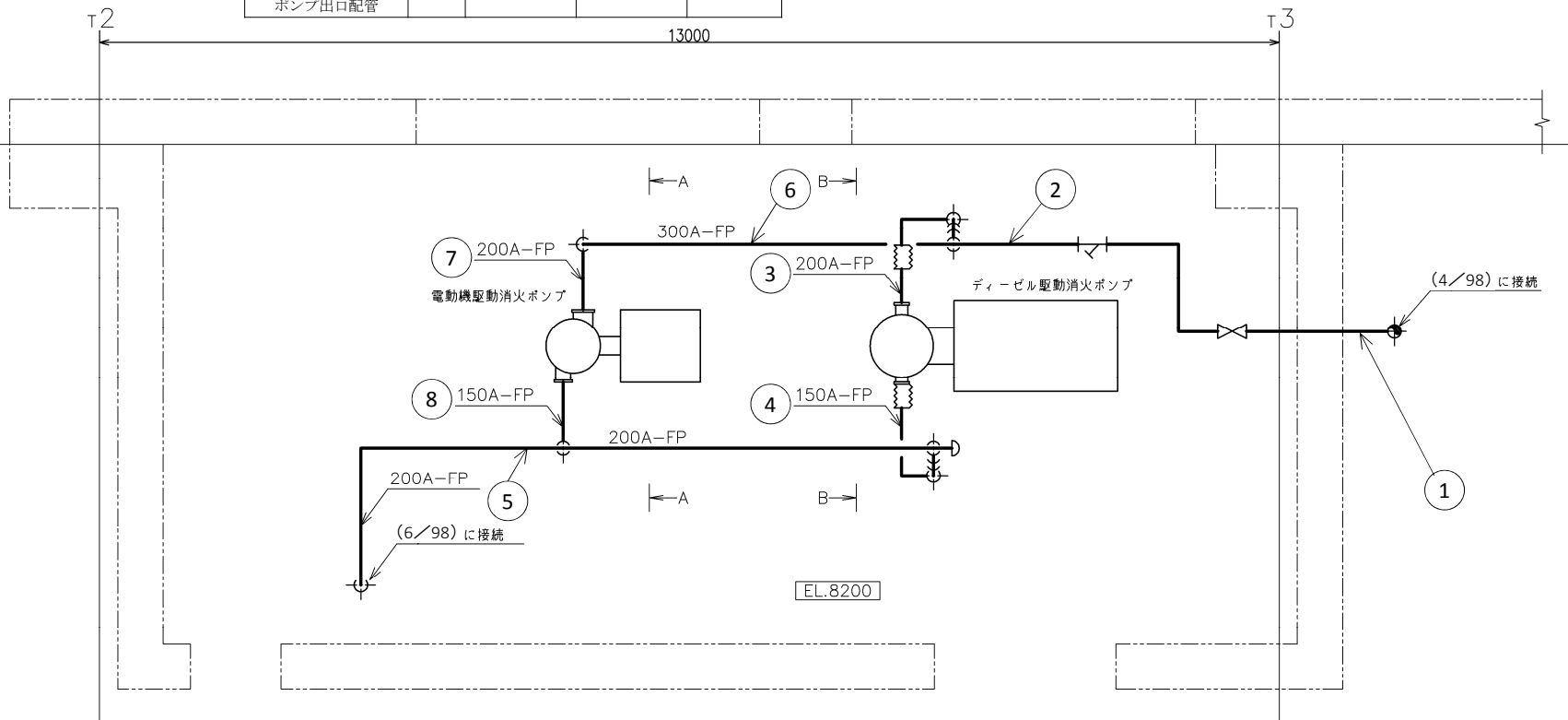
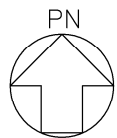
工事計画認可申請	第 9-3-1-3-4 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (4/98)
日本原子力発電株式会社	

8301

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ろ過水貯蔵タンク出口配管～電動機駆動消火ポンプ	6	318.5	10.3	STPT410
	7	216.3	8.2	STPT410
電動機駆動消火ポンプ～ディーゼル駆動消火ポンプ出口配管	8	165.2	7.1	STPT410

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ディーゼル駆動消火ポンプ～原子炉建屋消火栓分岐点	4	165.2	7.1	STPT410
	5	216.3	8.2	STPT410

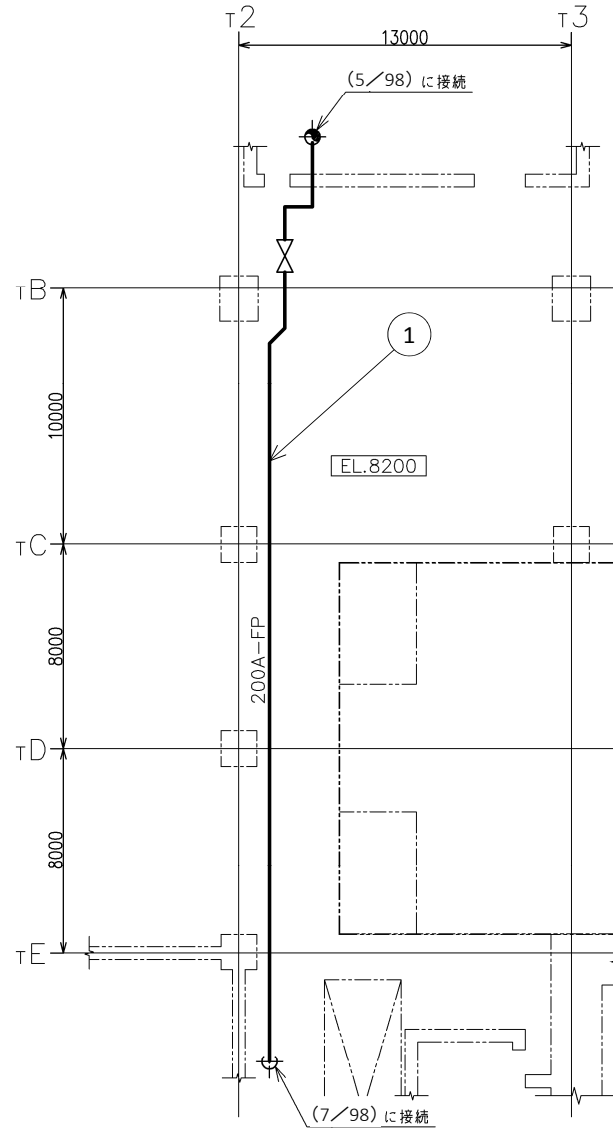
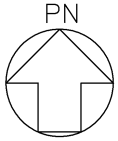
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ろ過水貯蔵タンク～ディーゼル駆動消火ポンプ	1	318.5	10.3	STPG370
	2	318.5	10.3	STPT410
	3	216.3	8.2	STPT410



注1；太線は今回の申請範囲を示す。  
注2；寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-5 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (5/98)
日本原子力発電株式会社	

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。



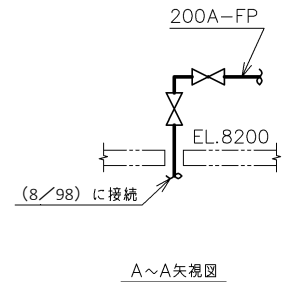
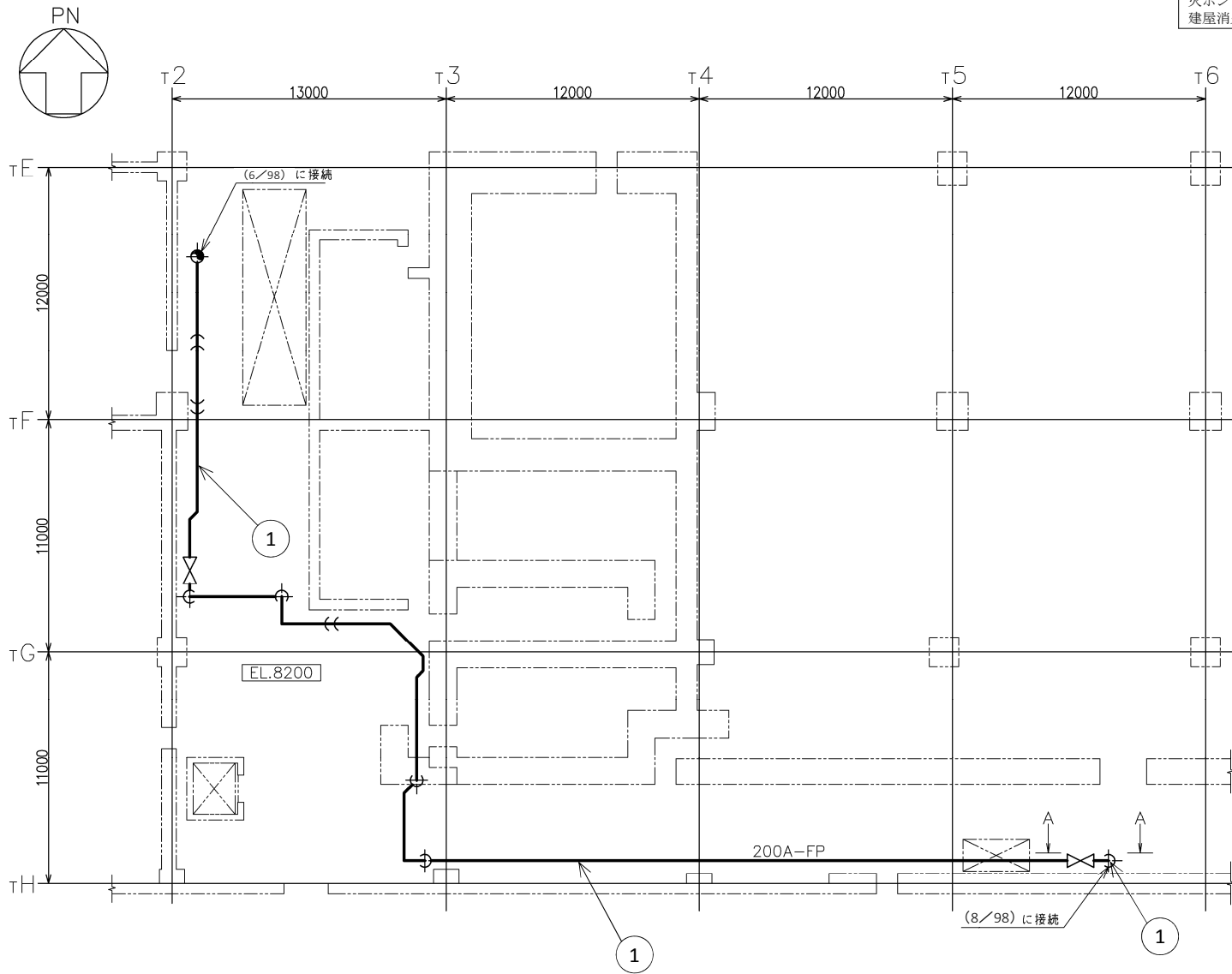
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ディーゼル駆動消火ポンプ～原子炉建屋消火栓分岐点	1	216.3	8.2	STPT410

注1；太線は今回の申請範囲を示す。  
注2；寸法はmmを示す。

工事計画認可申請		第 9-3-1-3-6 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (6/98)		
	日本原子力発電株式会社		

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

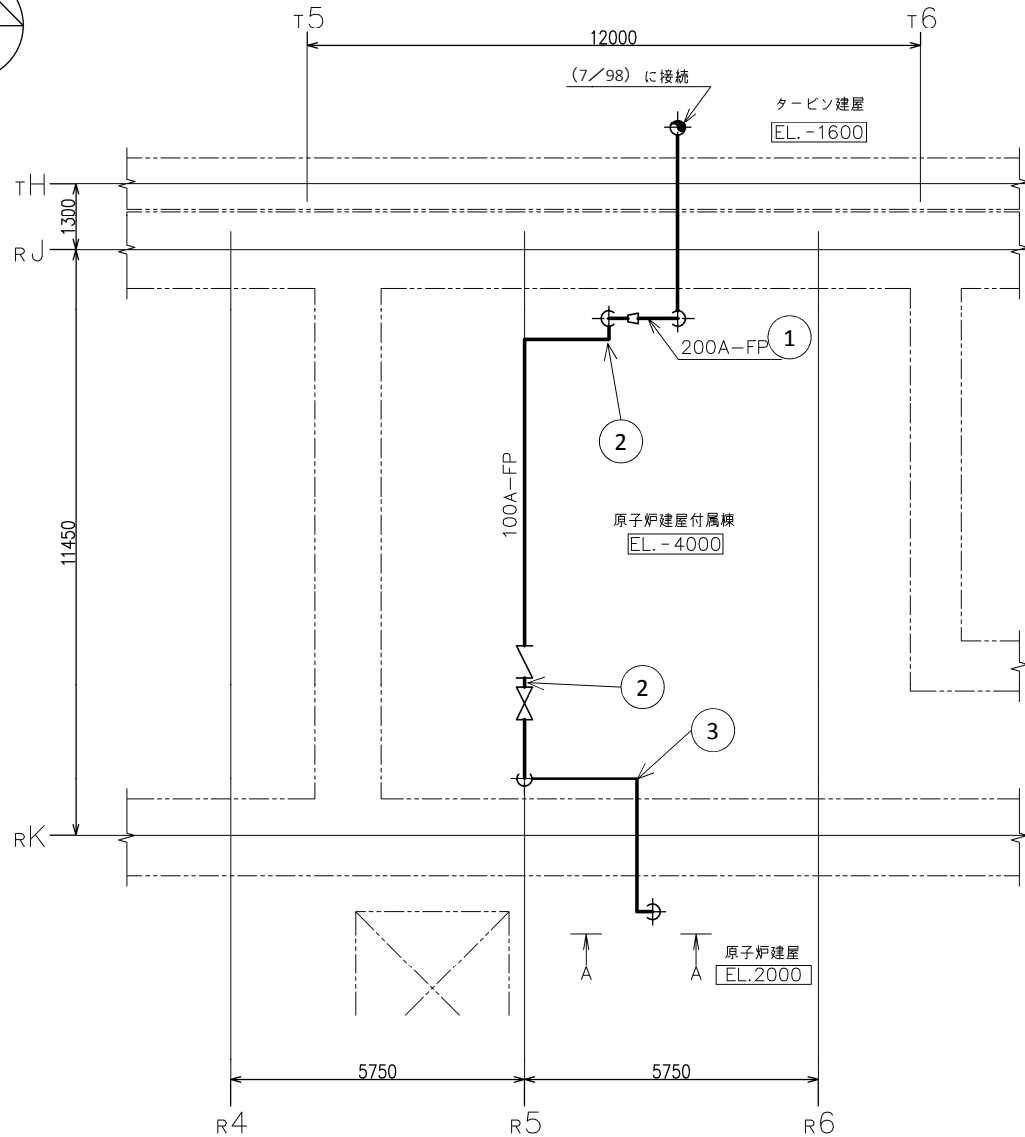
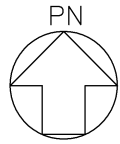
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ディーゼル駆動消火ポンプ～原子炉建屋消火栓分岐点	1	216.3	8.2	STPT410



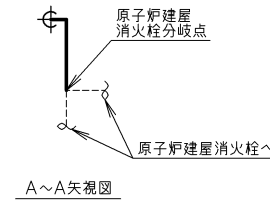
注1；太線は今回の申請範囲を示す。  
注2；寸法はmmを示す。

注3；管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-7 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (7/98)
日本原子力発電株式会社	



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ディーゼル駆動消火ポンプ～原子炉建屋消火栓分岐点	1	216.3	8.2	STPT410
	2	114.3	6.0	STPT410
	3	114.3	6.0	SUS304TP

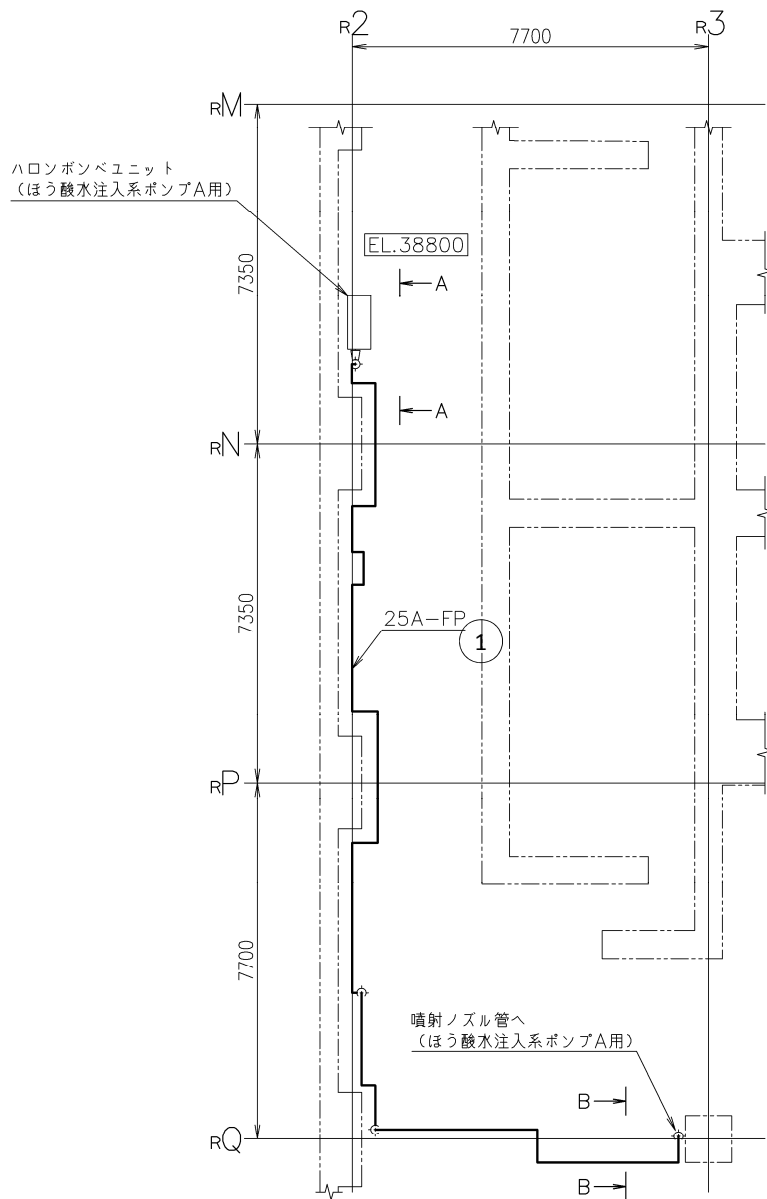
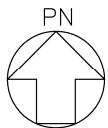


注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

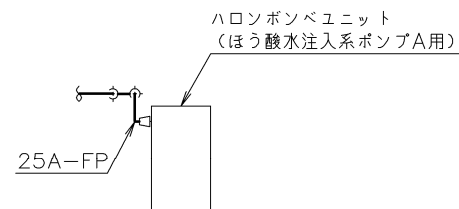
工事計画認可申請	第 9-3-1-3-8 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (8/98)
日本原子力発電株式会社	

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

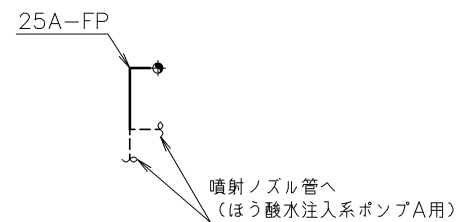




管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (ほう酸水注入系ポンプA用) ~ほう酸水注入系ポンプA噴射ノズル分岐点	1	34.0	3.4	SUS304TP



A~A矢視図



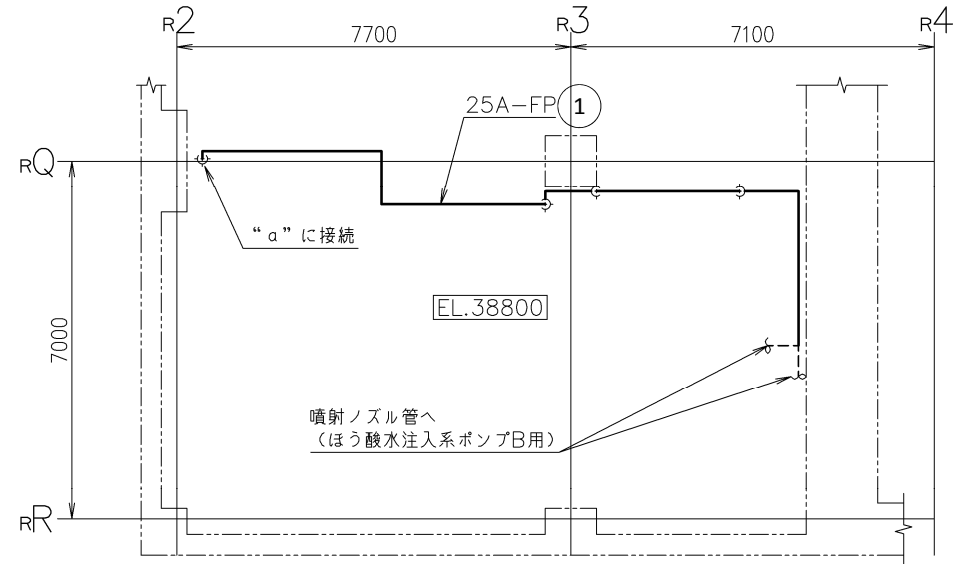
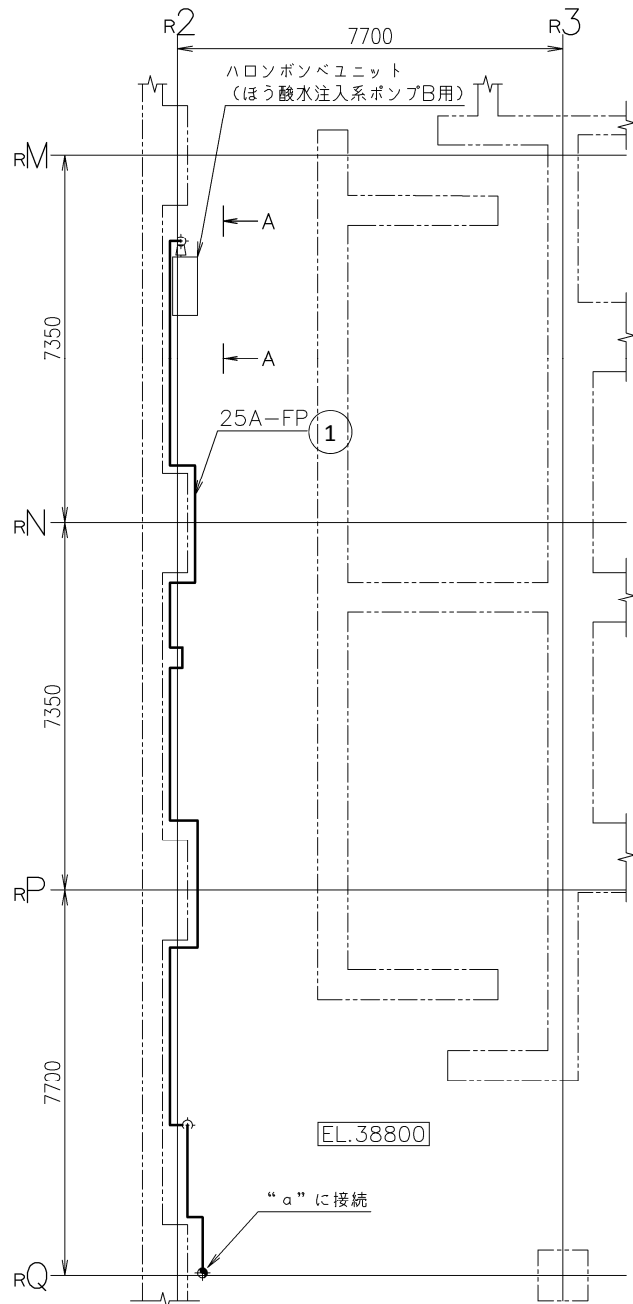
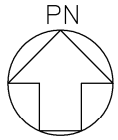
B~B矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。

注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

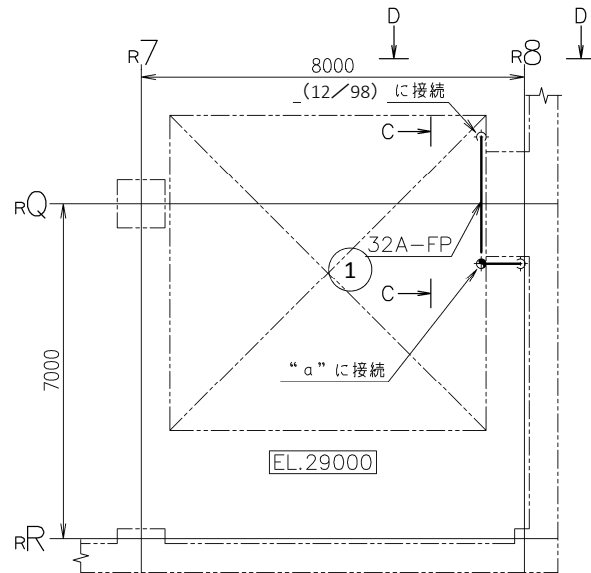
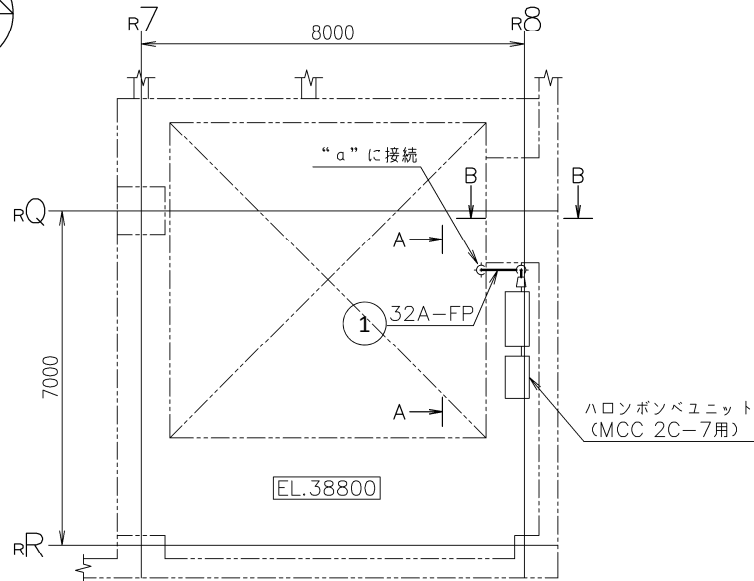
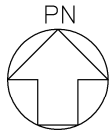
工事計画認可申請	第 9-3-1-3-9 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (9/98)
日本原子力発電株式会社	



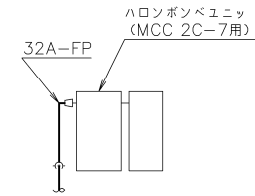
注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-10 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (10/98)
日本原子力発電株式会社	

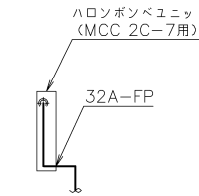
注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。



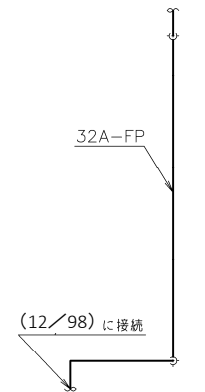
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (MCC 2C-7用) ~MCC 2C-7噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP



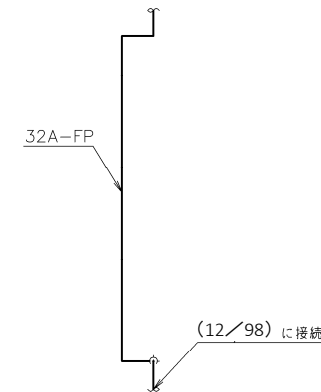
A~A矢視図



B~B矢視図



C~C矢視図



D~D矢視図

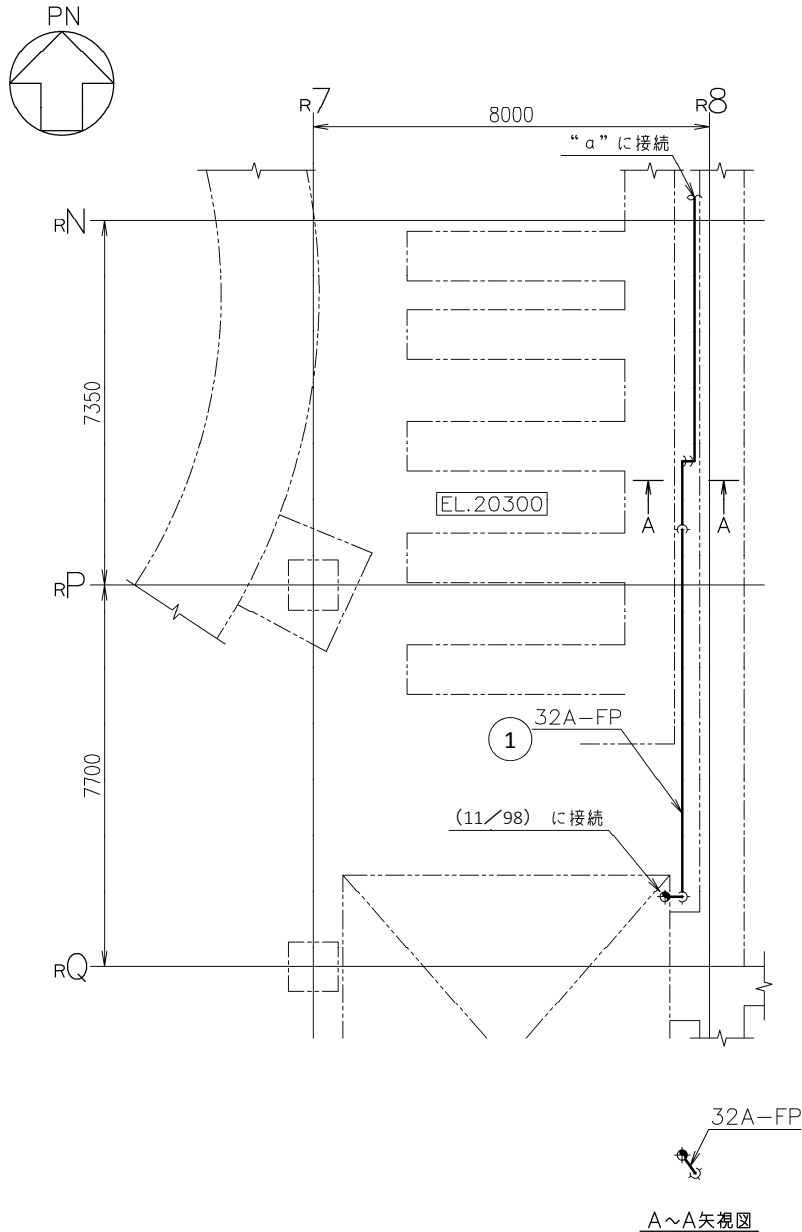
注1：太線は今回の申請範囲を示す。

注2：寸法はmmを示す。

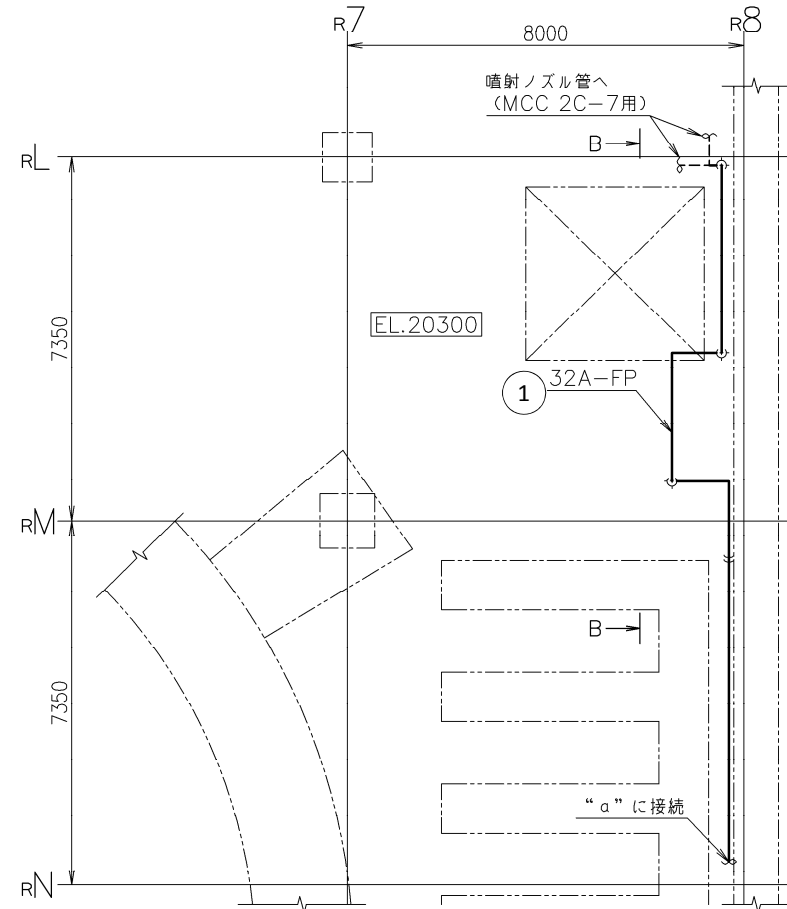
注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-11 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (11/98)
日本原子力発電株式会社	

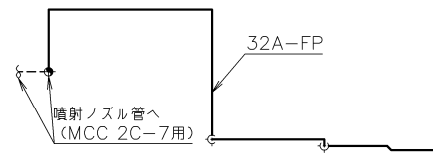
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (MCC 2C-7用) ~MCC 2C-7噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP



A~A矢視図



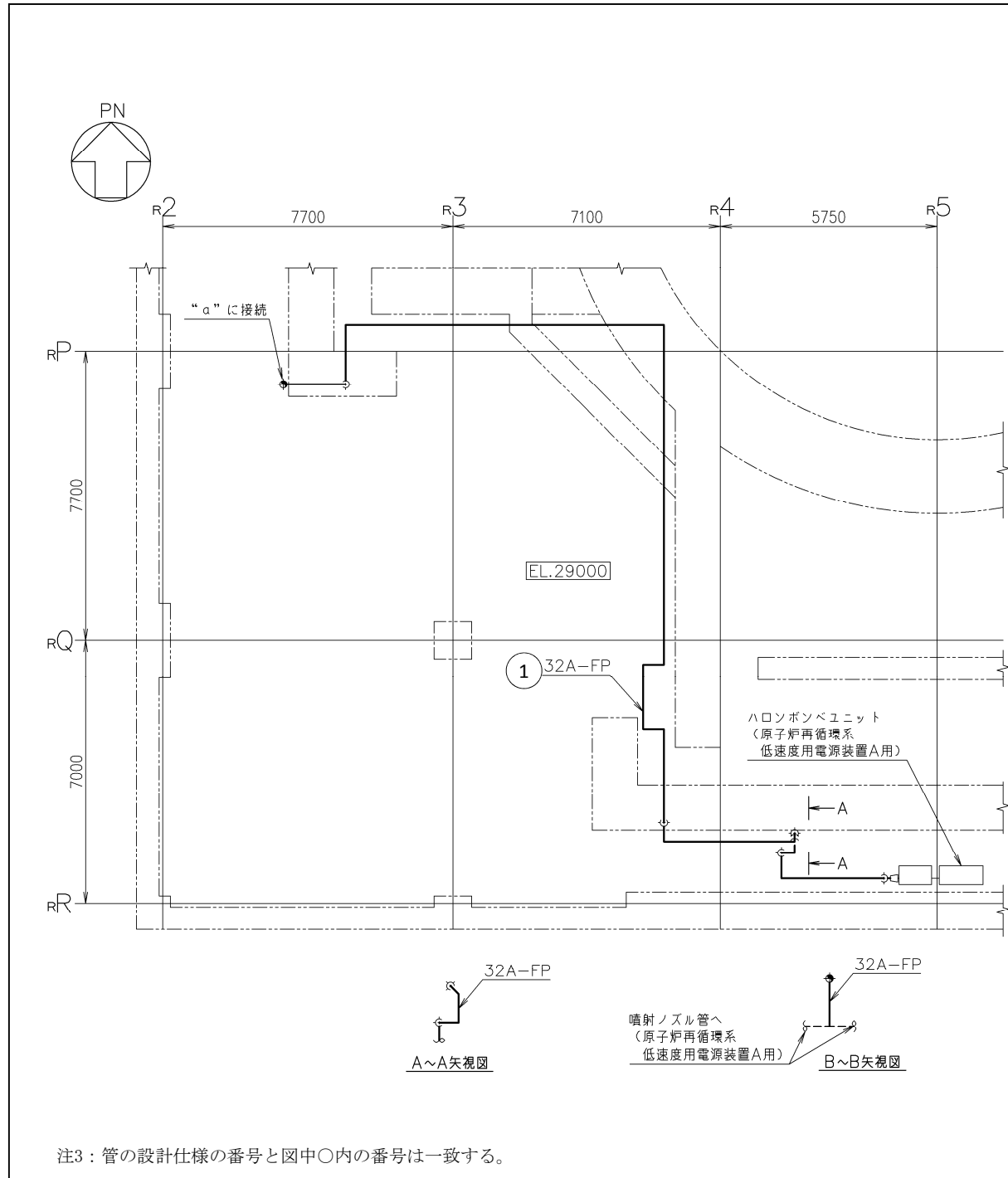
B~B矢視図



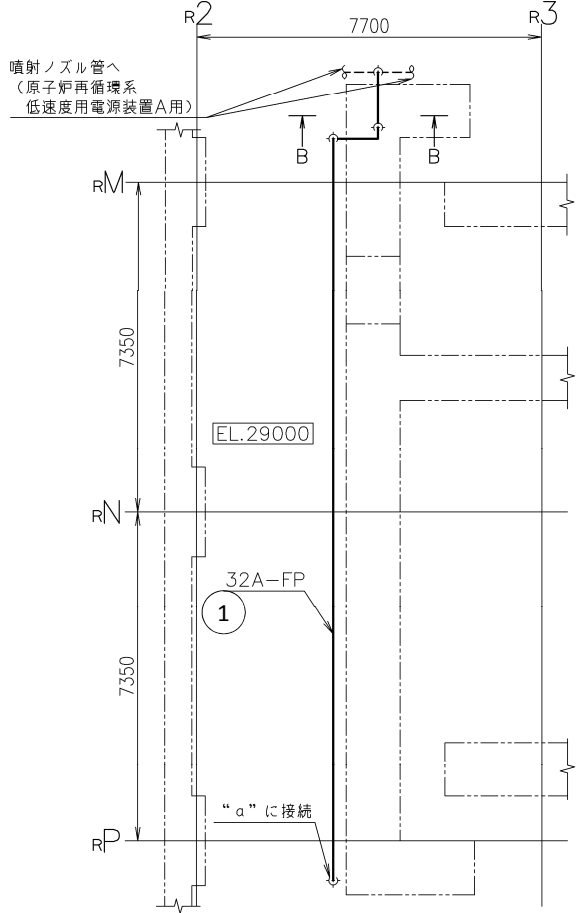
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-12 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (12/98)
日本原子力発電株式会社	



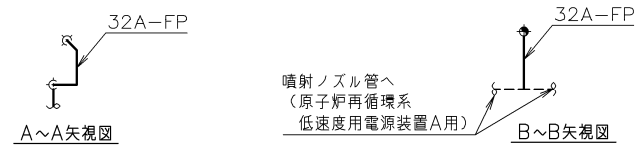
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (原子炉再循環系低速度用電源装置A用) ~ 原子炉再循環系低速度用電源装置A噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP

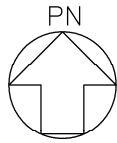


注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

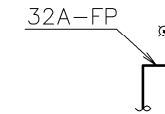
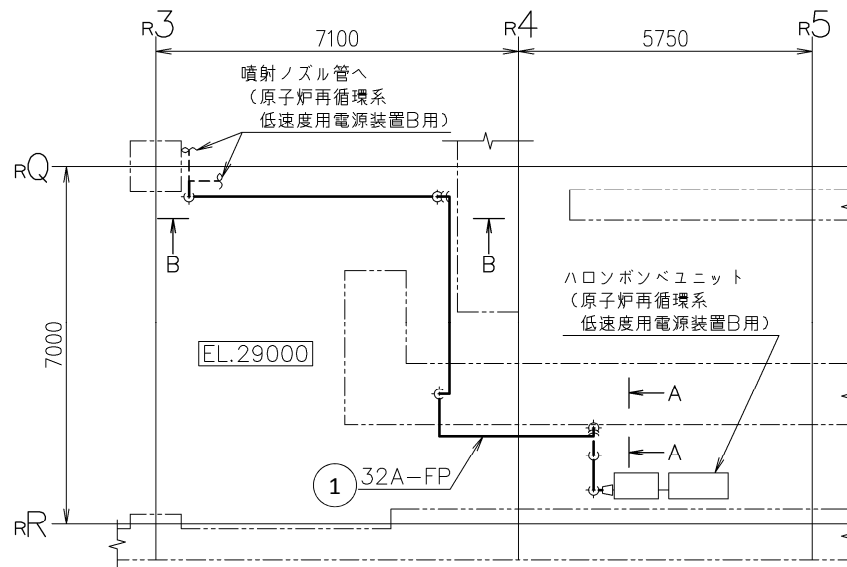
工事計画認可申請	第 9-3-1-3-13 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (13/98)
日本原子力発電株式会社	

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

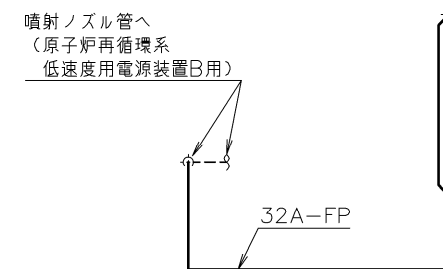




管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (原子炉再循環系低速 度用電源装置B用) ~ 原子炉再循環系低速 度用電源装置B噴射ノズ ル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP



A~A矢視図



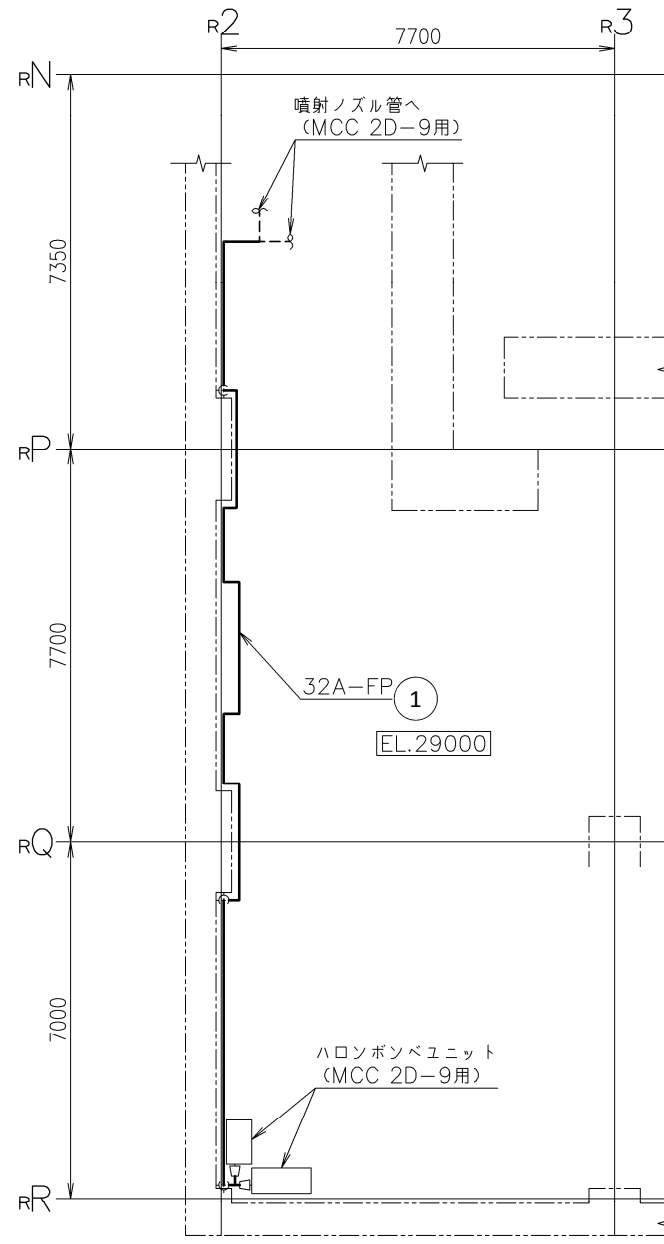
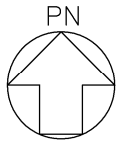
B~B矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。

注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-14 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (14/98)
日本原子力発電株式会社	

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。



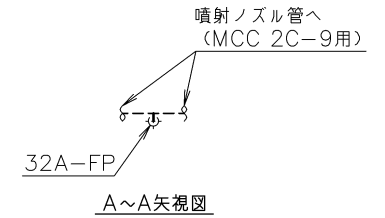
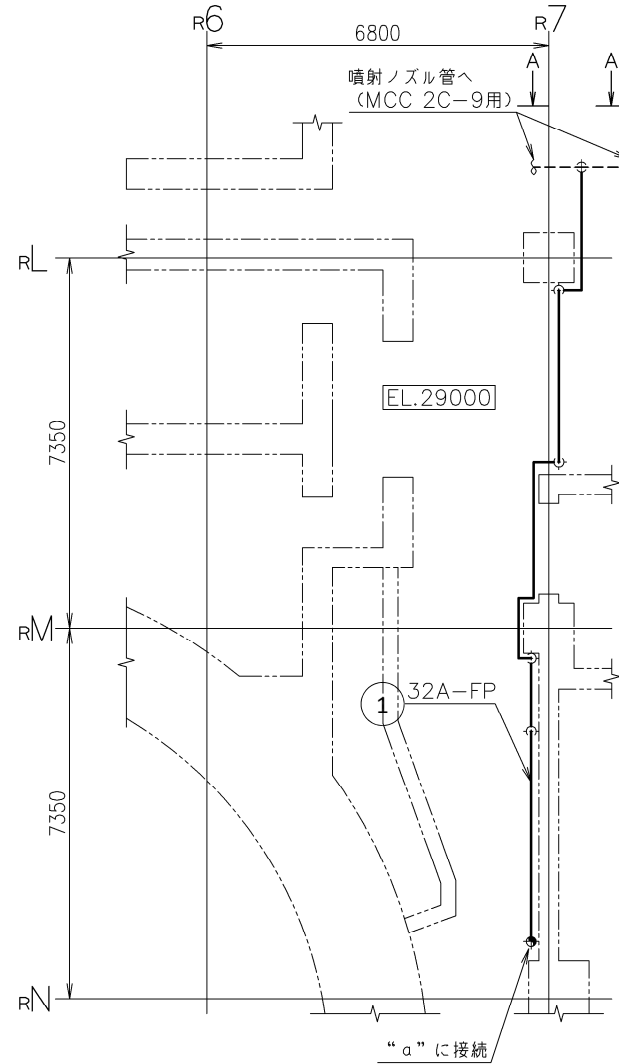
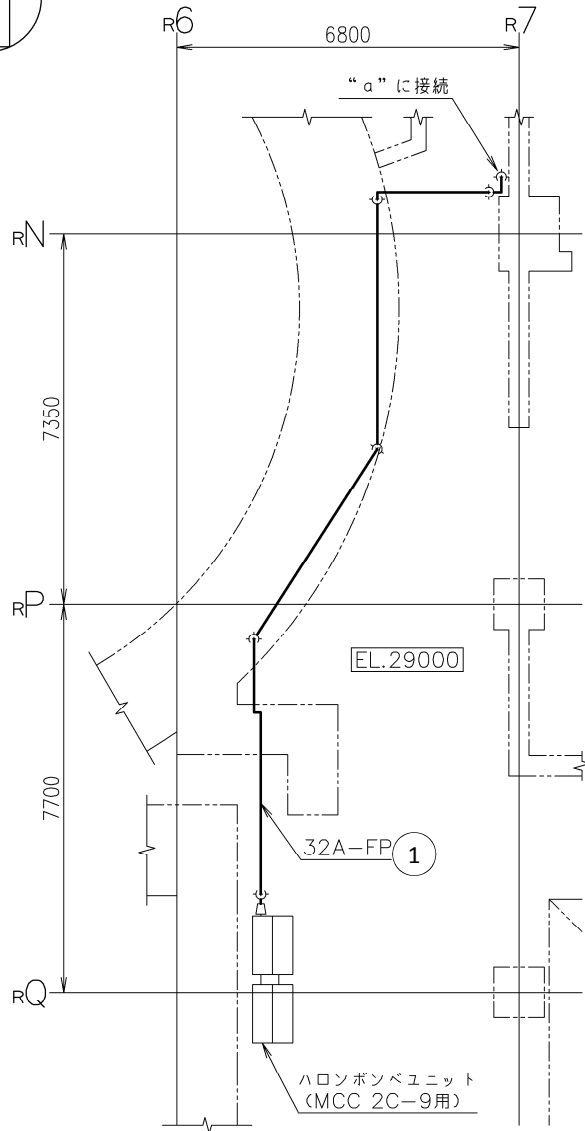
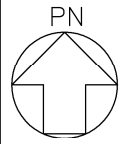
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (MCC 2D-9用) ~MCC 2D-9噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP

注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
 注2: 寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-15 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (15/98)
日本原子力発電株式会社	

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (MCC 2C-9用) ~MCC 2C-9噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP

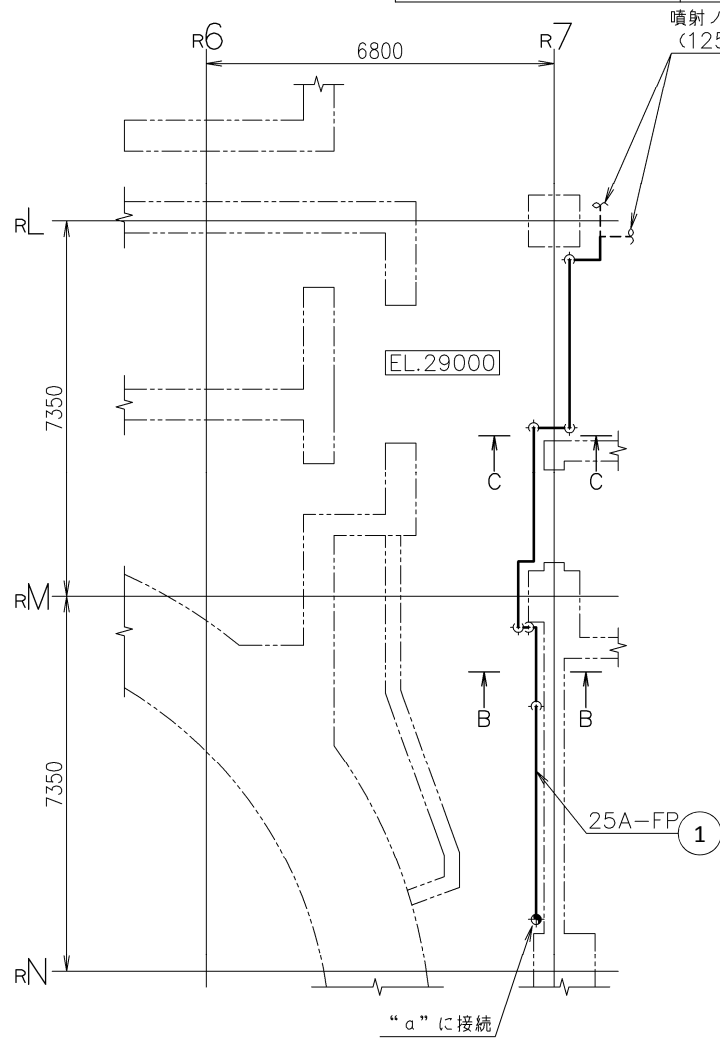
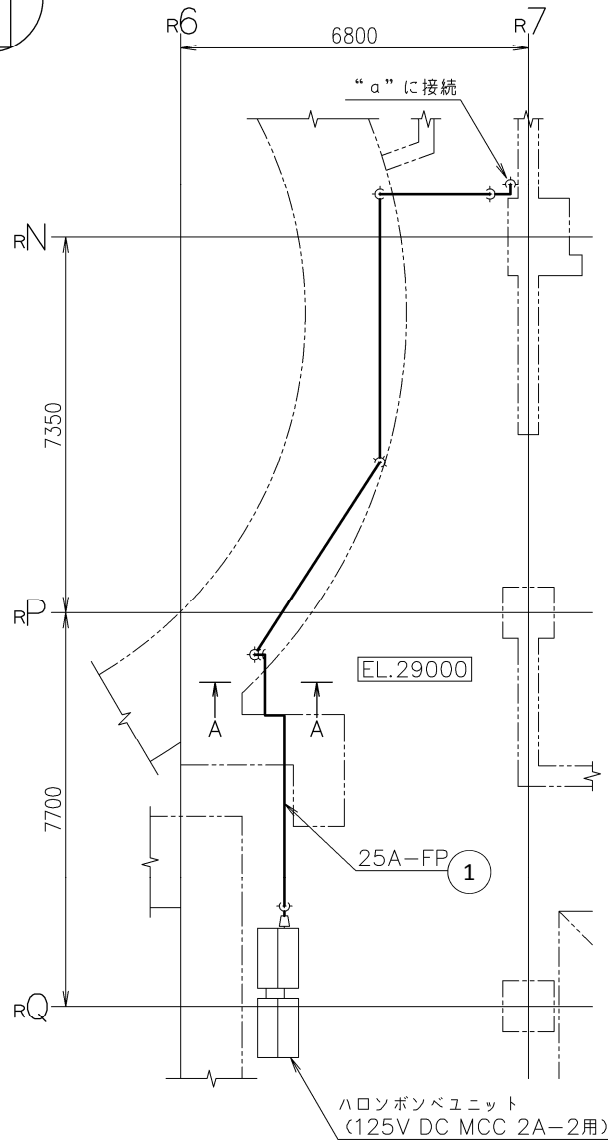
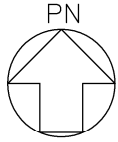


注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

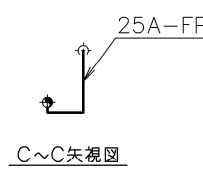
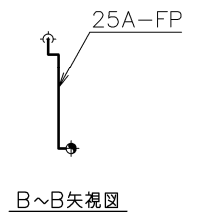
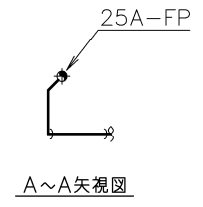
工事計画認可申請	第 9-3-1-3-16 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (16/98)
日本原子力発電株式会社	





管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (125V DC MCC 2A-2用) ~125V DC MCC 2A-2噴射ノズル分岐点	1	34.0	3.4	SUS304TP

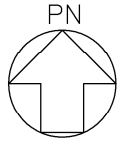
噴射ノズル管へ  
(125V DC MCC 2A-2用)



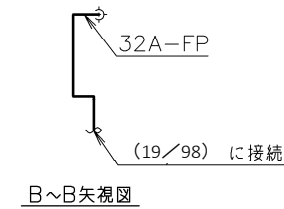
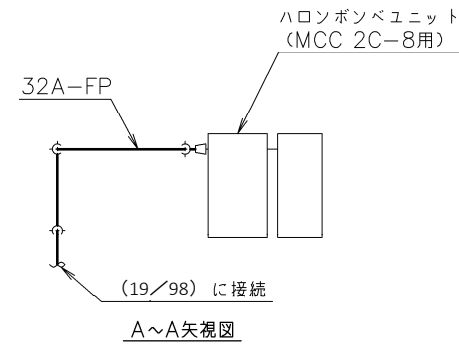
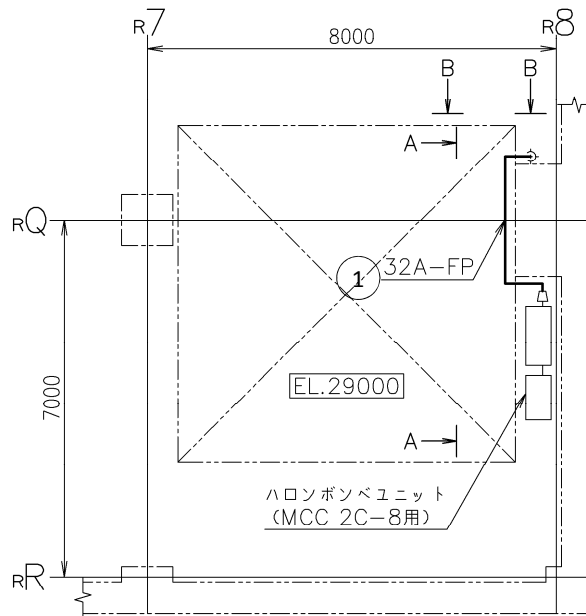
注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-17 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (17/98)
日本原子力発電株式会社	

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (MCC 2C-8用) ~MCC 2C-8噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP



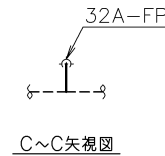
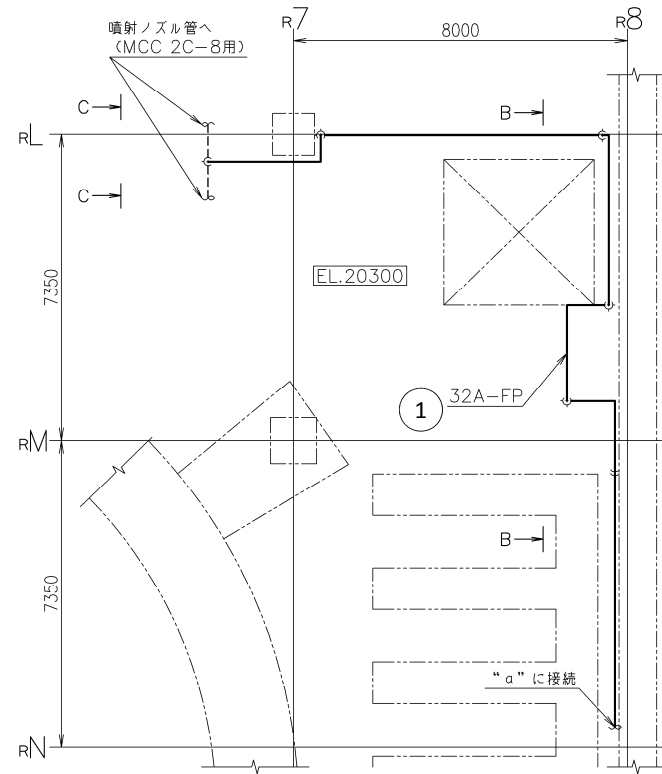
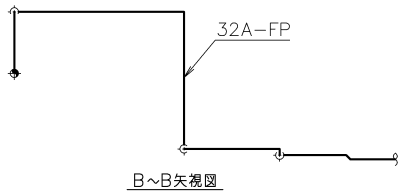
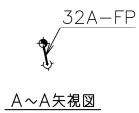
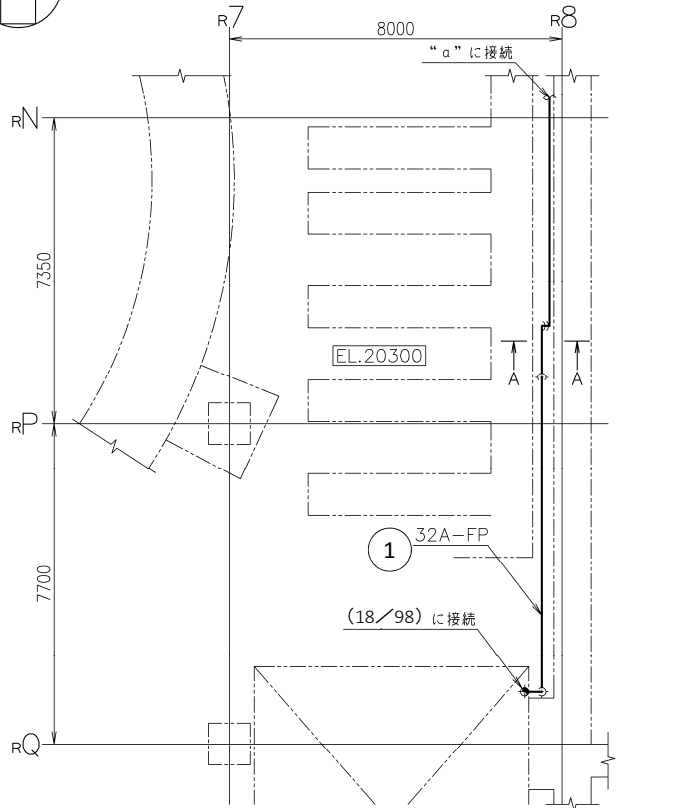
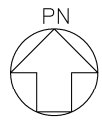
注1：太線は今回の申請範囲を示す。

注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-18 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (18/98)
日本原子力発電株式会社	

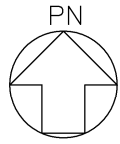
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (MCC 2C-8用) ~MCC 2C-8噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP



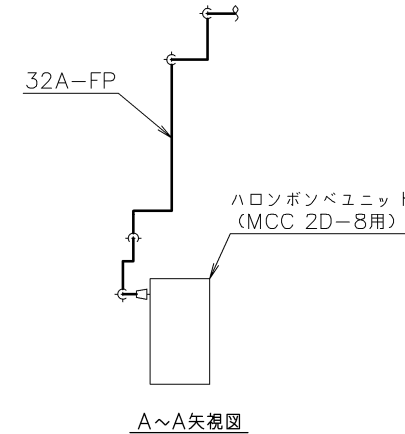
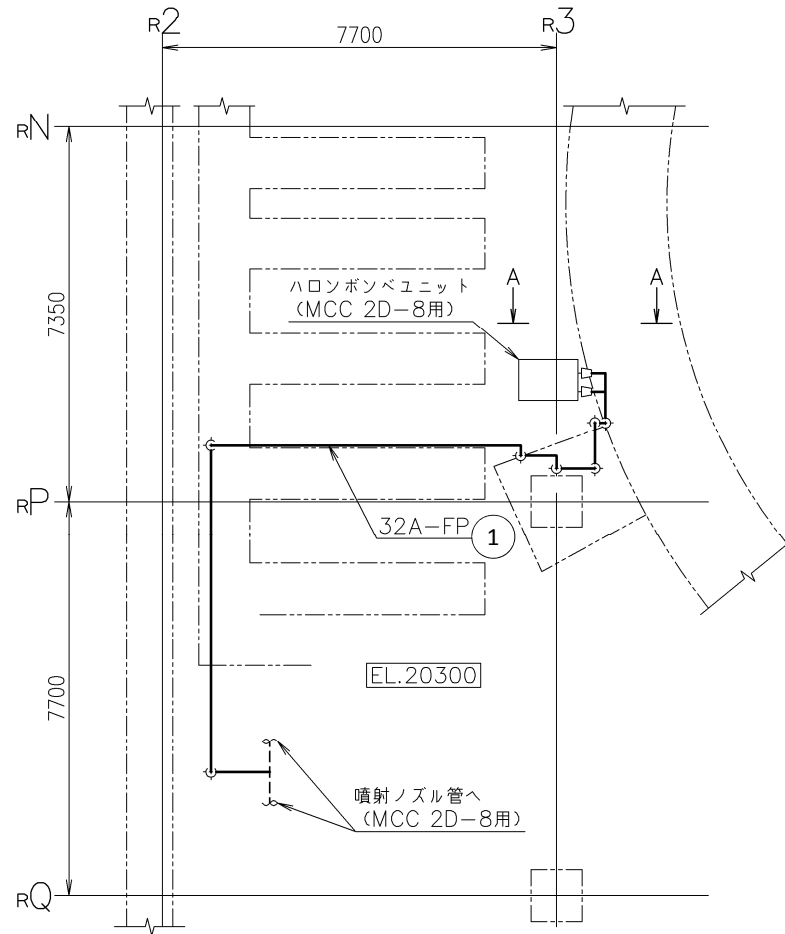
注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-19 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (19/98)
日本原子力発電株式会社	

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。



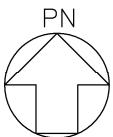
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (MCC 2D-8用) ~MCC 2D-8噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP



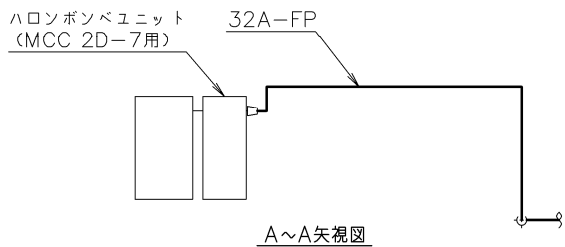
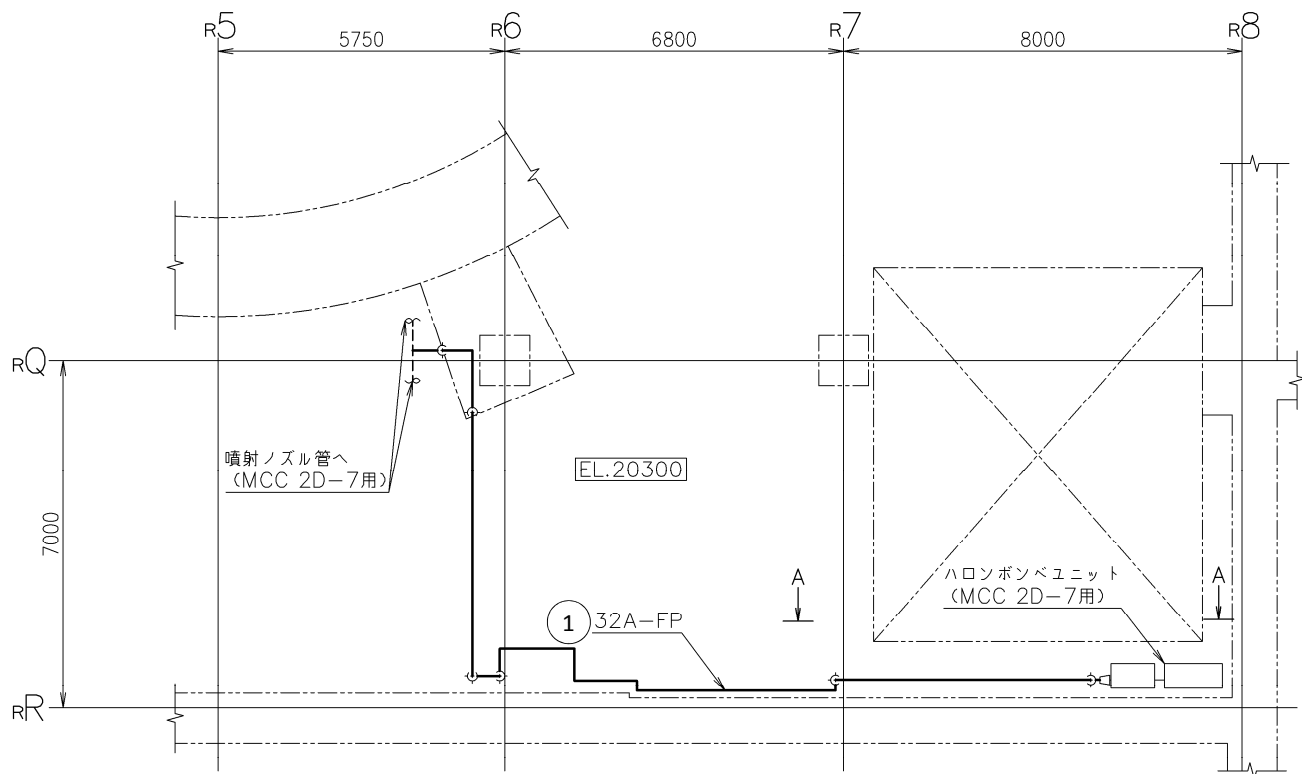
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-20 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (20/98)
日本原子力発電株式会社	



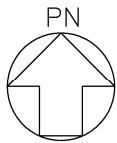
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (MCC 2D-7用) ~MCC 2D-7噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP



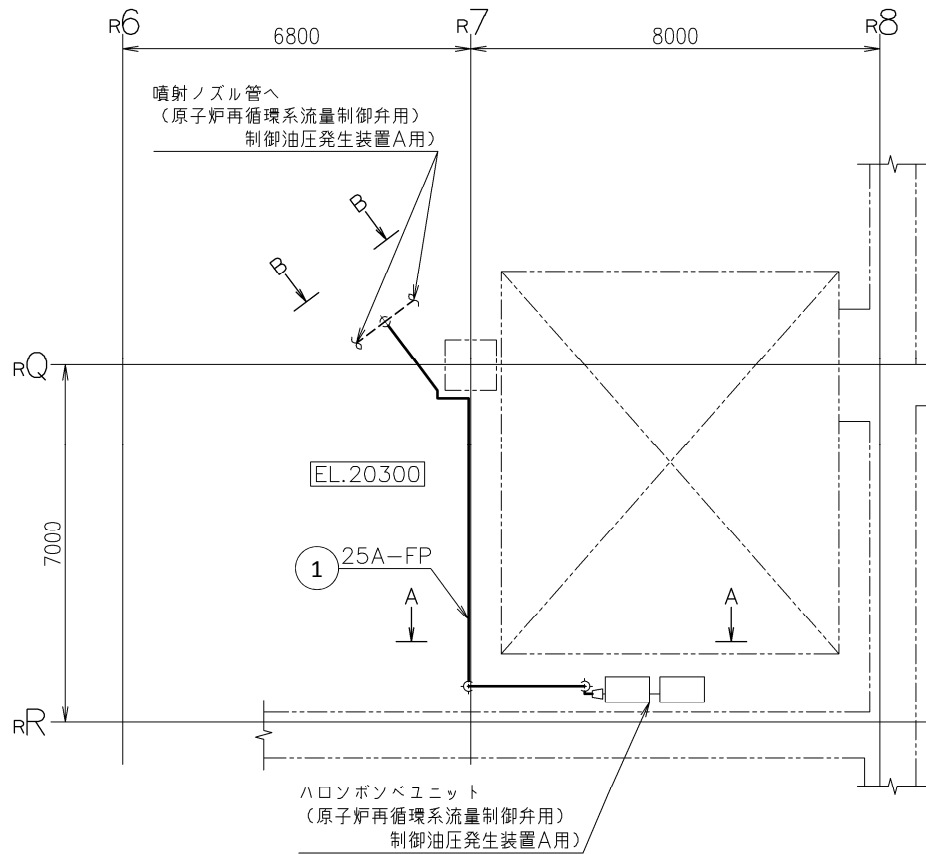
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-21 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (21/98)
日本原子力発電株式会社	

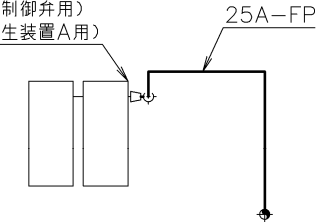
注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (原子炉再循環系流量制御弁用制御油圧発生装置A用) ~ 原子炉再循環系流量制御弁用制御油圧発生装置A噴射ノズル分岐点	1	34.0	3.4	SUS304TP

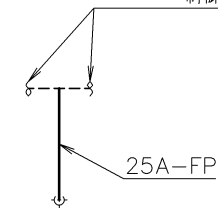


ハロンポンベユニット  
(原子炉再循環系流量制御弁用)  
制御油圧発生装置A用



A~A矢視図

噴射ノズル管へ  
(原子炉再循環系流量制御弁用)  
制御油圧発生装置A用

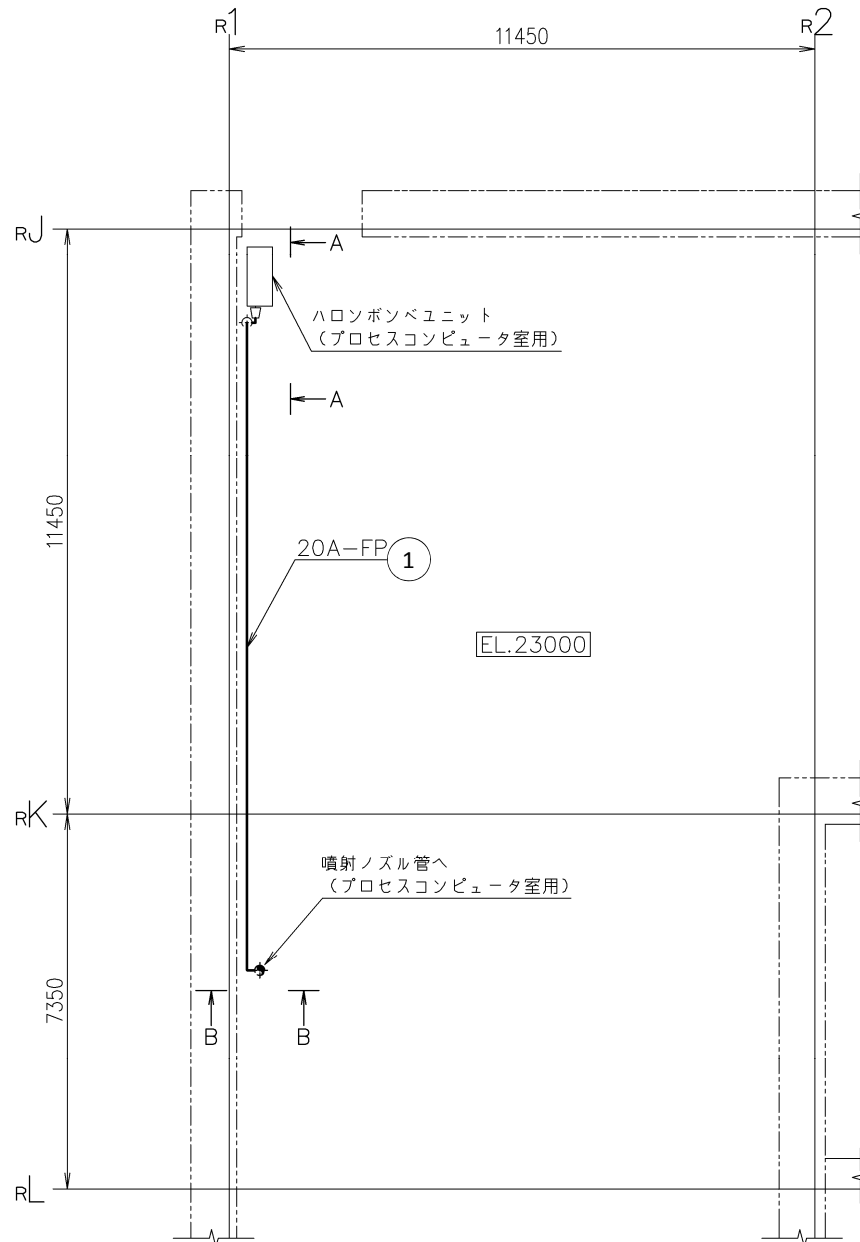
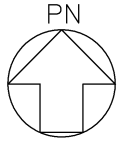


B~B矢視図

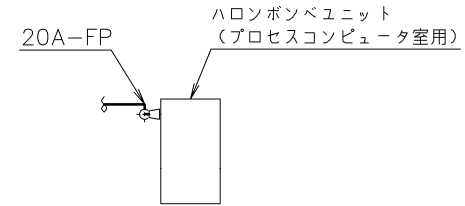
注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

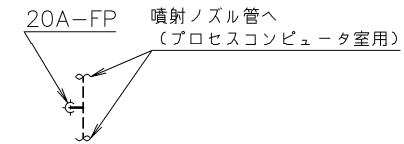
工事計画認可申請	第 9-3-1-3-22 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (22/98)
日本原子力発電株式会社	



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (プロセスコンピュータ室用) ~ プロセスコンピュータ室噴射ノズル分岐点	1	27.2	2.9	SUS304TP



A~A矢視図



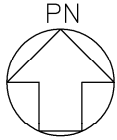
B~B矢視図

注1: 太線は今回の申請範囲を示す。

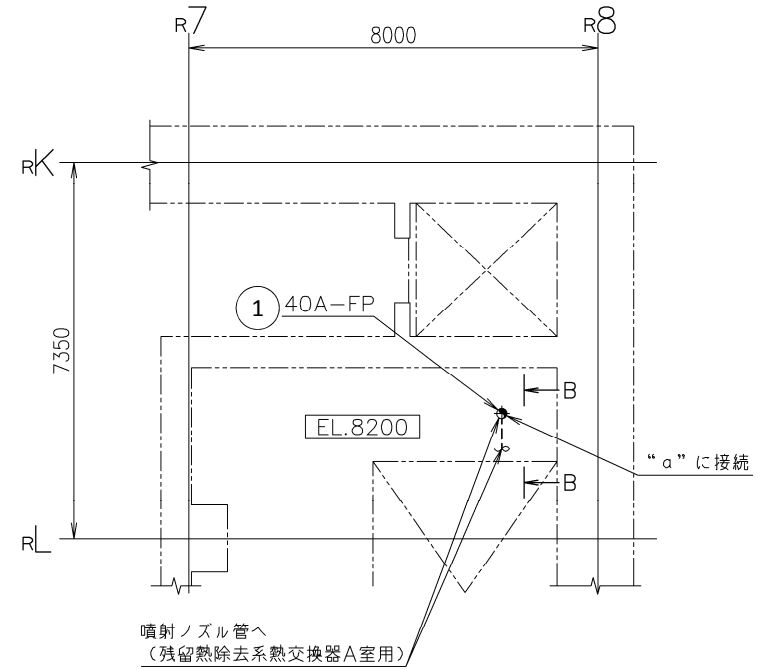
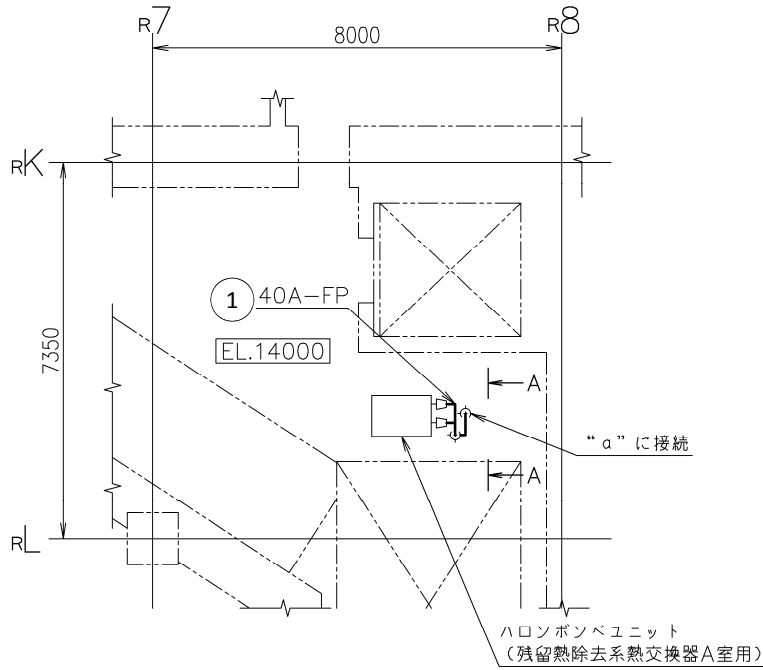
注2: 寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-23 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (23/98)
日本原子力発電株式会社	

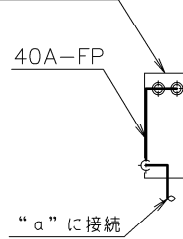
注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。



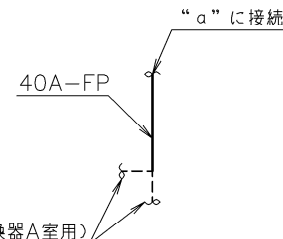
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (残留熱除去系熱交換器A室用) ~ 残留熱除去系熱交換器A室噴射ノズル分岐点	1	48.6	3.7	SUS304TP



ハロンポンベユニット  
(残留熱除去系熱交換器A室用)



A~A矢視図



B~B矢視図

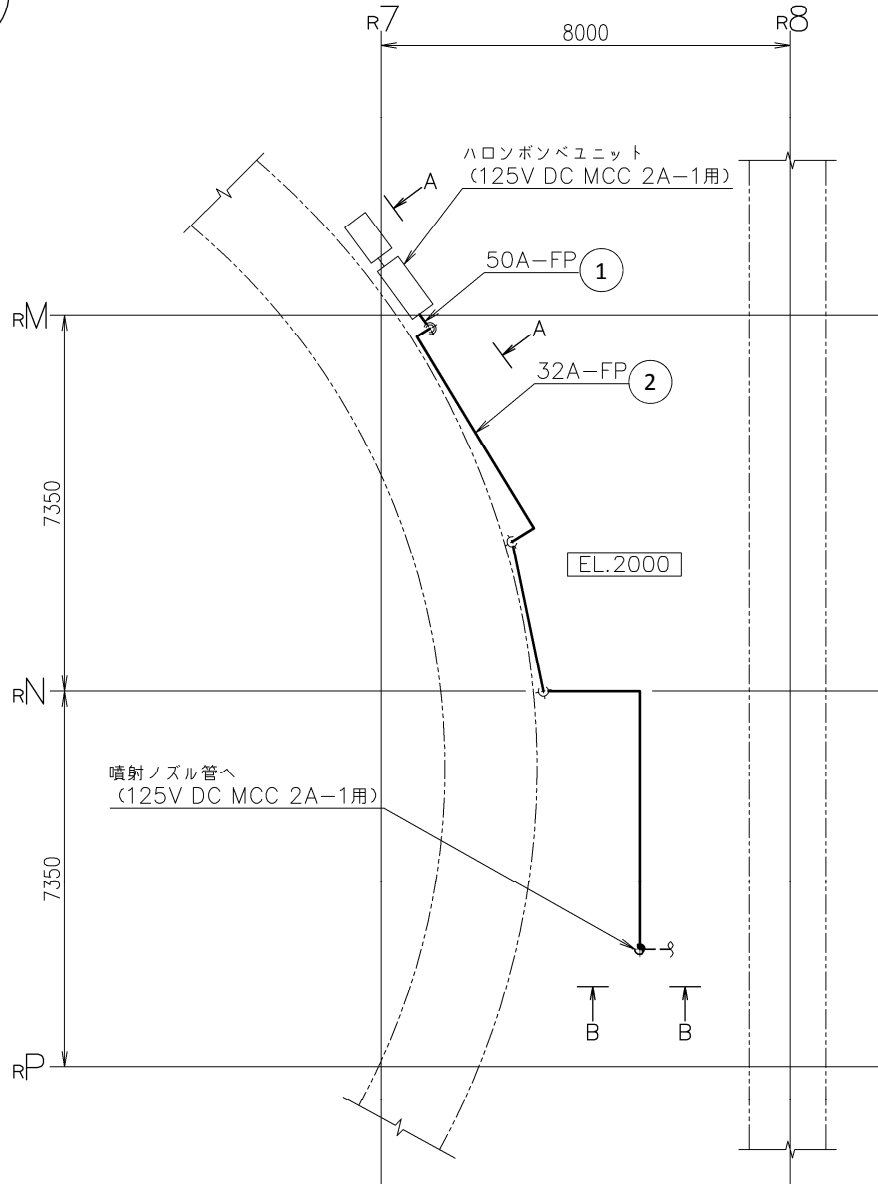
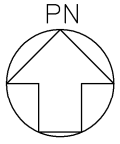
噴射ノズル管へ  
(残留熱除去系熱交換器A室用)

注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

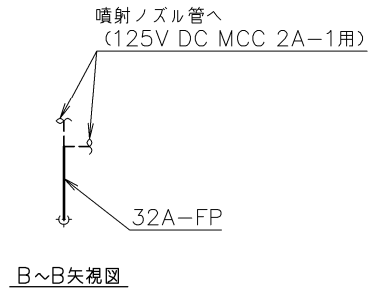
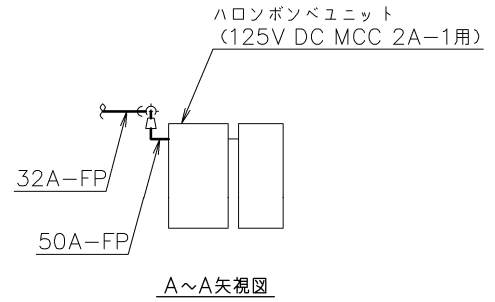
注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-24 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (24/98)
日本原子力発電株式会社	





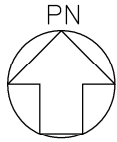
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (125V DC MCC 2A-1 用) ~125V DC MCC 2A-1噴射ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	42.7	3.6	SUS304TP



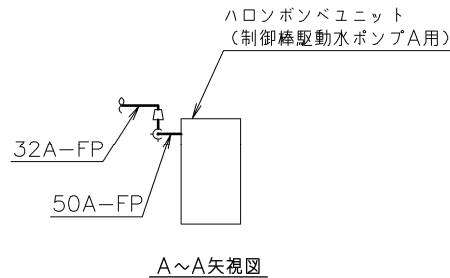
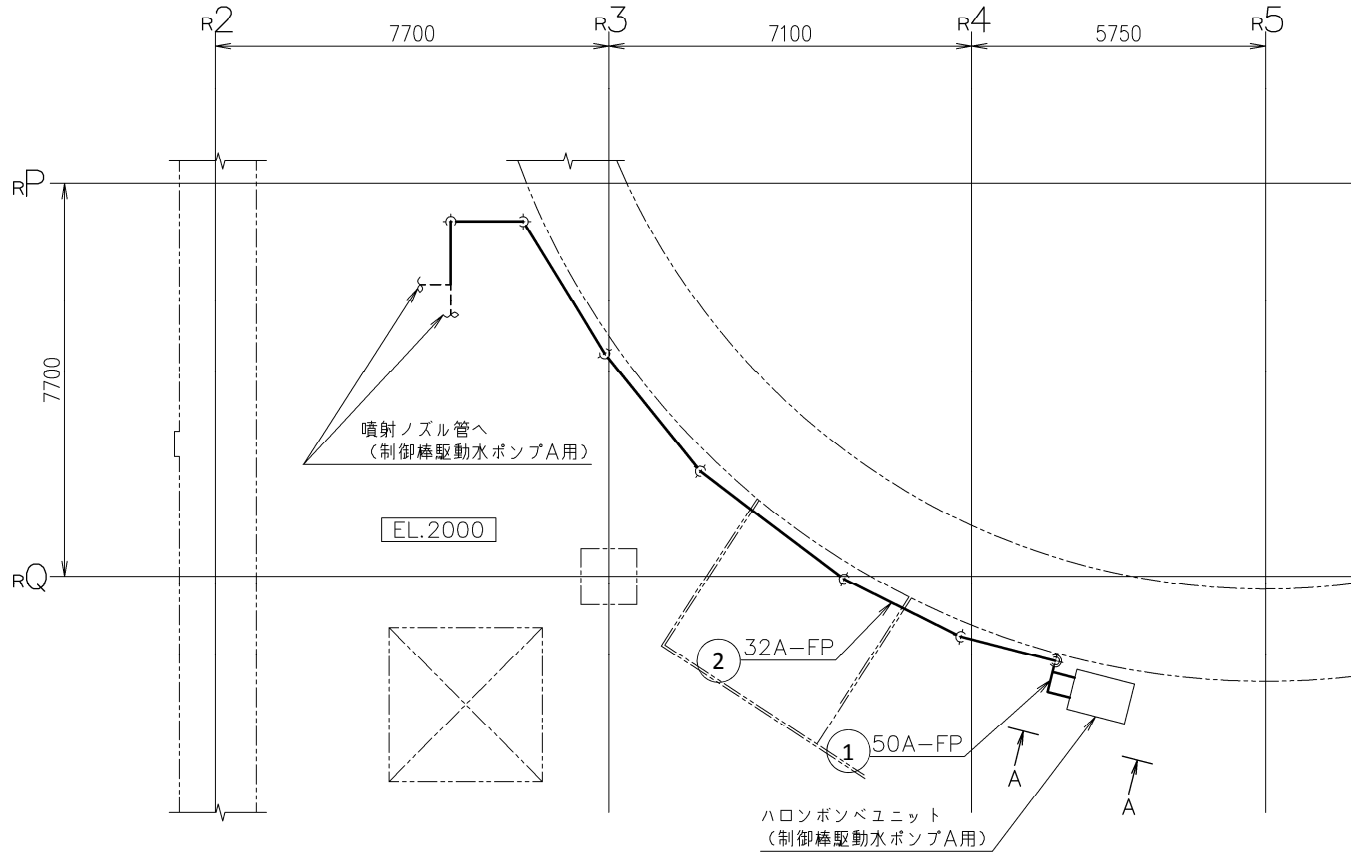
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-25 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (25/98)
日本原子力発電株式会社	

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。



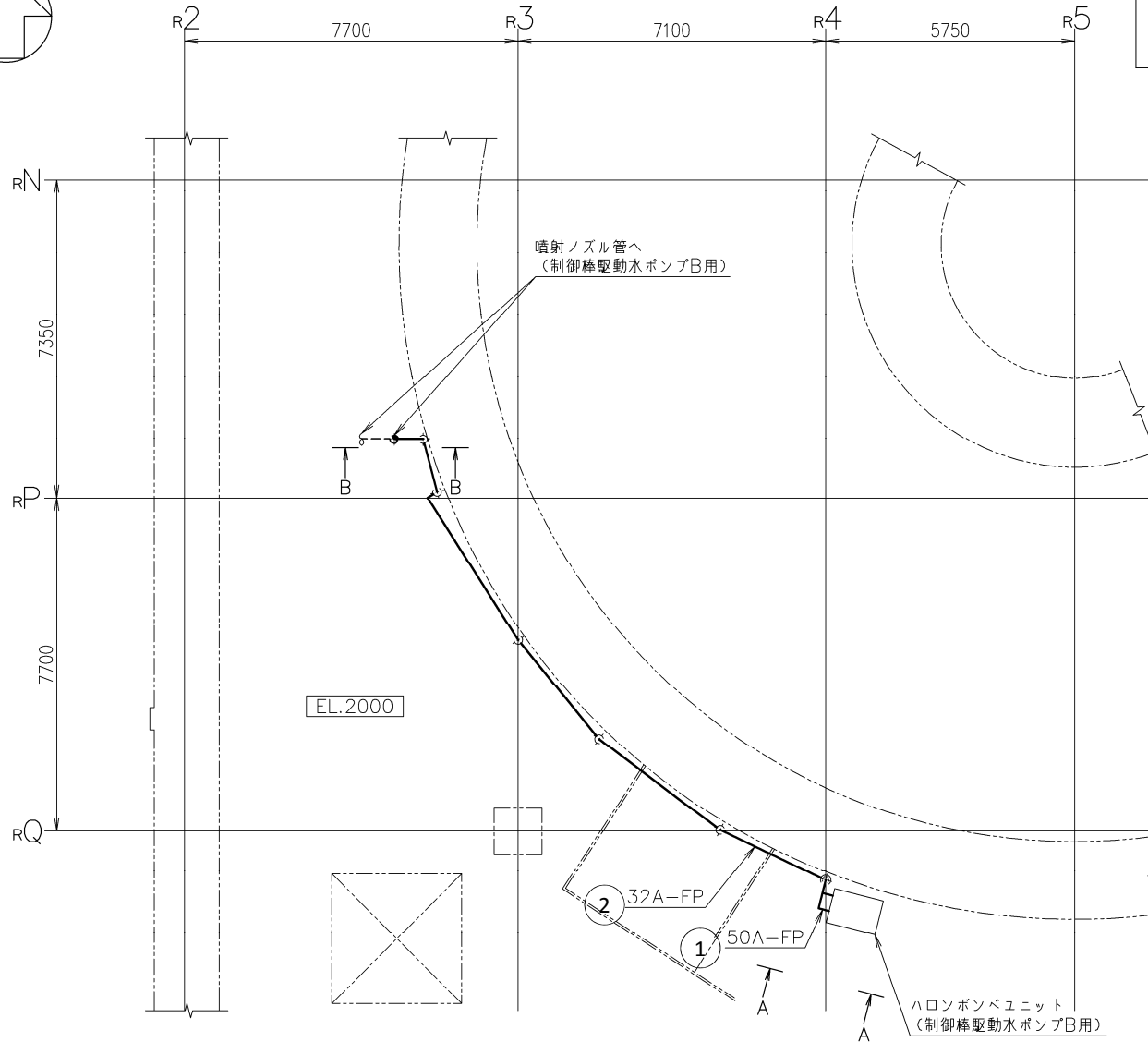
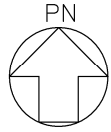
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (制御棒駆動水ポンプ A用)～制御棒駆動水 ポンプA噴射ノズル分 岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	42.7	3.6	SUS304TP



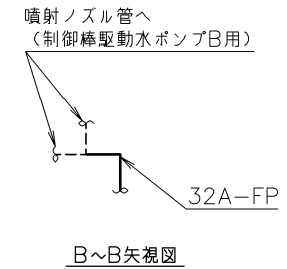
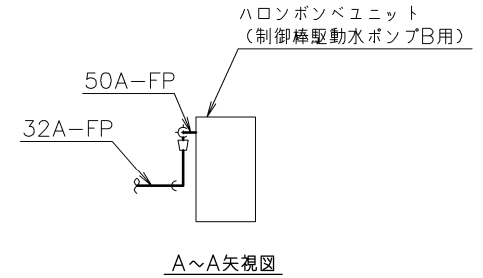
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-26 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (26/98)
日本原子力発電株式会社	

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。



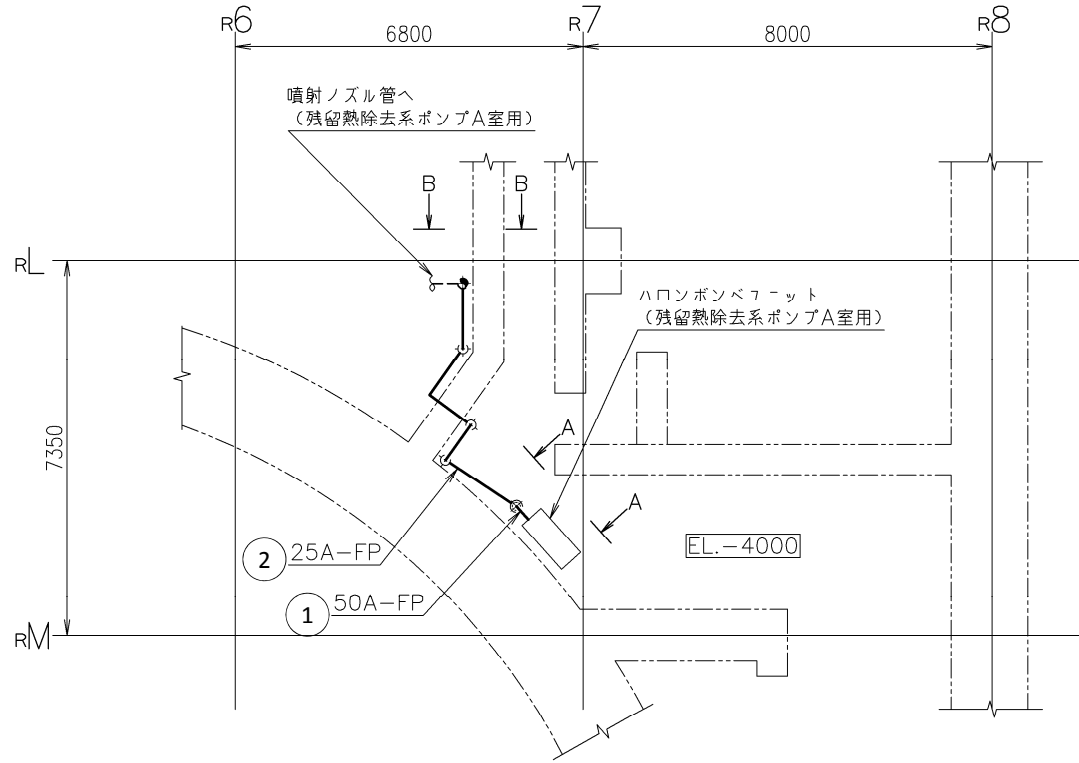
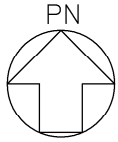
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (制御棒駆動水ポンプ B用) ~ 制御棒駆動水 ポンプB噴射ノズル分 岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	42.7	3.6	SUS304TP



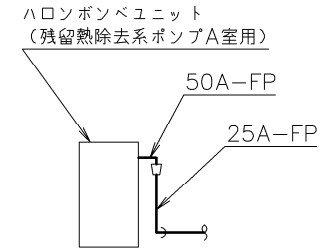
注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

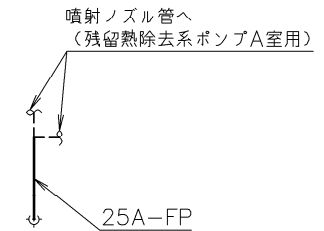
工事計画認可申請	第 9-3-1-3-27 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (27/98)
日本原子力発電株式会社	



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (残留熱除去系ポンプ A室用) ~ 残留熱除去 系ポンプA室噴射ノズ ル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	34.0	3.4	SUS304TP



A~A矢視図



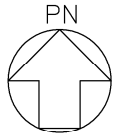
B~B矢視図

注1: 太線は今回の申請範囲を示す。

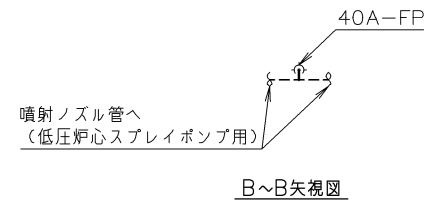
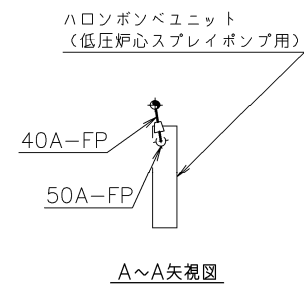
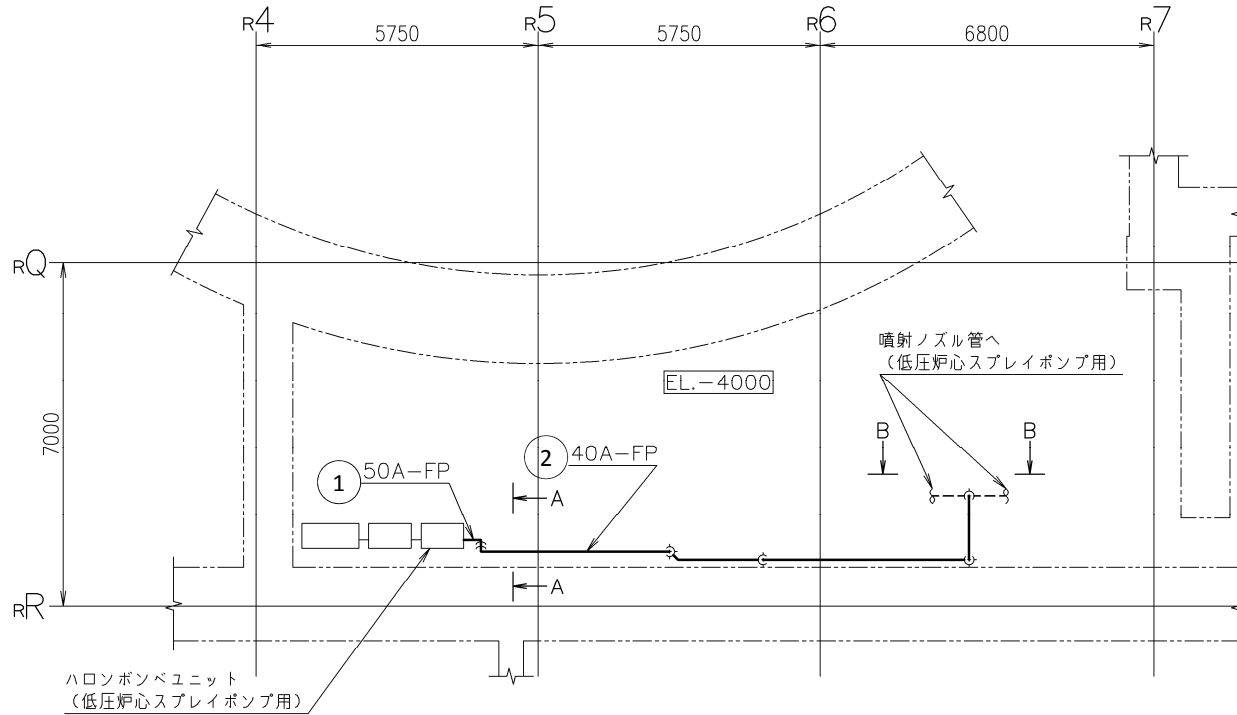
注2: 寸法はmmを示す。

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-28 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (28/98)
日本原子力発電株式会社	



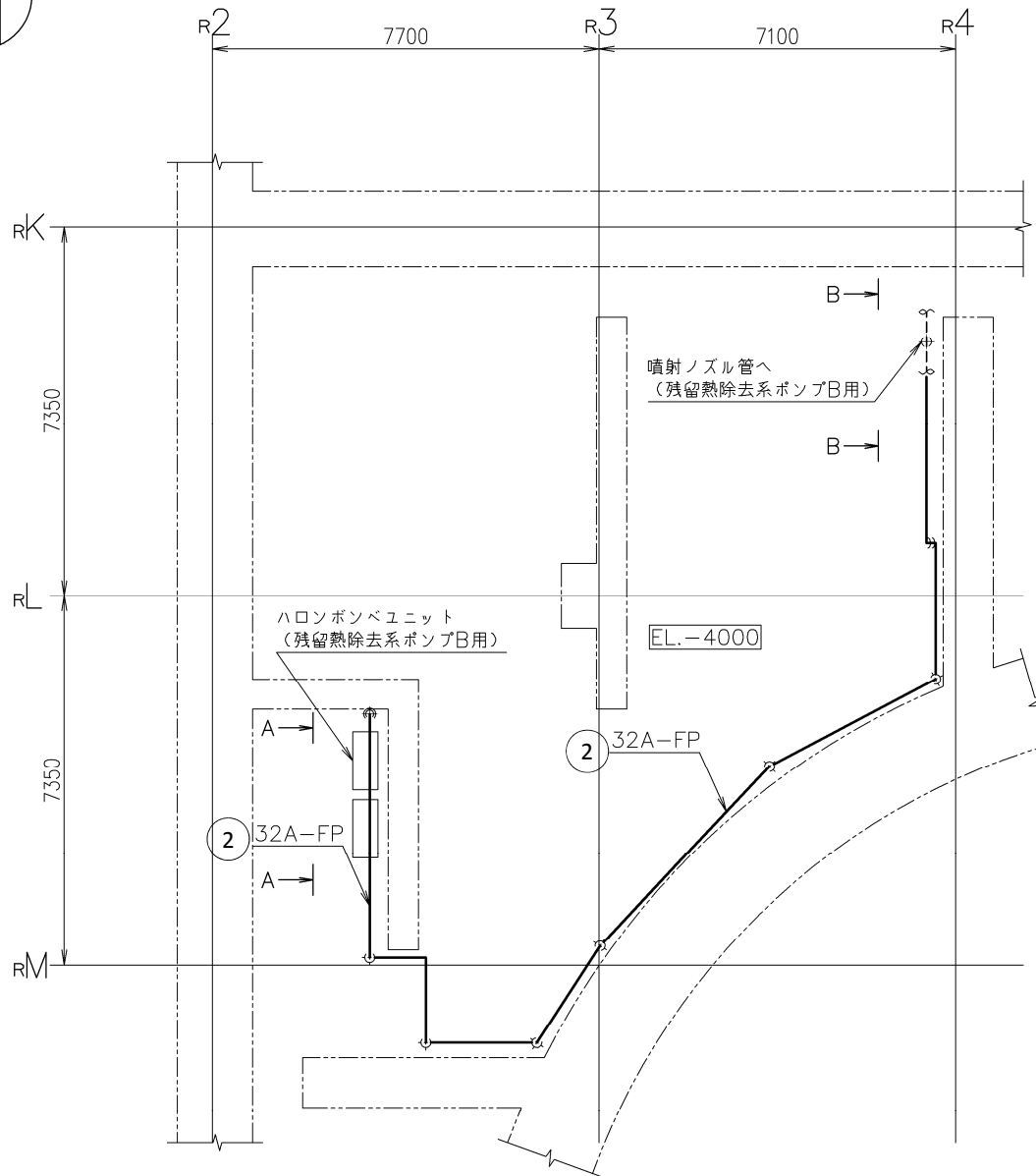
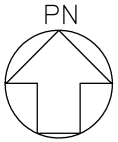
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (低圧炉心スプレー系 ポンプ用) ~ 低圧炉心 スプレー系ポンプ噴射 ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	48.6	3.7	SUS304TP



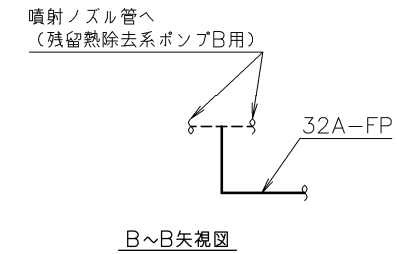
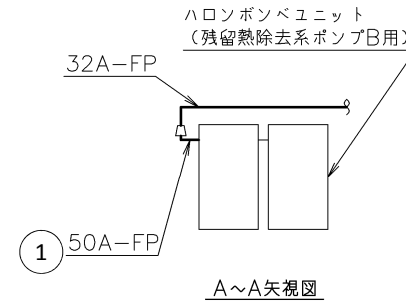
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-29 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (29/98)
日本原子力発電株式会社	

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。



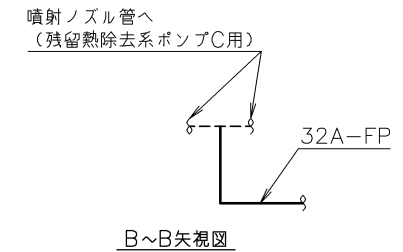
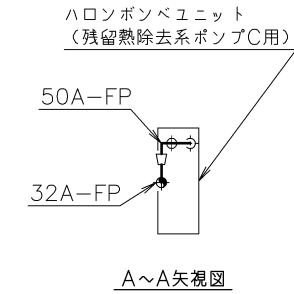
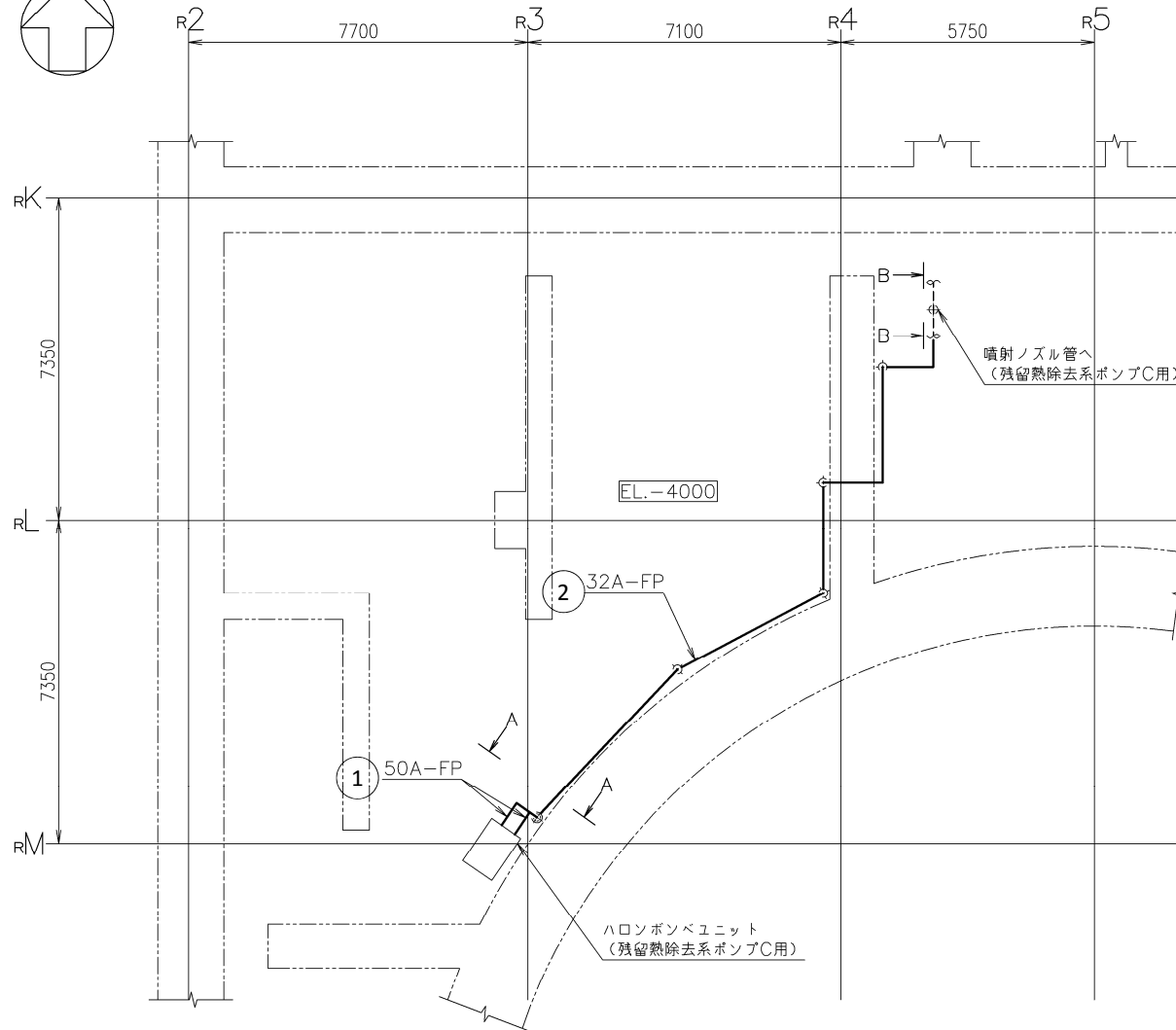
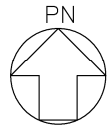
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (残留熱除去系ポンプ B用) ~ 残留熱除去系 ポンプB噴射ノズル分 岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	42.7	3.6	SUS304TP



注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
 注2: 寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-30 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (30/98)
日本原子力発電株式会社	

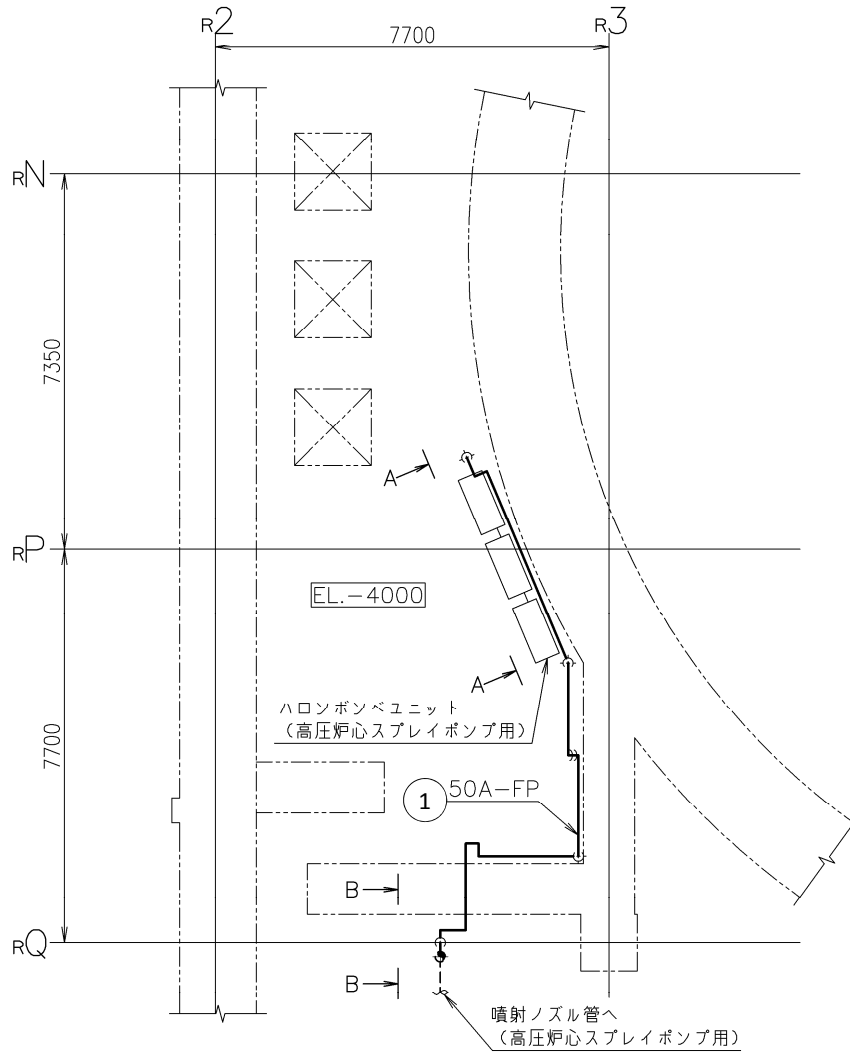
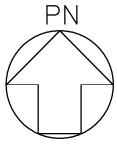
注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。



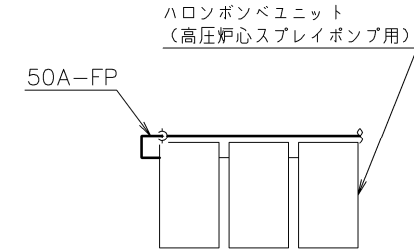
注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

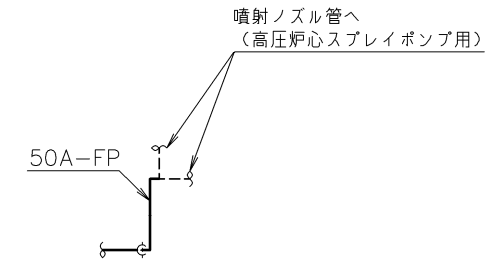
工事計画認可申請		第 9-3-1-3-31 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (31/98)		
	日本原子力発電株式会社		



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (高圧炉心スプレイ系 ポンプ用) ~ 高圧炉心 スプレイ系ポンプ噴射 ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP



A~A矢視図



B~B矢視図

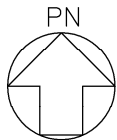
注1：太線は今回の申請範囲を示す。

注2：寸法はmmを示す。

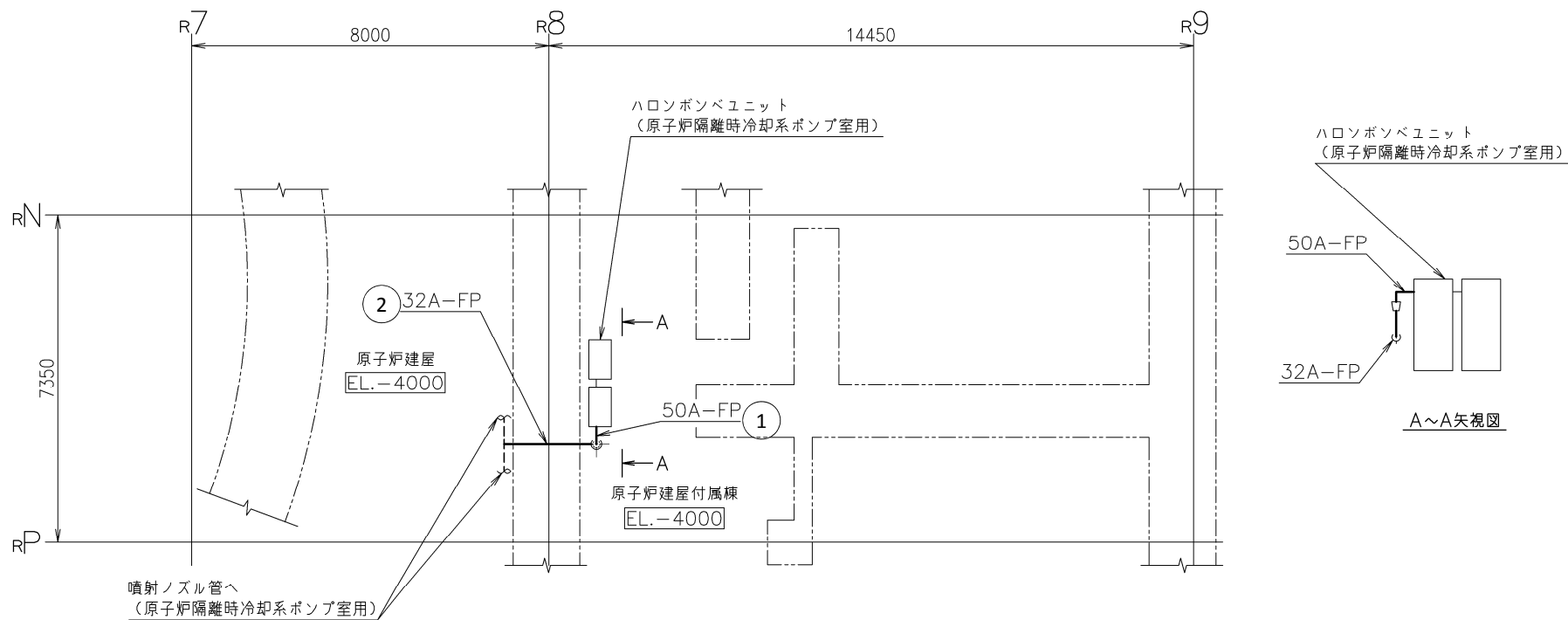
注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-32 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (32/98)
日本原子力発電株式会社	





管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (原子炉隔離時冷却系 ポンプ室用) ~ 原子炉 隔離時冷却系ポンプ室 噴射ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	42.7	3.6	SUS304TP

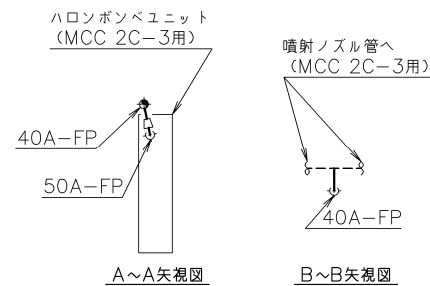
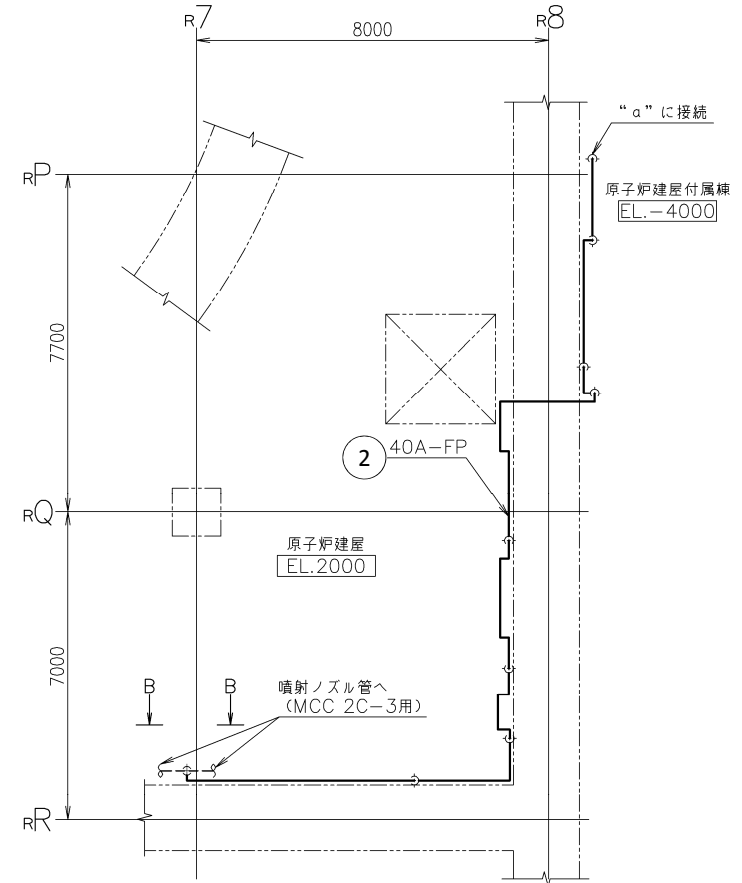
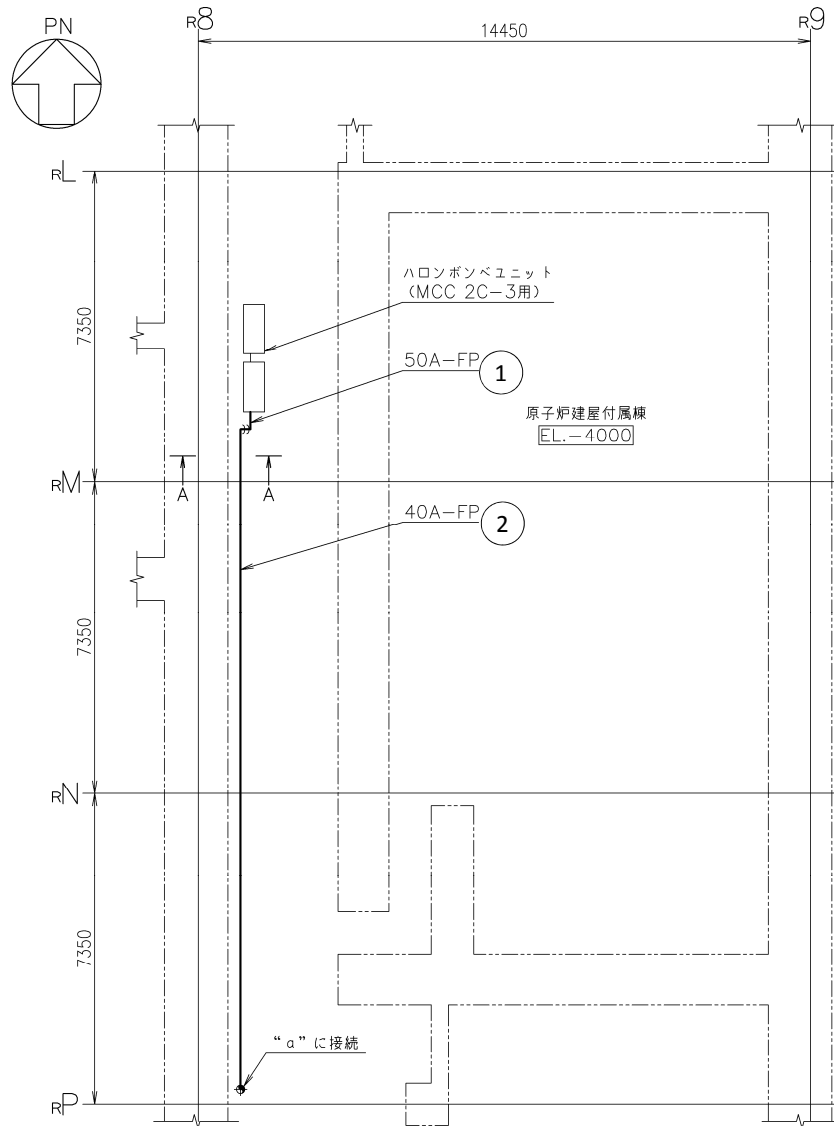


注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-33 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (33/98)
日本原子力発電株式会社	

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (MCC 2C-3用) ~MCC 2C-3噴射ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	48.6	3.7	SUS304TP

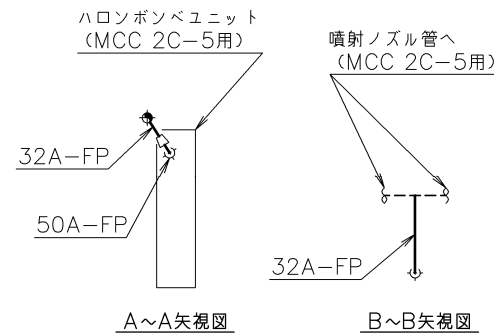
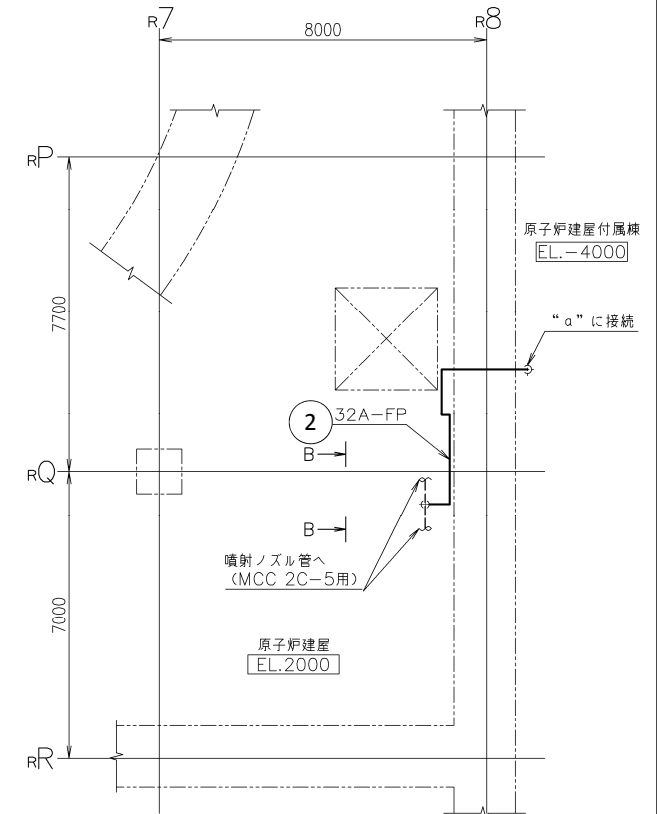
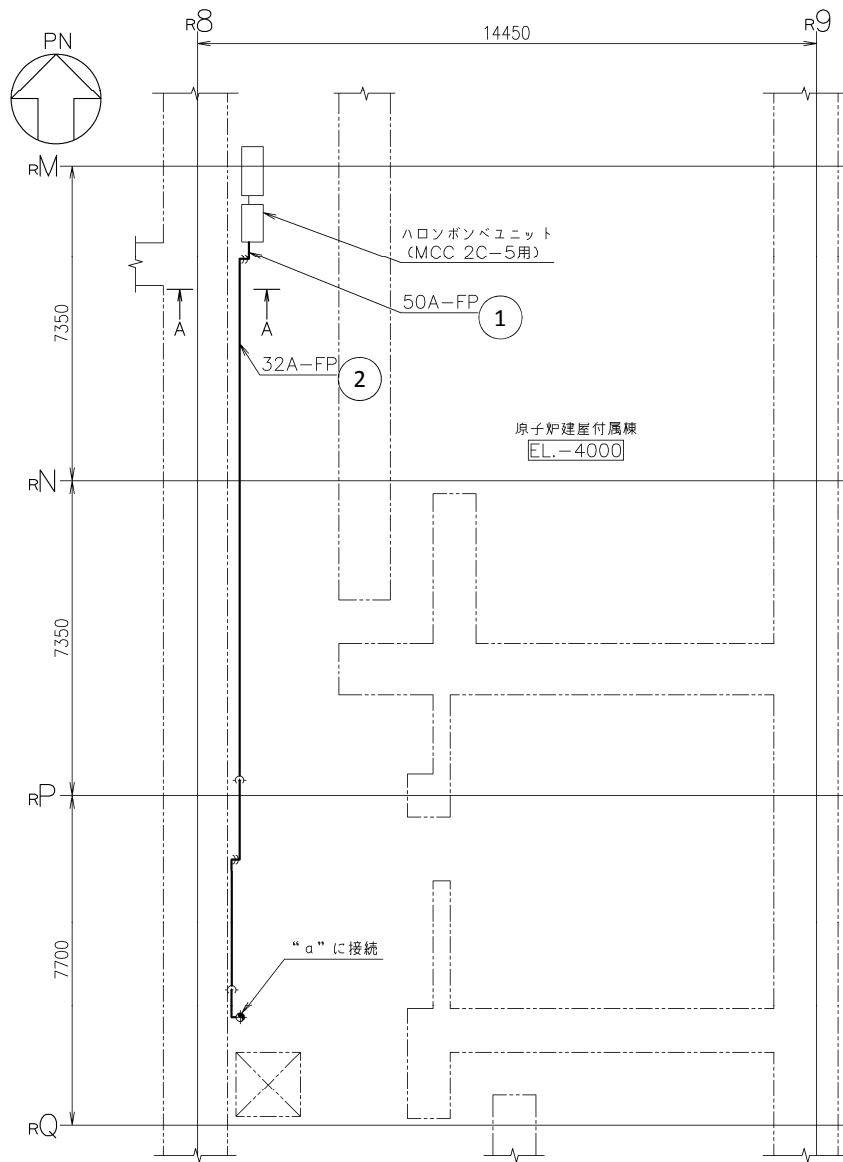


注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-34 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (34/98)
日本原子力発電株式会社	

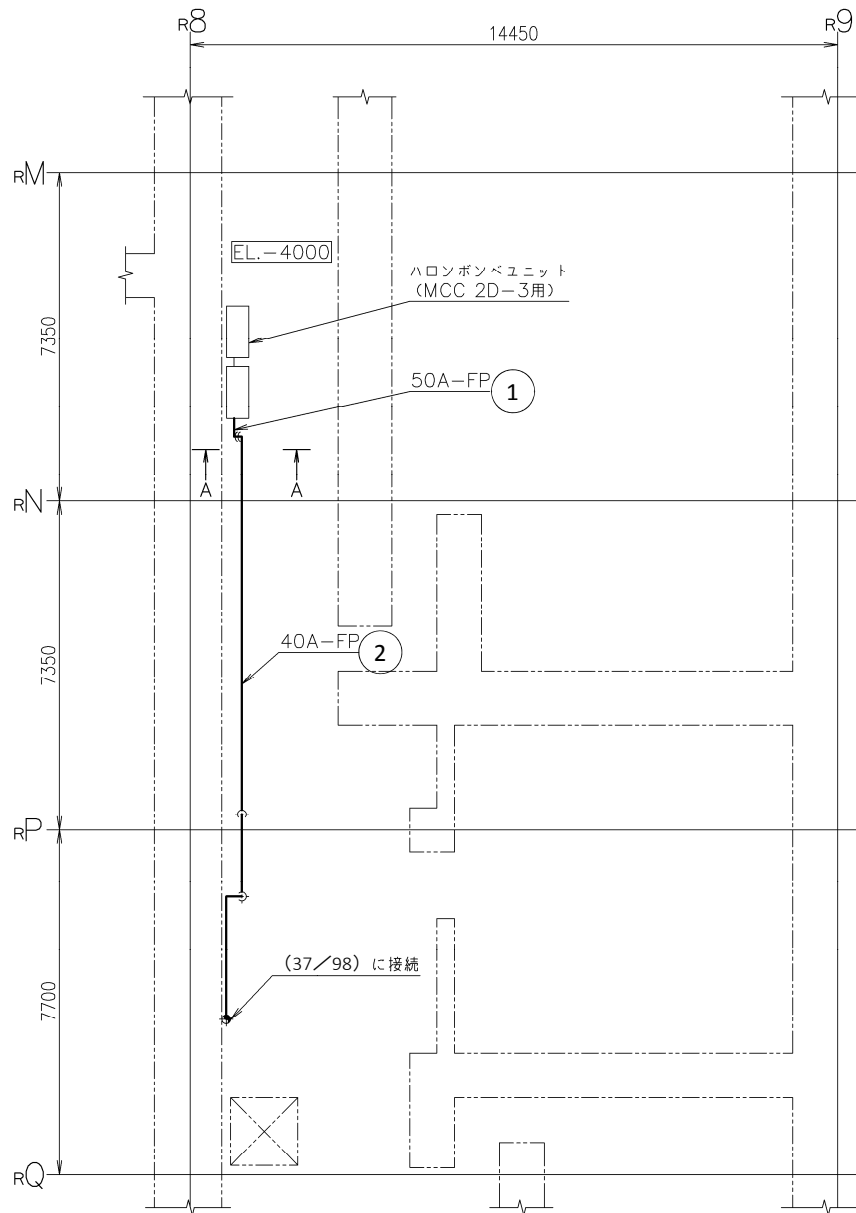
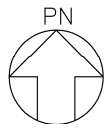
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (MCC 2C-5用) ~MCC 2C-5噴射ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	42.7	3.6	SUS304TP



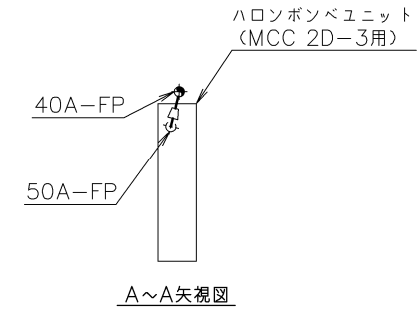
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-35 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (35/98)
日本原子力発電株式会社	



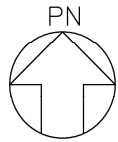
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (MCC 2D-3用) ~MCC 2D-3噴射ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	48.6	3.7	SUS304TP



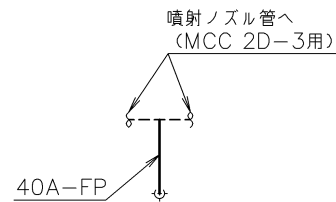
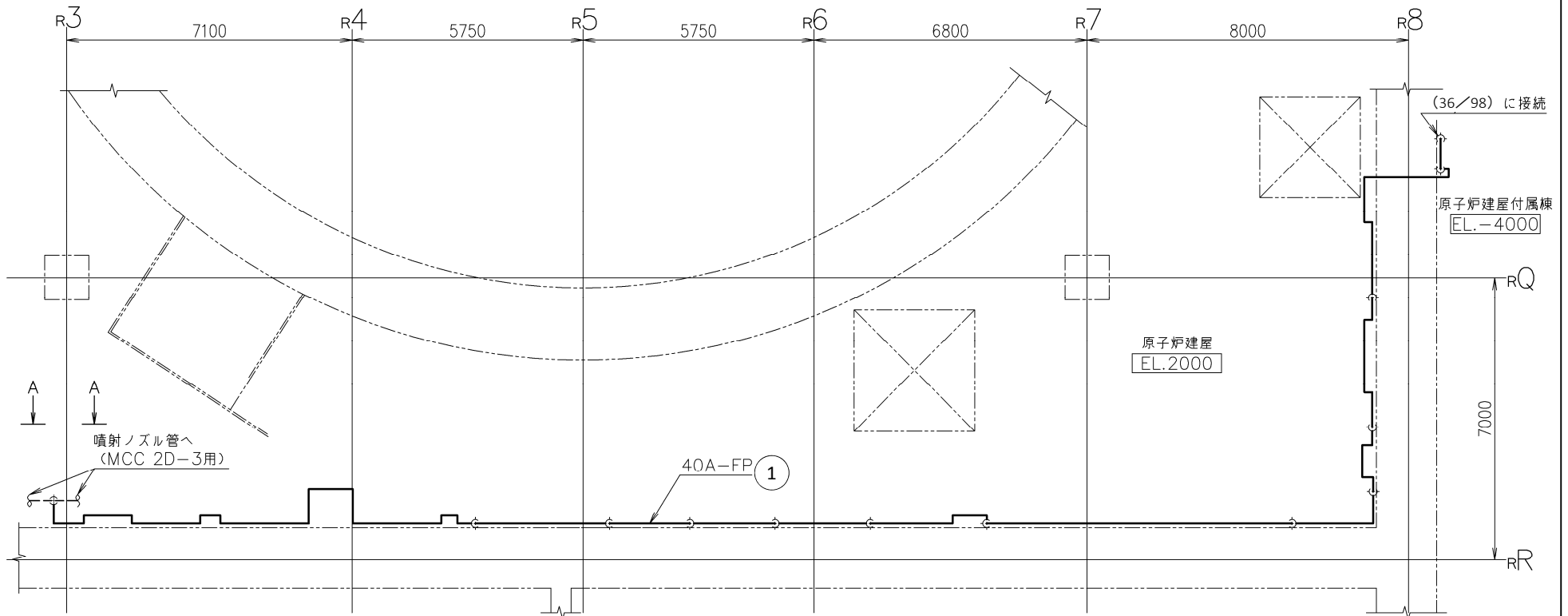
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請		第 9-3-1-3-36 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (36/98)		
	日本原子力発電株式会社		



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (MCC 2D-3用) ~MCC 2D-3噴射ノズル分岐点	1	48.6	3.7	SUS304TP

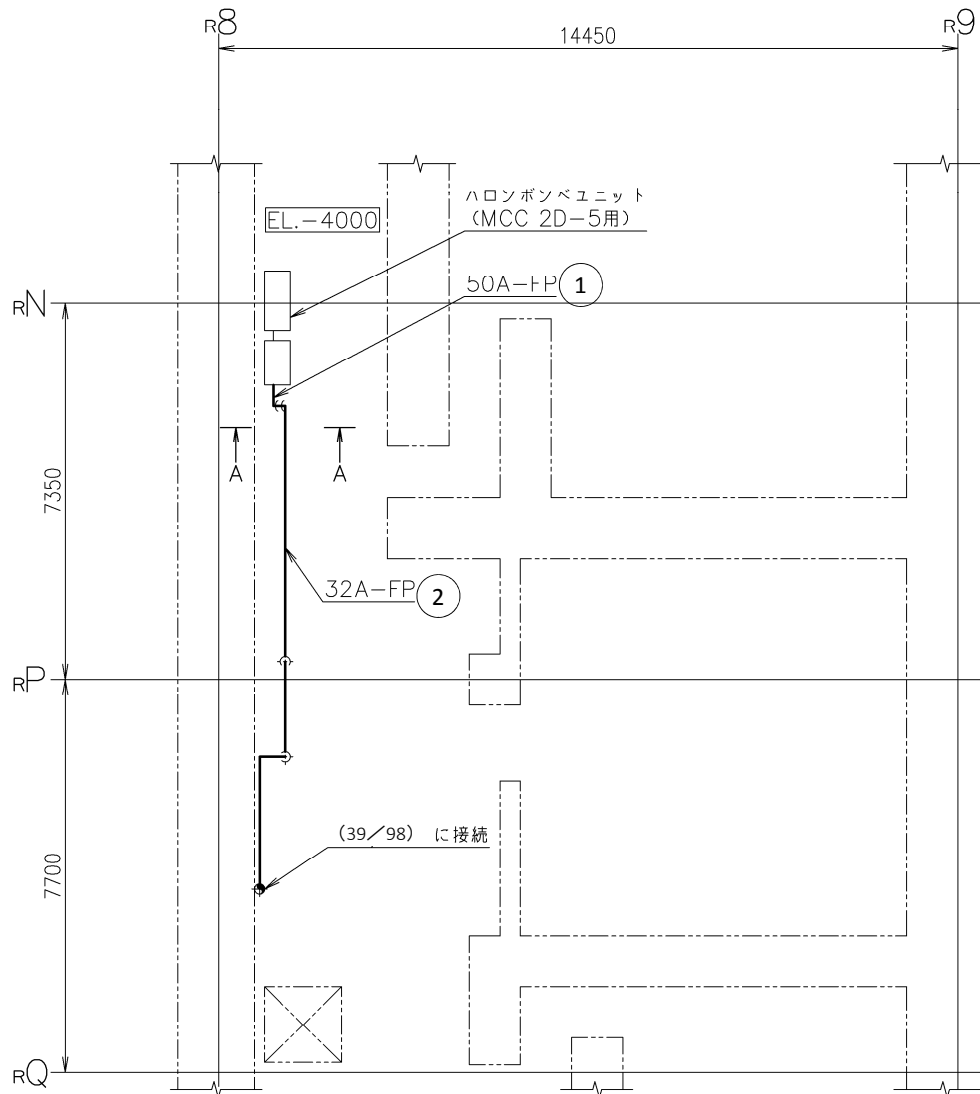
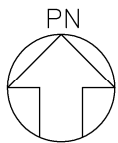


A~A矢視図

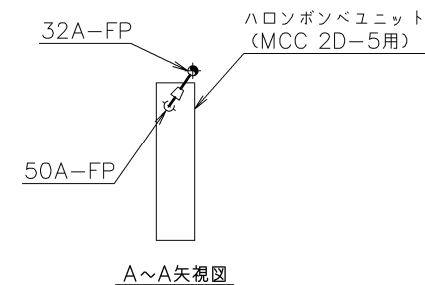
注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-37 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (37/98)
日本原子力発電株式会社	



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (MCC 2D-5用) ~MCC 2D-5噴射ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	42.7	3.6	SUS304TP

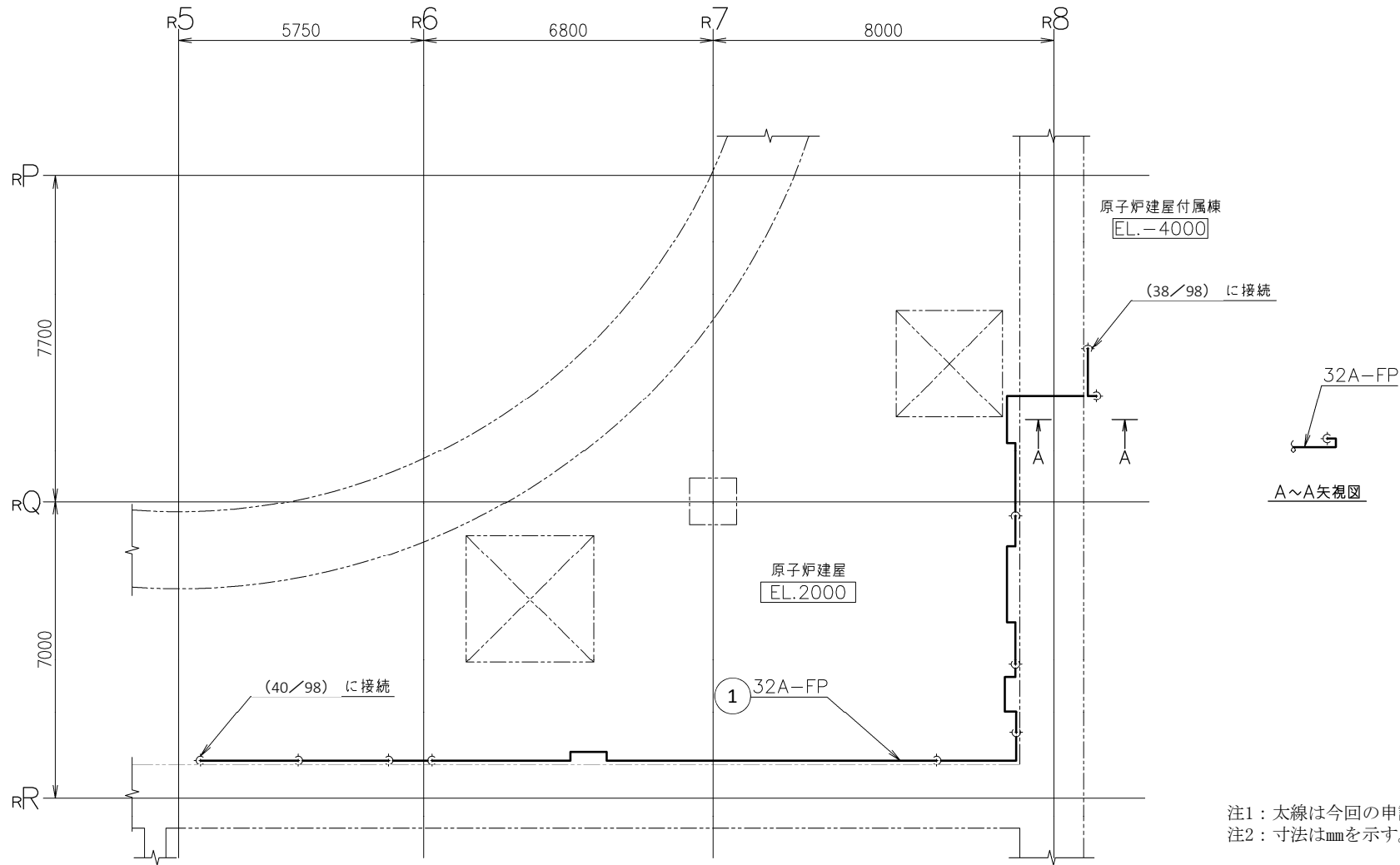


注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請		第 9-3-1-3-38 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (38/98)		
	日本原子力発電株式会社		

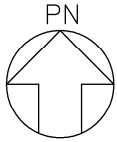
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (MCC 2D-5用) ~MCC 2D-5噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP



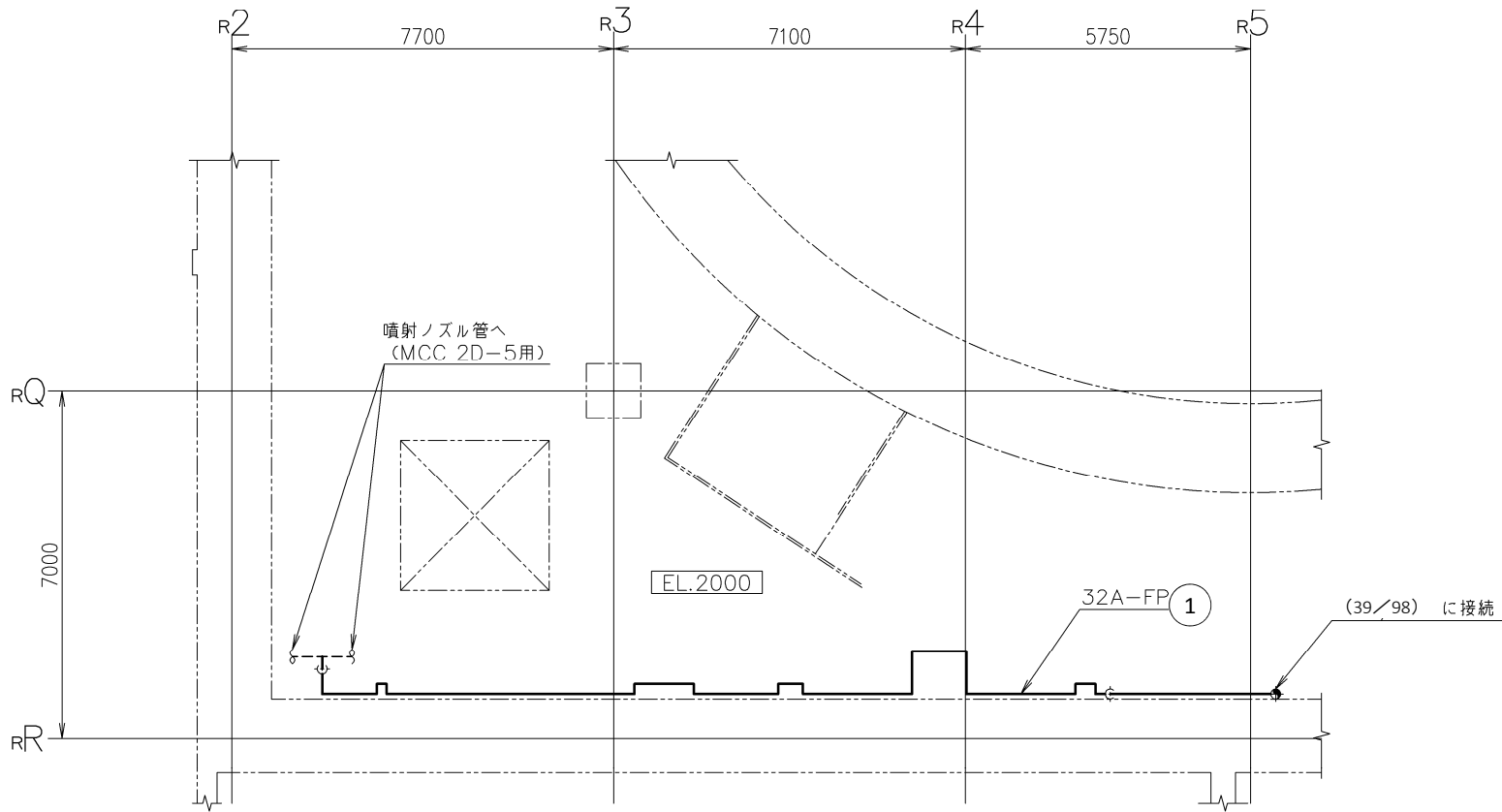
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-39 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (39/98)
日本原子力発電株式会社	



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (MCC 2D-5用) ~MCC 2D-5噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP

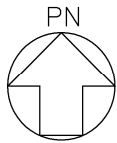


注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
 注2: 寸法はmmを示す。

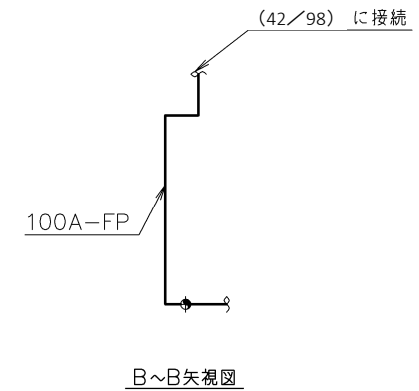
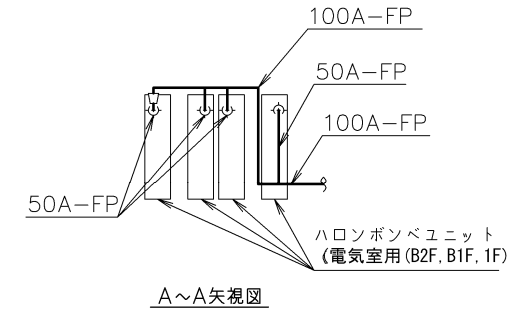
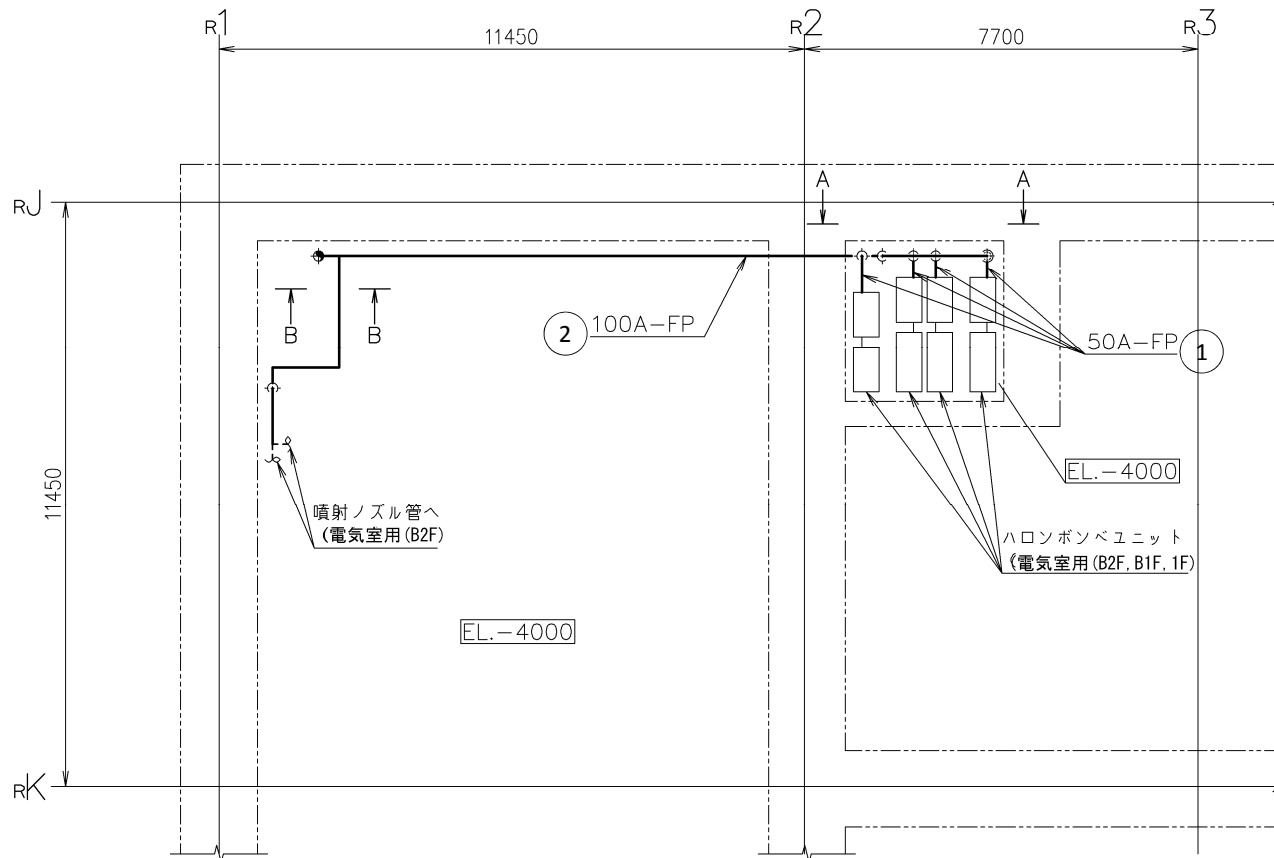
注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-40 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (40/98)
日本原子力発電株式会社	





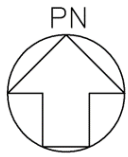
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (電気室用) ~ 電気室 噴射ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	114.3	6.0	SUS304TP



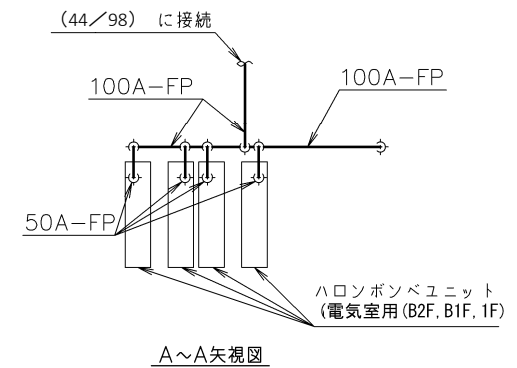
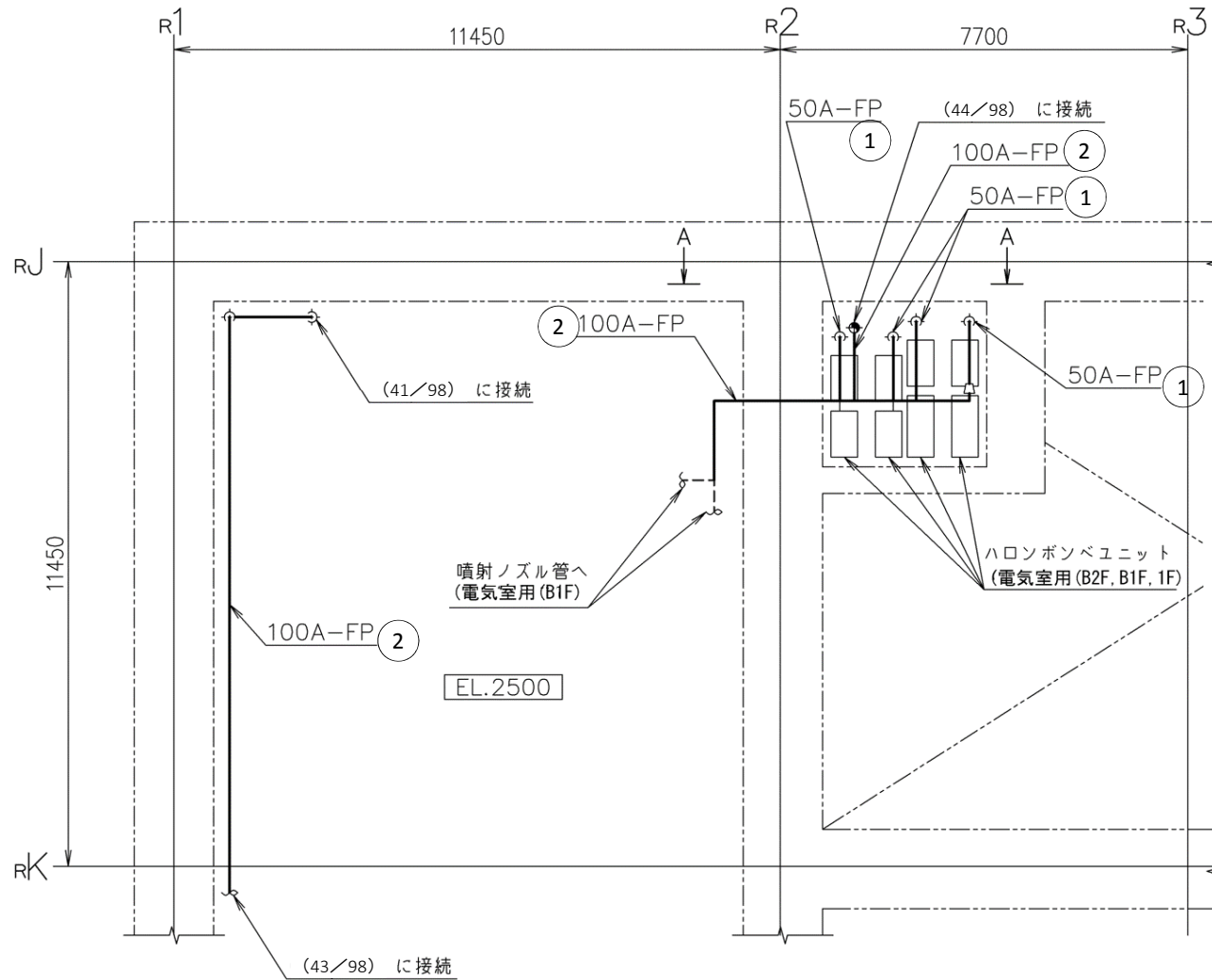
注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-41 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (41/98)
日本原子力発電株式会社	



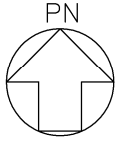
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (電気室用) ~ 電気室 噴射ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	114.3	6.0	SUS304TP



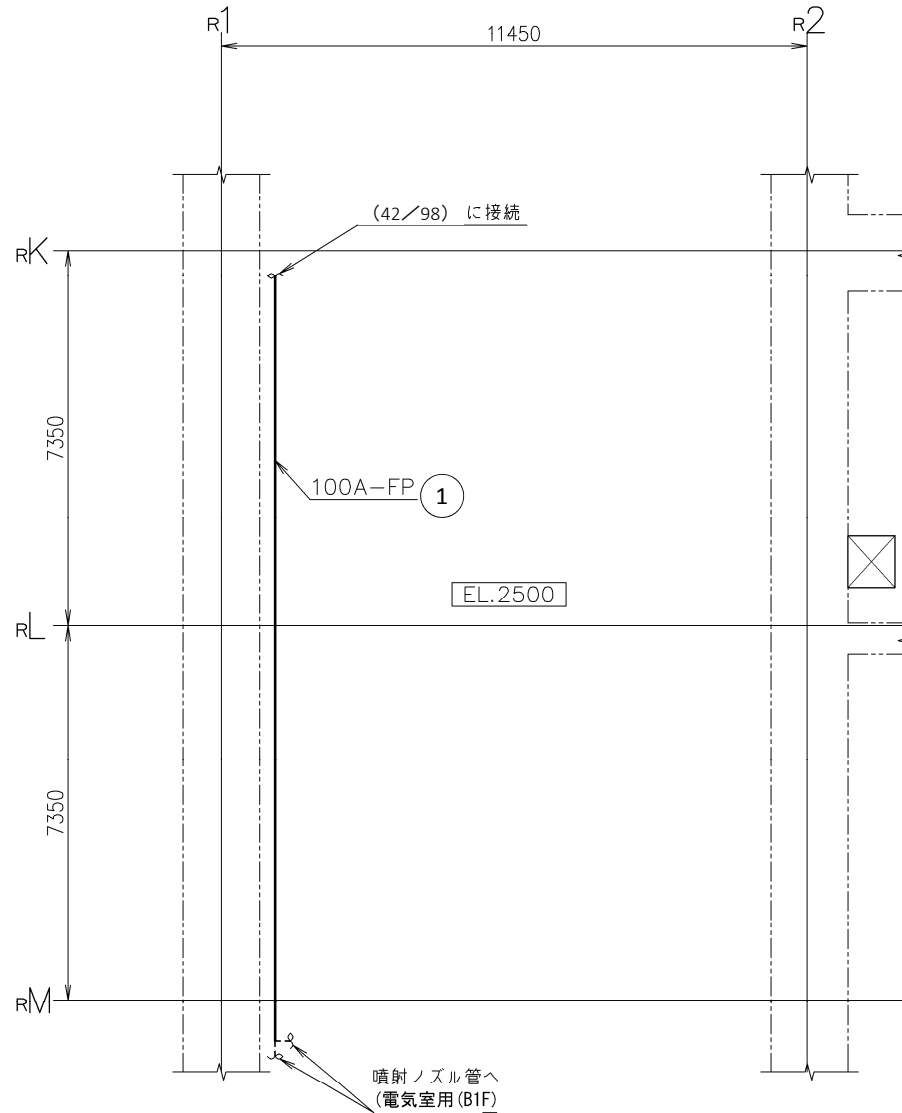
注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-42 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (42/98)
日本原子力発電株式会社	



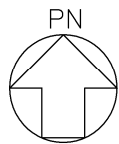
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (電気室用) ~電気室 噴射ノズル分岐点	1	114.3	6.0	SUS304TP



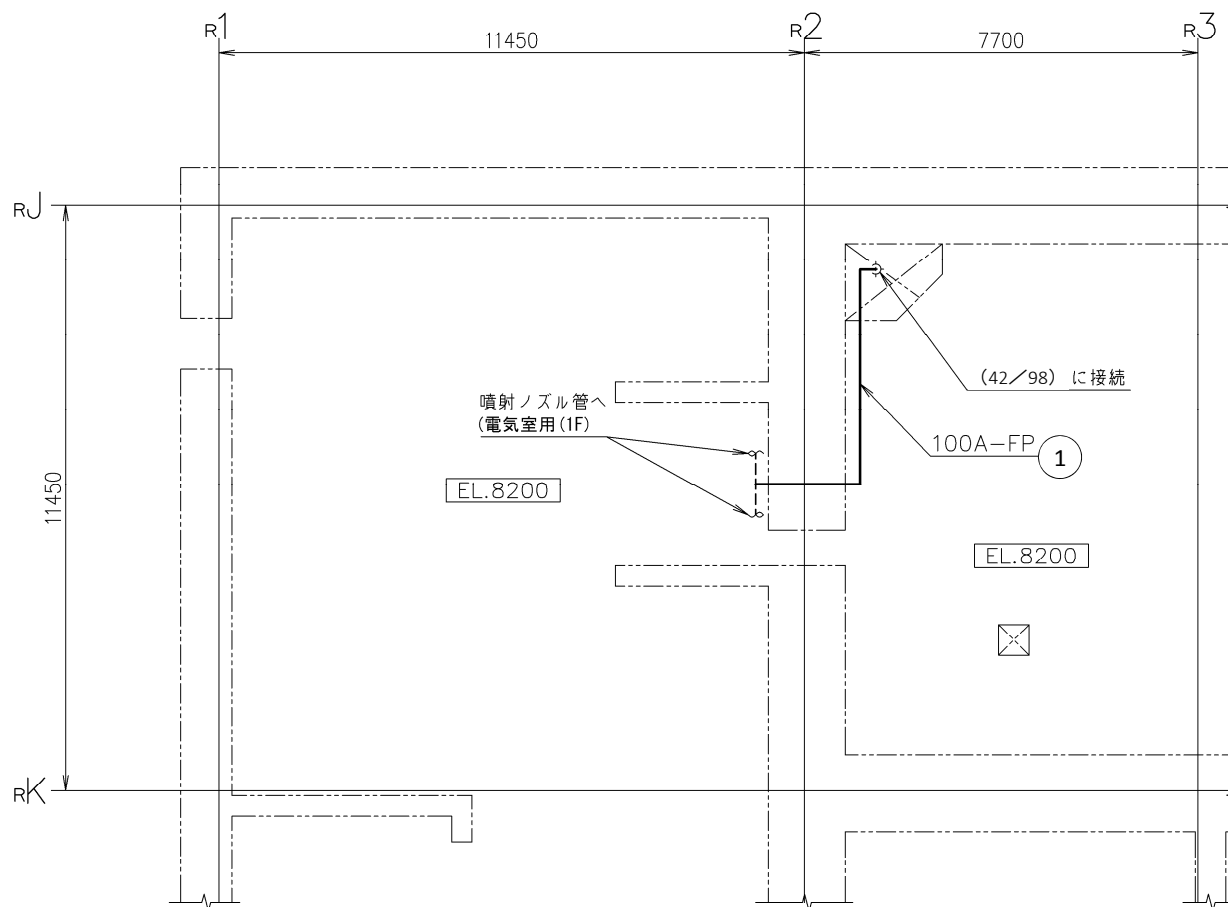
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-43 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (43/98)
日本原子力発電株式会社	



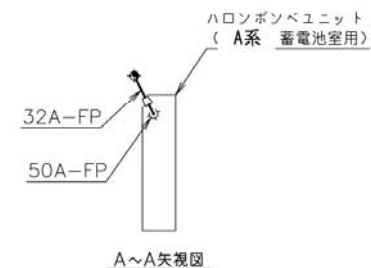
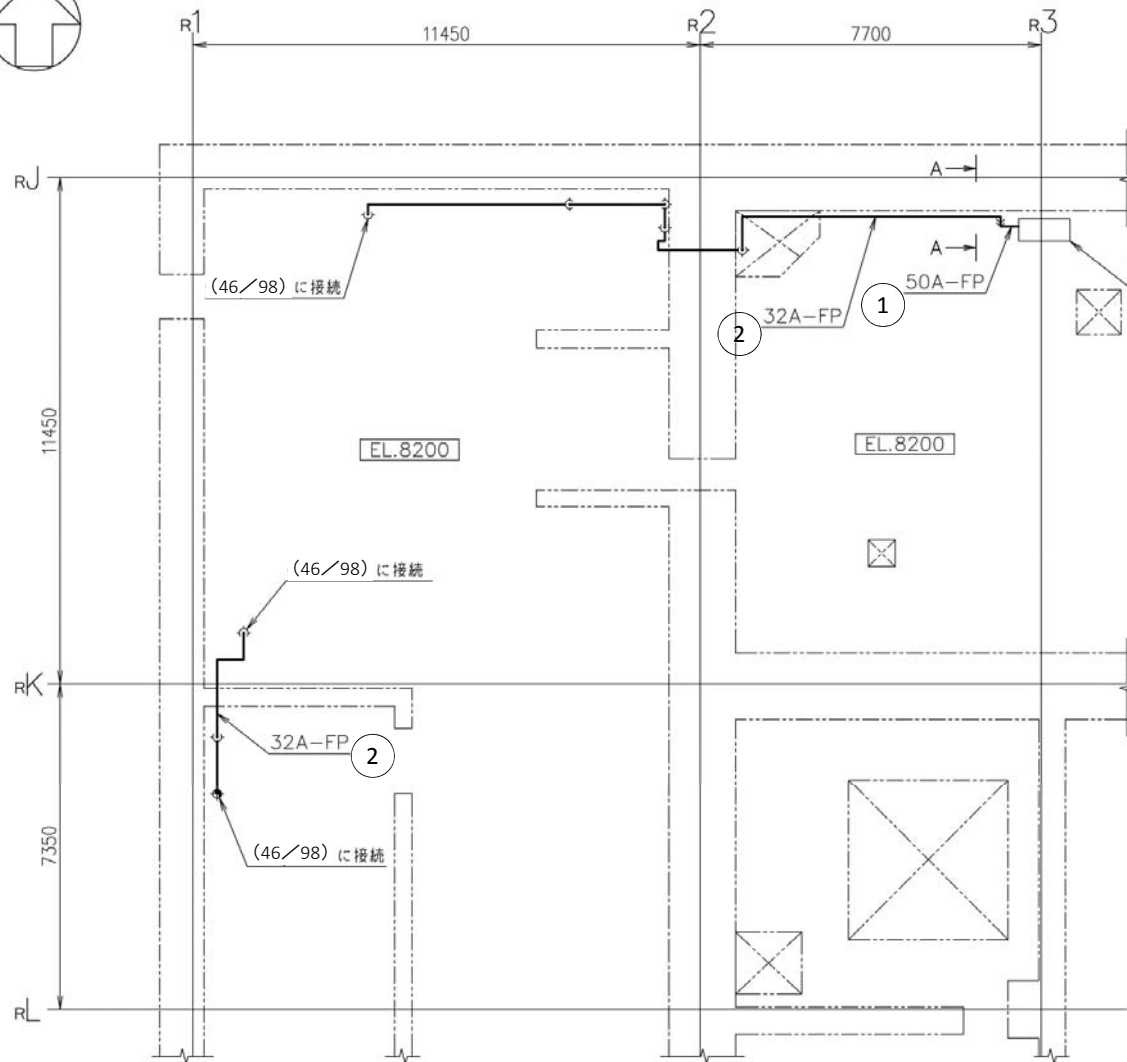
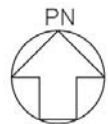
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (電気室用) ~ 電気室 噴射ノズル分岐点	1	114.3	6.0	SUS304TP



注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

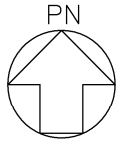
工事計画認可申請	第 9-3-1-3-44 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (44/98)
日本原子力発電株式会社	



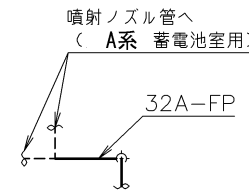
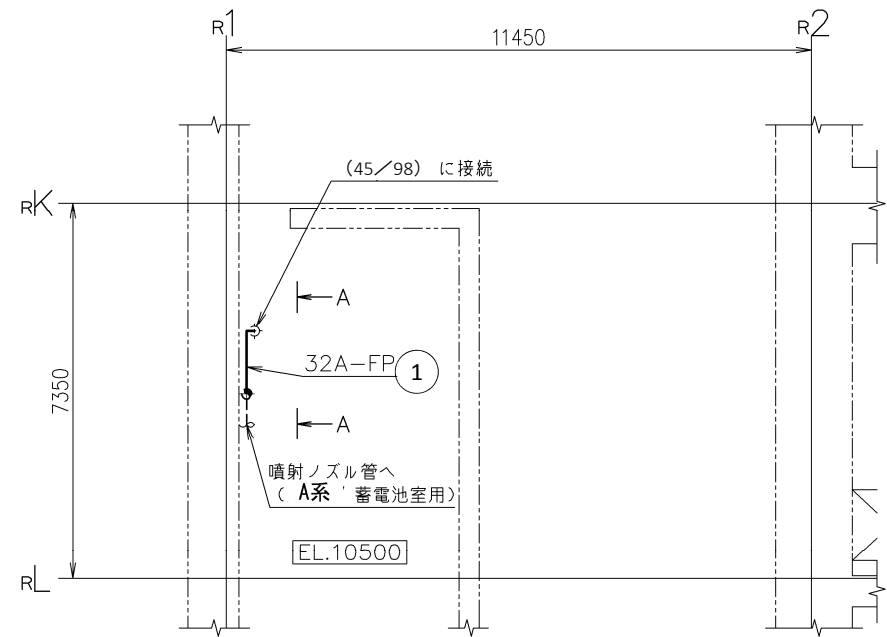
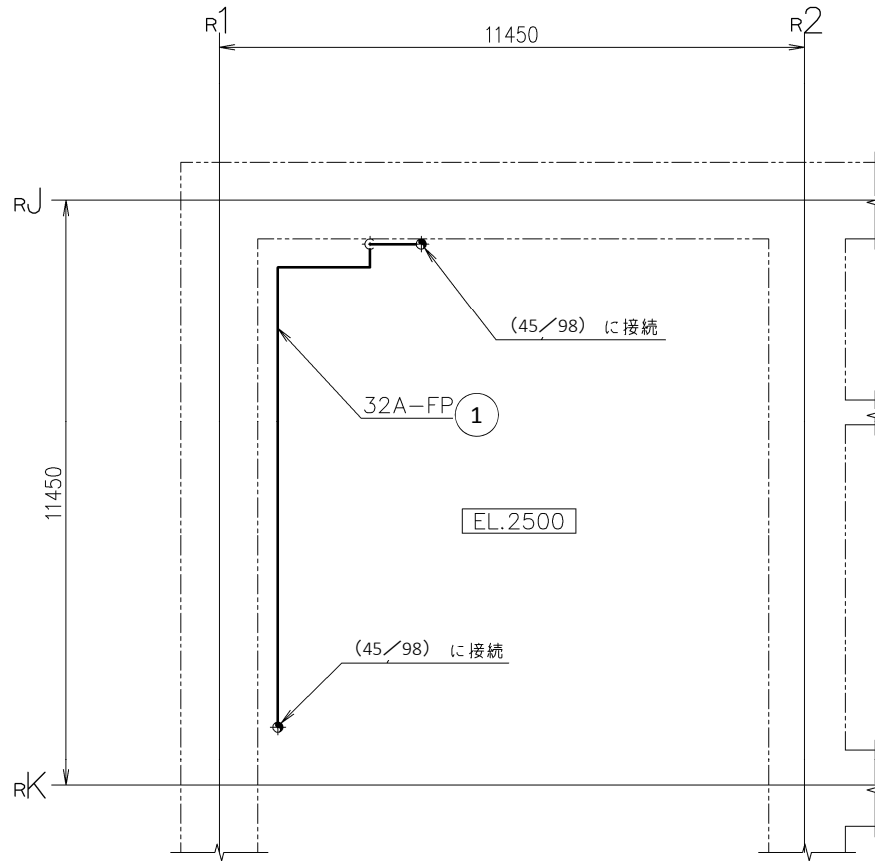
注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
 注2: 寸法はmmを示す。

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-45 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (45/98)
日本原子力発電株式会社	



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (A系蓄電池室用) ~A 系蓄電池室噴射ノズル 分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP

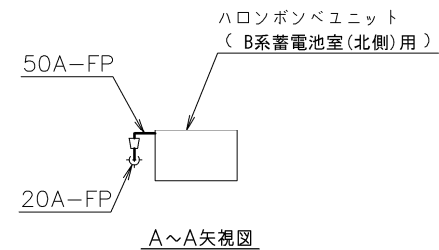
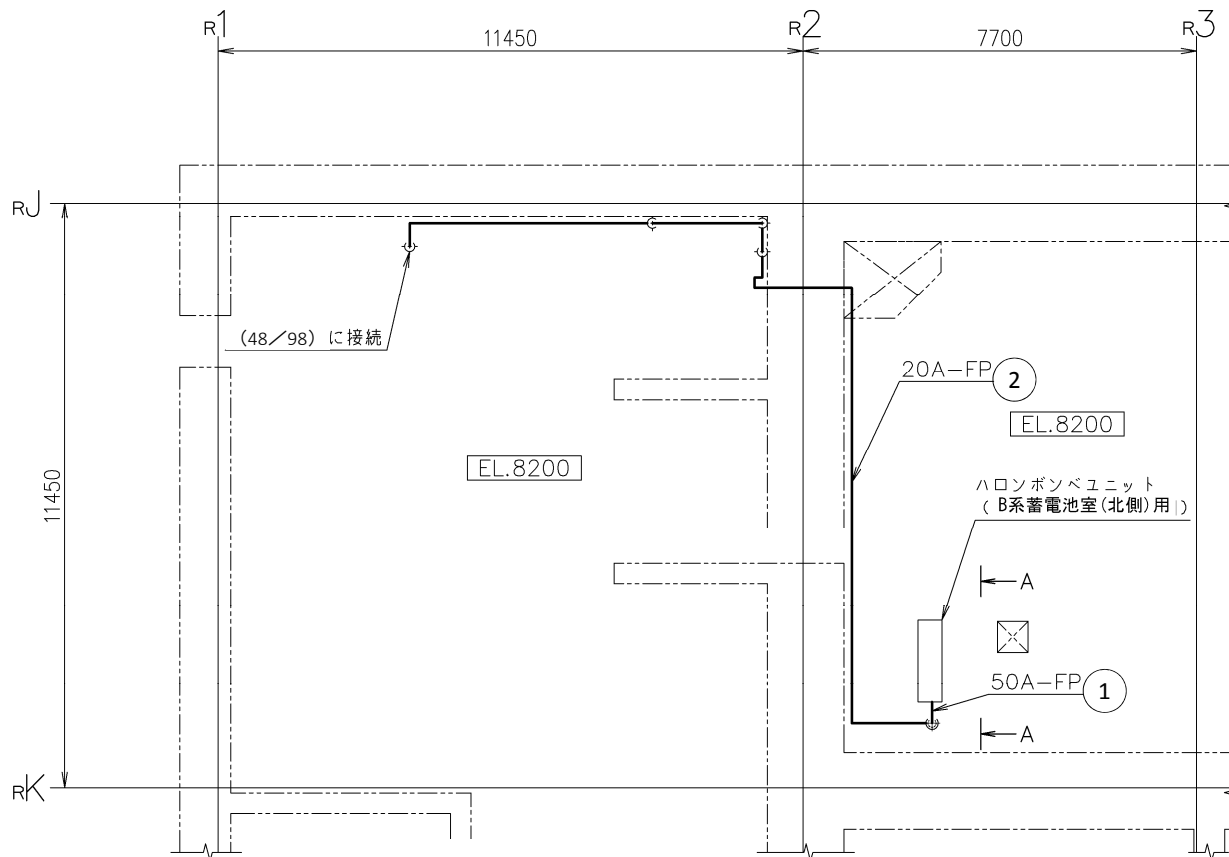
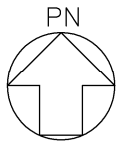


A~A矢視図

注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-46 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (46/98)
日本原子力発電株式会社	



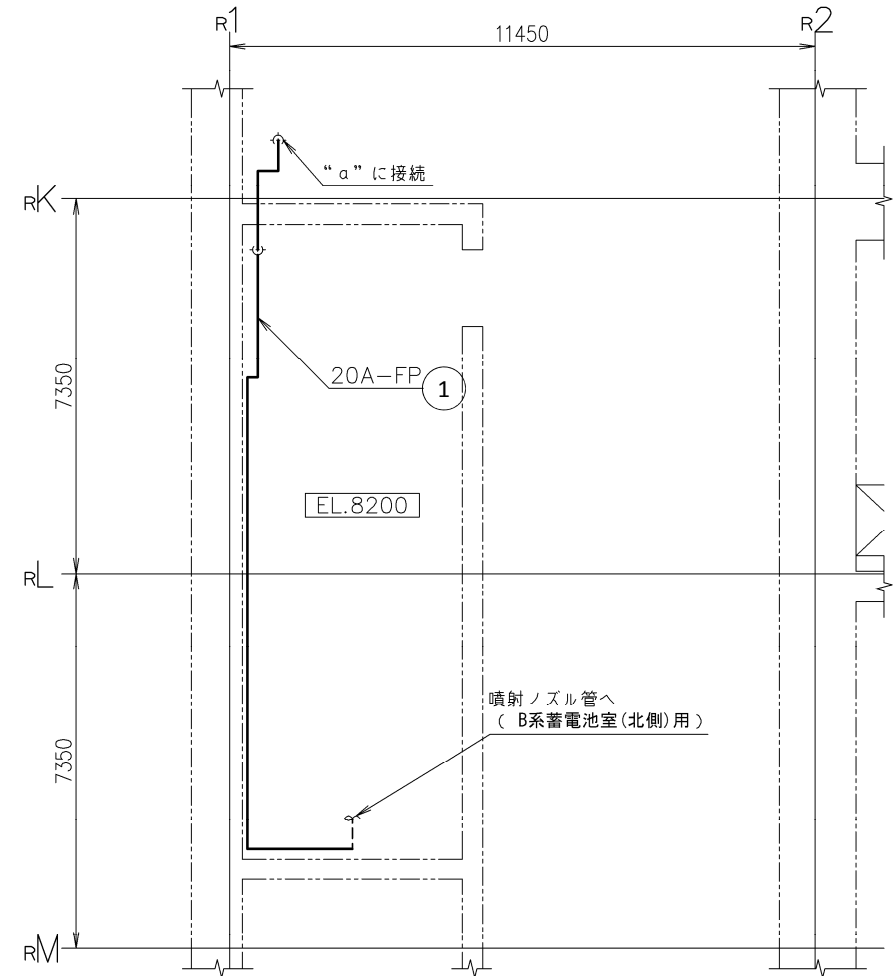
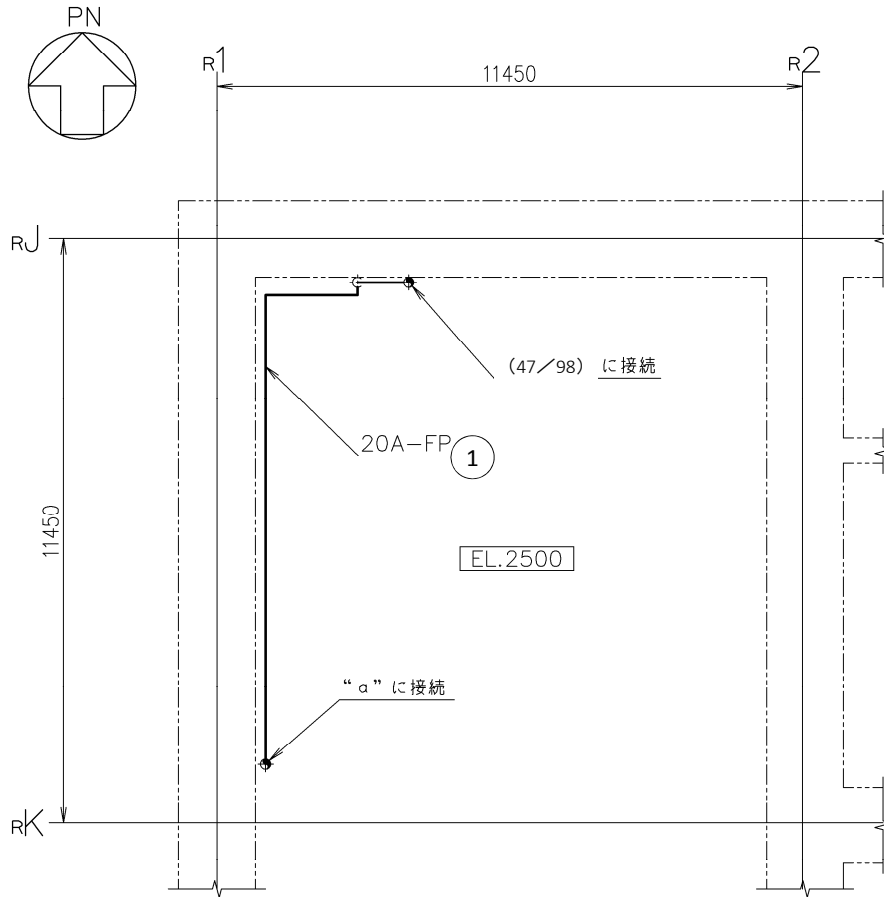
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (B系蓄電池室(北側) 用)~B系蓄電池室(北 側)噴射ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	27.2	2.9	SUS304TP

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-47 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (47/98)
日本原子力発電株式会社	

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (B系蓄電池室(北側) 用)~B系蓄電池室(北 側)噴射ノズル分岐点	1	27.2	2.9	SUS304TP

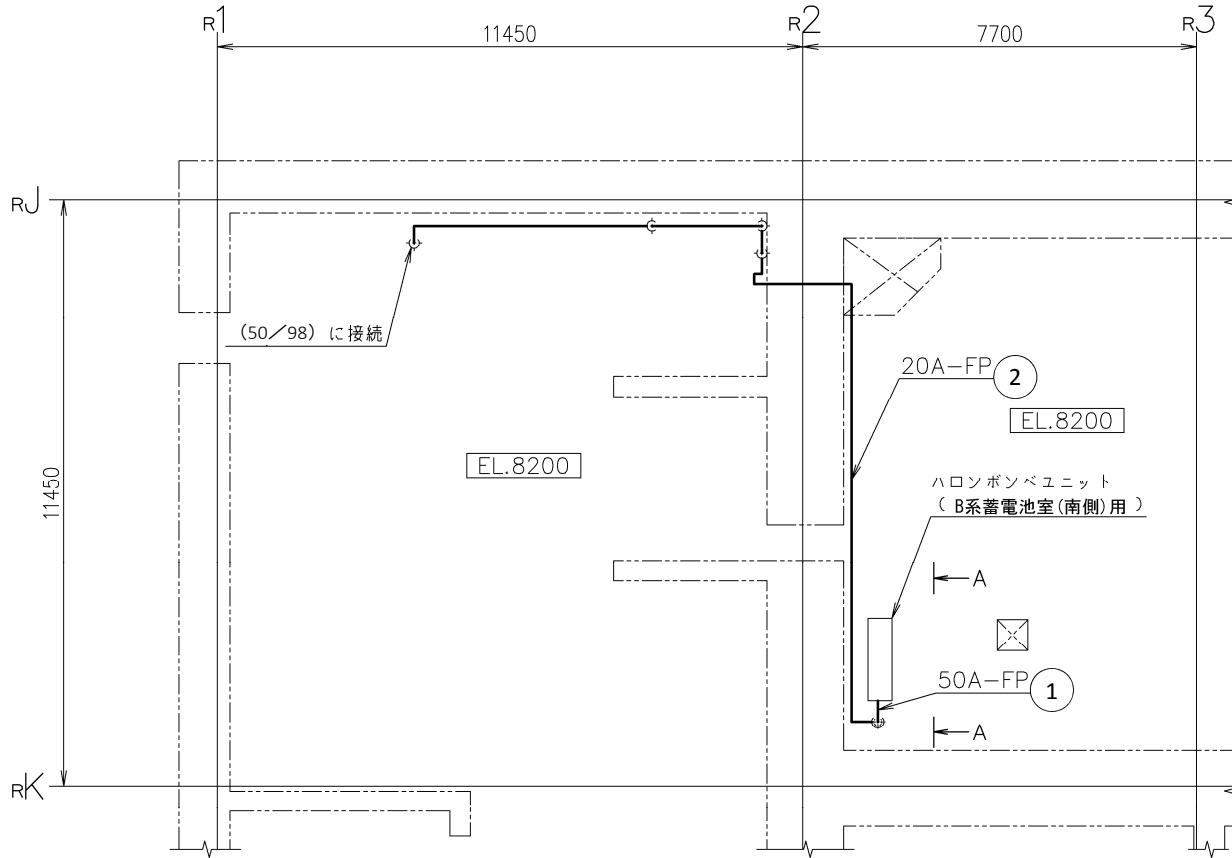
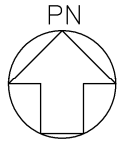


注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

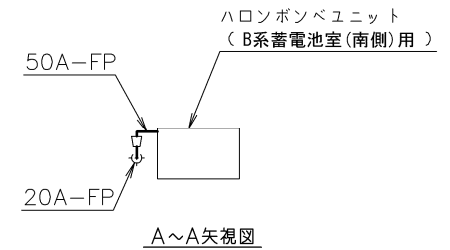
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-48 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (48/98)
日本原子力発電株式会社	





管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (B系蓄電池室(南側) 用)~B系蓄電池室(南 側)噴射ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	27.2	2.9	SUS304TP

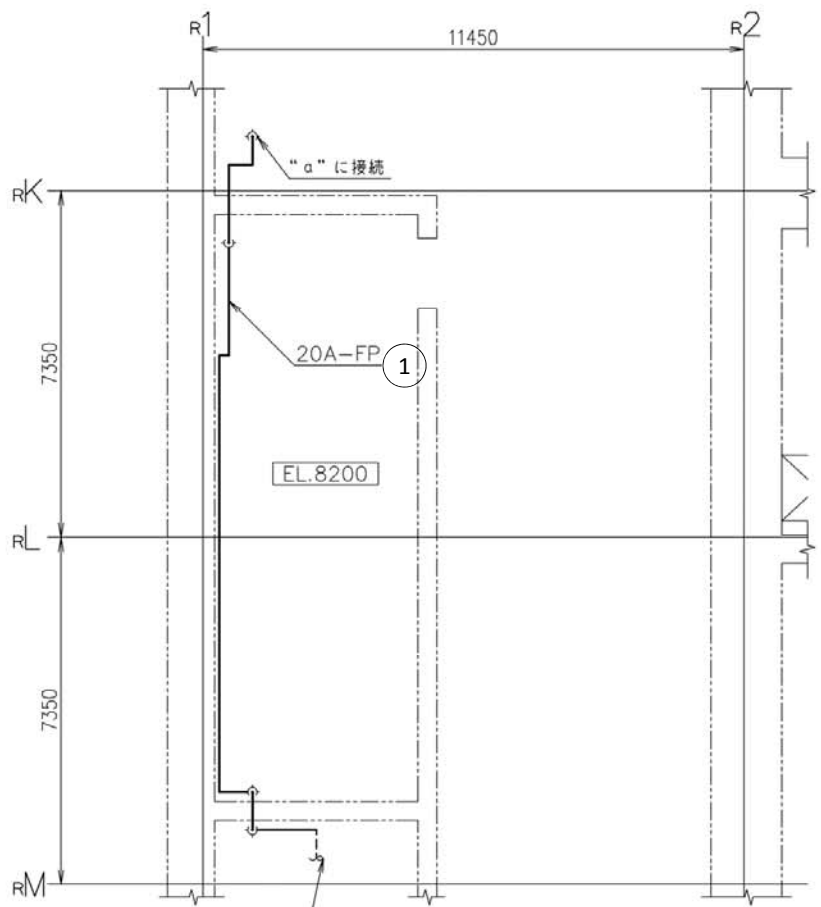
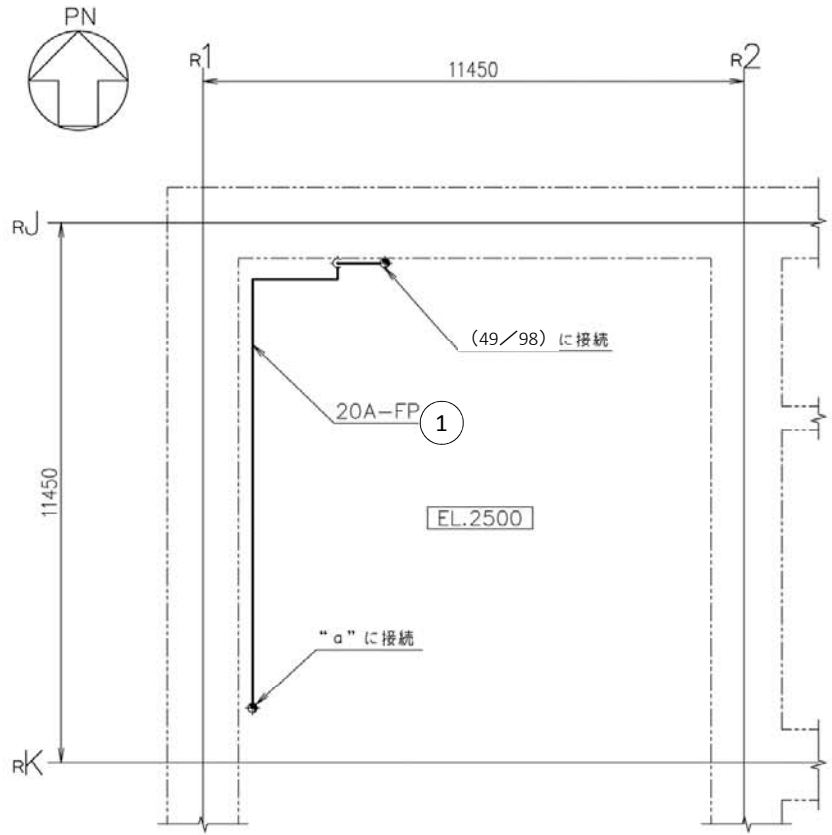


注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-49 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (49/98)
日本原子力発電株式会社	

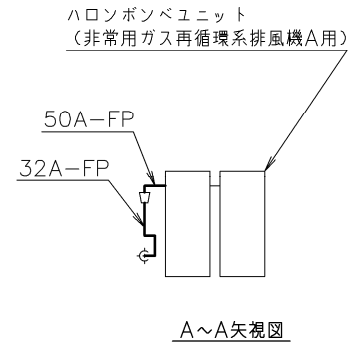
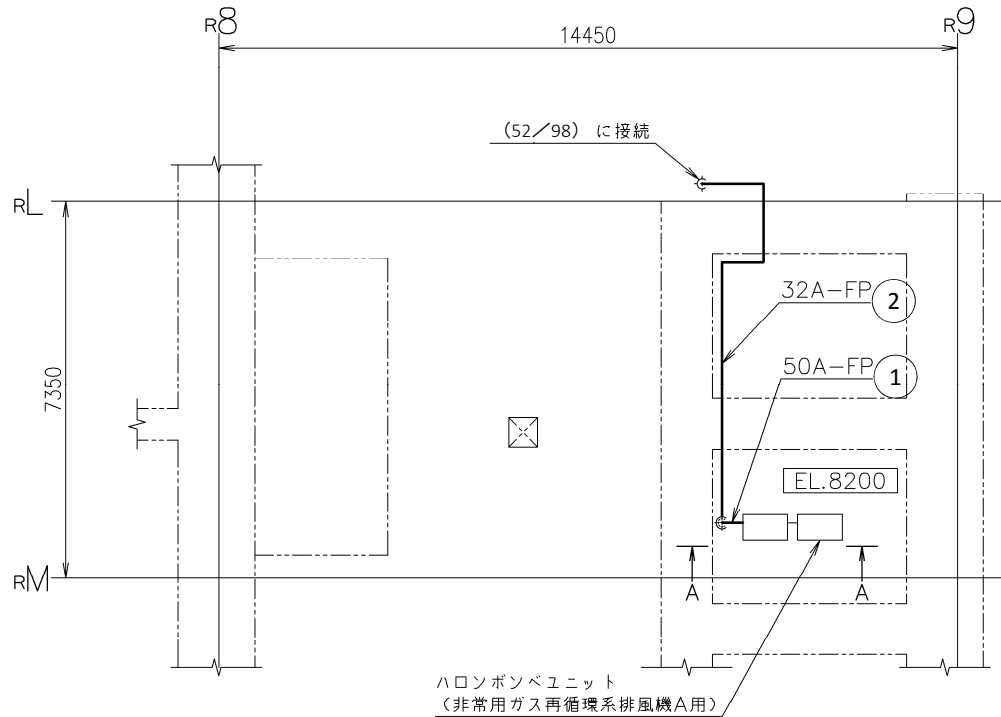
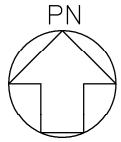
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (B系蓄電池室(南側) 用)~B系蓄電池室(南 側)噴射ノズル分岐点	1	27.2	2.9	SUS304TP



注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-50 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (50/98)
日本原子力発電株式会社	

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

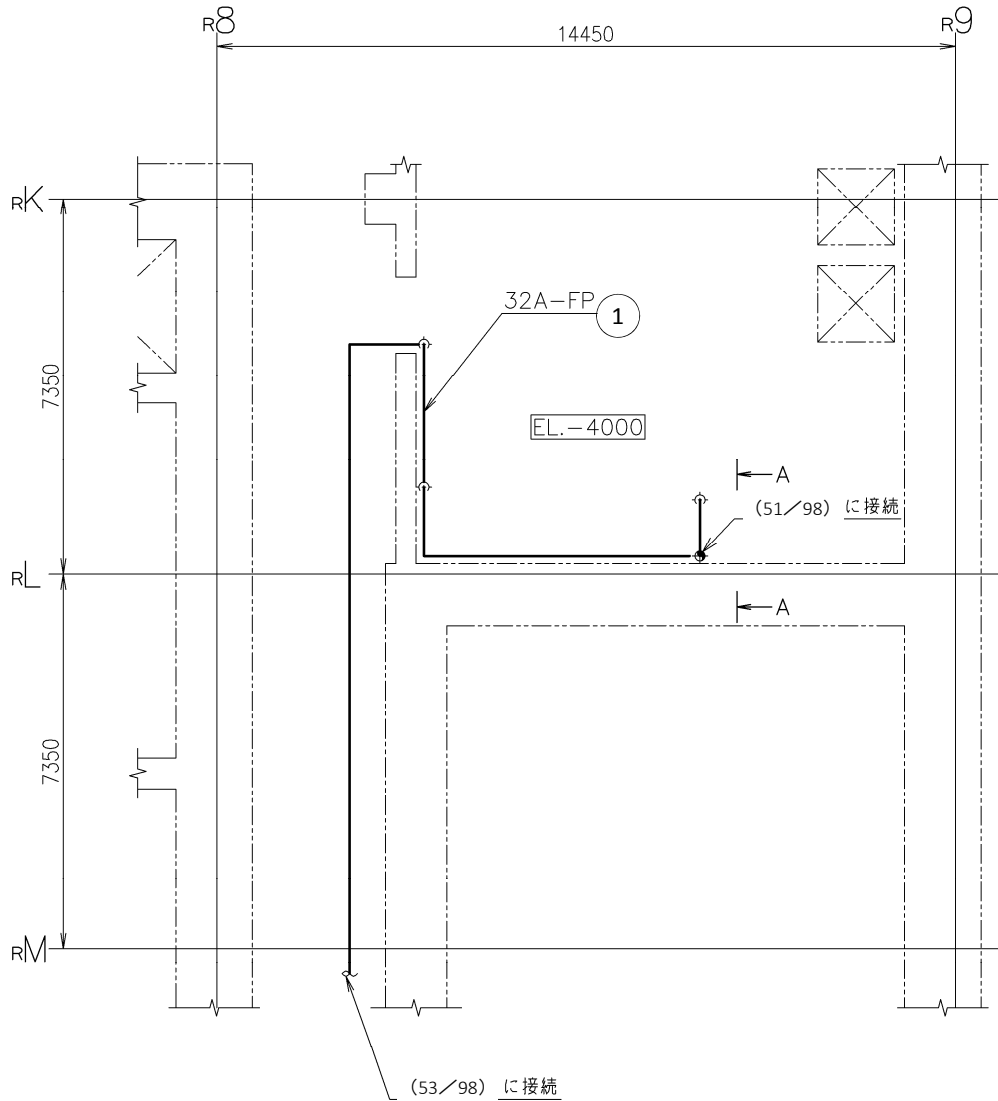
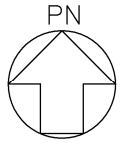


管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (非常用ガス再循環系 排風機A用) ~非常用 ガス再循環系排風機A 噴射ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	42.7	3.6	SUS304TP

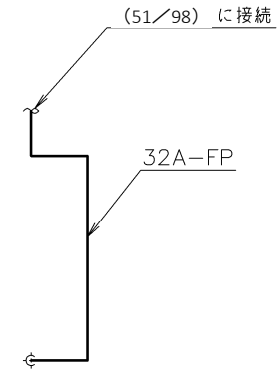
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-51 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (51/98)
日本原子力発電株式会社	



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス再循環系 排風機A用) ~非常用 ガス再循環系排風機A 噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP

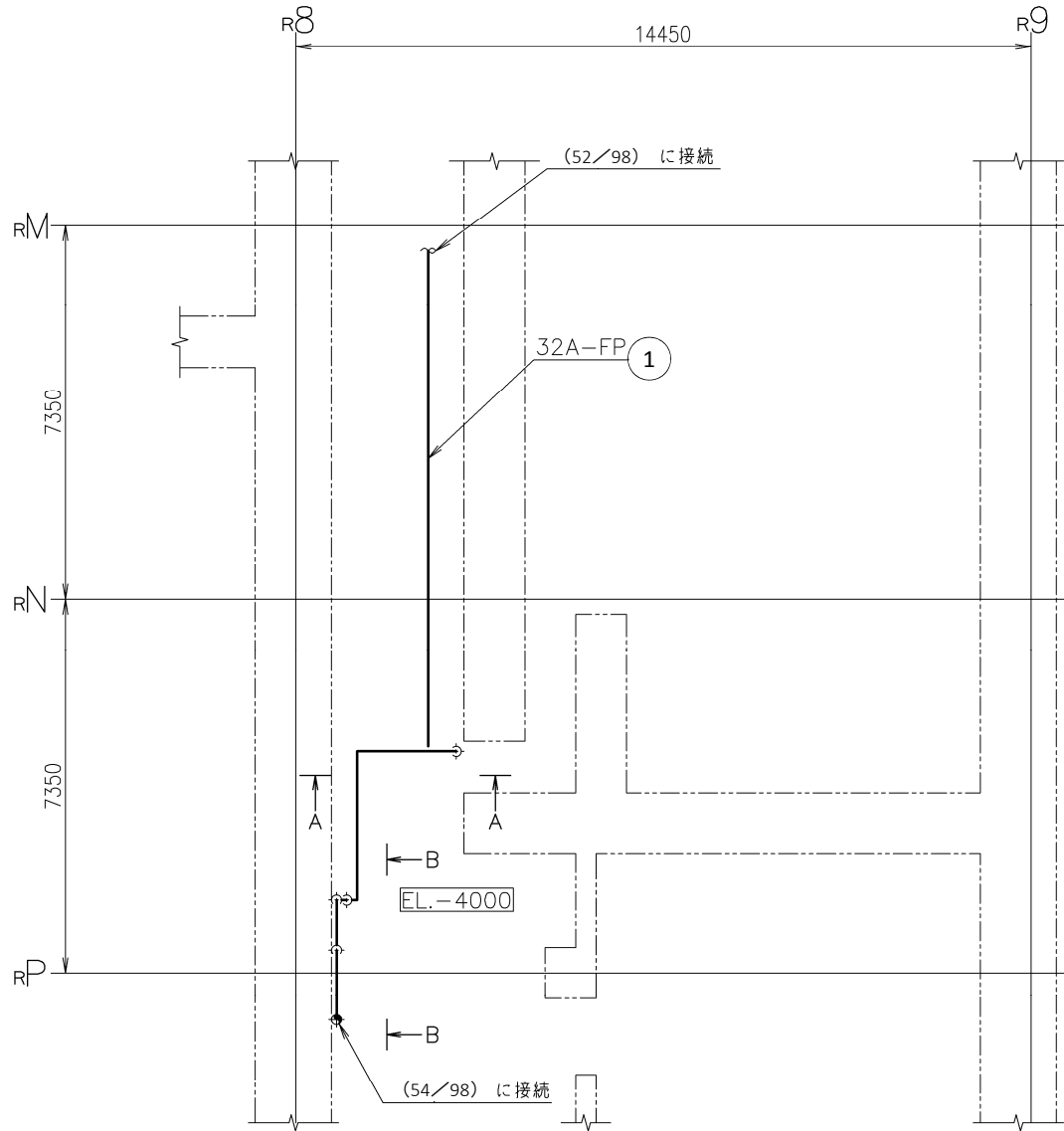
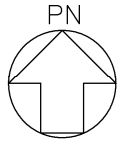


A~A矢視図

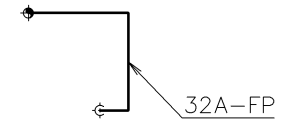
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

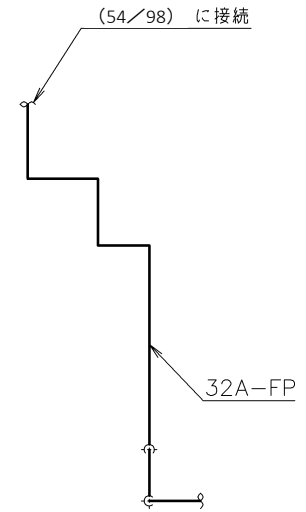
工事計画認可申請	第 9-3-1-3-52 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (52/98)
日本原子力発電株式会社	



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス再循環系 排風機A用) ~非常用 ガス再循環系排風機A 噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP



A~A矢視図



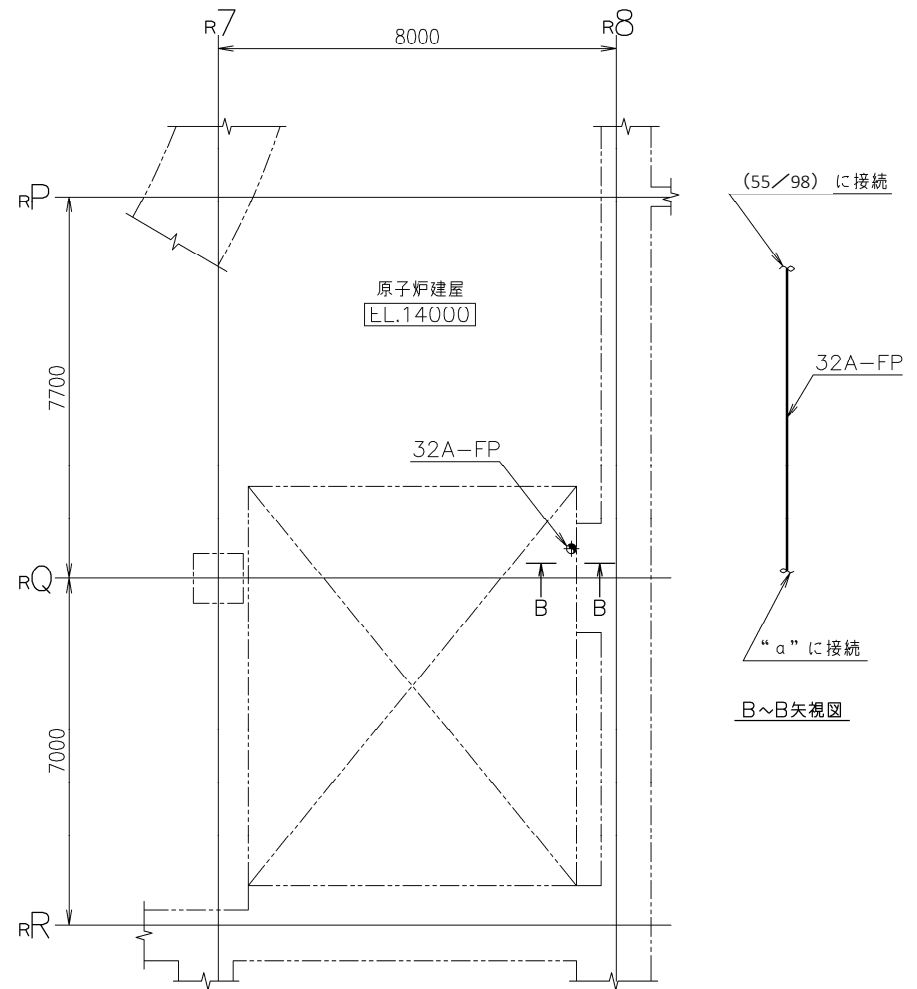
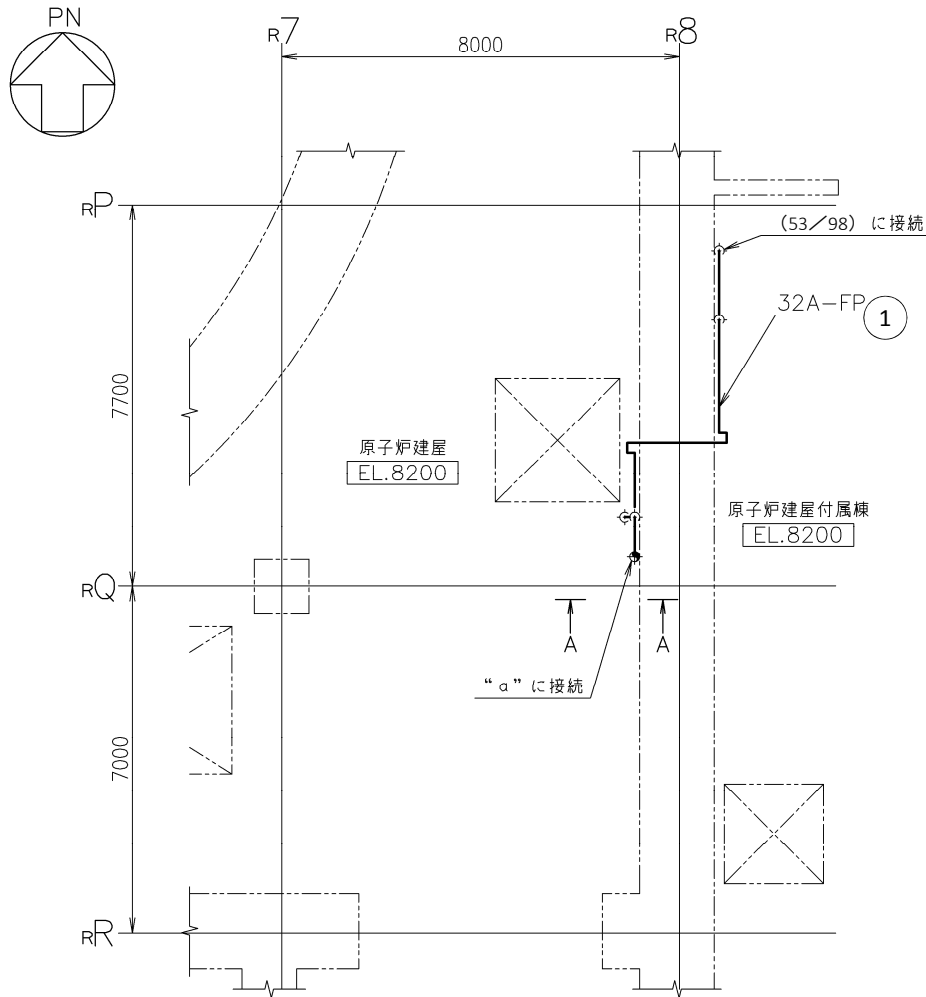
B~B矢視図

注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-53 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (53/98)
日本原子力発電株式会社	

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス再循環系 排風機A用) ~非常用 ガス再循環系排風機A 噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP

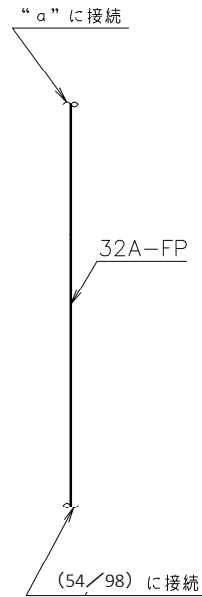
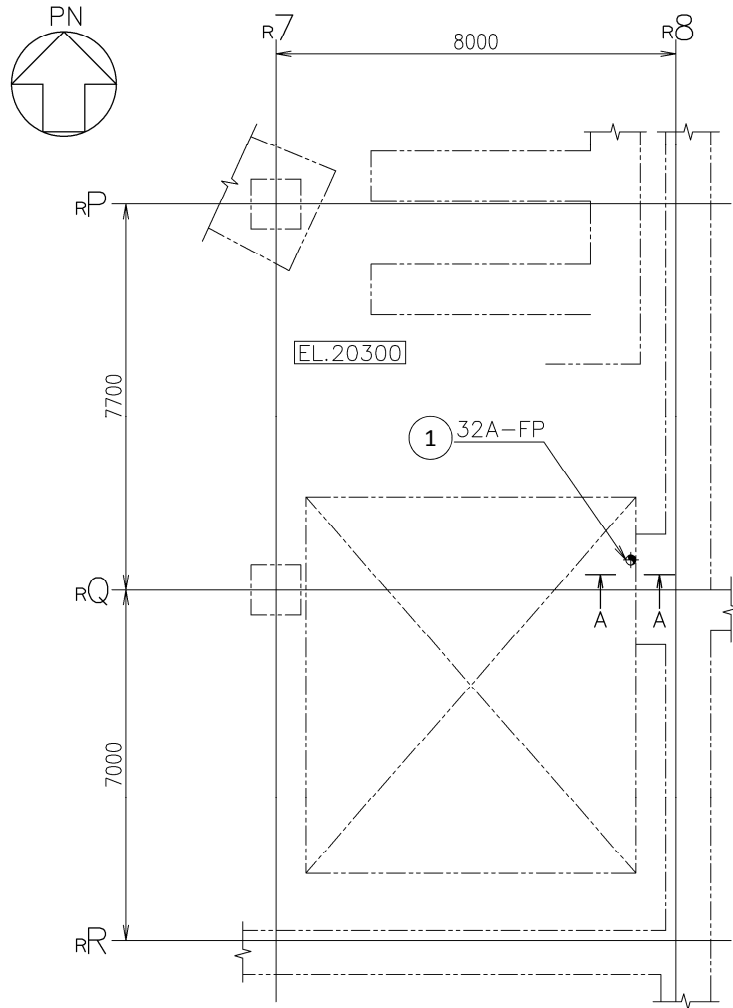


注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

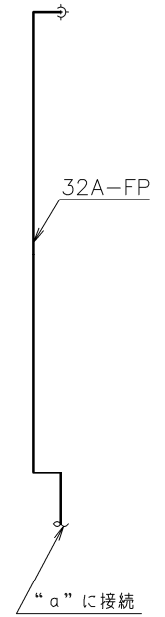
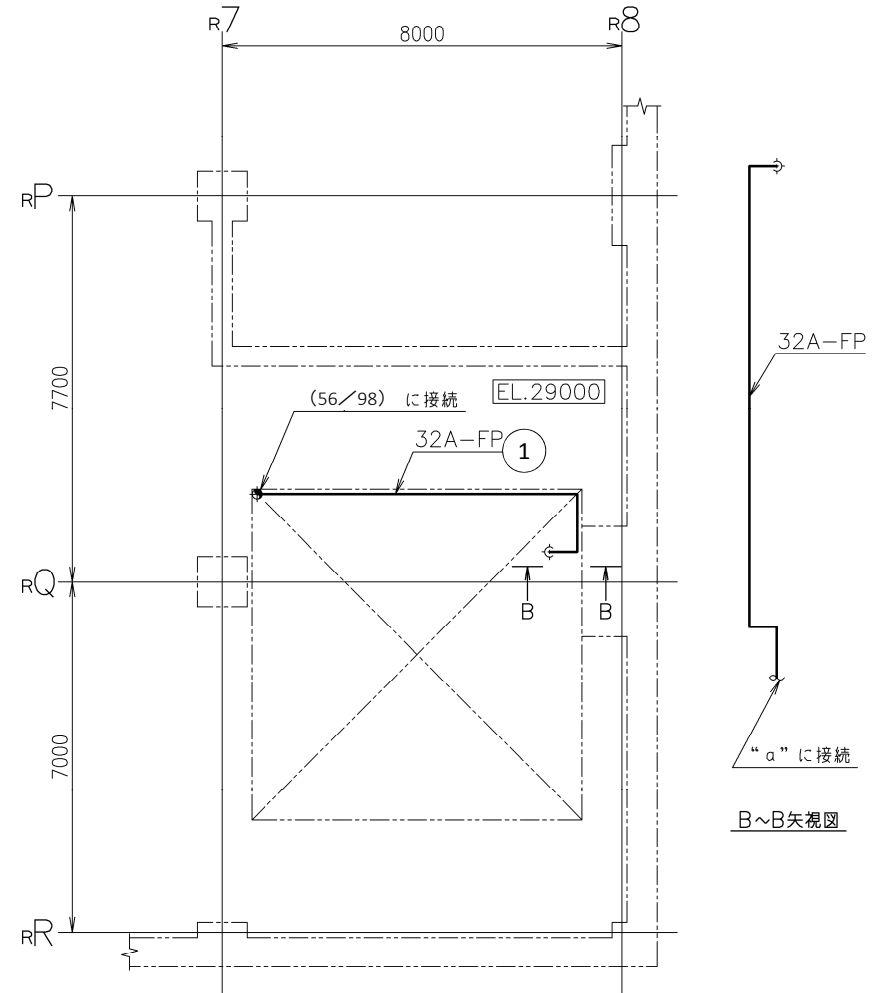
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請		第 9-3-1-3-54 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (54/98)		
日本原子力発電株式会社			

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (非常用ガス再循環系 排風機A用) ~非常用 ガス再循環系排風機A 噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP



A~A矢視図



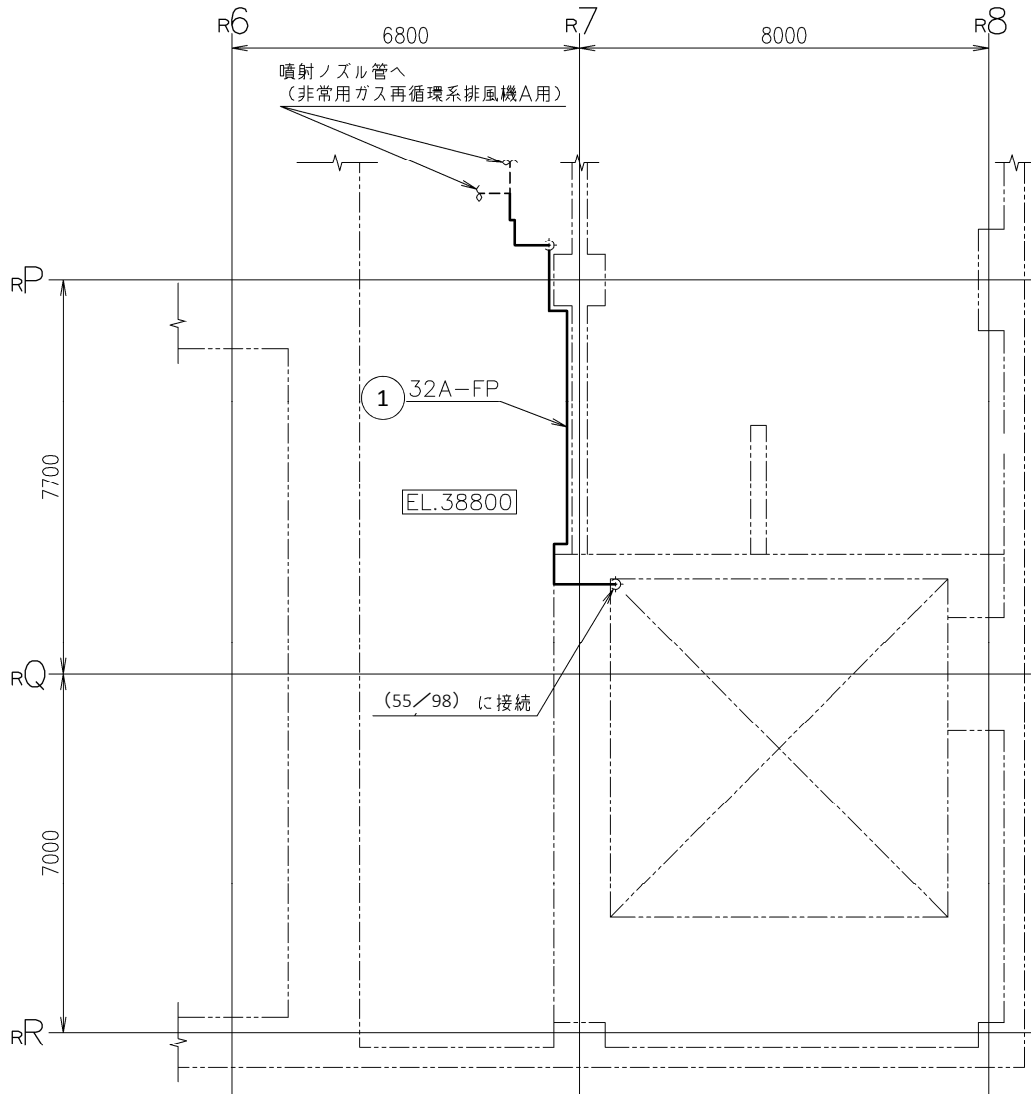
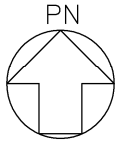
B~B矢視図

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。

注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-55 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (55/98)
日本原子力発電株式会社	



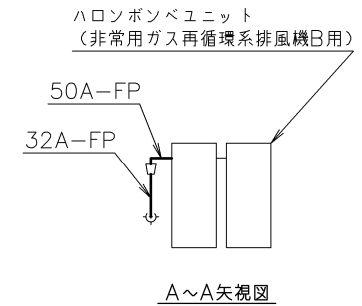
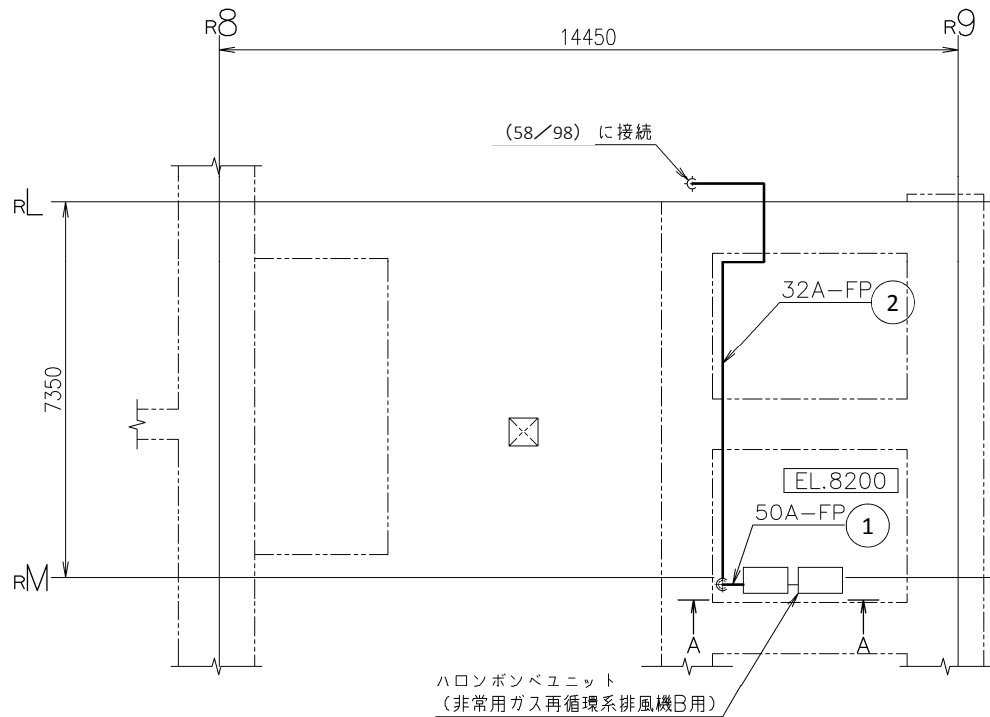
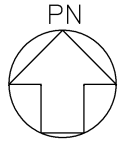
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス再循環系 排風機A用) ~非常用 ガス再循環系排風機A 噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP

注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-56 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (56/98)
日本原子力発電株式会社	



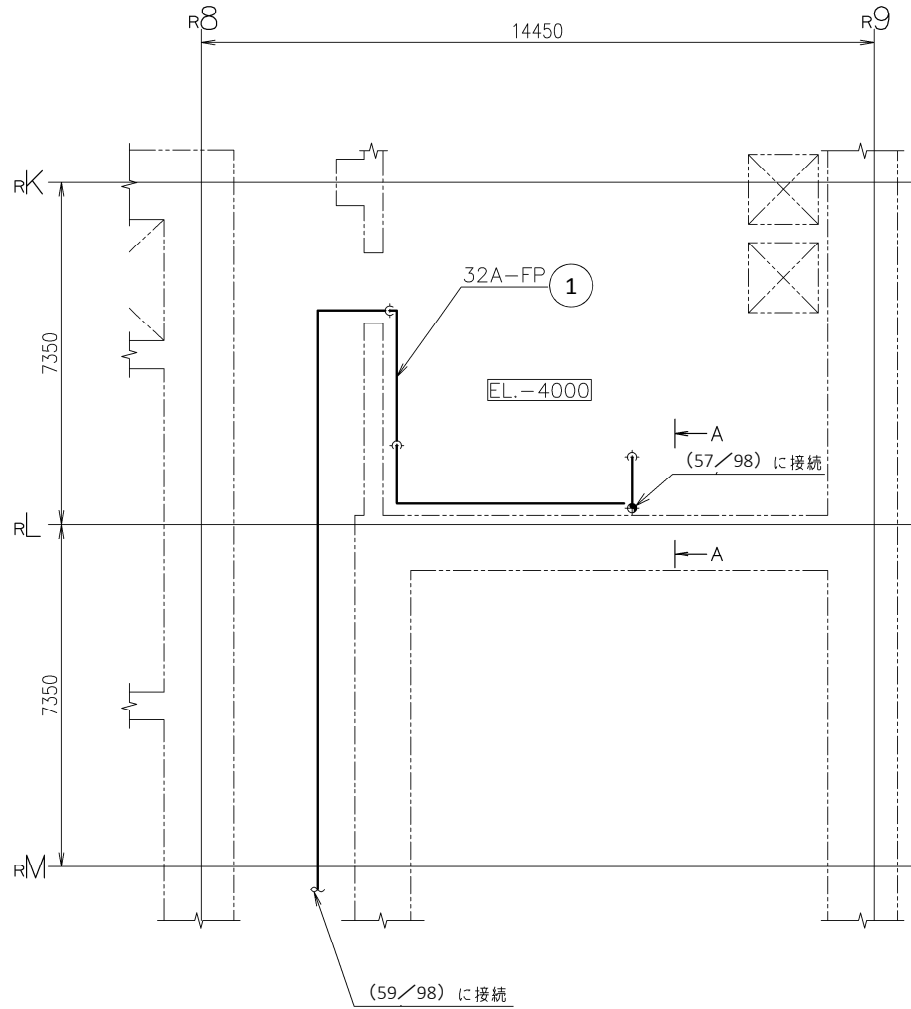
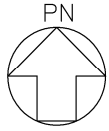


注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
 注2：寸法はmmを示す。

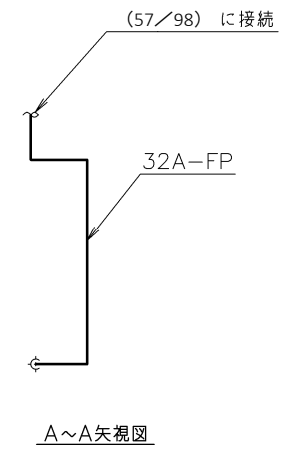
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス再循環系 排風機B用) ~非常用 ガス再循環系排風機B 噴射ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	42.7	3.6	SUS304TP

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請		第 9-3-1-3-57 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (57/98)	
日本原子力発電株式会社		



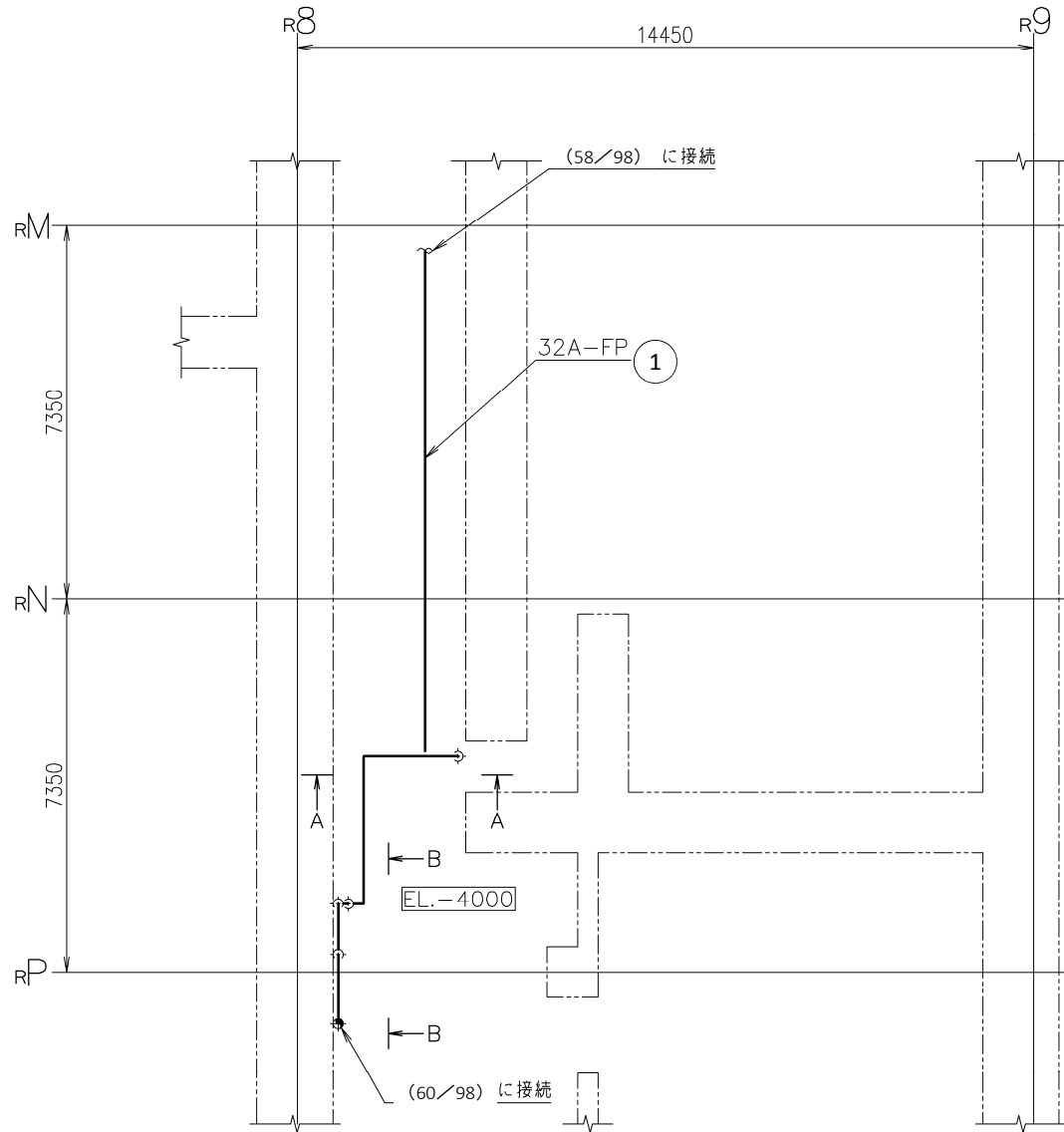
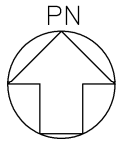
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス再循環系 排風機B用) ~非常用 ガス再循環系排風機B 噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP



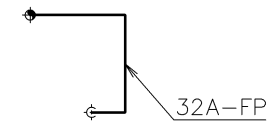
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-58 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (58/98)
日本原子力発電株式会社	

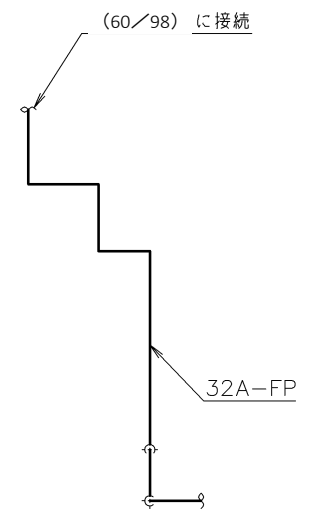
注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (非常用ガス再循環系 排風機B用) ~非常用 ガス再循環系排風機B 噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP



A~A矢視図



B~B矢視図

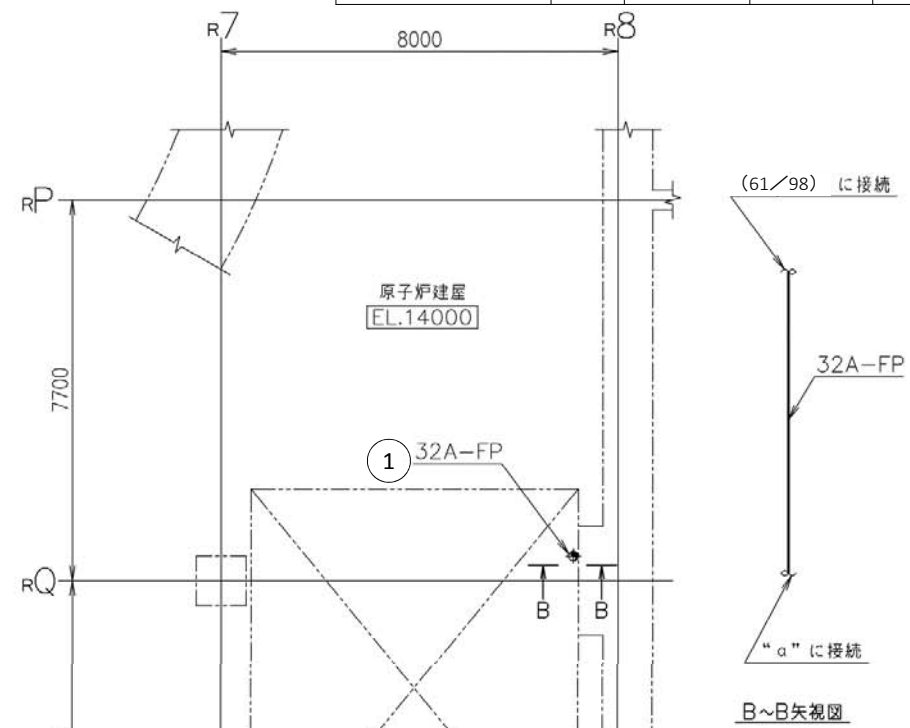
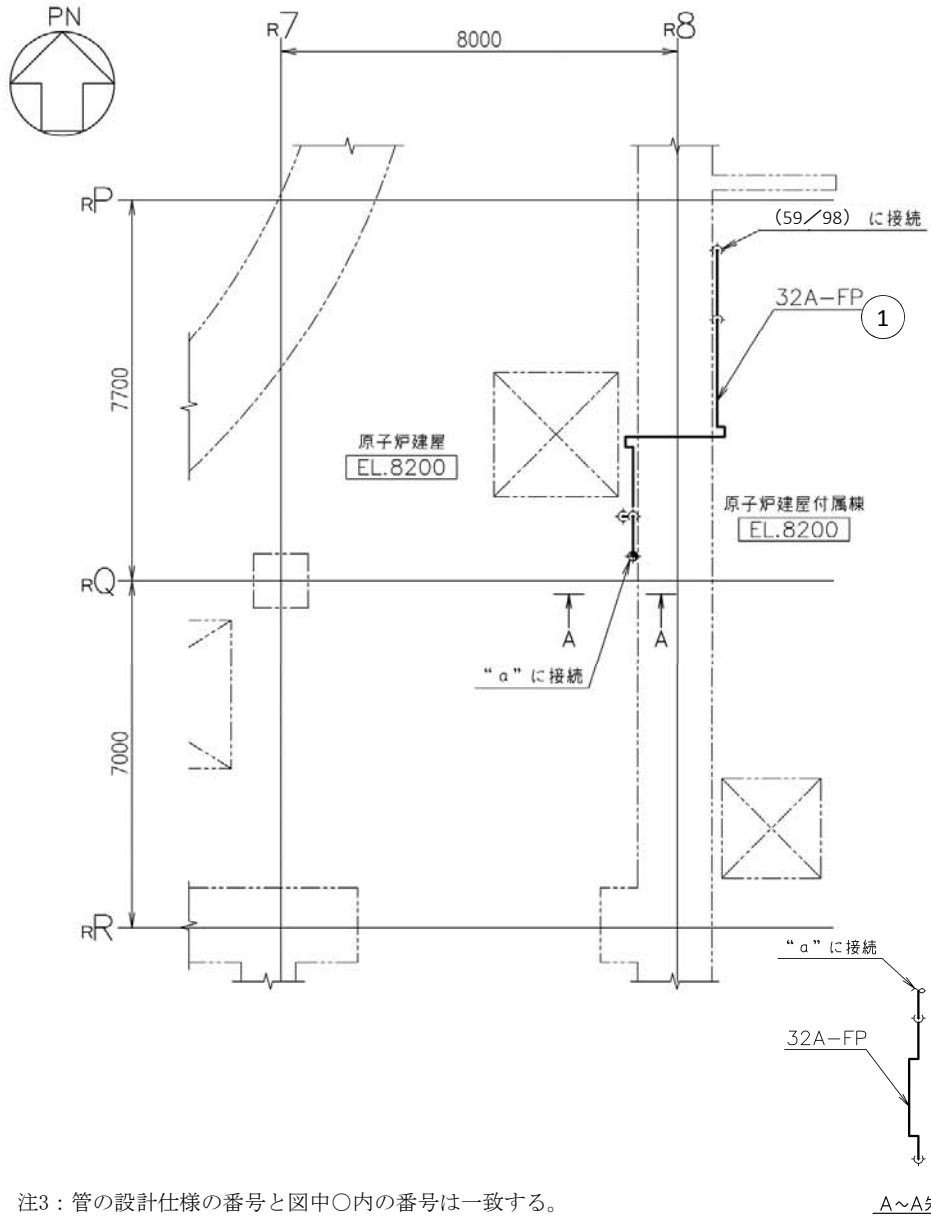
注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。

注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-59 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (59/98)
日本原子力発電株式会社	

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス再循環系 排風機B用) ~非常用 ガス再循環系排風機B 噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP

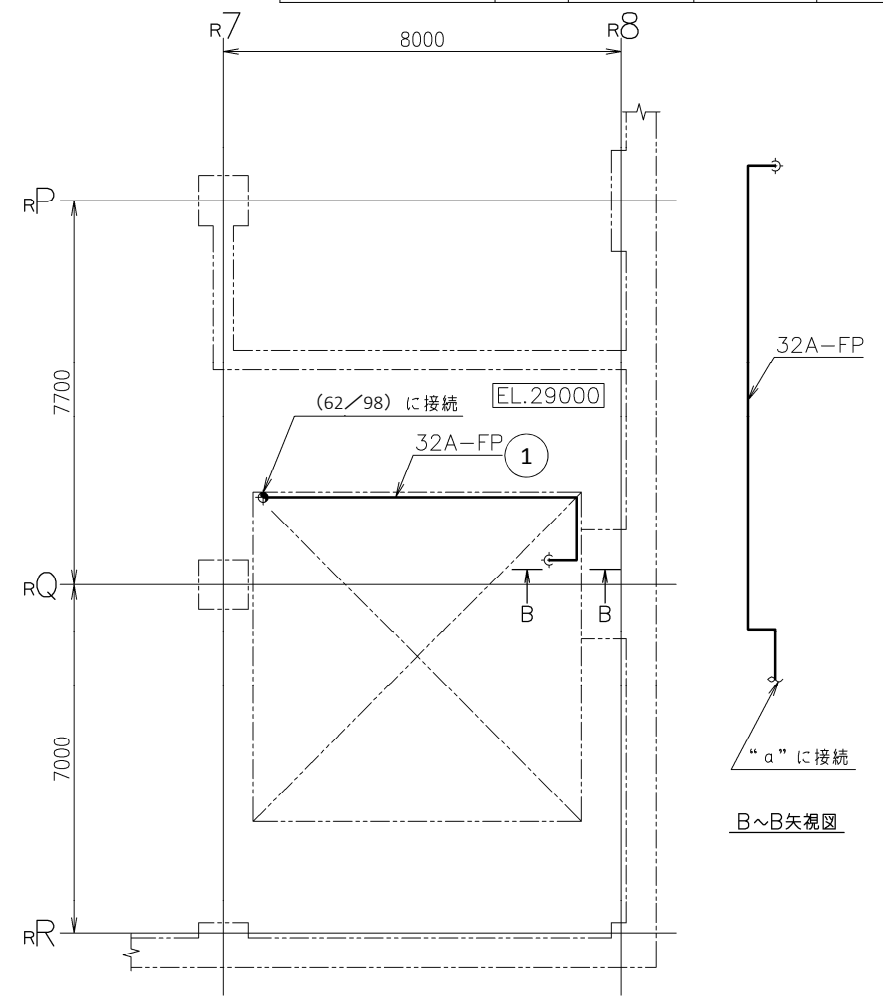
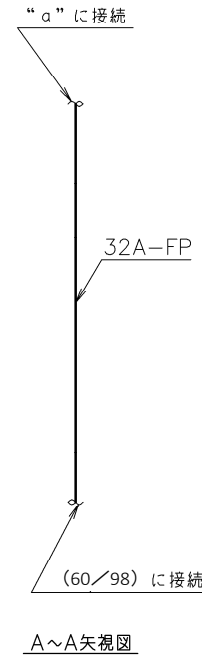
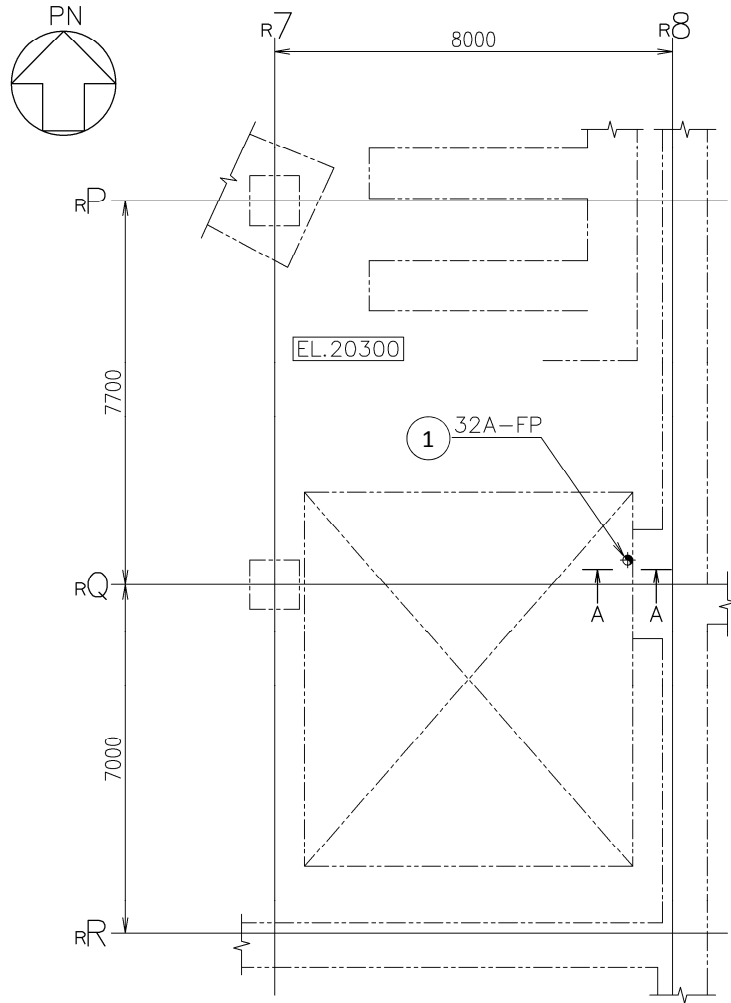


注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-60 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (60/98)
日本原子力発電株式会社	

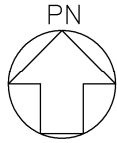
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス再循環系 排風機B用) ~非常用 ガス再循環系排風機B 噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP



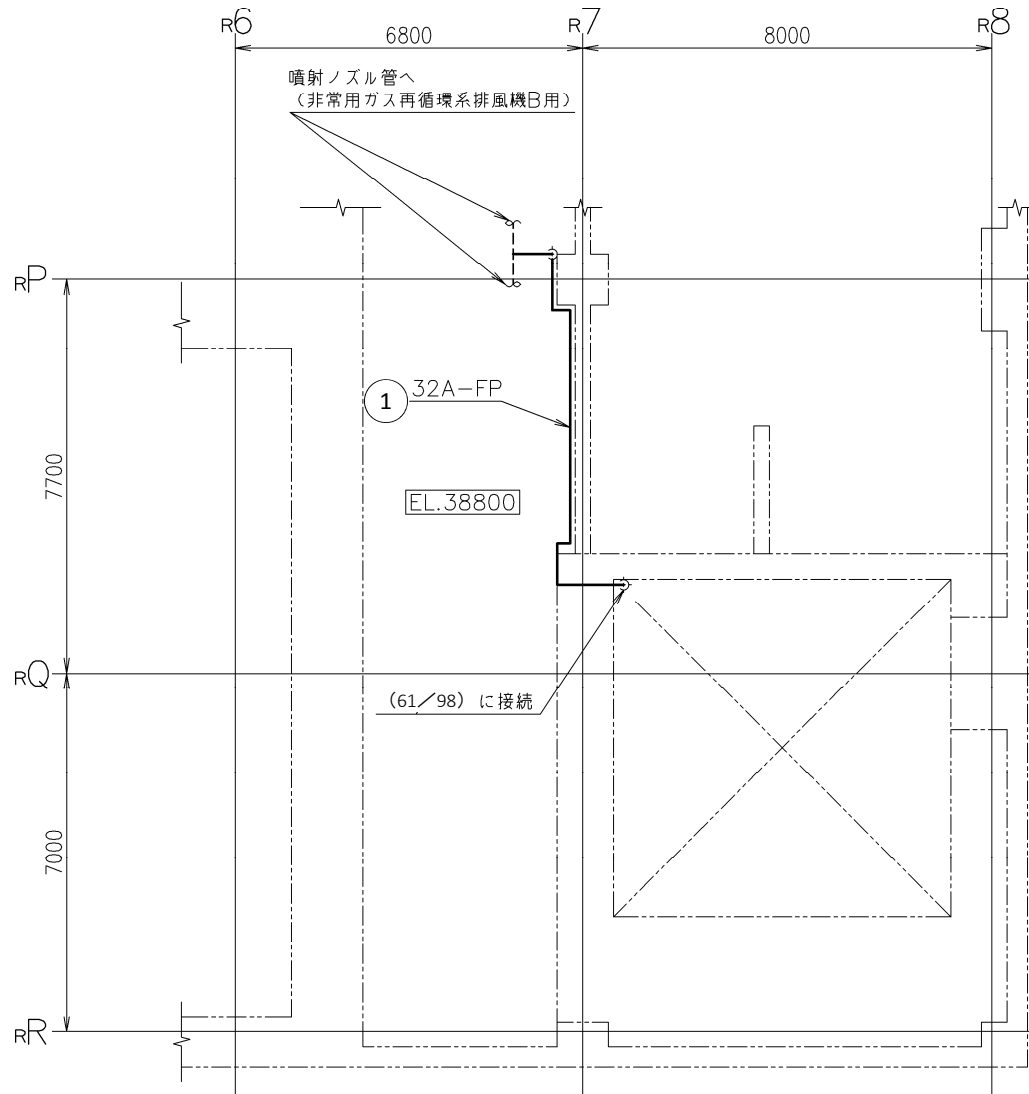
注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-61 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (61/98)
日本原子力発電株式会社	



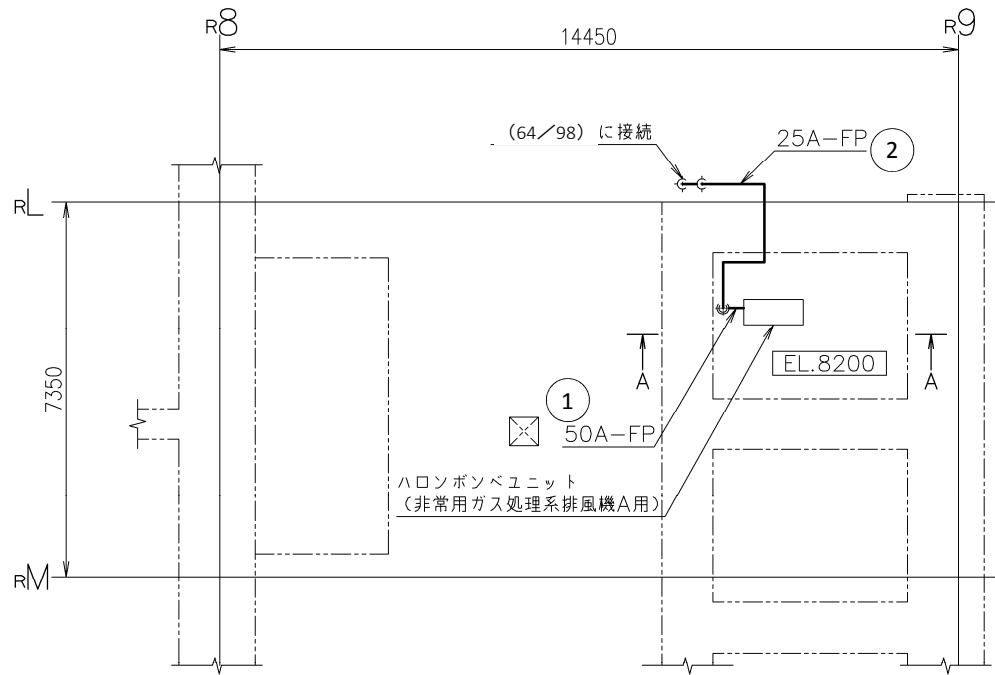
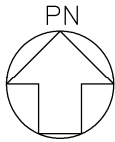
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス再循環系 排風機B用) ~非常用 ガス再循環系排風機B 噴射ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP



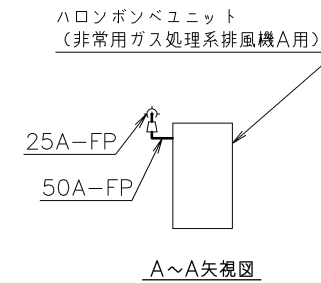
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-62 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (62/98)
日本原子力発電株式会社	



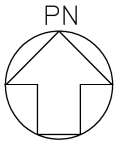
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (非常用ガス処理系排風機A用) ~非常用ガス処理系排風機A噴射ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	34.0	3.4	SUS304TP



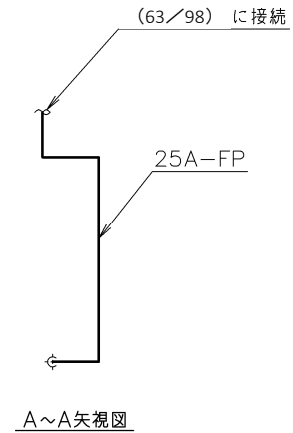
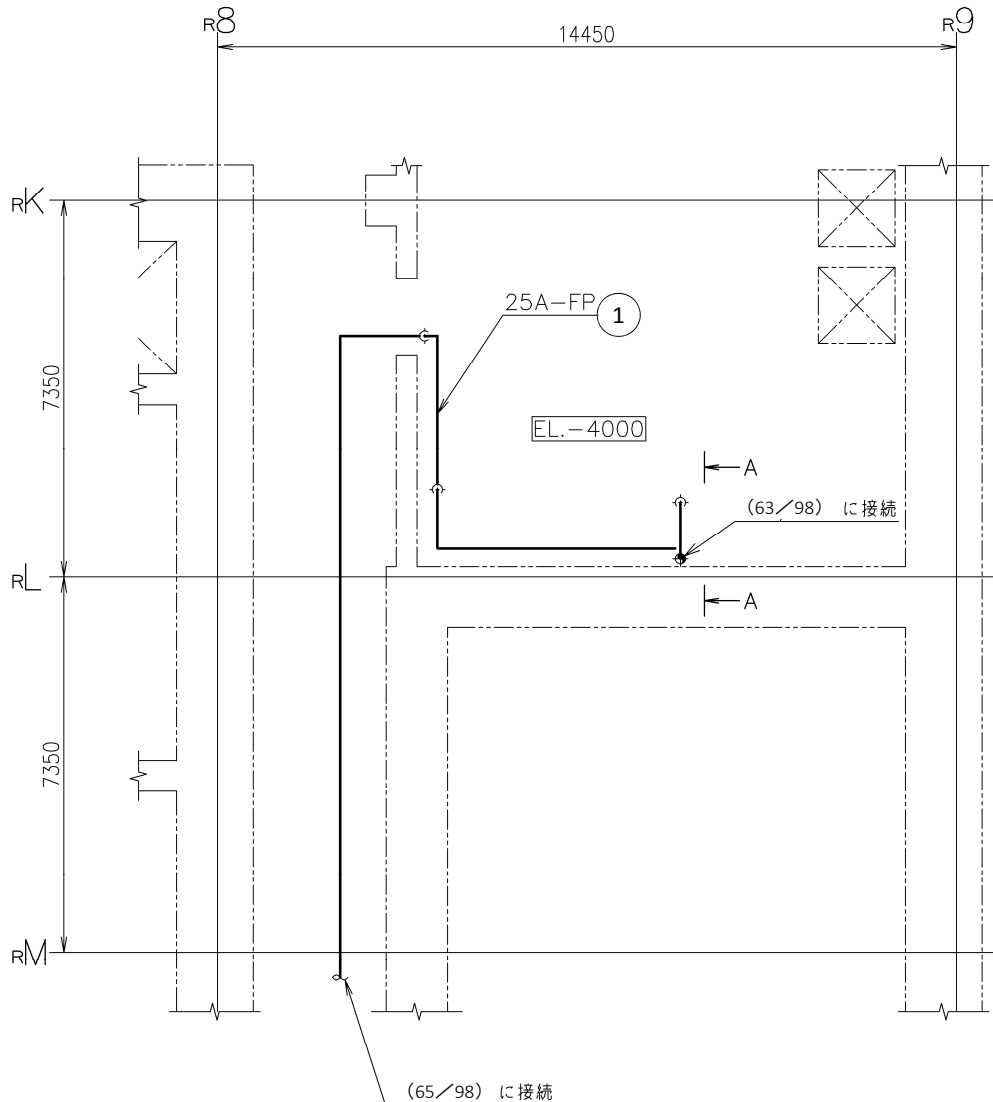
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-63 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (63/98)
日本原子力発電株式会社	



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス処理系排 風機A用) ~非常用ガ ス処理系排風機A噴射 ノズル分岐点	1	34.0	3.4	SUS304TP

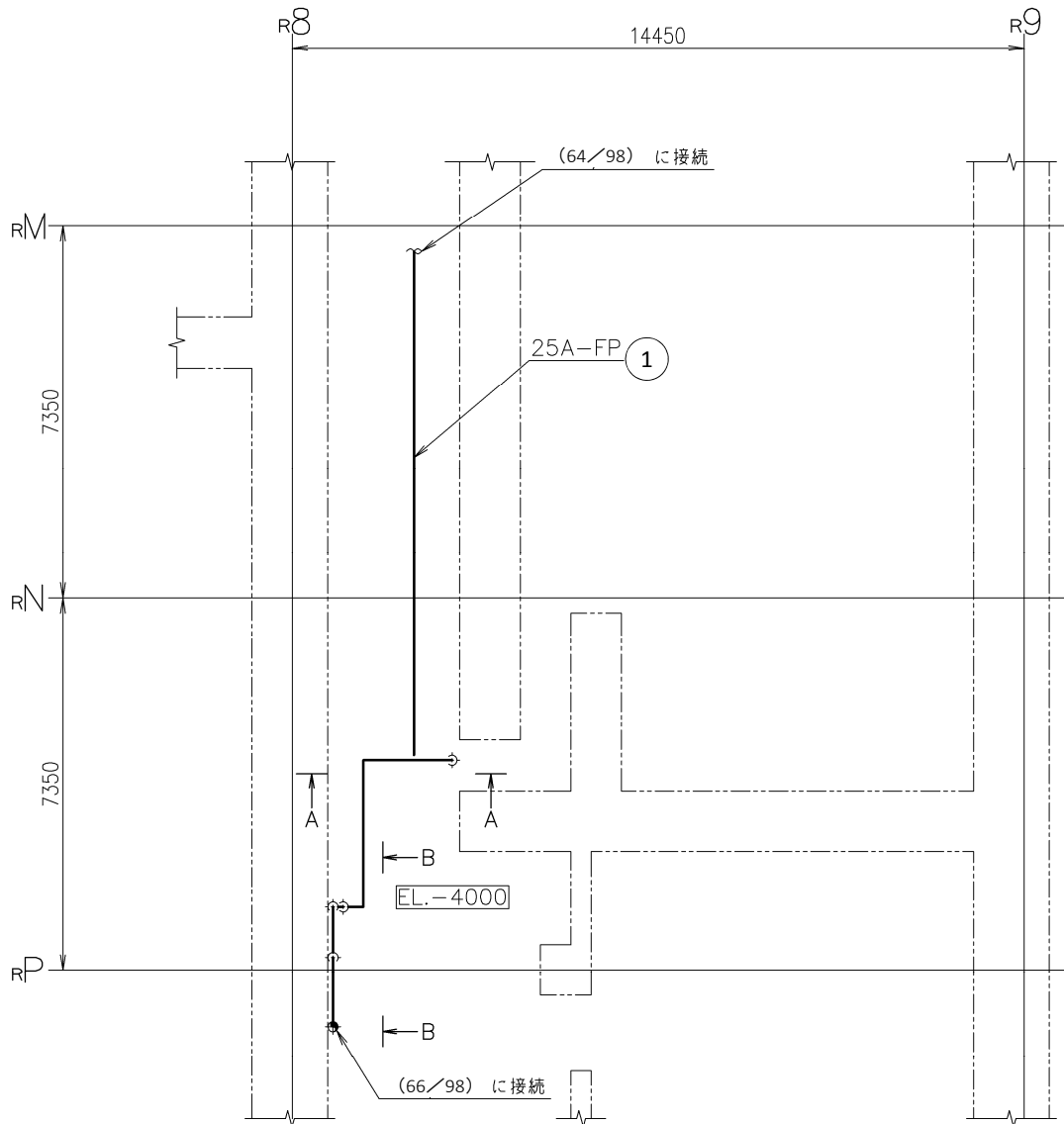
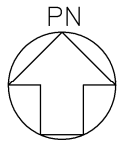


注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

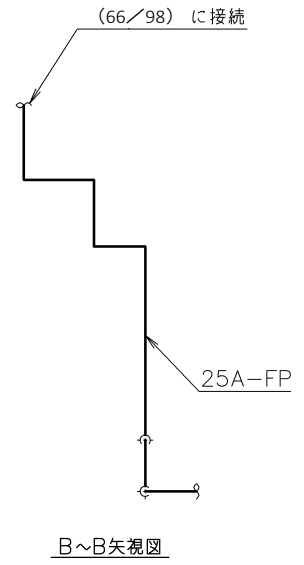
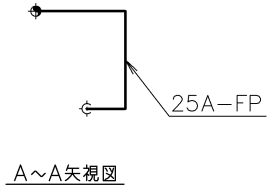
工事計画認可申請	第 9-3-1-3-64 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (64/98)
日本原子力発電株式会社	

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。





管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス処理系排 風機A用) ~非常用ガ ス処理系排風機A噴射 ノズル分岐点	1	34.0	3.4	SUS304TP

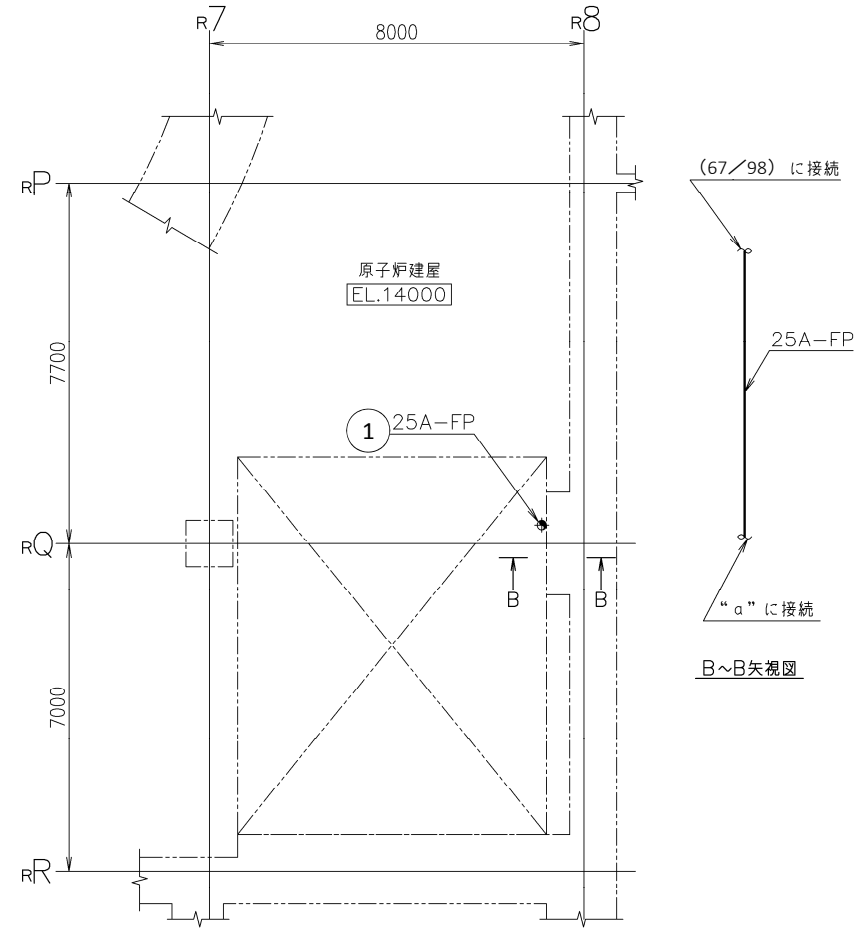
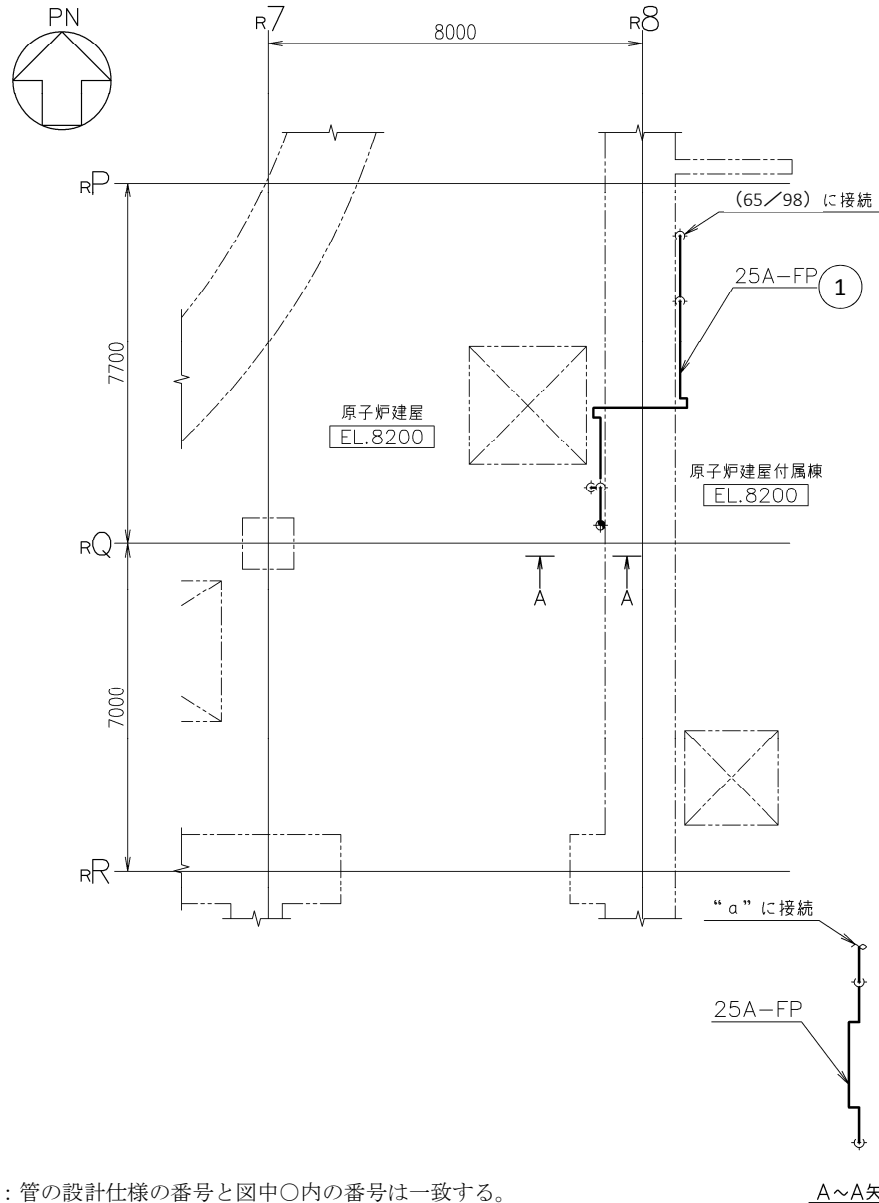


注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

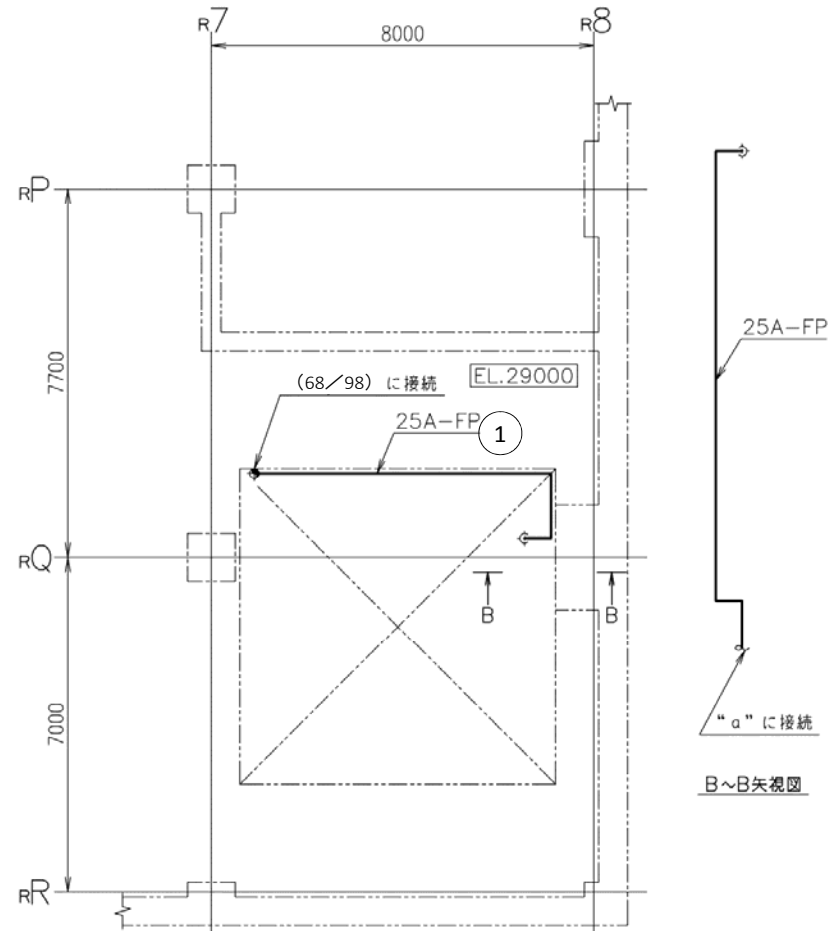
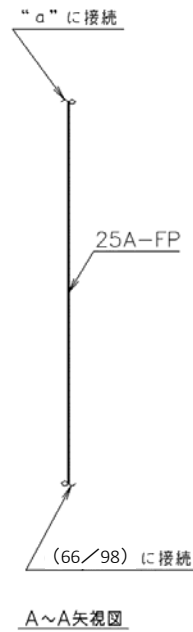
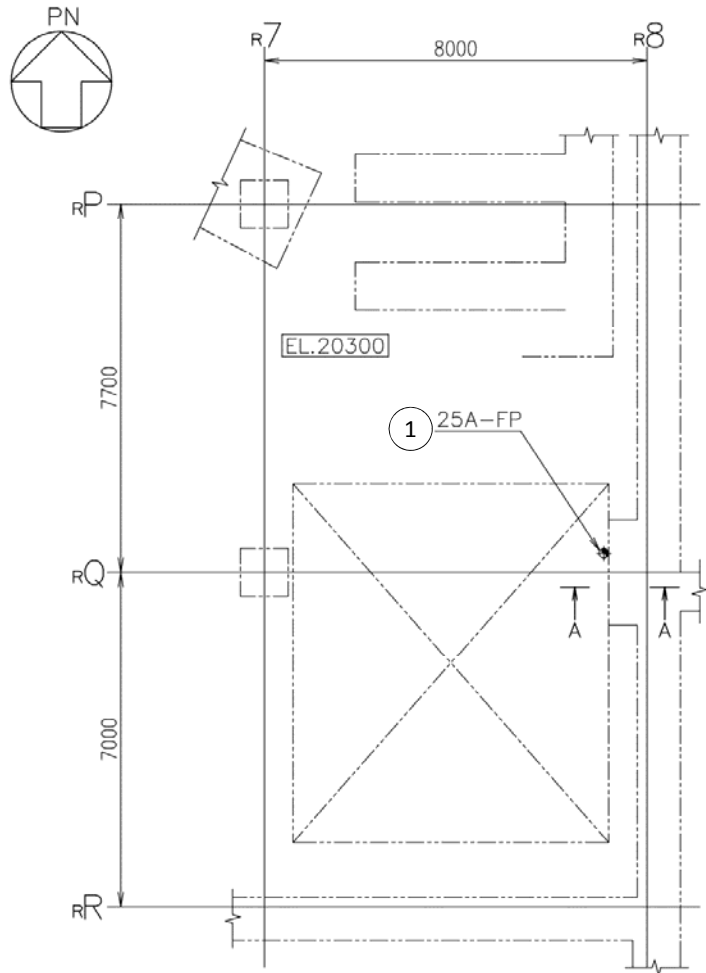
工事計画認可申請		第 9-3-1-3-65 図	
東海第二発電所			
名	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (65/98)		
称	日本原子力発電株式会社		

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス処理系排 風機A用) ~非常用ガ ス処理系排風機A噴射 ノズル分岐点	1	34.0	3.4	SUS304TP



工事計画認可申請	第 9-3-1-3-66 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (66/98)
日本原子力発電株式会社	

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス処理系排 風機A用) ~非常用ガ ス処理系排風機A噴射 ノズル分岐点	1	34.0	3.4	SUS304TP

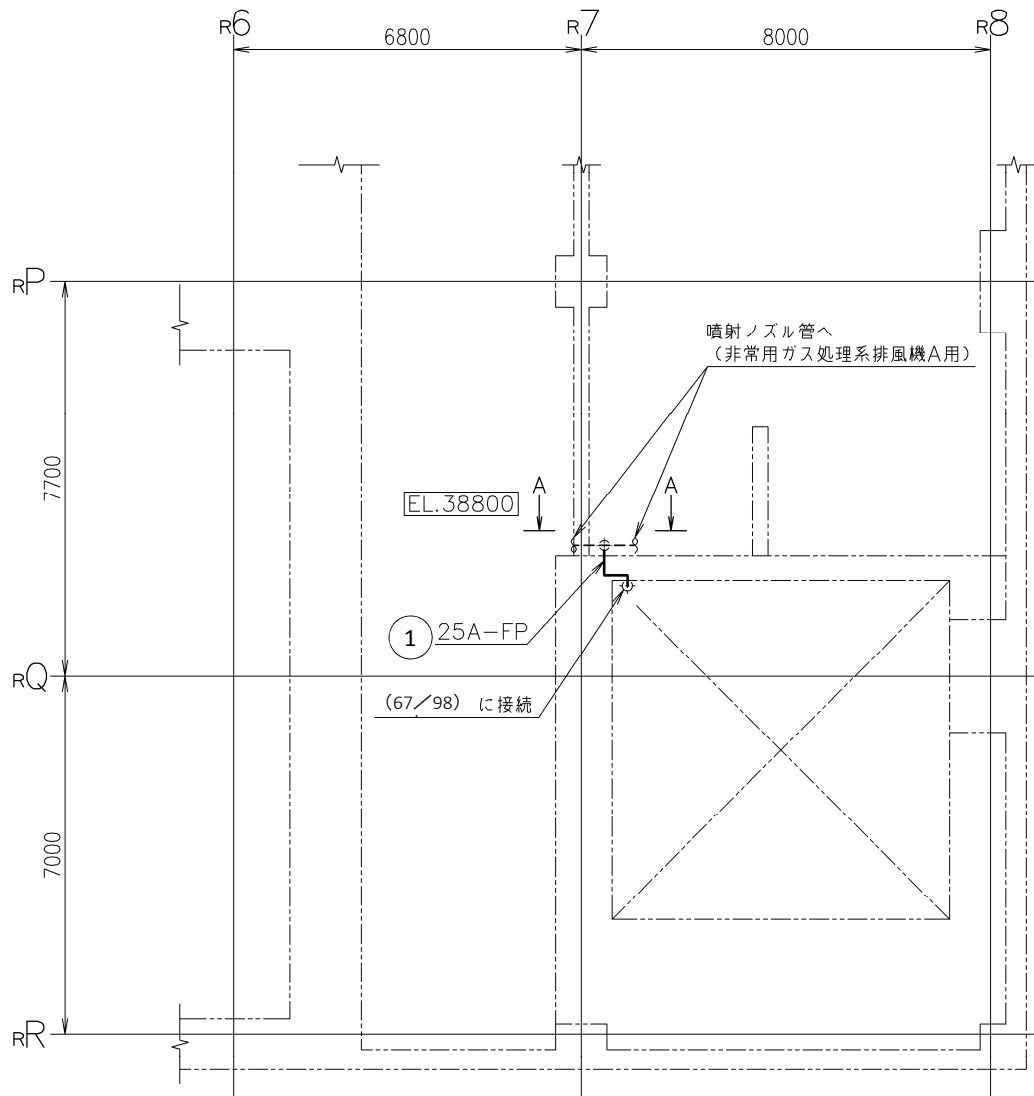
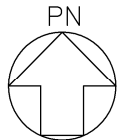


注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

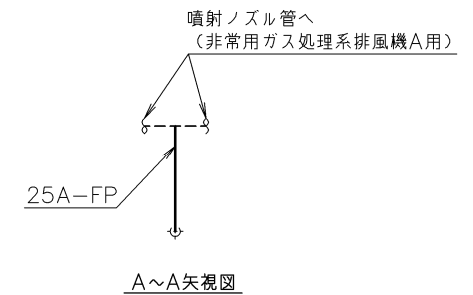
注1：太線は今回の申請範囲を示す。

注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-67 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (67/98)
日本原子力発電株式会社	



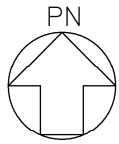
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス処理系排風機A用) ~ 非常用ガス処理系排風機A噴射ノズル分岐点	1	34.0	3.4	SUS304TP



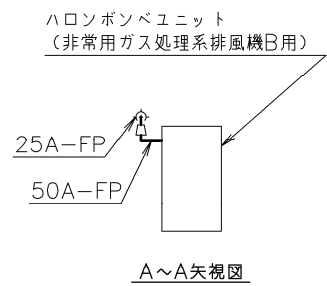
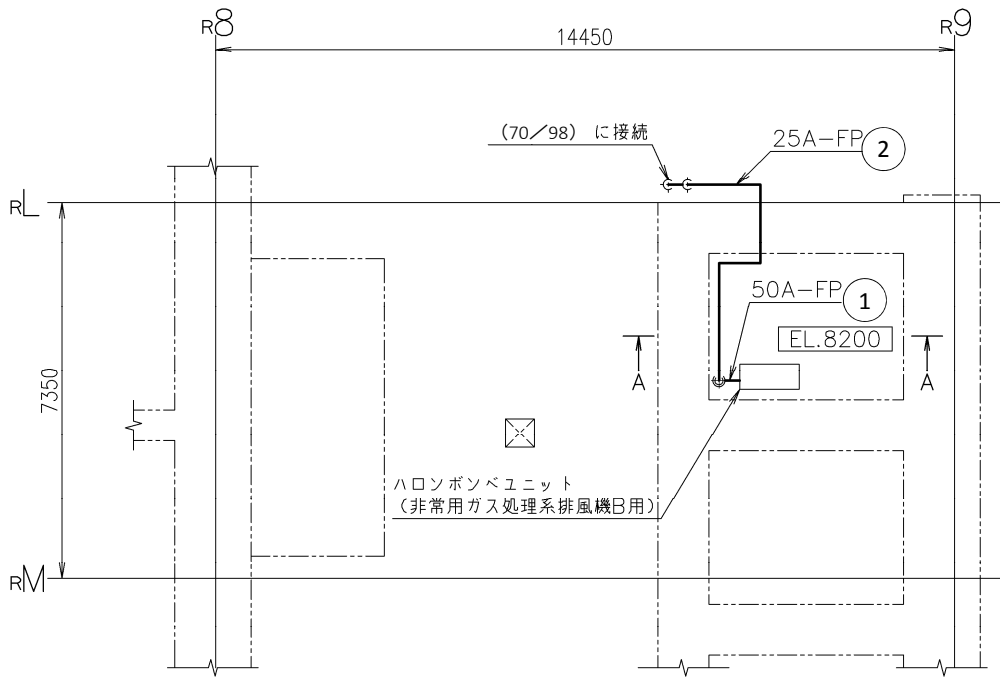
注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-68 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (68/98)
日本原子力発電株式会社	



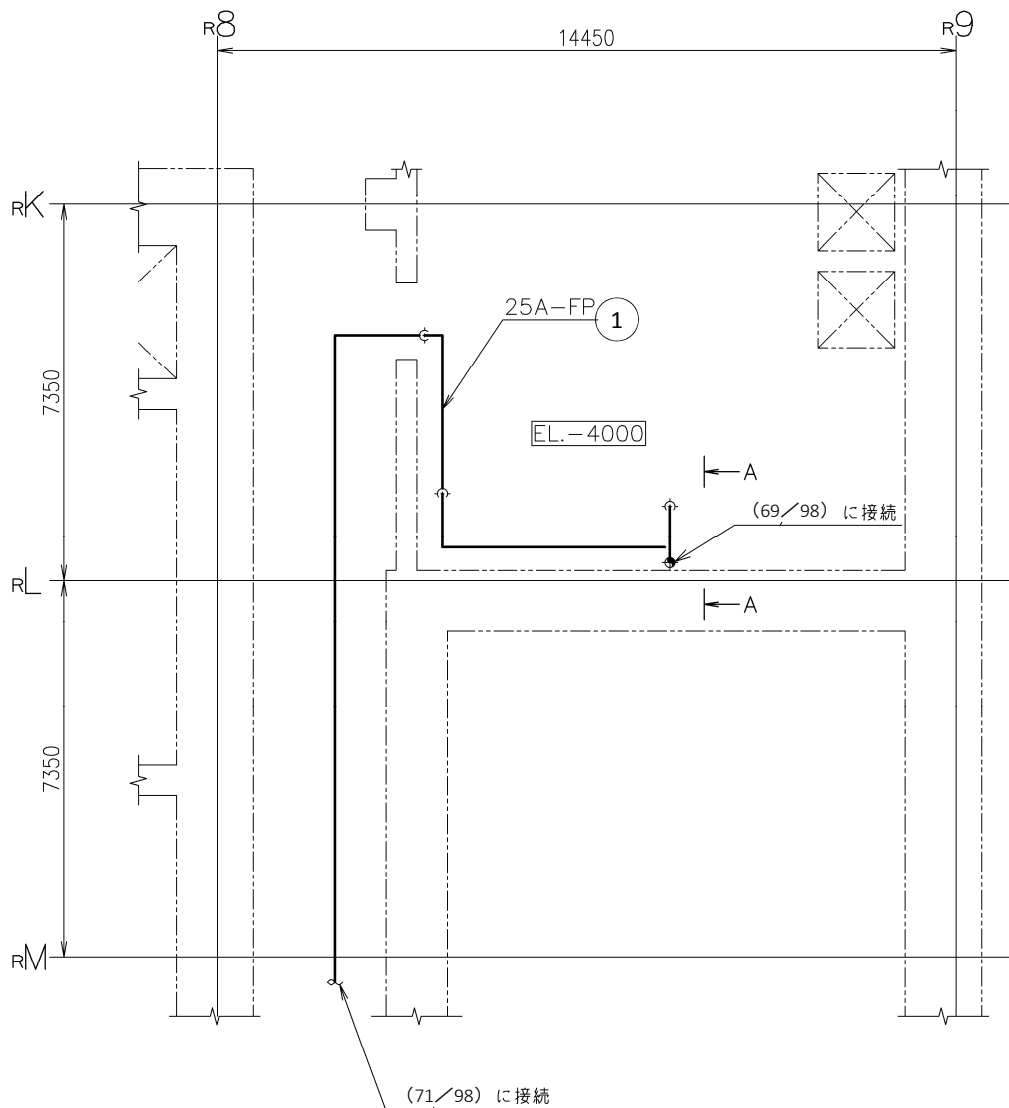
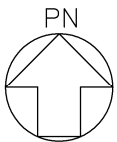
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス処理系排風機B用) ~ 非常用ガス 処理系排風機B噴射 ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	34.0	3.4	SUS304TP



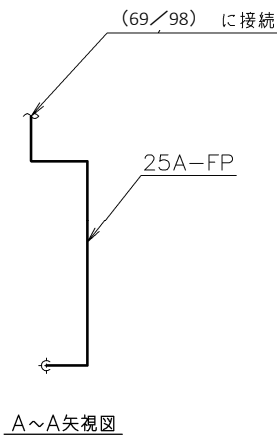
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-69 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (69/98)
日本原子力発電株式会社	



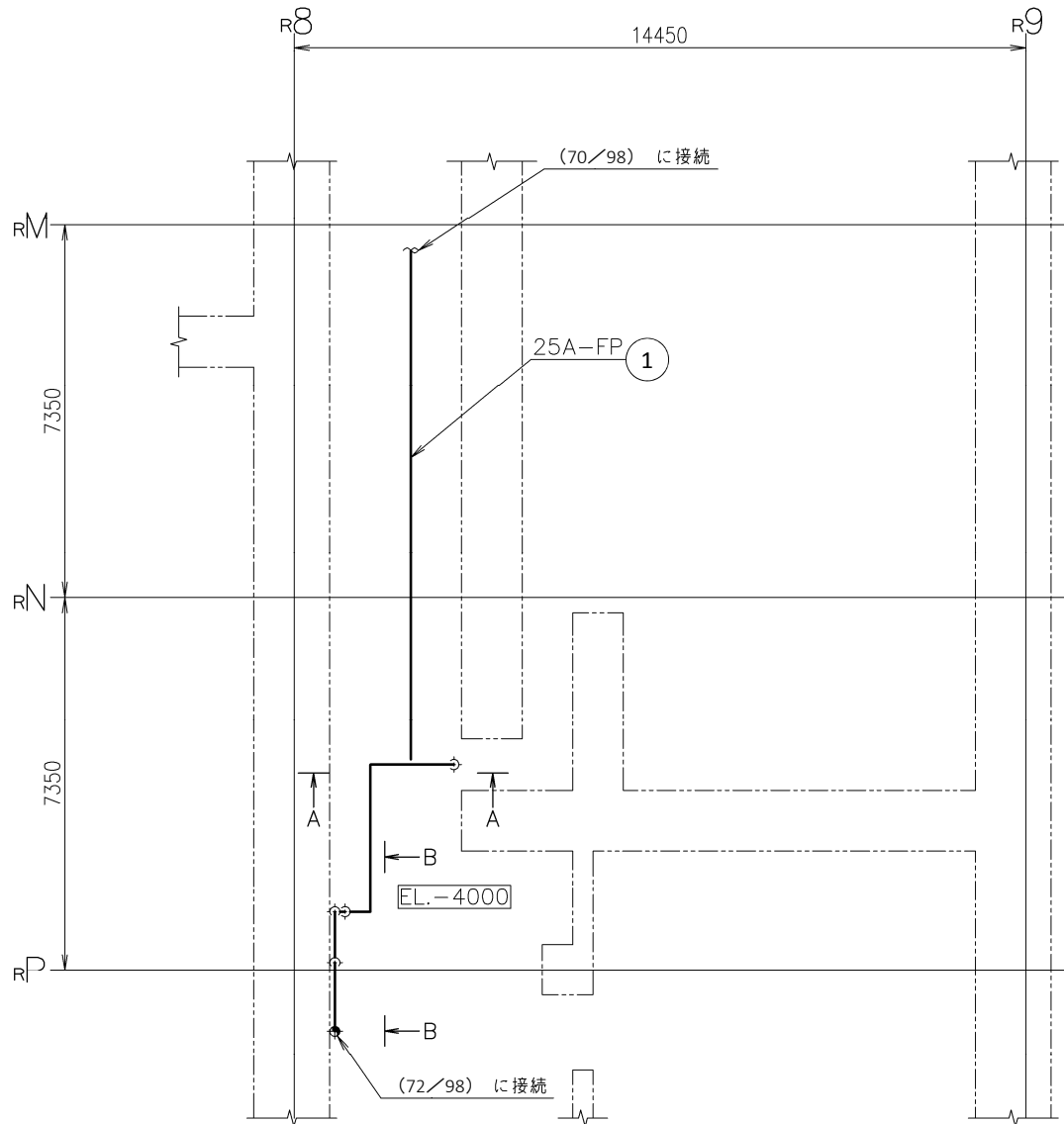
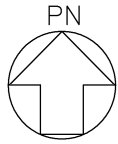
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス処理系排 風機B用) ~非常用ガ ス処理系排風機B噴射 ノズル分岐点	1	34.0	3.4	SUS304TP



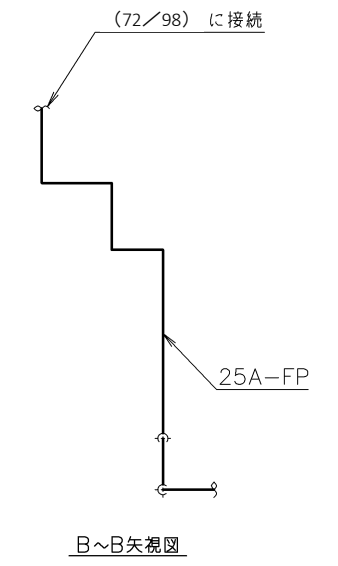
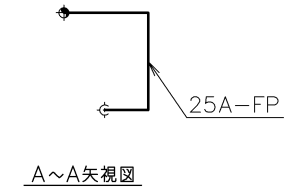
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-70 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (70/98)
日本原子力発電株式会社	



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス処理系排 風機B用) ~非常用ガ ス処理系排風機B噴射 ノズル分岐点	1	34.0	3.4	SUS304TP

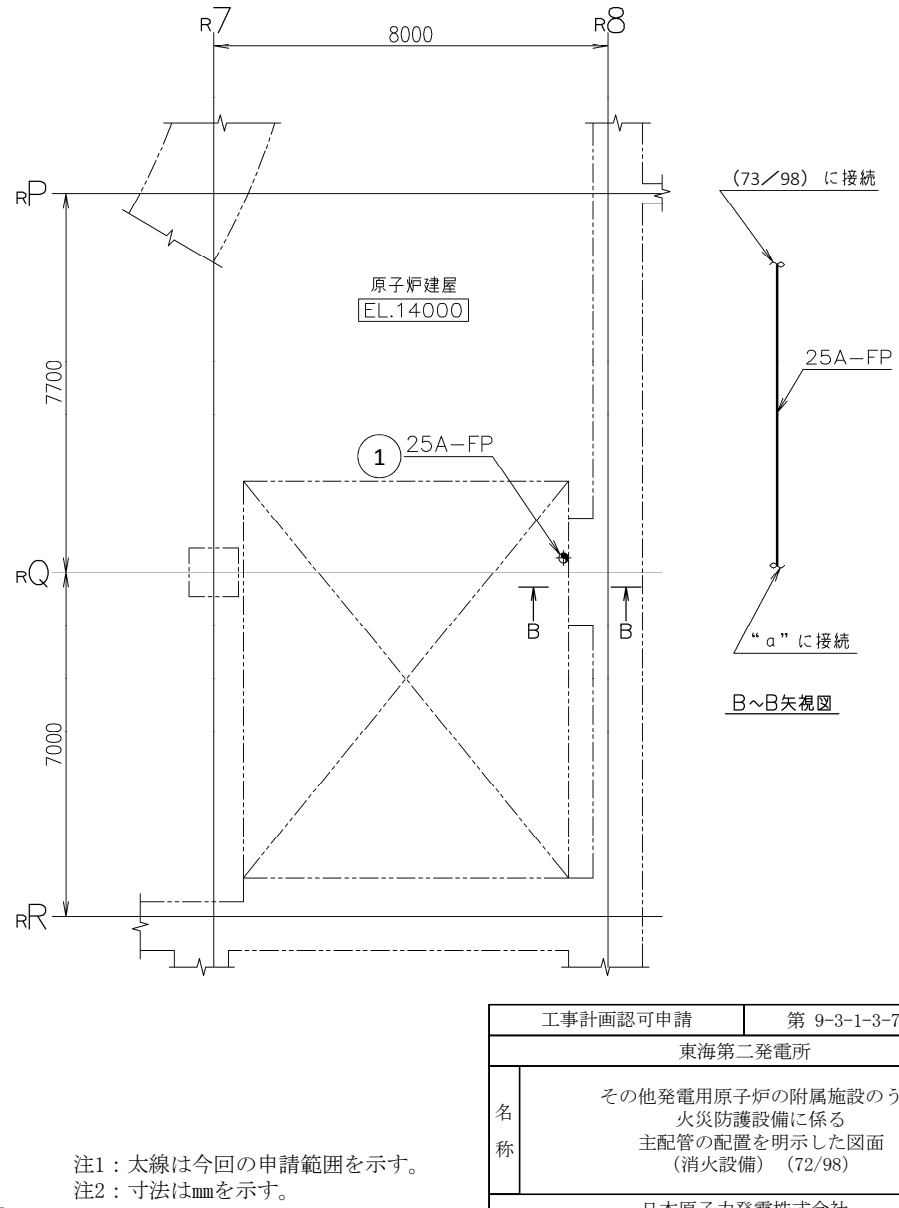
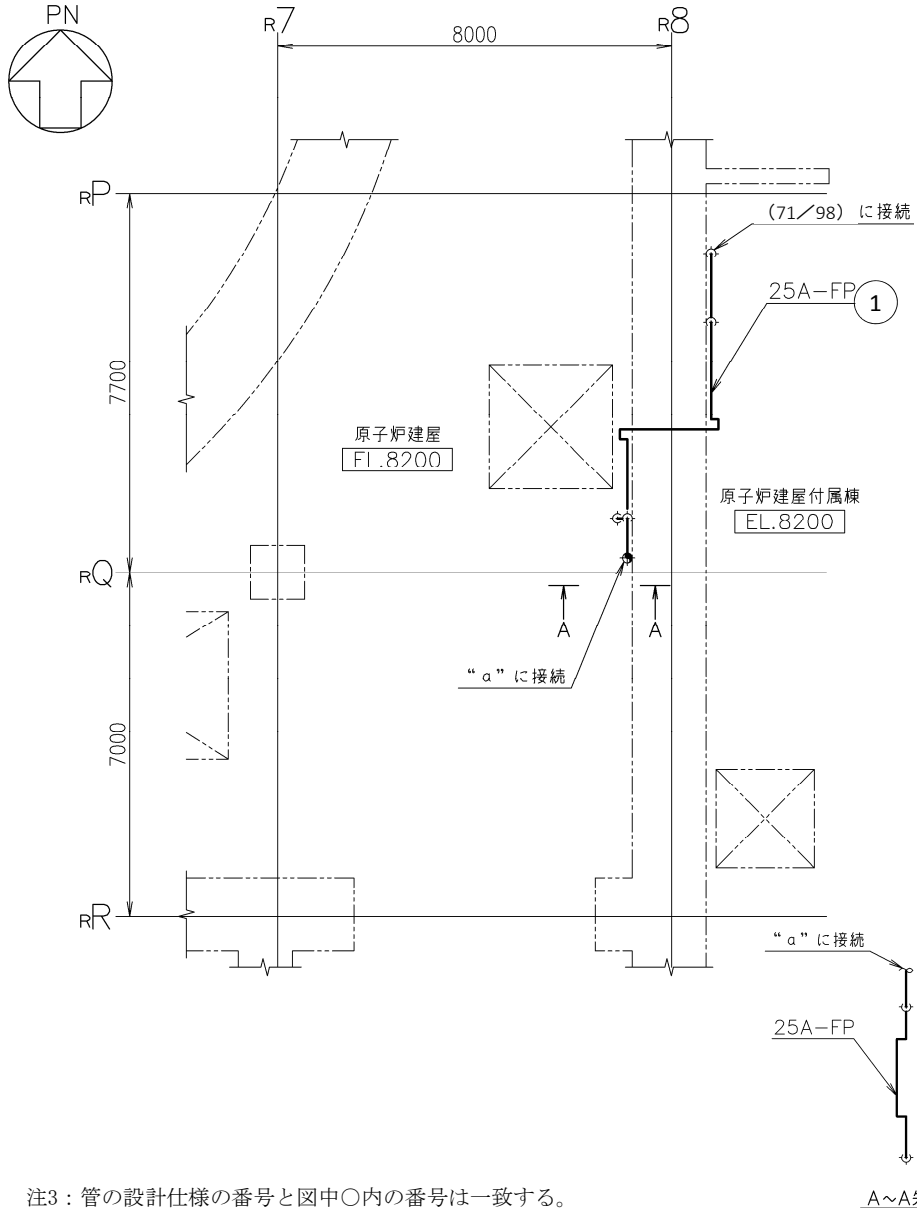


注1: 太線は今回の申請範囲を示す。  
注2: 寸法はmmを示す。

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-71 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (71/98)
日本原子力発電株式会社	

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス処理系排 風機B用) ~非常用ガ ス処理系排風機B噴射 ノズル分岐点	1	34.0	3.4	SUS304TP



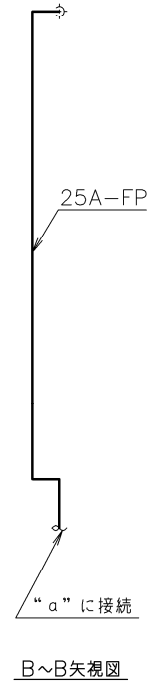
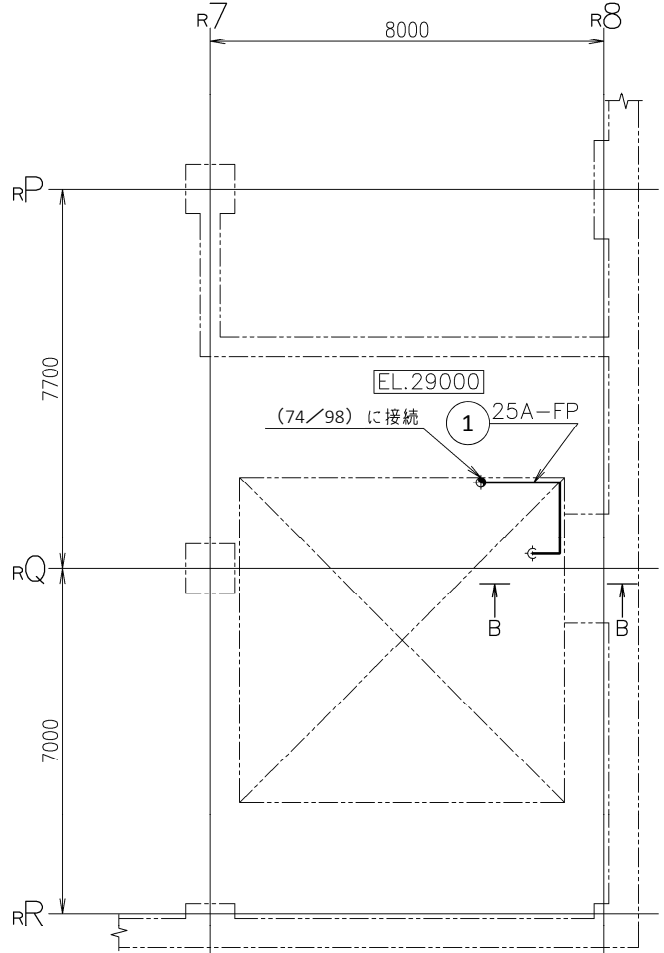
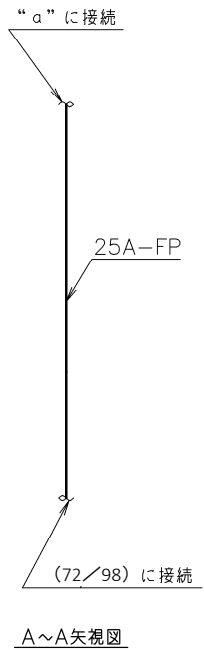
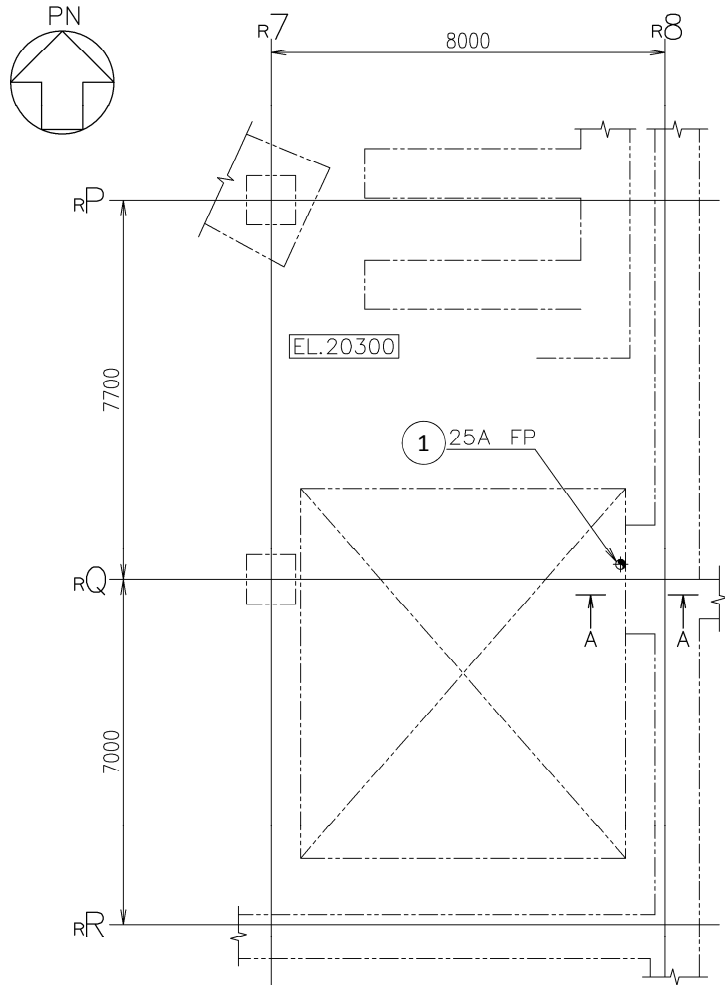
注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-72 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (72/98)
日本原子力発電株式会社	



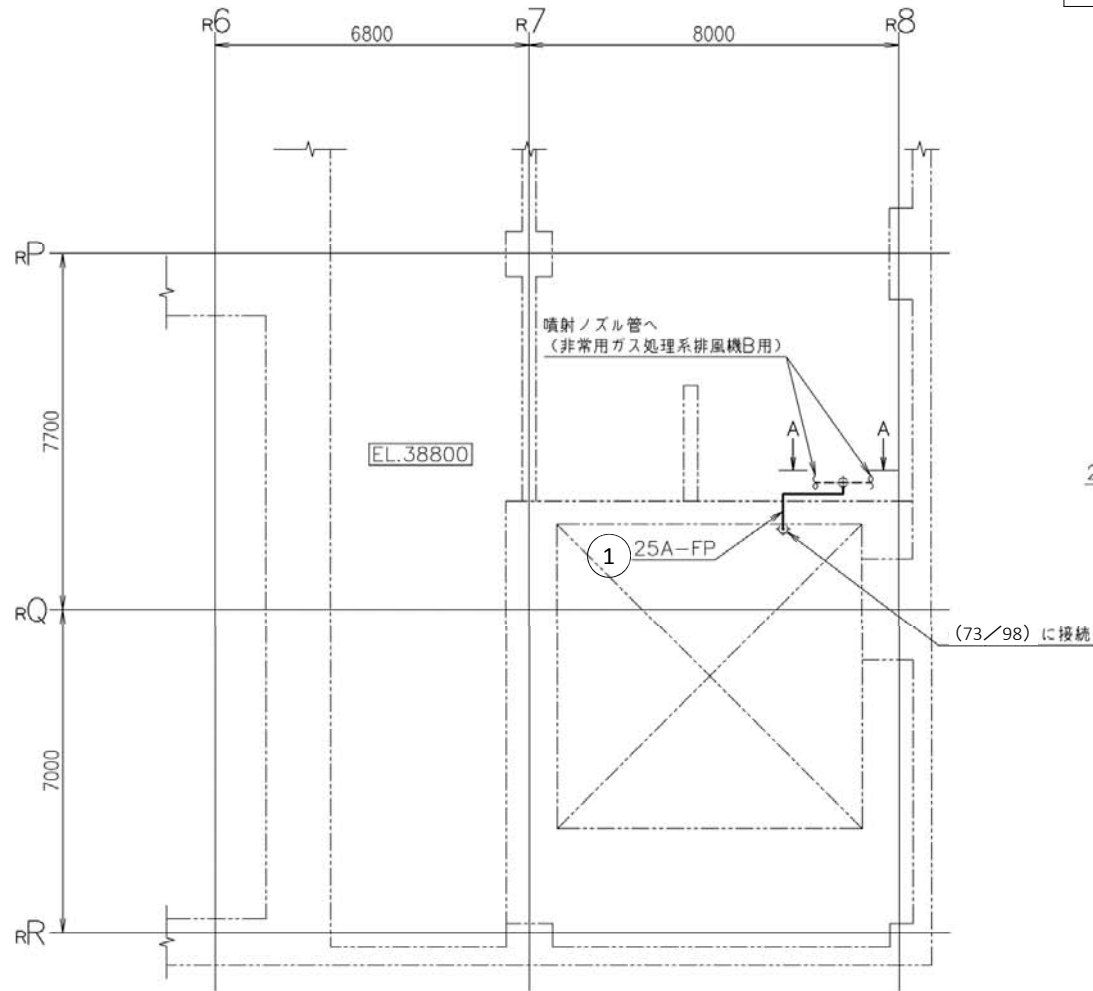
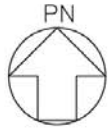
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス処理系排 風機B用) ~非常用ガ ス処理系排風機B噴射 ノズル分岐点	1	34.0	3.4	SUS304TP



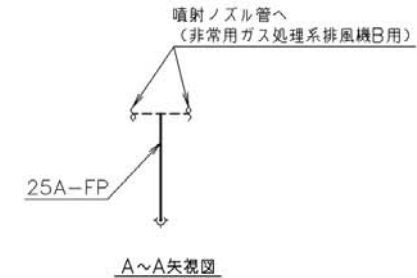
注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-73 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (73/98)
日本原子力発電株式会社	



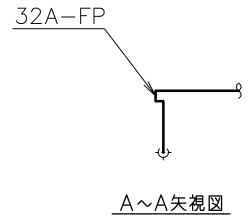
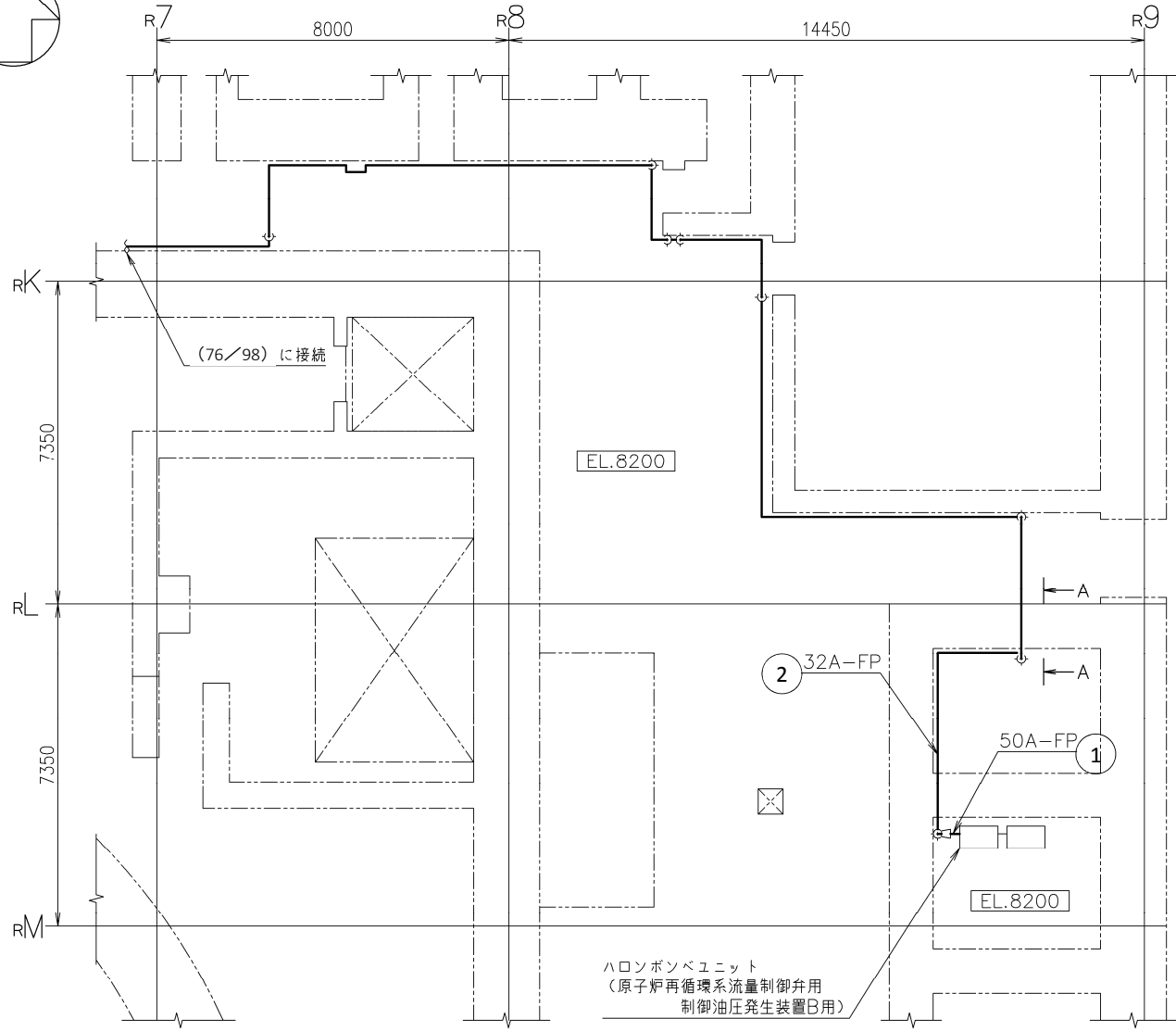
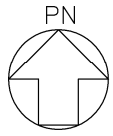
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (非常用ガス処理系排 風機B用) ~非常用ガ ス処理系排風機B噴射 ノズル分岐点	1	34.0	3.4	SUS304TP



注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

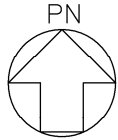
工事計画認可申請	第 9-3-1-3-74 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (74/98)
日本原子力発電株式会社	



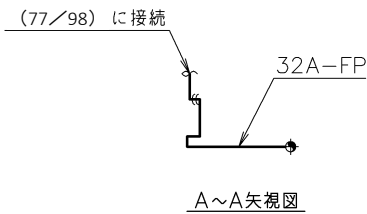
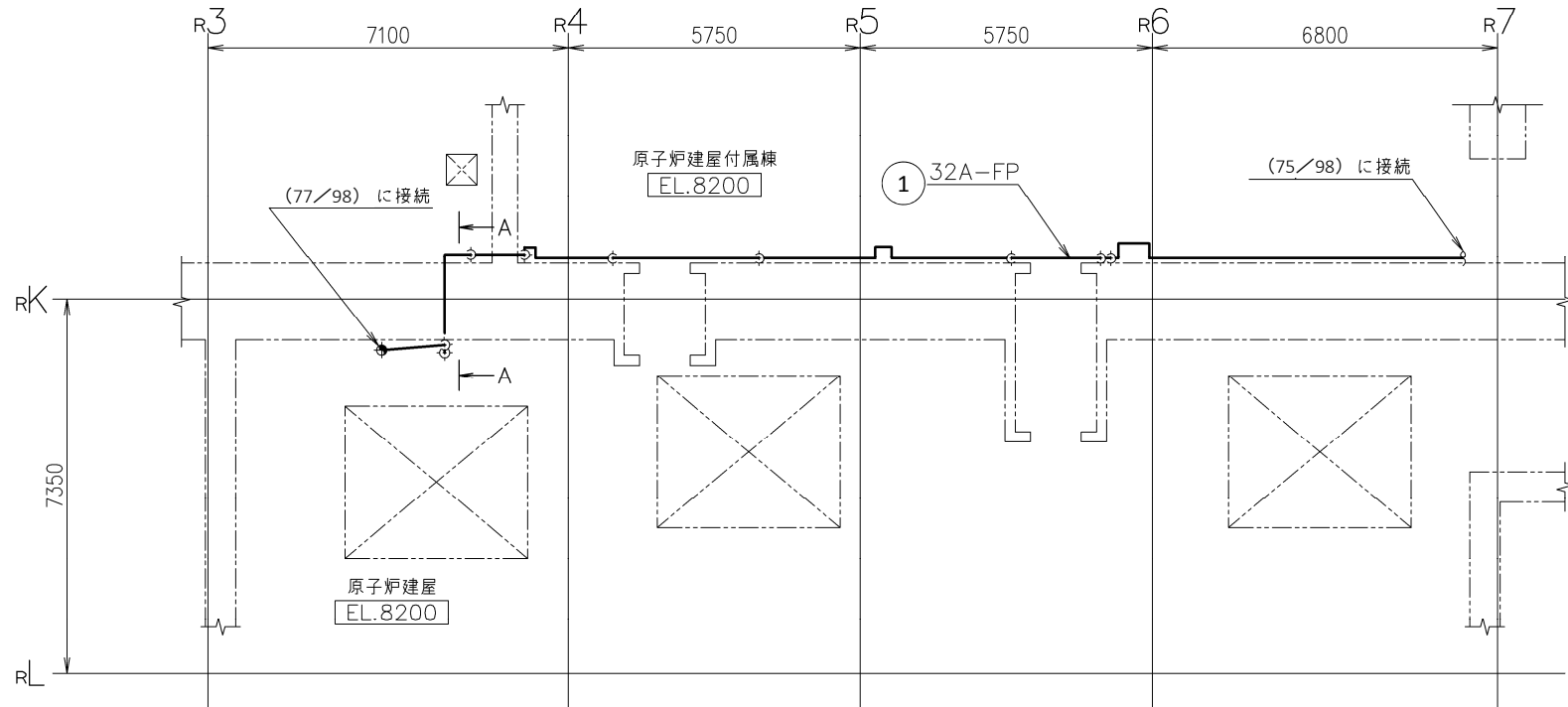
工事計画認可申請	第 9-3-1-3-75 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (75/98)
	日本原子力発電株式会社

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。



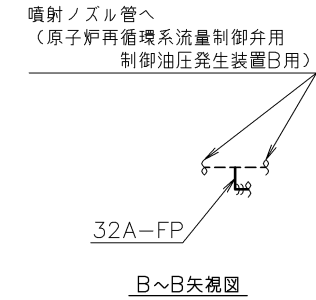
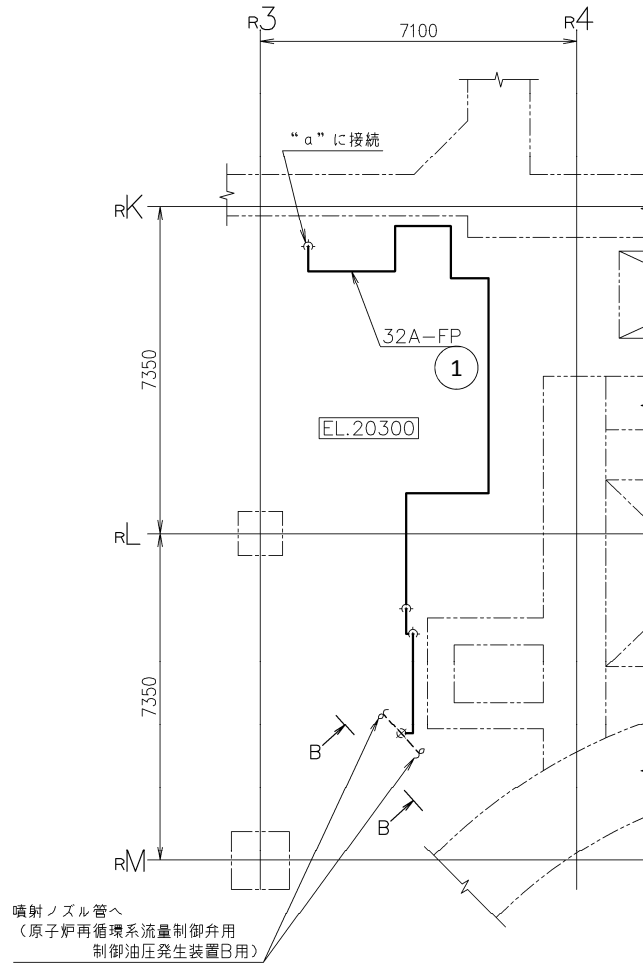
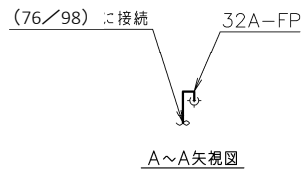
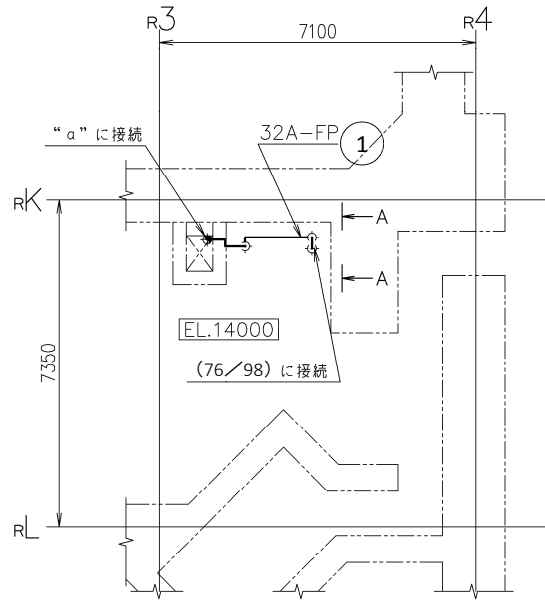
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (原子炉再循環系流量 制御弁用制御油圧発生 装置B用) ~ 原子炉再 循環系流量制御弁用制 御油圧発生装置B噴射 ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP



注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-76 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (76/98)
日本原子力発電株式会社	



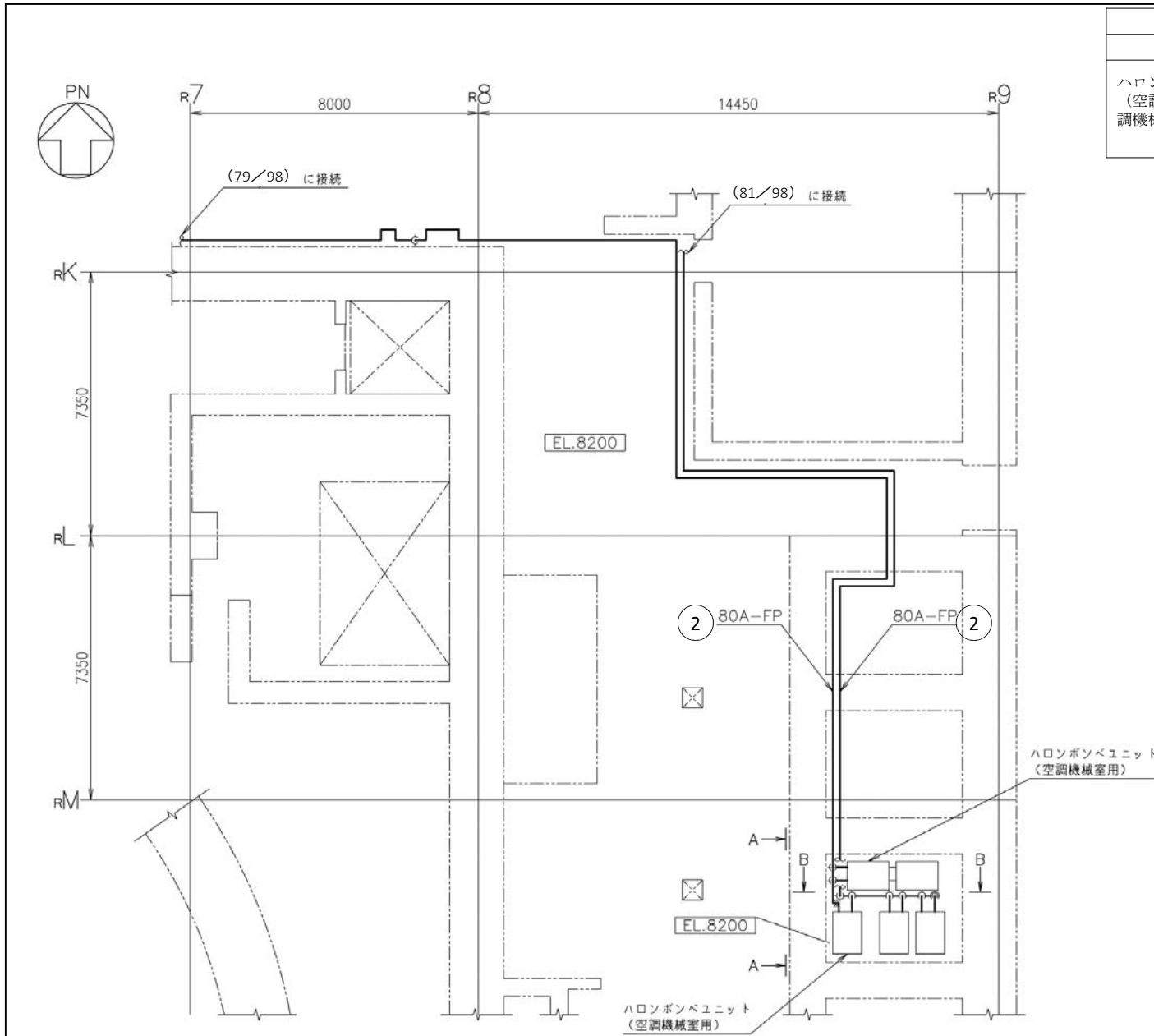
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (原子炉再循環系流量 制御弁用制御油圧発生 装置B用) ~原子炉再 循環系流量制御弁用制 御油圧発生装置B噴射 ノズル分岐点	1	42.7	3.6	SUS304TP

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

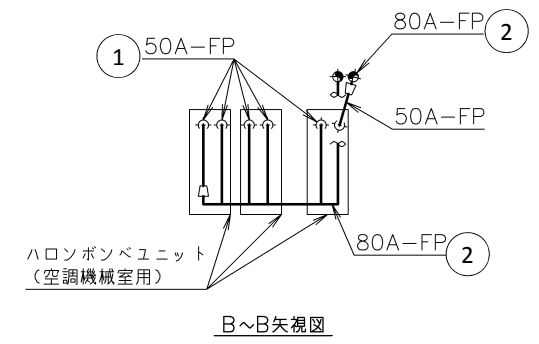
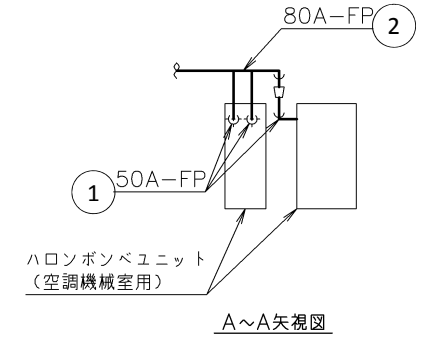
注1：太線は今回の申請範囲を示す。

注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-77 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (77/98)
日本原子力発電株式会社	



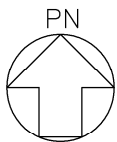
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (空調機械室用) ~空調機械室噴射ノズル分岐点	1	60.5	3.9	SUS304TP
	2	89.1	5.5	SUS304TP



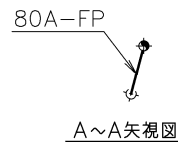
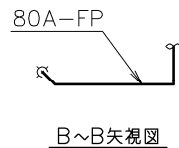
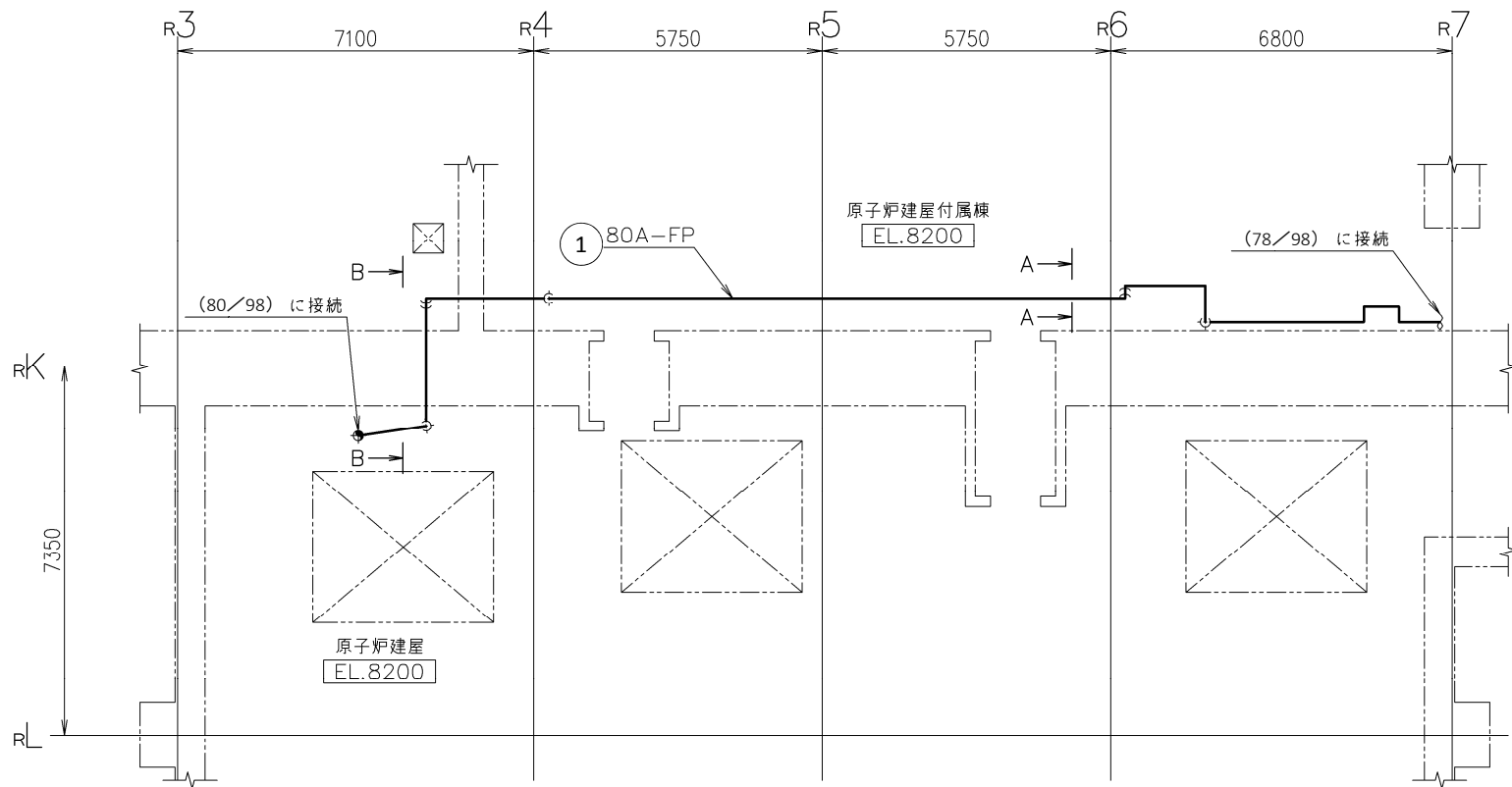
注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-78 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (78/98)
日本原子力発電株式会社	



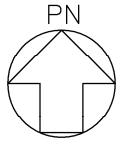
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンポンベユニット (空調機械室用) ~ 空調機械室噴射ノズル分岐点	1	89.1	5.5	SUS304TP



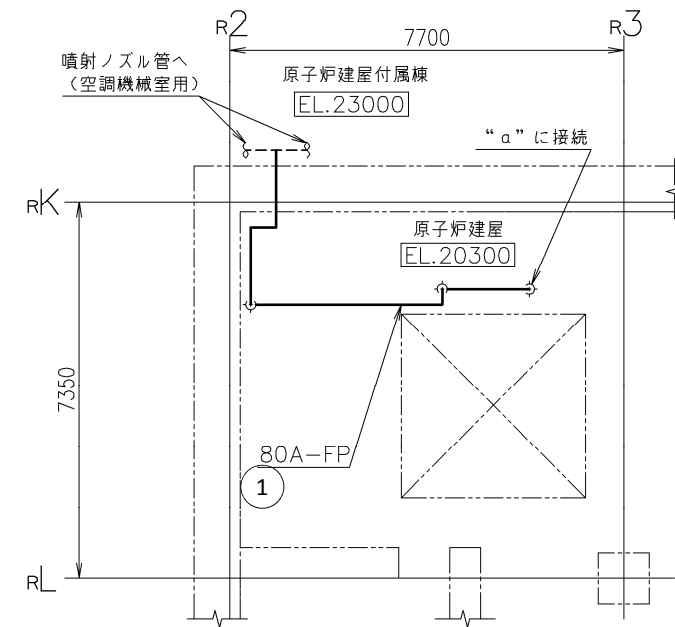
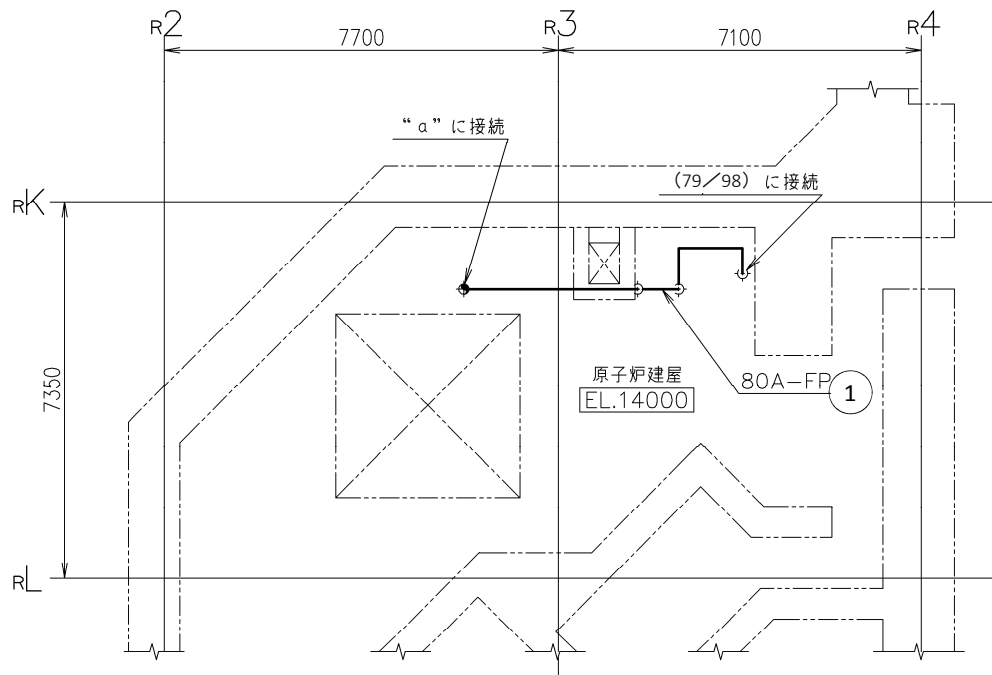
注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-79 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (79/98)
日本原子力発電株式会社	



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (空調機械室用) ~ 空調機械室噴射ノズル分岐点	1	89.1	5.5	SUS304TP



注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

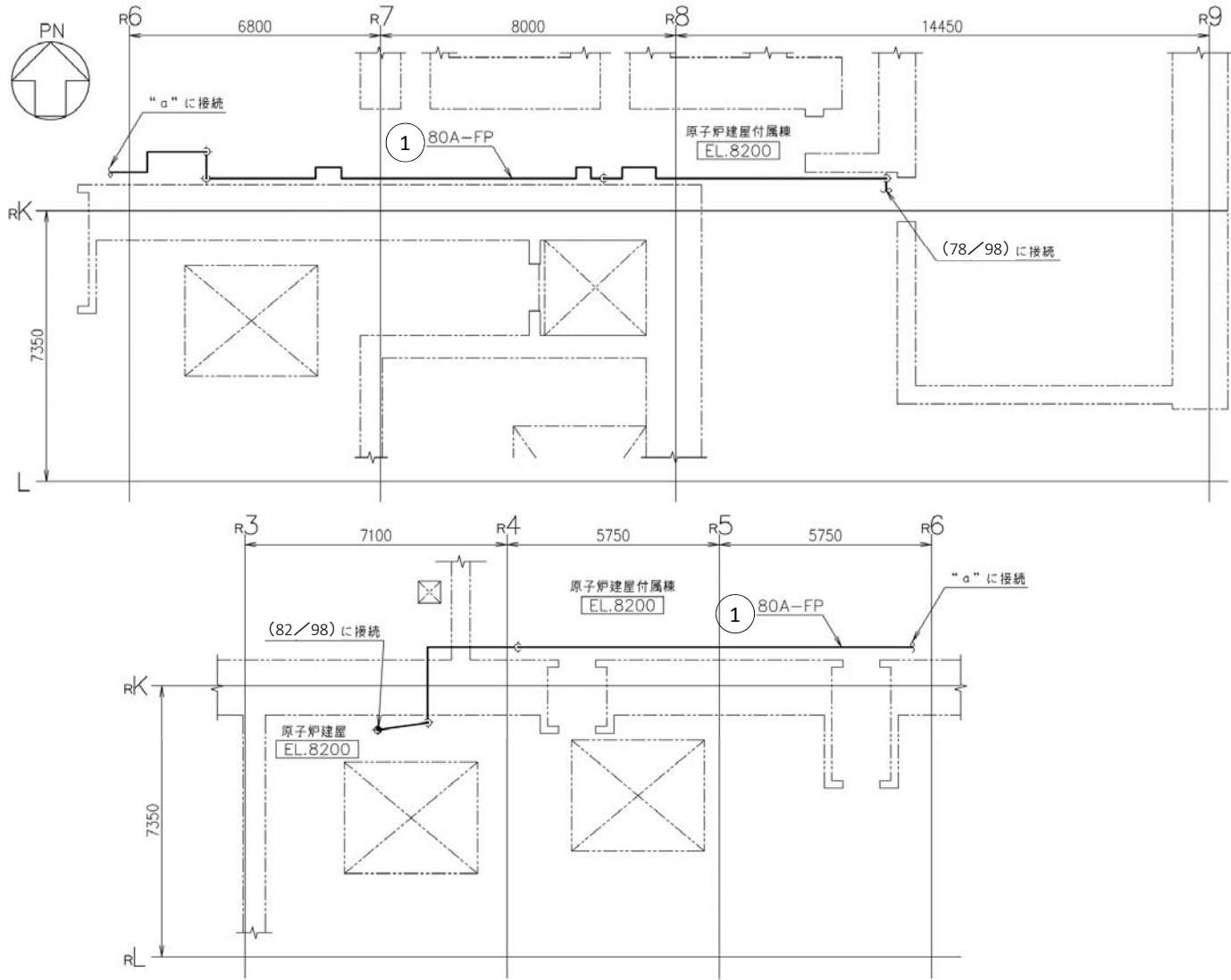
注1：太線は今回の申請範囲を示す。

注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-80 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (80/98)
日本原子力発電株式会社	



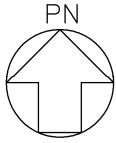
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (空調機械室用) ~ 空調機械室噴射ノズル分岐点	1	89.1	5.5	SUS304TP



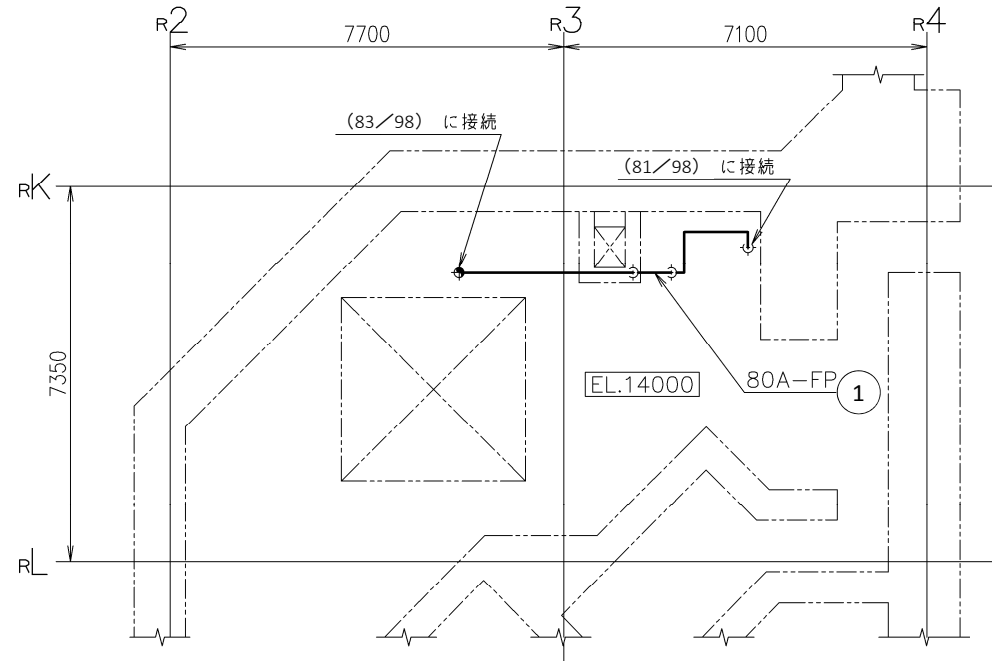
注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-81 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (81/98)
日本原子力発電株式会社	



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (空調機械室用) ~空調 機械室噴射ノズル分 岐点	1	89.1	5.5	SUS304TP

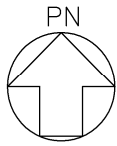


注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

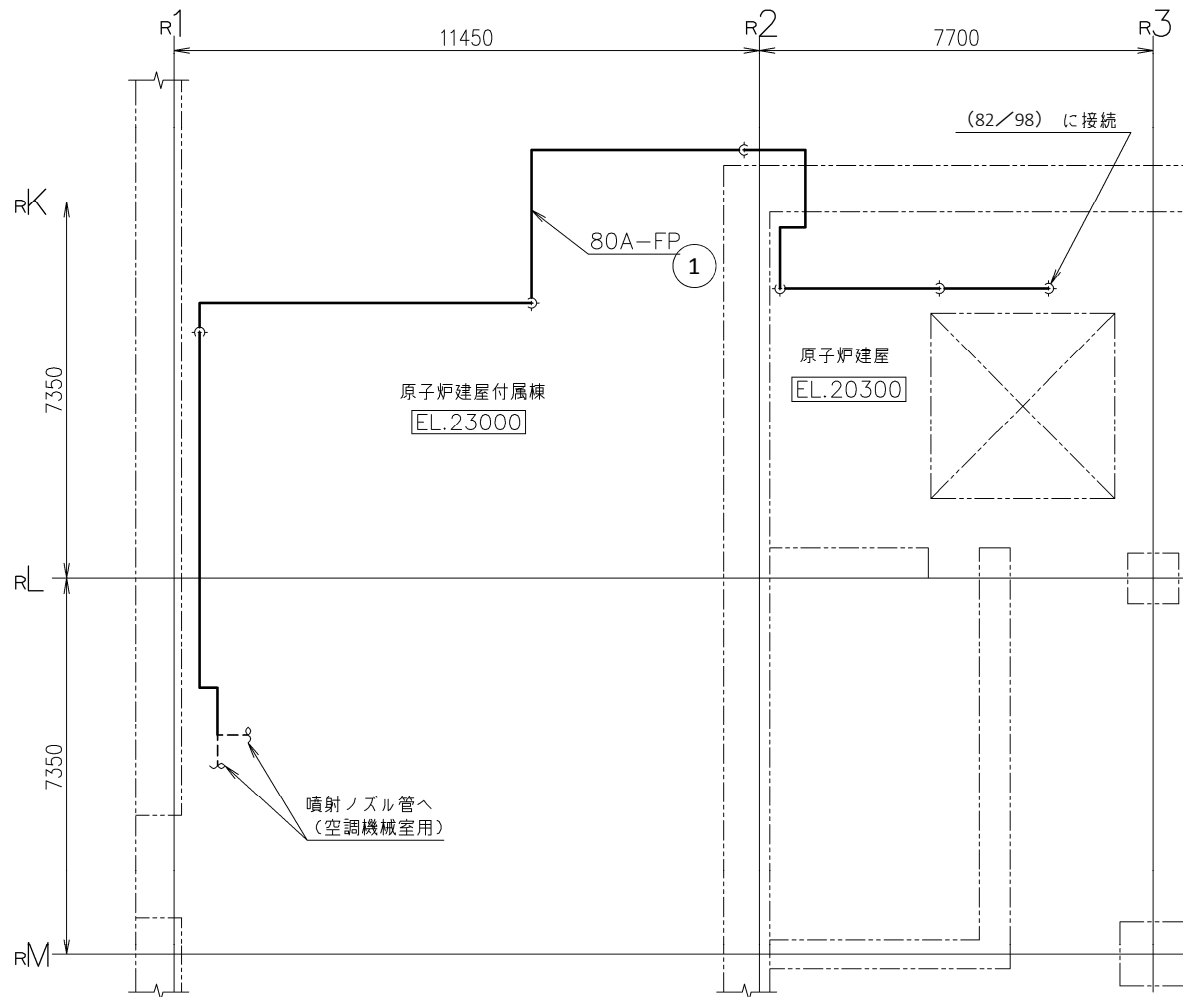
注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-82 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (82/98)
日本原子力発電株式会社	

8301



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
ハロンボンベユニット (空調機械室用) ~ 空調 機械室噴射ノズル分 岐点	1	89.1	5.5	SUS304TP



注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。

注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-83 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (83/98)
日本原子力発電株式会社	

# 追而 ハロンボンベユニット(ケーブル処理室用)～ 噴射ノズル分岐点

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-84 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (84/98)
日本原子力発電株式会社	

追而  
ハロンボンベユニット(緊急時対策所用1)～  
選択弁～各噴射ノズル分岐点

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-85 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (85/98)
日本原子力発電株式会社	

8301

追而  
ハロンボンベユニット(緊急時対策所用2)～  
選択弁～各噴射ノズル分岐点

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-86 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (86/98)
日本原子力発電株式会社	

追而  
ハロンボンベ(常設代替高圧電源装置置場  
用1)～各噴射ノズル分岐点

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-87 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (87/98)
日本原子力発電株式会社	

8301

追而  
ハロンボンベ(常設代替高圧電源装置置場  
用2)～各噴射ノズル分岐点

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-88 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (88/98)
日本原子力発電株式会社	

8301



追而  
ハロンボンベ(常設代替高圧電源装置置場  
用3)～各噴射ノズル分岐点

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-89 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (89/98)
日本原子力発電株式会社	

8301

追而  
ハロンボンベ(カルバート(立坑部)用)～各噴  
射ノズル分岐点

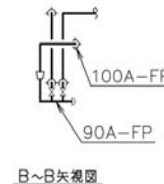
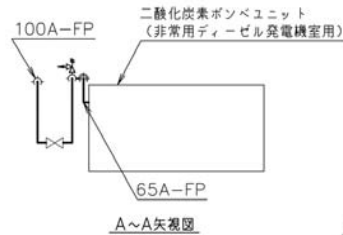
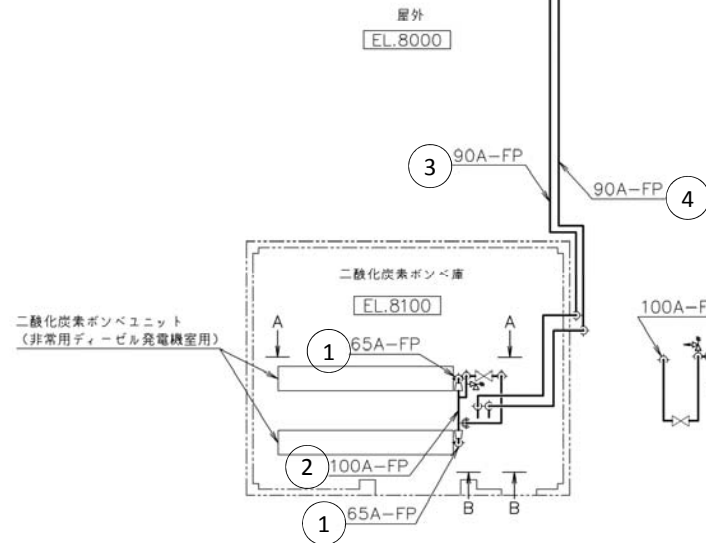
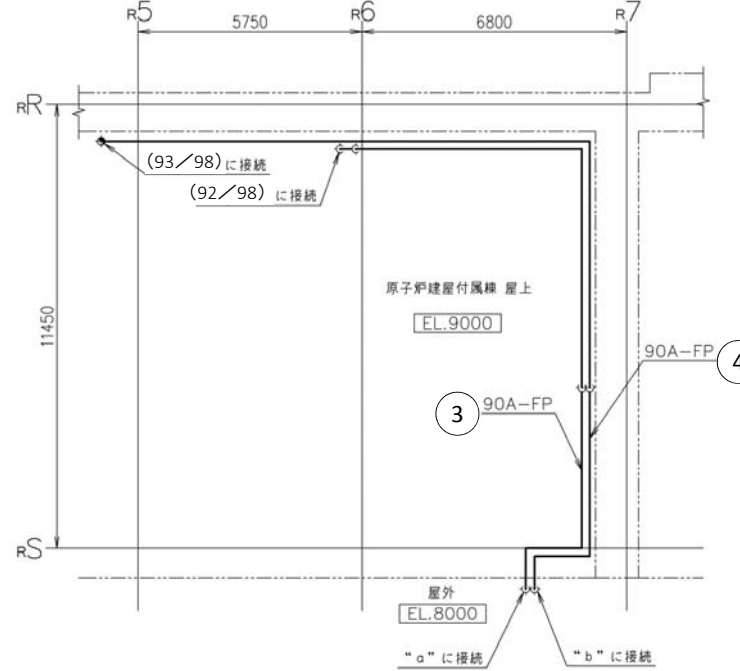
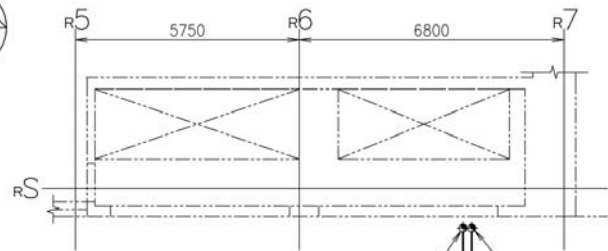
注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-90 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (90/98)
日本原子力発電株式会社	

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
非常用ディーゼル発電機2D室用分岐点～噴射ノズル分岐点 (非常用ディーゼル発電機2D室用)	4	101.6	8.1	STPG370

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
二酸化炭素ポンベユニット (非常用ディーゼル発電機室用)～噴射ノズル分岐点 (非常用ディーゼル発電機2C室用)	1	76.3	7.0	STPG370
	2	114.3	8.6	STPG370
	3	101.6	8.1	STPG370

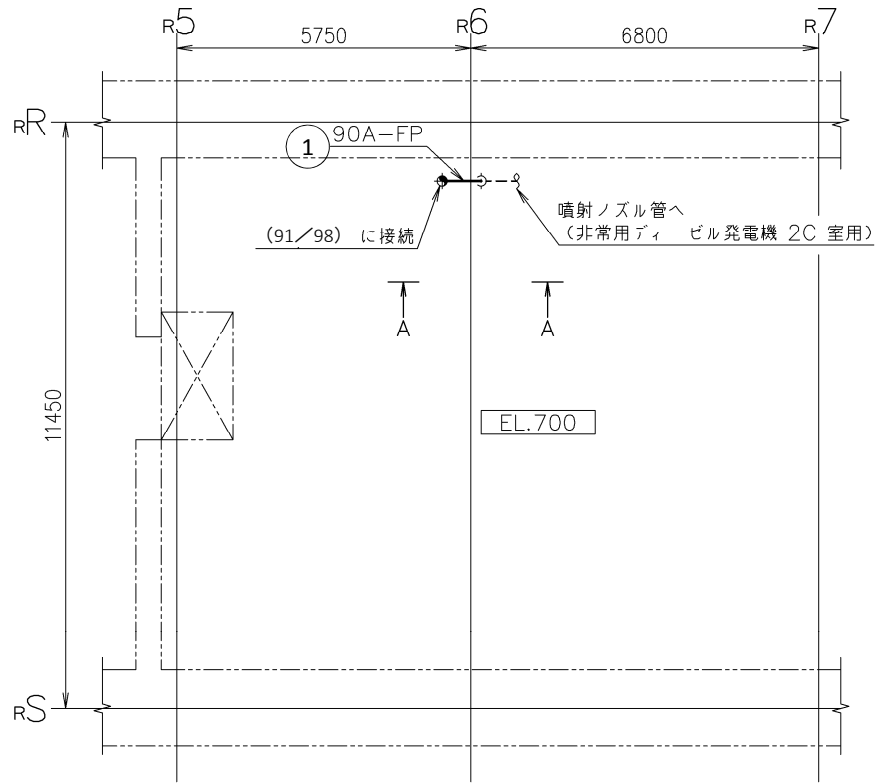
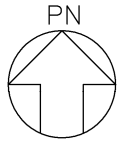


注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

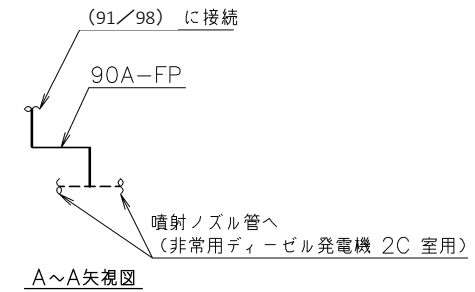
注1：太線は今回の申請範囲を示す。

注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-91 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (91/98)
日本原子力発電株式会社	



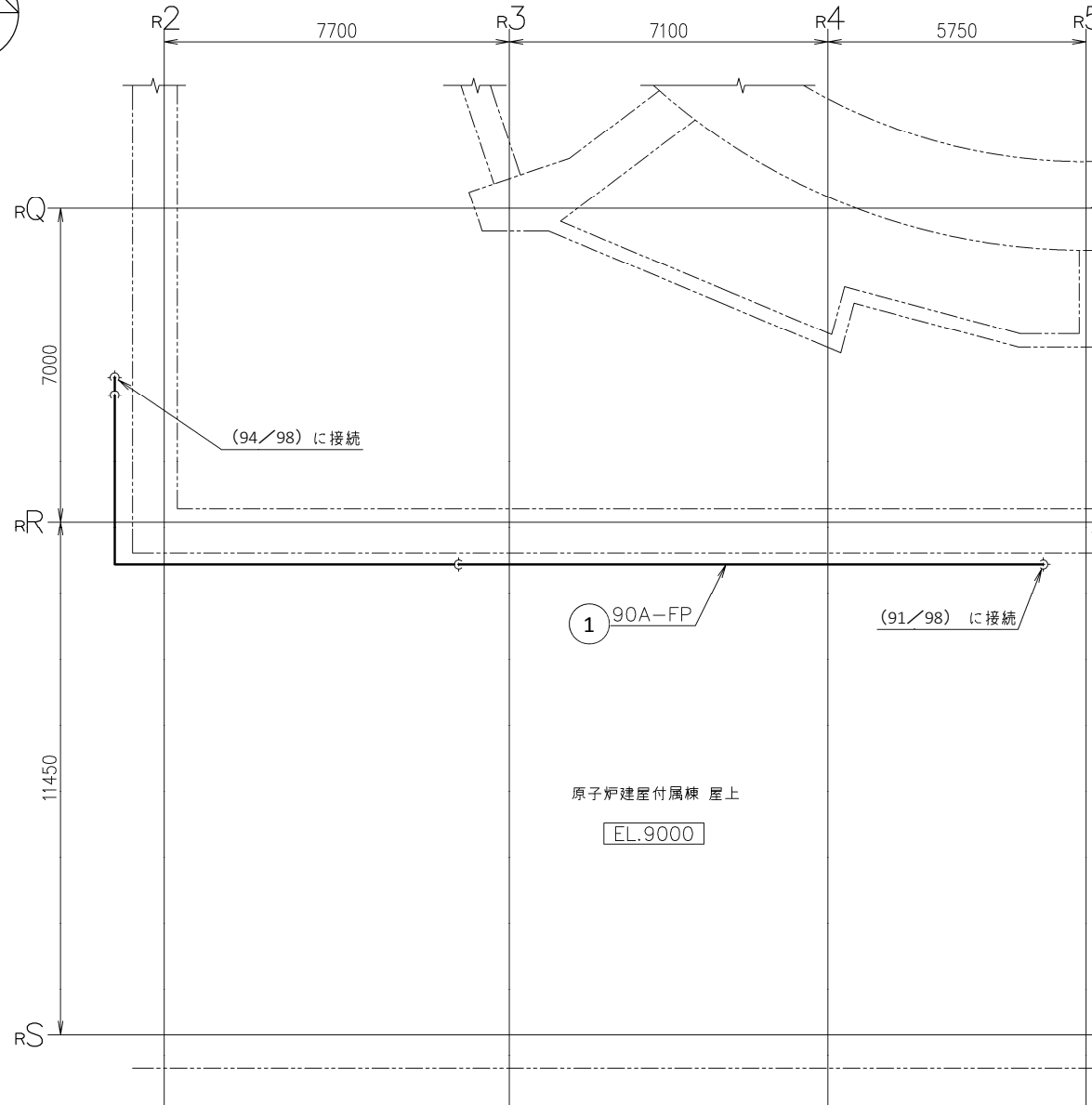
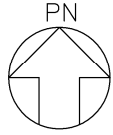
管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
二酸化炭素ポンベユニット (非常用ディーゼル発電機室用) ~ 噴射ノズル分岐点 (非常用ディーゼル発電機2C室用)	1	101.6	8.1	STPG370



注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-92 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (92/98)
日本原子力発電株式会社	

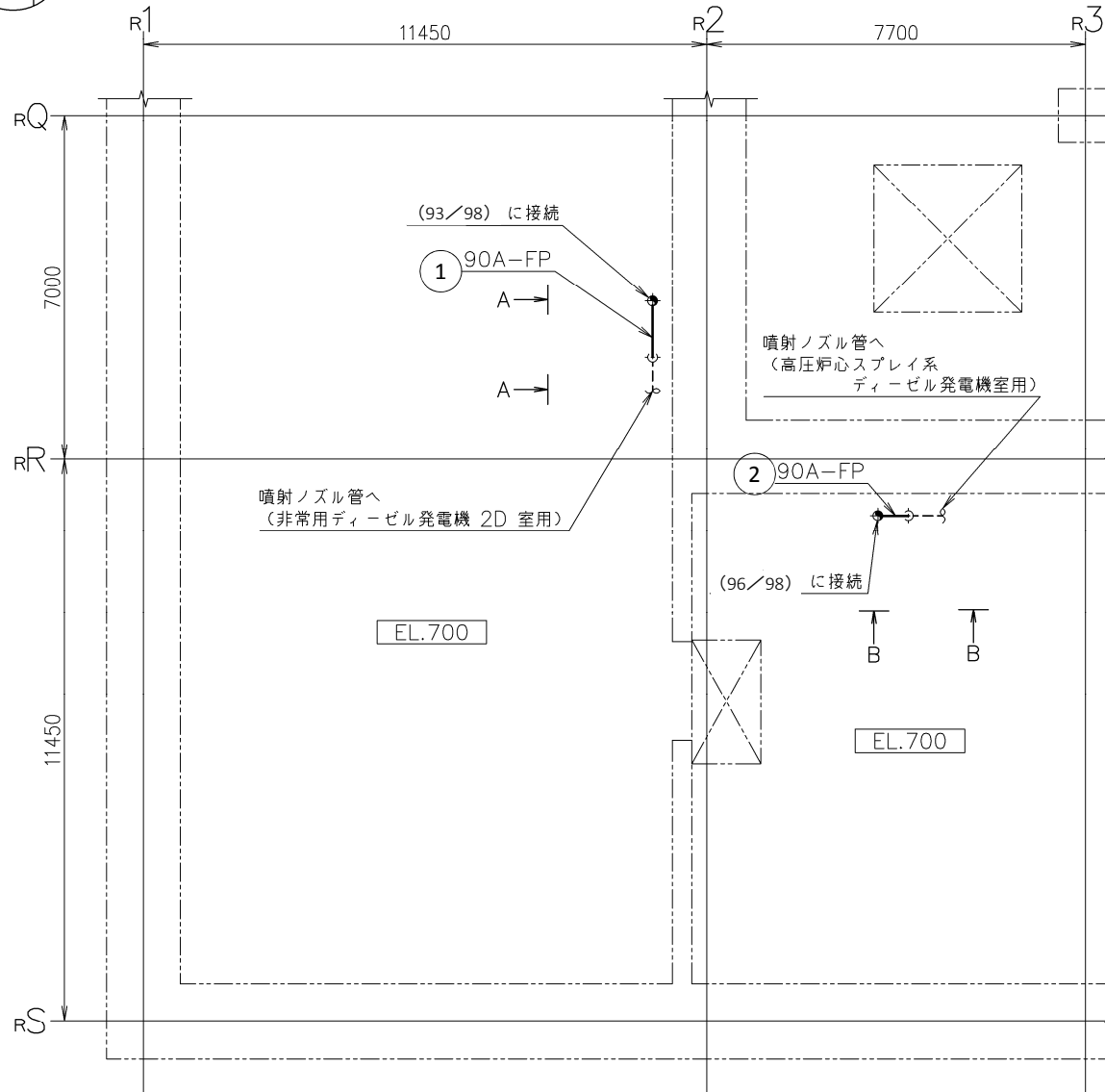
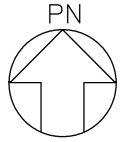


管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
非常用ディーゼル発電機2D室用分岐点～噴射ノズル分岐点 (非常用ディーゼル発電機2D室用)	1	101.6	8.1	STPG370

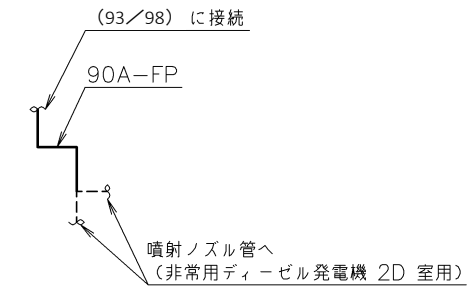
注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

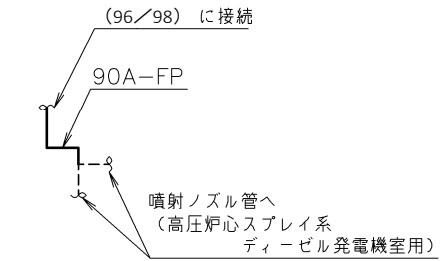
工事計画認可申請		第 9-3-1-3-93 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (93/98)		
	日本原子力発電株式会社		



管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
非常用ディーゼル発電機2D室用分岐点～噴射ノズル分岐点 (非常用ディーゼル発電機2D室用)	1	101.6	8.1	STPG370
二酸化炭素ポンプユニット (高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機室用)～噴射ノズル分岐点	2	101.6	8.1	STPG370



A~A矢視図



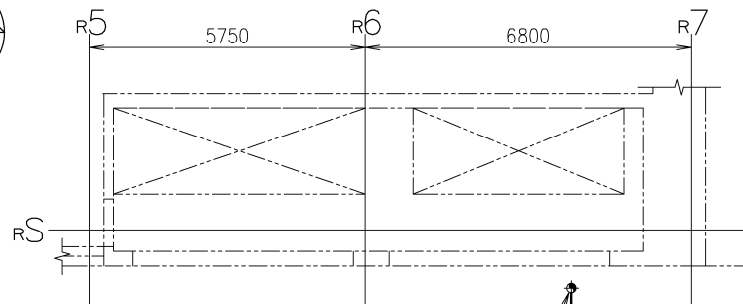
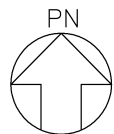
B~B矢視図

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。

注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-94 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (94/98)
日本原子力発電株式会社	

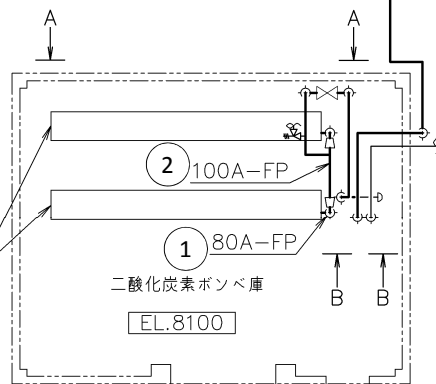


(96/98) に接続

3 90A-FP

屋外  
EL.8000

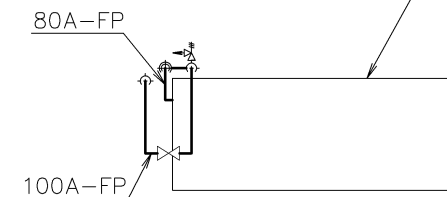
二酸化炭素ポンプユニット  
(高圧炉心スプレイ系  
ディーゼル発電機室用)



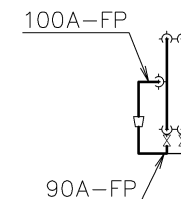
二酸化炭素ポンペ庫  
EL.8100

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
二酸化炭素ポンプユニット (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機室用) ~ 噴射ノズル分岐点	1	89.1	7.6	STPG370
	2	114.3	8.6	STPG370
	3	101.6	8.1	STPG370

二酸化炭素ポンプユニット  
(高圧炉心スプレイ系  
ディーゼル発電機室用)



A~A矢视图



B~B矢视图

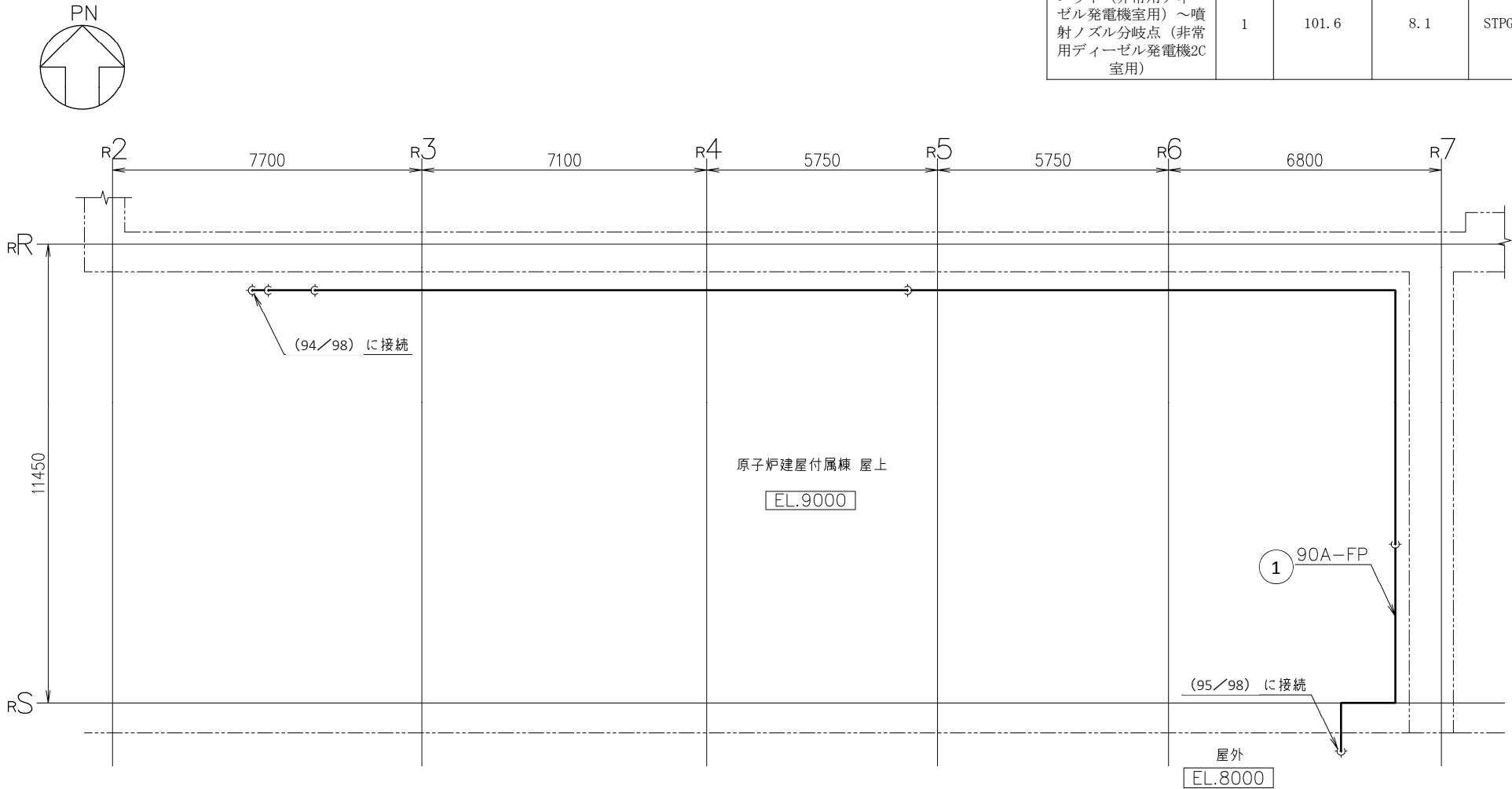
工事計画認可申請	第 9-3-1-3-95 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (95/98)
日本原子力発電株式会社	

注3: 管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1: 太線は今回の申請範囲を示す。

注2: 寸法はmmを示す。

管の設計仕様				
名称	番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
二酸化炭素ポンベユニット (非常用ディーゼル発電機室用) ~ 噴射ノズル分岐点 (非常用ディーゼル発電機2C室用)	1	101.6	8.1	STPG370



注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-96 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (96/98)
日本原子力発電株式会社	



追而  
二酸化炭素ポンプユニット(緊急時対策所建  
屋発電機室2A用)～緊急時対策所建屋発電  
機室2Aノズル分岐点

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-97 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (97/98)
日本原子力発電株式会社	

追而  
二酸化炭素ポンベユニット(緊急時対策所建  
屋発電機室2B用)～緊急時対策所建屋発電  
機室2Bノズル分岐点

注3：管の設計仕様の番号と図中○内の番号は一致する。

注1：太線は今回の申請範囲を示す。  
注2：寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-3-1-3-98 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 主配管の配置を明示した図面 (消火設備) (98/98)
日本原子力発電株式会社	

8301

第 9-3-1-3-1 図～第 9-3-1-3-98 図「その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備に係る主配管の配置を明示した図面（消火設備）」の補足

(1) 配管の寸法許容範囲及び根拠

工事計画記載の管に関する公称値（外形，厚さ）の許容範囲及び許容範囲の根拠となる日本興業規格(JIS)に定める許容差は次のとおり。

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（1/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災防護設備	管	300A	最大値	321.048	11.845	公称値±0.8 % (318.5±2.548)	公称値 <sup>+15.0 %</sup> <sub>-12.5 %</sub> (10.3+1.545) (10.3-1.2875)	JIS G 3454
			公称値	318.5	10.3			
			最小値	315.952	9.0125			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（2/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災防護設備	管	300A	最大値	321.048	11.845	公称値±0.8 % (318.5±2.548)	公称値 <sup>+15.0 %</sup> <sub>-12.5 %</sub> (10.3+1.545) (10.3-1.2875)	JIS G 3454
			公称値	318.5	10.3			
			最小値	315.952	9.0125			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（3/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災防護設備	管	300A	最大値	321.048	11.845	公称値±0.8 % (318.5±2.548)	公称値 <sup>+15.0 %</sup> <sub>-12.5 %</sub> (10.3+1.545) (10.3-1.2875)	JIS G 3454
			公称値	318.5	10.3			
			最小値	315.952	9.0125			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（4/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災防護設備	管	300A	最大値	321.048	11.845	公称値±0.8 % (318.5±2.548)	公称値 <sup>+15.0 %</sup> <sub>-12.5 %</sub> (10.3+1.545) (10.3-1.2875)	JIS G 3454
			公称値	318.5	10.3			
			最小値	315.952	9.0125			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（5/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災防護設備	管	150A	最大値	166.8	7.9875	公称値±1.6	公称値±12.5 % (7.1±0.8875)	JIS G 3456
			公称値	165.2	7.1			
			最小値	163.6	6.2125			
		200A	最大値	218.0304	9.225	公称値±0.8 % (216.3±1.7304)	公称値±12.5 % (8.2±1.025)	JIS G 3456
			公称値	216.3	8.2			
			最小値	214.5696	7.175			
		300A	最大値	321.048	11.5875	公称値±0.8 % (318.5±2.548)	公称値±12.5 % (10.3±1.2875)	JIS G 3456
			公称値	318.5	10.3			
			最小値	315.952	9.0125			
	300A	最大値	321.048	11.845	公称値±0.8 % (318.5±2.548)	公称値 <sup>+15.0 %</sup> -12.5 % (10.3+1.545) (10.3-1.2875)	JIS G 3454	
		公称値	318.5	10.3				
		最小値	315.952	9.0125				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（6/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災防護設備	管	200A	最大値	218.0304	9.225	公称値±0.8 % (216.3±1.7304)	公称値±12.5 % (8.2±1.025)	JIS G 3456
			公称値	216.3	8.2			
			最小値	214.5696	7.175			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（7/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災防護設備	管	200A	最大値	218.0304	9.225	公称値±0.8 % (216.3±1.7304)	公称値±12.5 % (8.2±1.025)	JIS G 3456
			公称値	216.3	8.2			
			最小値	214.5696	7.175			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（8/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	100A	最大値	115.443	6.75	公称値±1.0 % (114.3±1.143)	公称値±12.5 % (6.0±0.75)	JIS G 3459
			公称値	114.3	6.0			
			最小値	113.157	5.25			
		100A	最大値	115.443	6.75	公称値±1.0 % (114.3±1.143)	公称値±12.5 % (6.0±0.75)	
			公称値	114.3	6.0			
			最小値	113.157	5.25			
	200A	最大値	218.0304	9.225	公称値±0.8 % (216.3±1.7304)	公称値±12.5 % (8.2±1.025)	JIS G 3456	
		公称値	216.3	8.2				
		最小値	214.5696	7.175				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（9/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（10/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（11/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（12/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火 災 防 護 設 備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（13/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火 災 防 護 設 備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（14/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火 災 防 護 設 備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（15/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火 災 防 護 設 備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（16/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火 災 防 護 設 備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（17/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（18/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（19/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（20/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（21/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（22/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（23/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	20A	最大値	27.7	3.4	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	27.2	2.9			
			最小値	26.7	2.4			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（24/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	40A	最大値	49.1	4.2	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	48.6	3.7			
			最小値	48.1	3.2			



[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（25/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			
	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459	
		公称値	60.5	3.9				
		最小値	59.895	3.4				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（26/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			
	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459	
		公称値	60.5	3.9				
		最小値	59.895	3.4				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（27/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			
	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459	
		公称値	60.5	3.9				
		最小値	59.895	3.4				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（28/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			
	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459	
		公称値	60.5	3.9				
		最小値	59.895	3.4				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（29/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	40A	最大値	49.1	4.2	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	48.6	3.7			
			最小値	48.1	3.2			
	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459	
		公称値	60.5	3.9				
		最小値	59.895	3.4				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（30/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			
	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459	
		公称値	60.5	3.9				
		最小値	59.895	3.4				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（31/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			
	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459	
		公称値	60.5	3.9				
		最小値	59.895	3.4				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（32/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	60.5	3.9			
			最小値	59.895	3.4			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（33/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			
	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459	
		公称値	60.5	3.9				
		最小値	59.895	3.4				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（34/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	40A	最大値	49.1	4.2	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	48.6	3.7			
			最小値	48.1	3.2			
	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459	
		公称値	60.5	3.9				
		最小値	59.895	3.4				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（35/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災防護設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			
	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459	
		公称値	60.5	3.9				
		最小値	59.895	3.4				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（36/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災防護設備	管	40A	最大値	49.1	4.2	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	48.6	3.7			
			最小値	48.1	3.2			
	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459	
		公称値	60.5	3.9				
		最小値	59.895	3.4				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（37/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災防護設備	管	40A	最大値	49.1	4.2	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	48.6	3.7			
			最小値	48.1	3.2			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（38/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災防護設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			
	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459	
		公称値	60.5	3.9				
		最小値	59.895	3.4				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（39/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（40/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（41/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 防護 設備	管	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	60.5	3.9			
			最小値	59.895	3.4			
		100A	最大値	115.443	6.75	公称値±1.0 % (114.3±1.143)	公称値±12.5 % (6.0±0.75)	JIS G 3459
			公称値	114.3	6.0			
			最小値	113.157	5.25			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（42/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 防護 設備	管	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	60.5	3.9			
			最小値	59.895	3.4			
		100A	最大値	115.443	6.75	公称値±1.0 % (114.3±1.143)	公称値±12.5 % (6.0±0.75)	JIS G 3459
			公称値	114.3	6.0			
			最小値	113.157	5.25			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（43/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火 災 防 護 設 備	管	100A	最大値	115.443	6.75	公称値±1.0 % (114.3±1.143)	公称値±12.5 % (6.0±0.75)	JIS G 3459
			公称値	114.3	6.0			
			最小値	113.157	5.25			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（44/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火 災 防 護 設 備	管	100A	最大値	115.443	6.75	公称値±1.0 % (114.3±1.143)	公称値±12.5 % (6.0±0.75)	JIS G 3459
			公称値	114.3	6.0			
			最小値	113.157	5.25			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（45/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火 災 防 護 設 備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			
		50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	60.5	3.9			
			最小値	59.895	3.4			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（46/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火 災 防 護 設 備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（47/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	20A	最大値	27.7	3.4	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	27.2	2.9			
			最小値	26.7	2.4			
	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459	
		公称値	60.5	3.9				
		最小値	59.895	3.4				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（48/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	20A	最大値	27.7	3.4	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	27.2	2.9			
			最小値	26.7	2.4			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（49/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	20A	最大値	27.7	3.4	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	27.2	2.9			
			最小値	26.7	2.4			
	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459	
		公称値	60.5	3.9				
		最小値	59.895	3.4				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（50/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	20A	最大値	27.7	3.4	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	27.2	2.9			
			最小値	26.7	2.4			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（51/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			
	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459	
		公称値	60.5	3.9				
		最小値	59.895	3.4				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（52/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（53/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（54/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（55/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			



[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（56/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（57/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			
		50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	60.5	3.9			
			最小値	59.895	3.4			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（58/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（59/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（60/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（61/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（62/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（63/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			
		50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	60.5	3.9			
			最小値	59.895	3.4			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（64/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（65/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（66/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 設備 防護	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（67/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 設備 防護	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（68/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 設備 防護	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（69/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			
		50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	60.5	3.9			
			最小値	59.895	3.4			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（70/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 設備 防護	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（71/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（72/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（73/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（74/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	25A	最大値	34.5	3.9	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	34.0	3.4			
			最小値	33.5	2.9			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（75/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 防護 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			
		50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 % (60.5±0.605)	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	60.5	3.9			
			最小値	59.895	3.4			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（76/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（77/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	32A	最大値	43.2	4.1	公称値±0.5	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	42.7	3.6			
			最小値	42.2	3.1			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（78/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	50A	最大値	61.105	4.4	公称値±1.0 %	公称値±0.5	JIS G 3459
			公称値	60.5	3.9			
			最小値	59.895	3.4			
		80A	最大値	89.991	6.1875	公称値±1.0 % (89.1±0.891)	公称値±12.5 % (5.5±0.6875)	JIS G 3459
			公称値	89.1	5.5			
			最小値	88.209	4.8125			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（79/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	80A	最大値	89.991	6.1875	公称値±1.0 % (89.1±0.891)	公称値±12.5 % (5.5±0.6875)	JIS G 3459
			公称値	89.1	5.5			
			最小値	88.209	4.8125			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（80/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管	80A	最大値	89.991	6.1875	公称値±1.0 % (89.1±0.891)	公称値±12.5 % (5.5±0.6875)	JIS G 3459
			公称値	89.1	5.5			
			最小値	88.209	4.8125			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（81/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火 災 防 護 設 備	管	80A	最大値	89.991	6.1875	公称値±1.0 % (89.1±0.891)	公称値±12.5 % (5.5±0.6875)	JIS G 3459
			公称値	89.1	5.5			
			最小値	88.209	4.8125			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（82/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火 災 防 護 設 備	管	80A	最大値	89.991	6.1875	公称値±1.0 % (89.1±0.891)	公称値±12.5 % (5.5±0.6875)	JIS G 3459
			公称値	89.1	5.5			
			最小値	88.209	4.8125			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（83/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火 災 防 護 設 備	管	80A	最大値	89.991	6.1875	公称値±1.0 % (89.1±0.891)	公称値±12.5 % (5.5±0.6875)	JIS G 3459
			公称値	89.1	5.5			
			最小値	88.209	4.8125			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（84/98）] 追而

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火 災 防 護 設 備	管		最大値					
			公称値					
			最小値					

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（85/98）] 追而

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火 災 防 護 設 備	管		最大値					
			公称値					
			最小値					

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（86/98）] 追而

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管		最大値					
			公称値					
			最小値					

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（87/98）] 追而

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管		最大値					
			公称値					
			最小値					

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（88/98）] 追而

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管		最大値					
			公称値					
			最小値					

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（89/98）] 追而

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管		最大値					
			公称値					
			最小値					

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（90/98）] 追而

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径(mm)	厚さ(mm)	外径(mm)	厚さ(mm)	根拠
火災 設備	管		最大値					
			公称値					
			最小値					

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（91/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	65A	最大値	77.063	8.05	公称値±1.0 % (76.3±0.763)	公称値 <sup>+15.0 %</sup> -12.5 % (7.0+1.05) (7.0-0.875)	JIS G 3454
			公称値	76.3	7.0			
			最小値	75.537	6.125			
		90A	最大値	102.616	9.315	公称値±1.0 % (101.6±1.016)	公称値 <sup>+15.0 %</sup> -12.5 % (8.1+1.215) (8.1-1.0125)	
			公称値	101.6	8.1			
			最小値	100.584	7.0875			
	100A	最大値	115.443	9.89	公称値±1.0 % (114.3±1.143)	公称値 <sup>+15.0 %</sup> -12.5 % (8.6+1.29) (8.6-1.075)		
		公称値	114.3	8.6				
		最小値	113.157	7.525				

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（92/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	90A	最大値	102.616	9.315	公称値±1.0 % (101.6±1.016)	公称値 <sup>+15.0 %</sup> -12.5 % (8.1+1.215) (8.1-1.0125)	JIS G 3454
			公称値	101.6	8.1			
			最小値	100.584	7.0875			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（93/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	90A	最大値	102.616	9.315	公称値±1.0 % (101.6±1.016)	公称値 <sup>+15.0 %</sup> -12.5 % (8.1+1.215) (8.1-1.0125)	JIS G 3454
			公称値	101.6	8.1			
			最小値	100.584	7.0875			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（94/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	90A	最大値	102.616	9.315	公称値±1.0 % (101.6±1.016)	公称値 <sup>+15.0 %</sup> -12.5 % (8.1+1.215) (8.1-1.0125)	JIS G 3454
			公称値	101.6	8.1			
			最小値	100.584	7.0875			



[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（95/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 設備	管	90A	最大値	102.616	9.315	公称値±1.0 % (101.6±1.016)	公称値 <sup>+15.0 %</sup> -12.5 % (8.1+1.215) (8.1-1.0125)	JIS G 3454
			公称値	101.6	8.1			
			最小値	100.584	7.0875			

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（96/98）]

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 防護 設備	管	80A	最大値	89.991	8.74	公称値±1.0 % (89.1±0.891)	公称値 <sup>+15.0 %</sup> -12.5 % (7.6+1.14) (7.6-0.95)	JIS G 3454
			公称値	89.1	7.6			
			最小値	88.209	6.65			
		90A	最大値	102.616	9.315	公称値±1.0 % (101.6±1.016)	公称値 <sup>+15.0 %</sup> -12.5 % (8.1+1.215) (8.1-1.0125)	JIS G 3454
			公称値	101.6	8.1			
			最小値	100.584	7.0875			
		100A	最大値	115.443	9.89	公称値±1.0 % (114.3±1.143)	公称値 <sup>+15.0 %</sup> -12.5 % (8.6+1.29) (8.6-1.075)	JIS G 3454
			公称値	114.3	8.6			
			最小値	113.157	7.525			

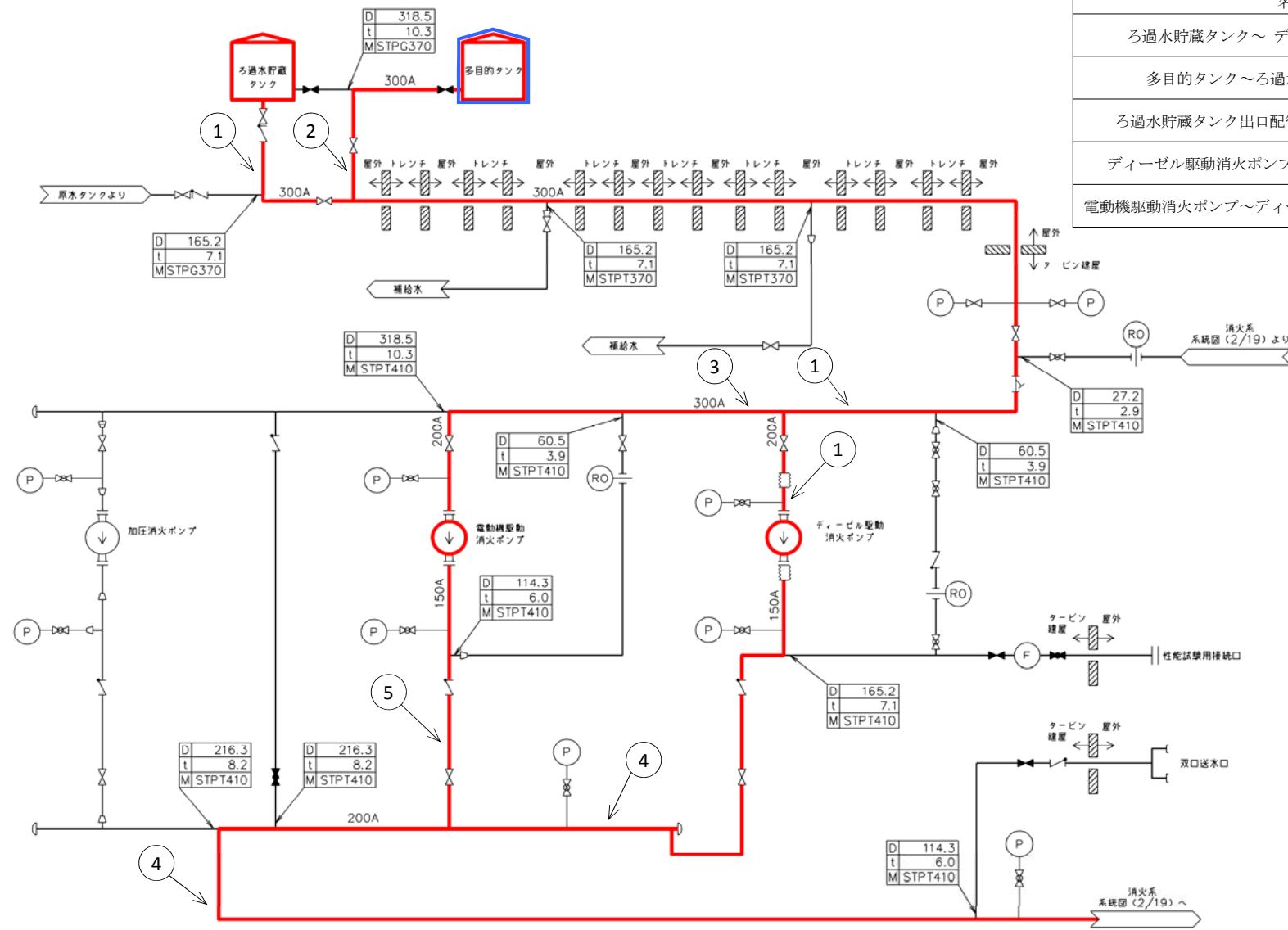
[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（97/98）] 追而

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 設備	管		最大値					
			公称値					
			最小値					

[主配管の配置を明示した図面（消火設備）（98/98）] 追而

名称			寸法許容範囲			許容範囲の根拠		
			適用寸法	外径 (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	根拠
火災 設備	管		最大値					
			公称値					
			最小値					

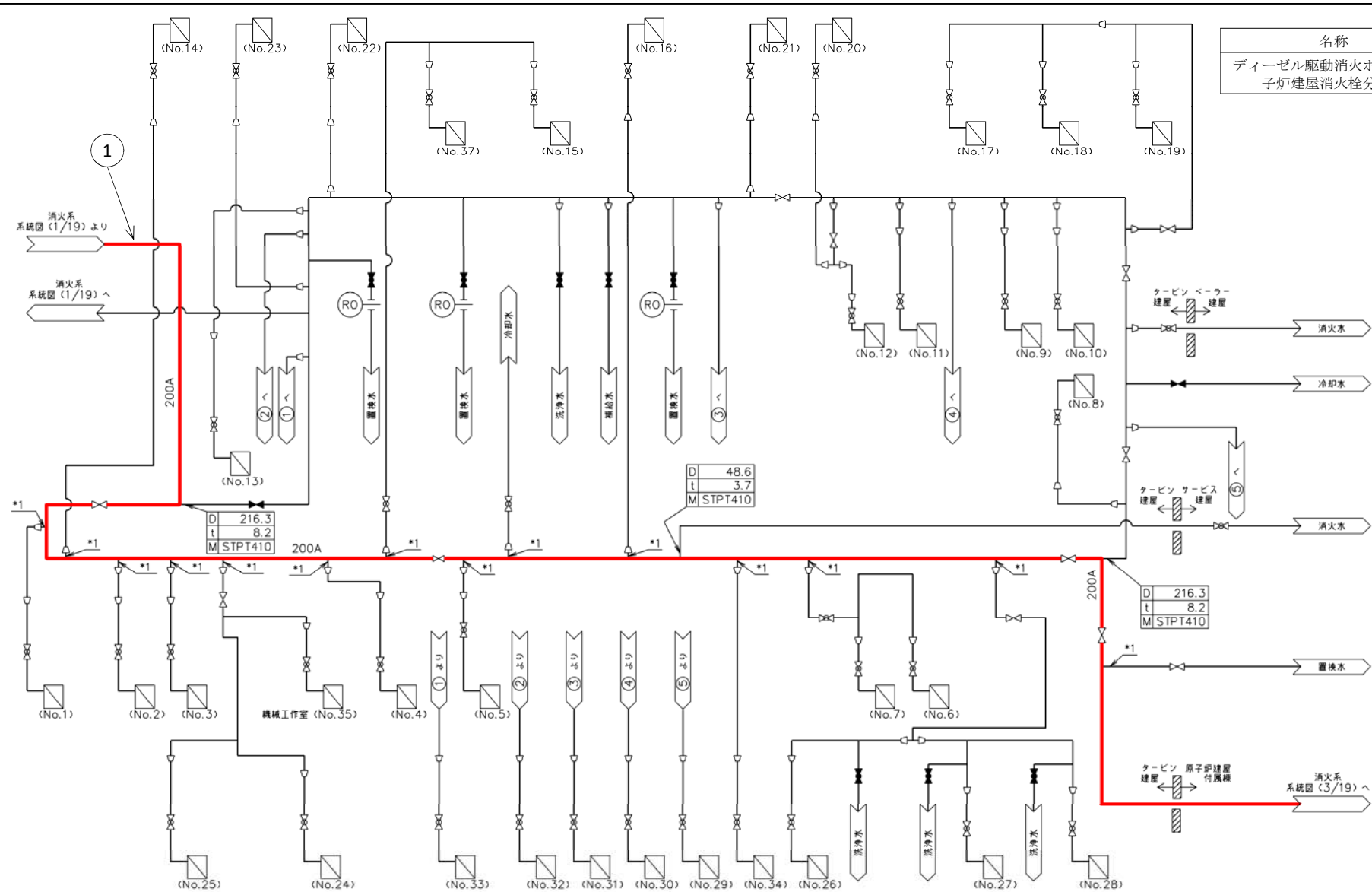
名称	番号
ろ過水貯蔵タンク～ ディーゼル駆動消火ポンプ	1
多目的タンク～ろ過水貯蔵タンク 出口配管	2
ろ過水貯蔵タンク 出口配管～電動機駆動消火ポンプ	3
ディーゼル駆動消火ポンプ～原子炉建屋消火栓分岐点	4
電動機駆動消火ポンプ～ディーゼル駆動消火ポンプ 出口配管	5



— 東海発電所と共用  
— 火災防護設備のうち消火設備 (消火系) (当該設備の申請範囲)

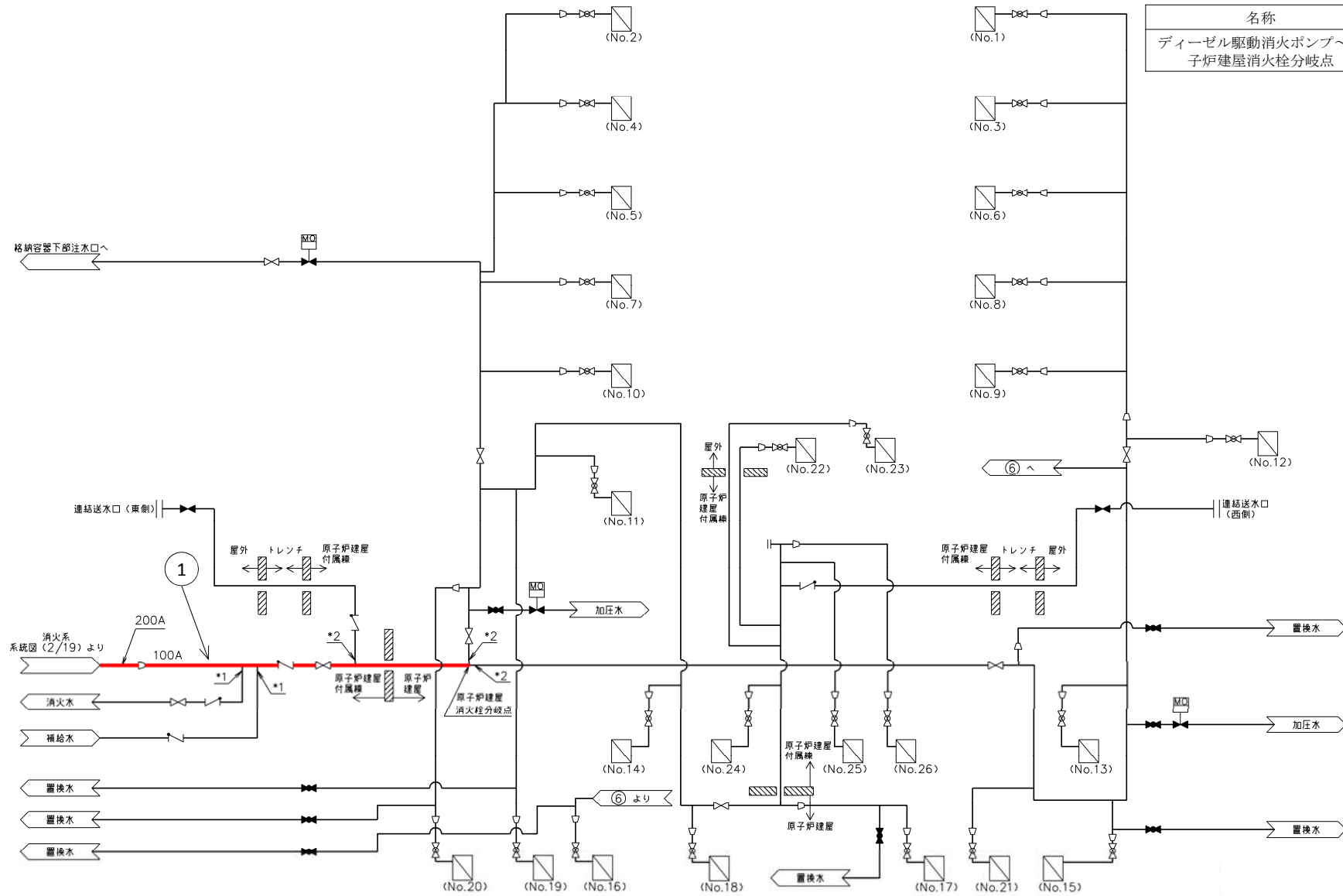
工事計画認可申請	第 9-3-2-1 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (1/28)
日本原子力発電株式会社	

名称	番号
ディーゼル駆動消火ポンプ～原子炉建屋消火栓分岐点	1



— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

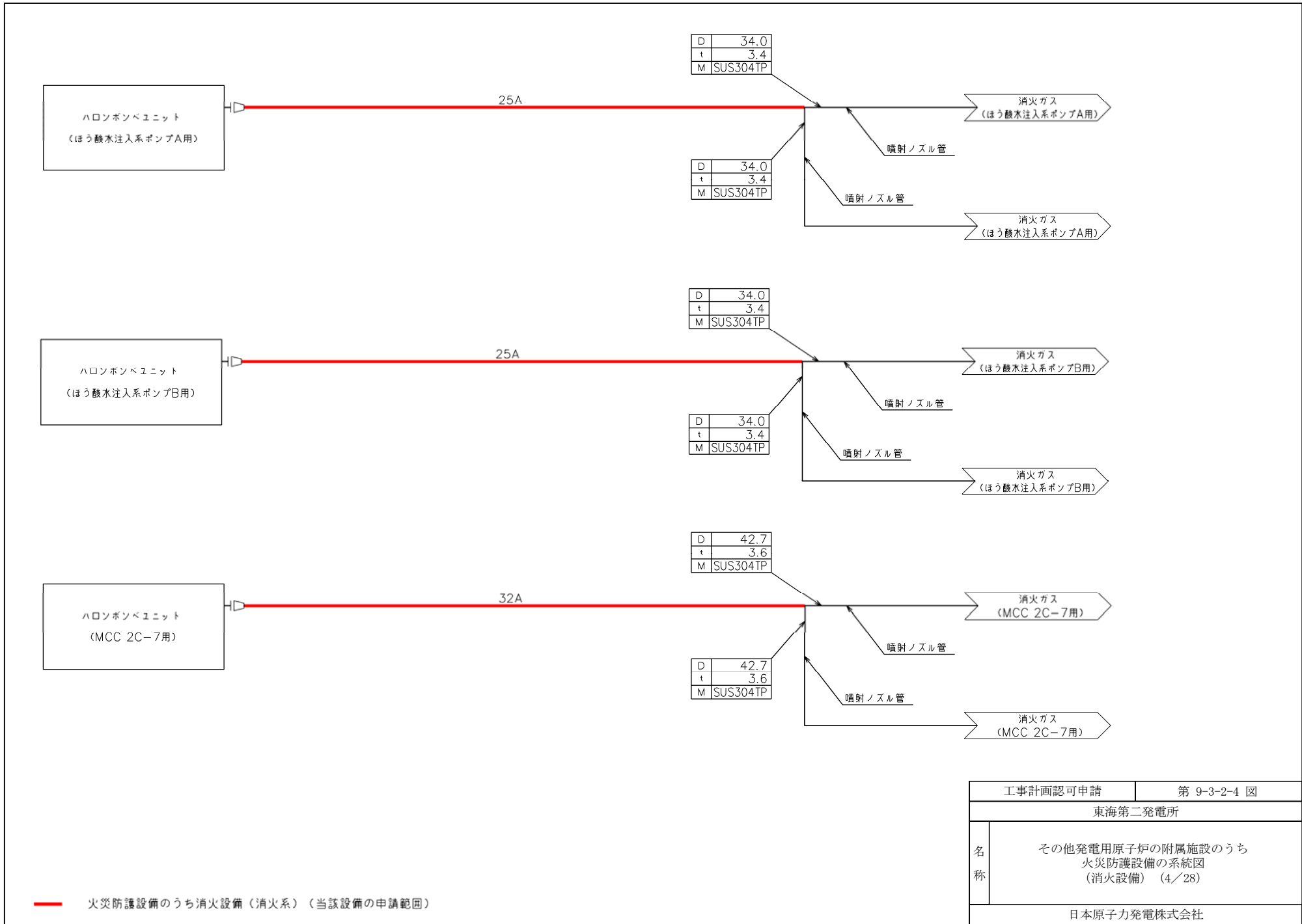
工事計画認可申請	第 9-3-2-2 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (2/28)
日本原子力発電株式会社	



名称	番号
ディーゼル駆動消火ポンプ～原子炉建屋消火栓分岐点	1

工事計画認可申請	第 9-3-2-3 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (3/28)
日本原子力発電株式会社	

— 火災防護設備のうち消火設備 (消火系) (当該設備の申請範囲)



工事計画認可申請		第 9-3-2-4 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (4/28)	
	日本原子力発電株式会社	

— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

ハロンポンベユニット  
(原子炉再循環系低速度用電源装置A用)

ハロンポンベユニット  
(原子炉再循環系低速度用電源装置B用)

ハロンポンベユニット  
(MCC 2D-9用)

32A

32A

32A

32A

D	42.7
t	3.6
M	SUS304TP

D	42.7
t	3.6
M	SUS304TP

D	42.7
t	3.6
M	SUS304TP

D	42.7
t	3.6
M	SUS304TP

D	42.7
t	3.6
M	SUS304TP

D	42.7
t	3.6
M	SUS304TP

噴射ノズル管

噴射ノズル管

噴射ノズル管

噴射ノズル管

噴射ノズル管

噴射ノズル管

消火ガス  
(原子炉再循環系  
低速度用電源装置A用)

消火ガス  
(原子炉再循環系  
低速度用電源装置A用)

消火ガス  
(原子炉再循環系  
低速度用電源装置B用)

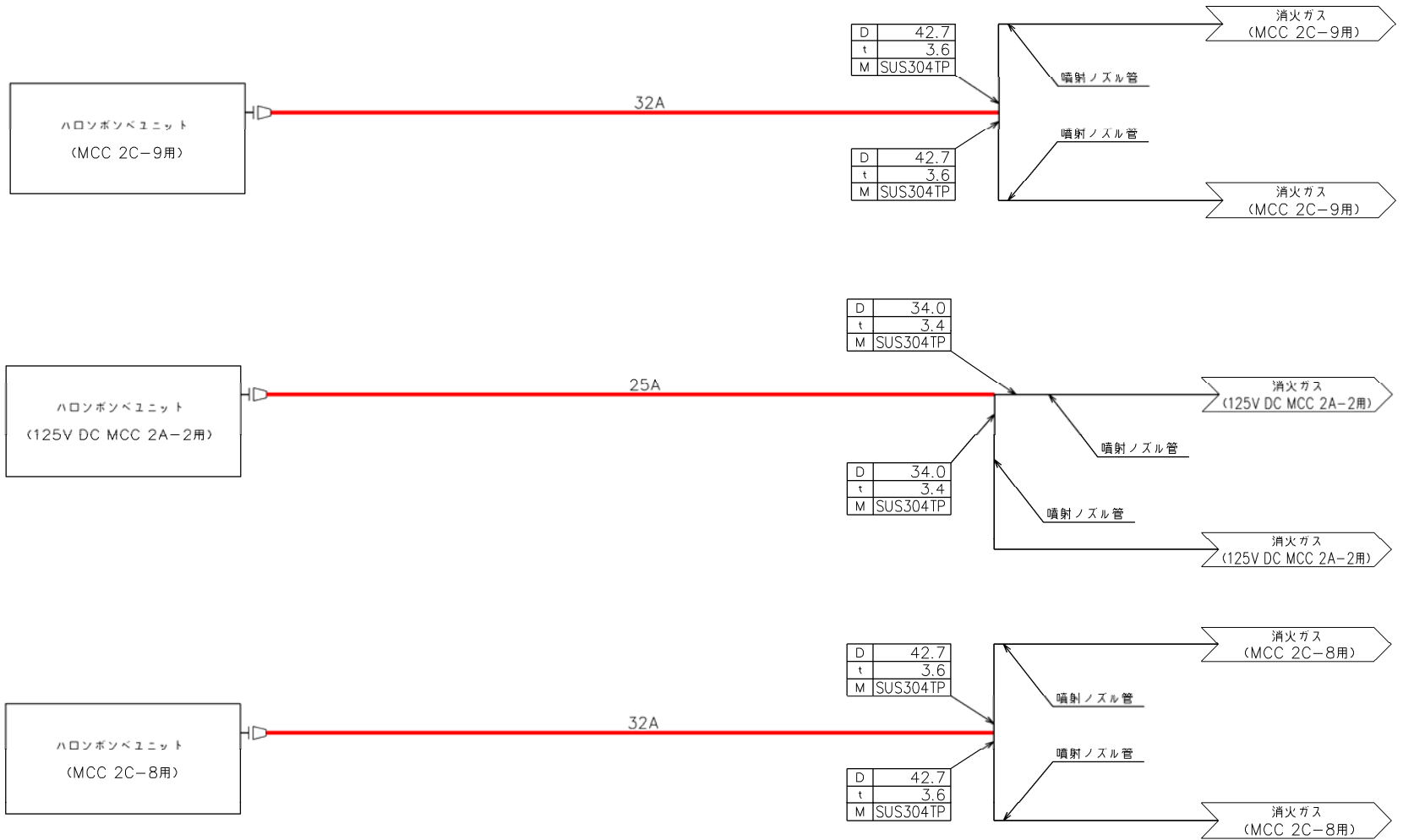
消火ガス  
(原子炉再循環系  
低速度用電源装置B用)

消火ガス  
(MCC 2D-9用)

消火ガス  
(MCC 2D-9用)

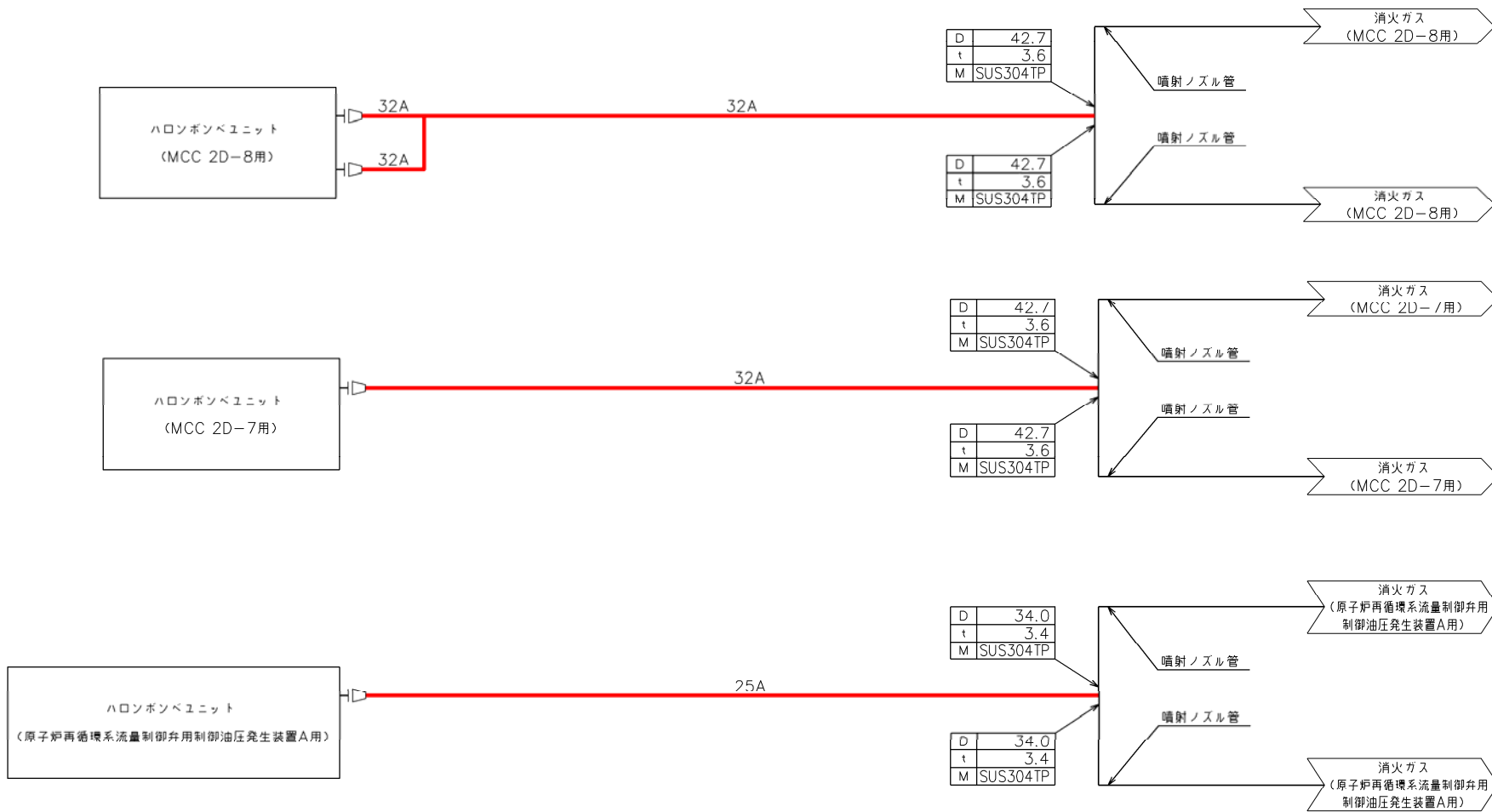
— 火災防護設備のうち消火設備 (消火系) (当該設備の申請範囲)

工事計画認可申請		第 9-3-2-5 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (5/28)		
	日本原子力発電株式会社		



— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

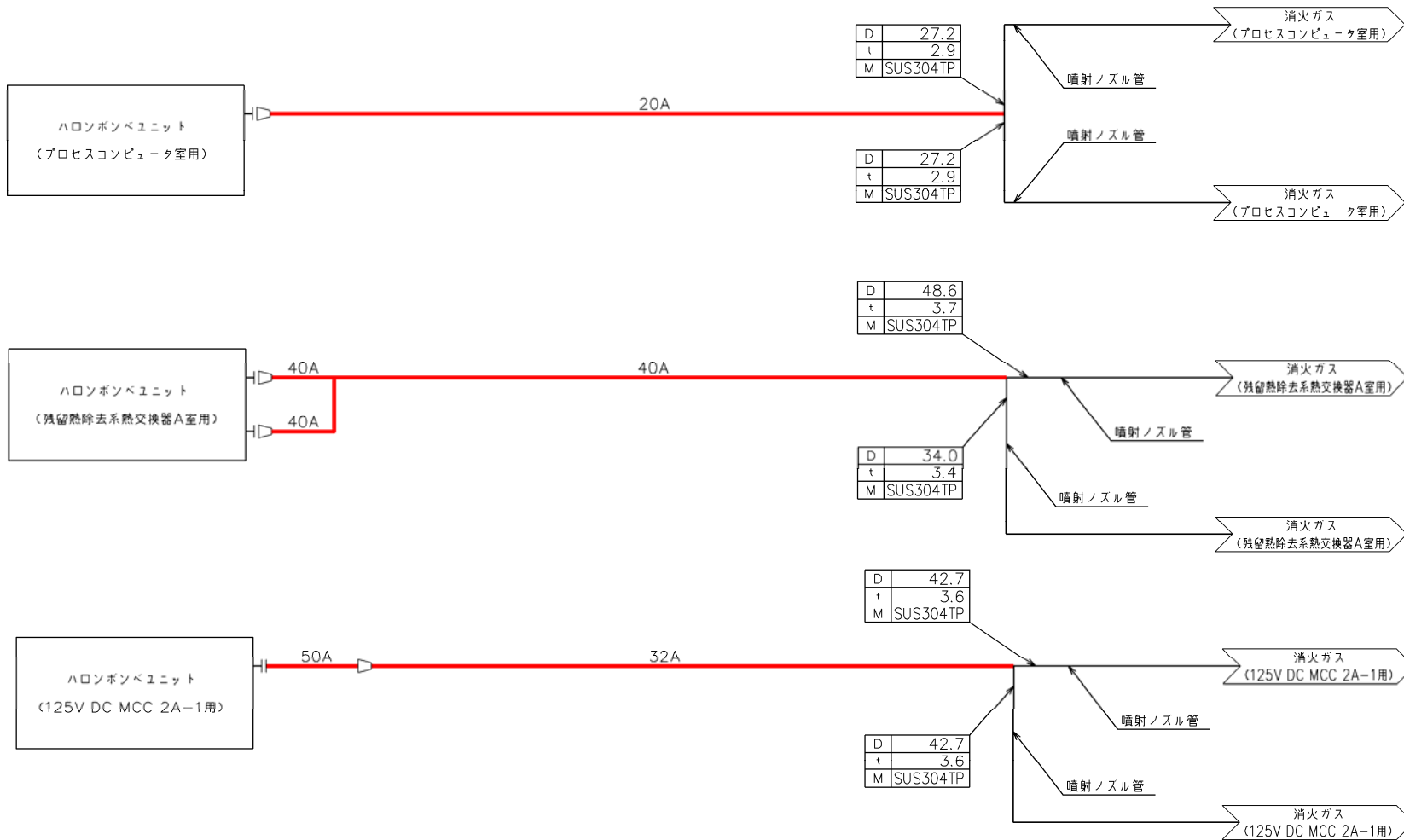
工事計画認可申請		第 9-3-2-6 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (6/28)	
日本原子力発電株式会社		



— 火災防護設備のうち消火設備 (消火系) (当該設備の申請範囲)

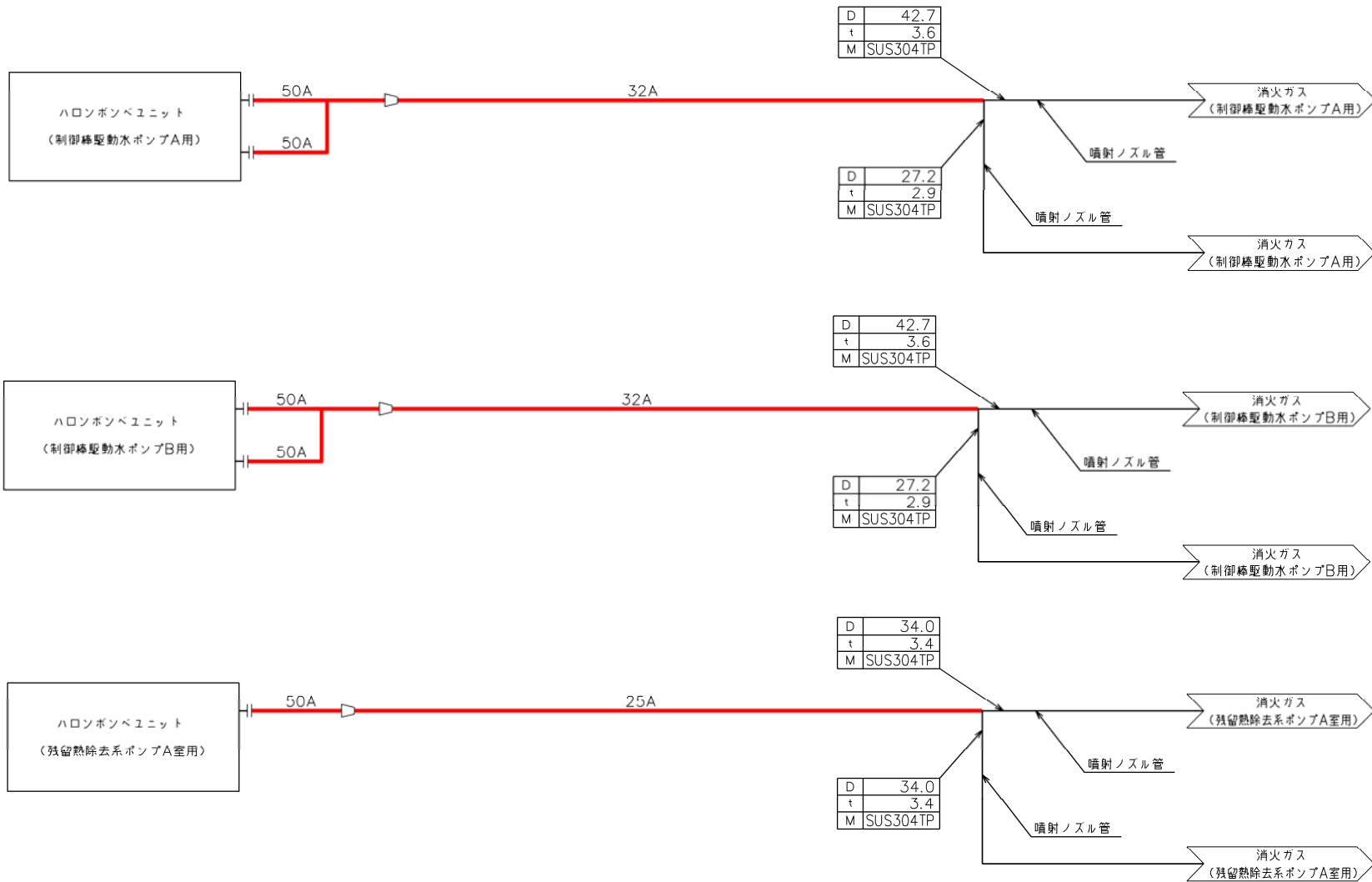
工事計画認可申請		第 9-3-2-7 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (7/28)		
	日本原子力発電株式会社		





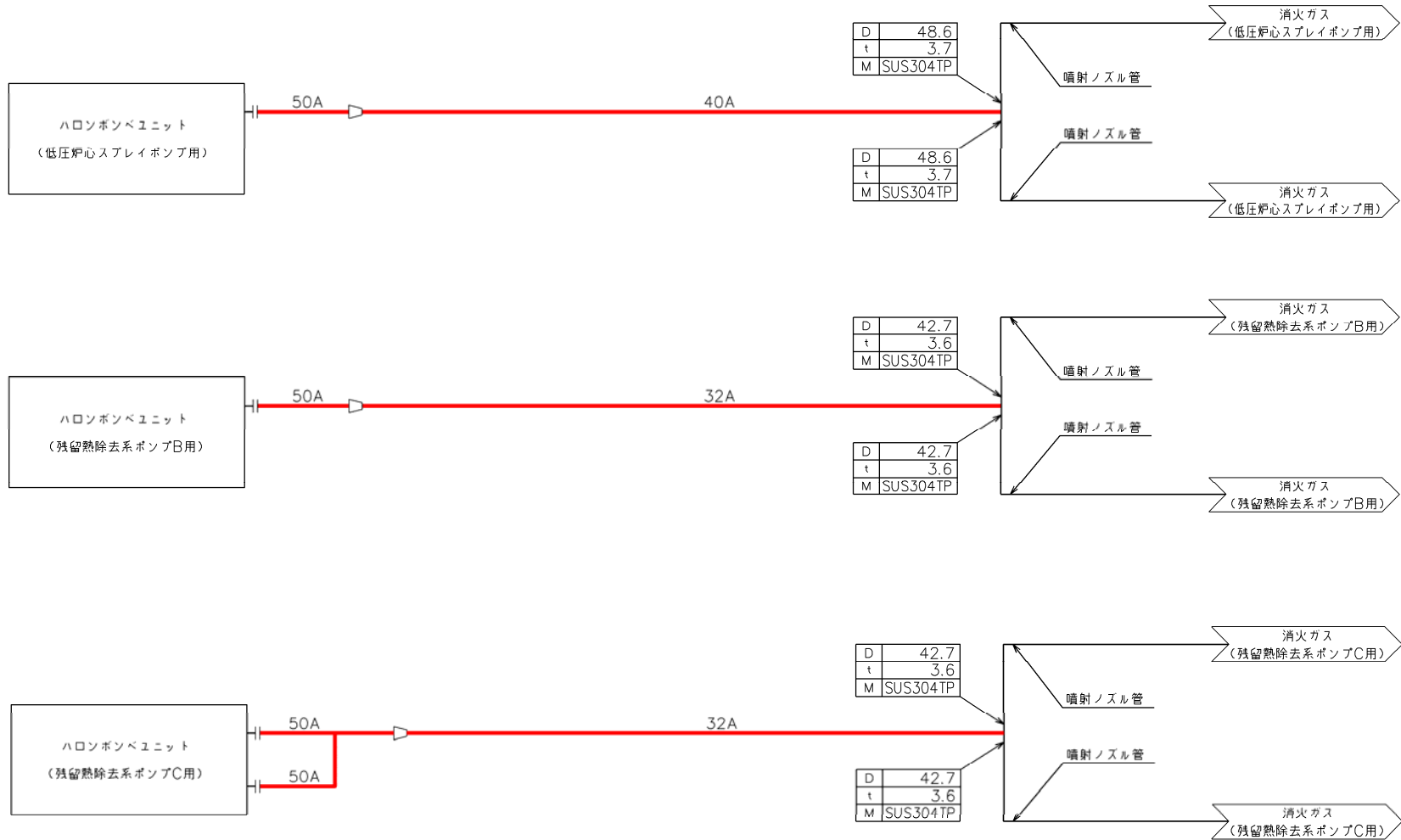
— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

工事計画認可申請		第 9-3-2-8 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (8/28)	
日本原子力発電株式会社		



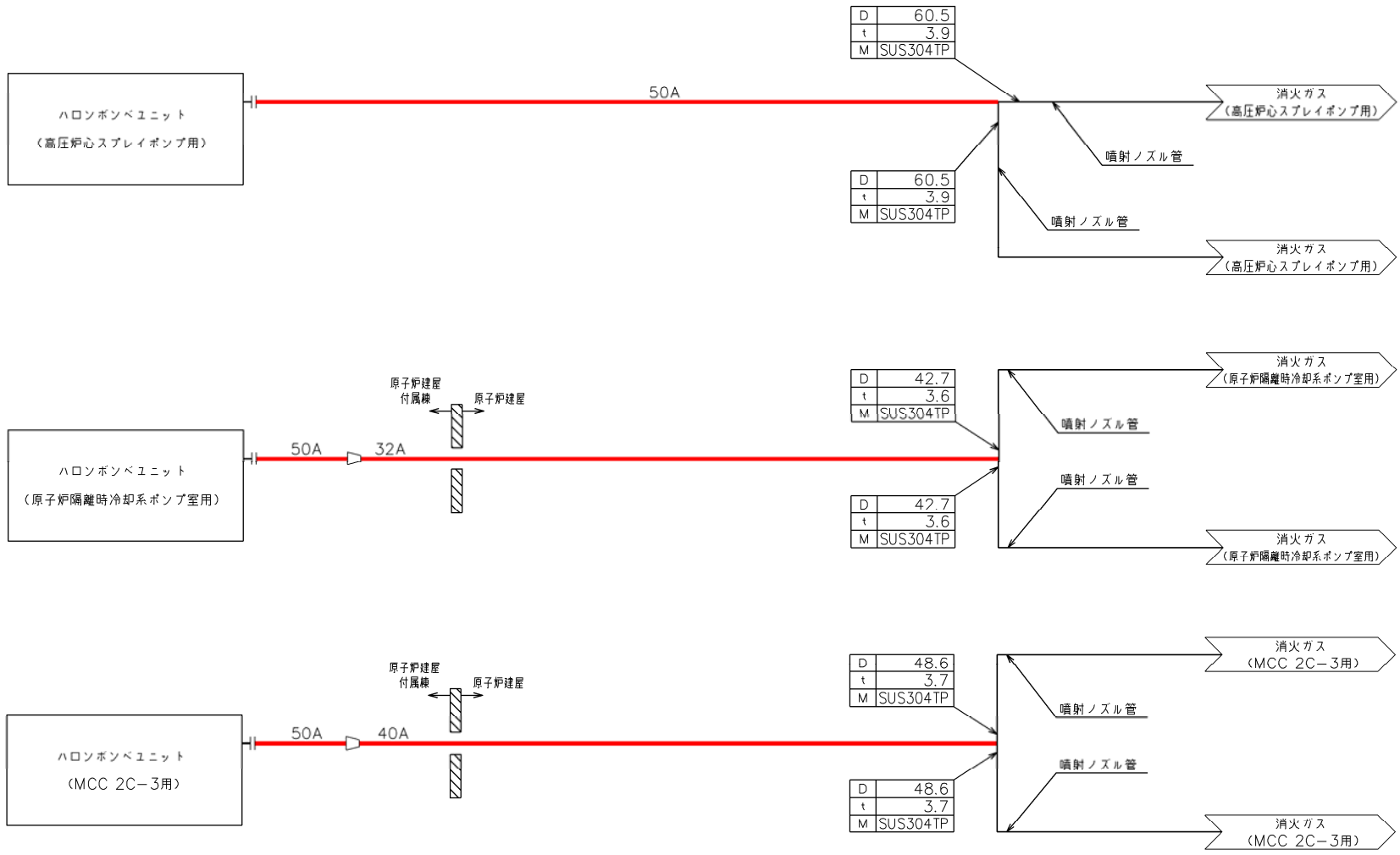
— 火災防護設備のうち消火設備 (消火系) (当該設備の申請範囲)

工事計画認可申請		第 9-3-2-9 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (9/28)		
	日本原子力発電株式会社		



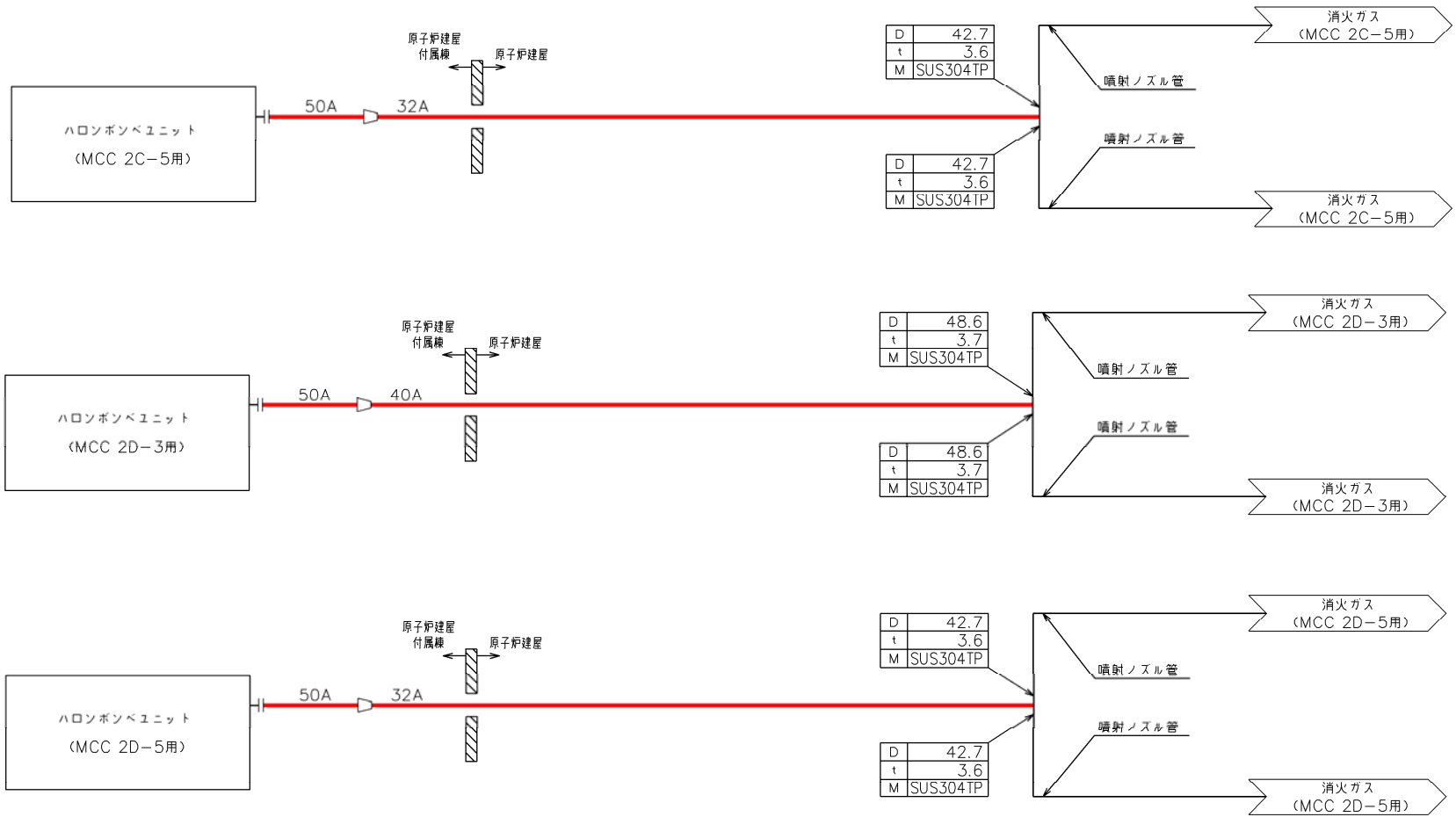
— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

工事計画認可申請		第 9-3-2-10 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 （消火設備）（10/28）	
日本原子力発電株式会社		



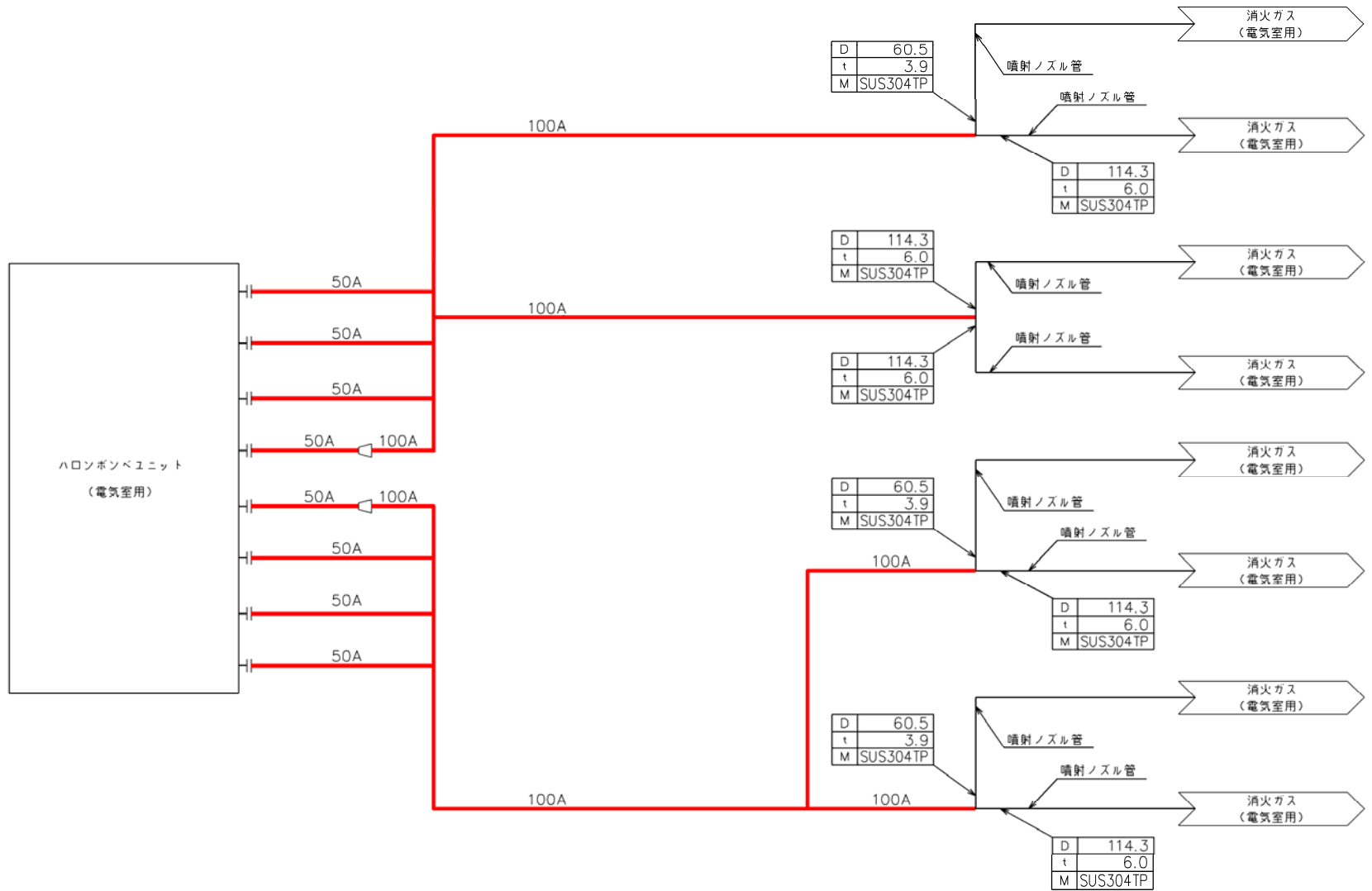
— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

工事計画認可申請	第 9-3-2-11 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (11/28)
日本原子力発電株式会社	



— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

工事計画認可申請	第 9-3-2-12 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (12/28)
日本原子力発電株式会社	



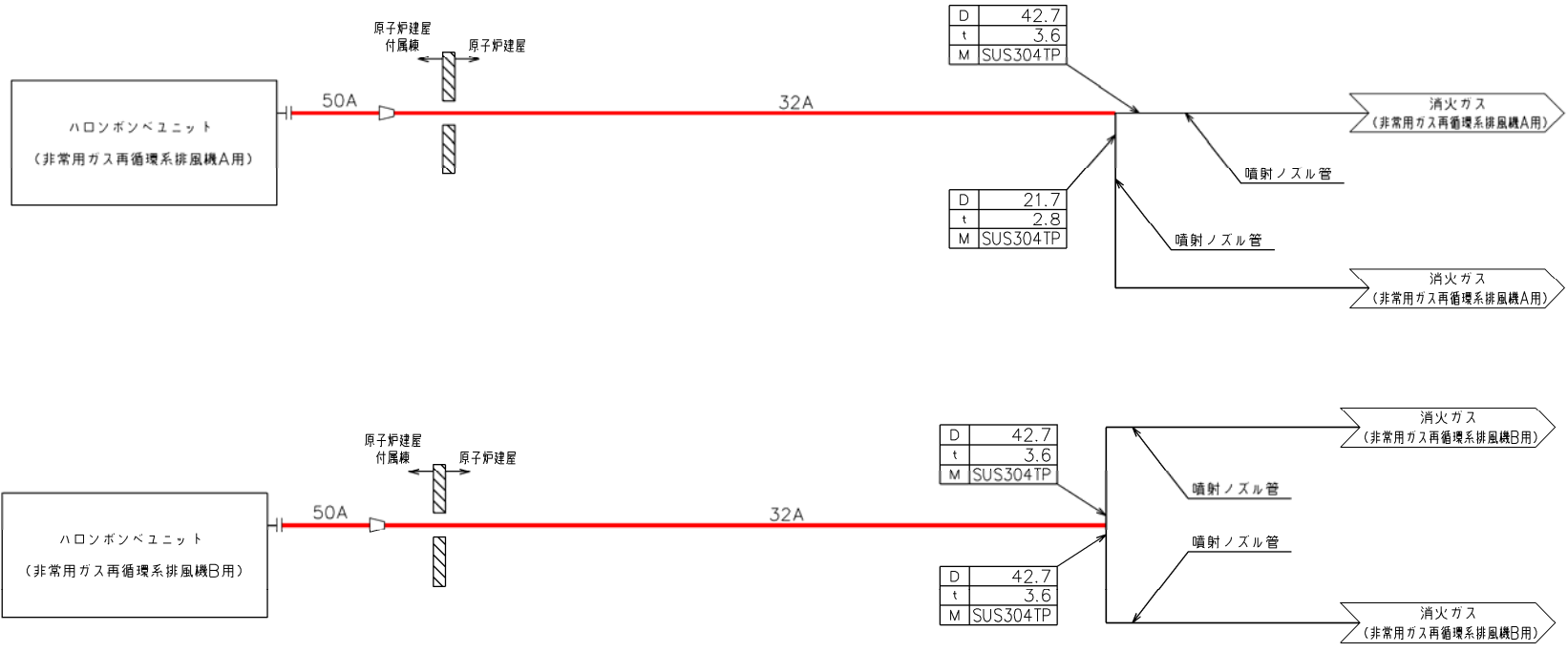
— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

工事計画認可申請		第 9-3-2-13 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (13/28)		
	日本原子力発電株式会社		



— 火災防護設備のうち消火設備 (消火系) (当該設備の申請範囲)

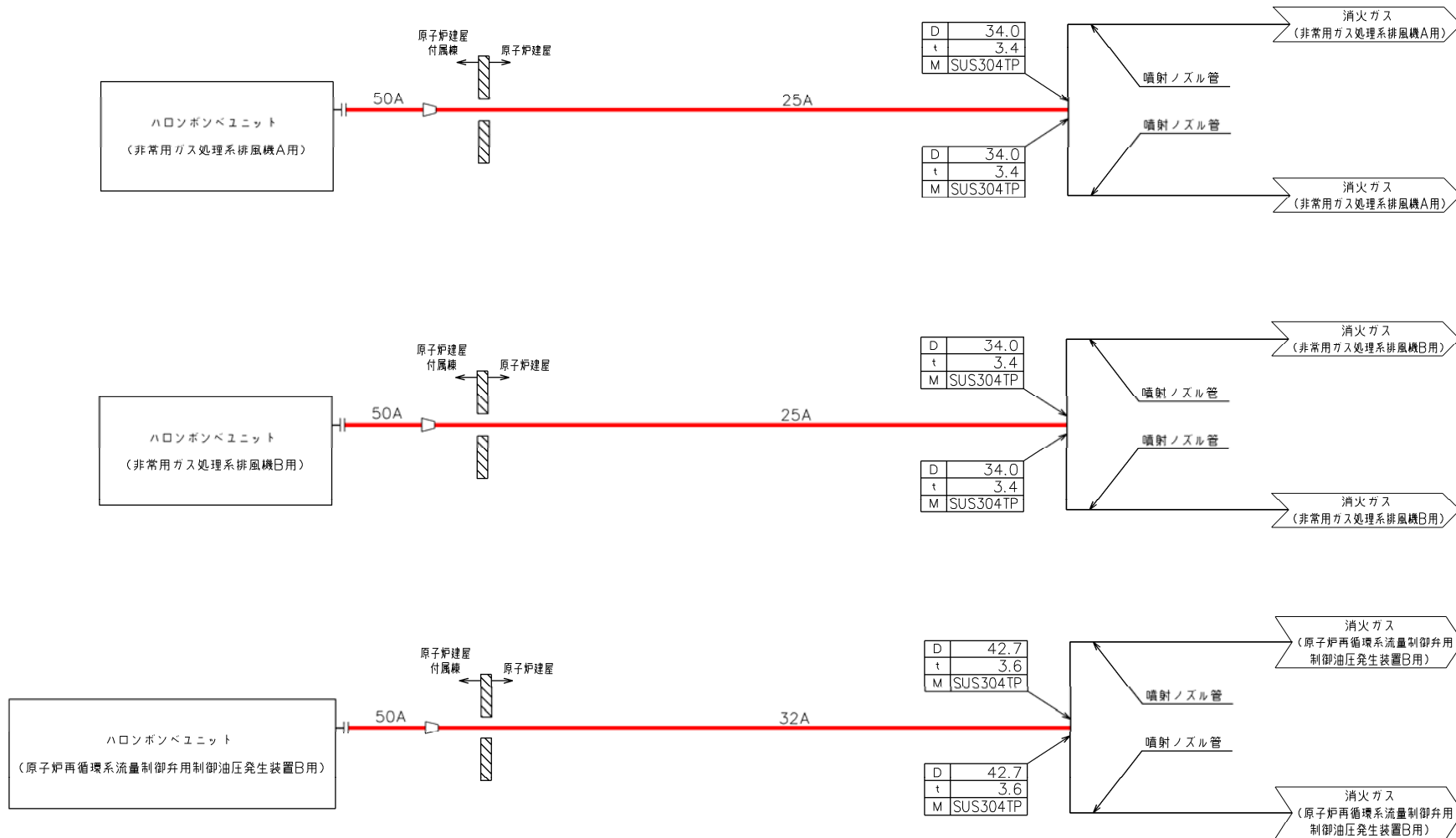
工事計画認可申請		第 9-3-2-14 図	
東海第二発電所			
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (14/28)		
	日本原子力発電株式会社		



— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

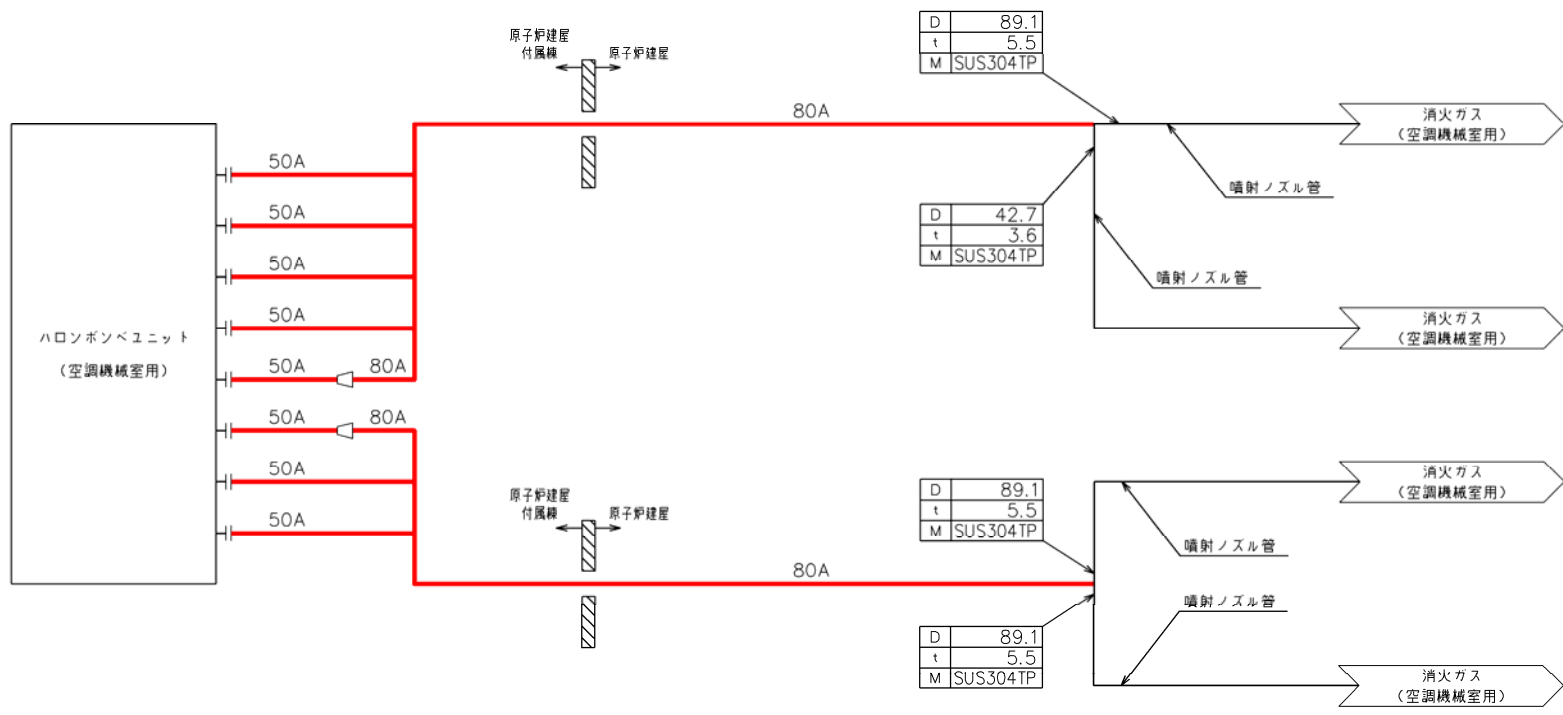
工事計画認可申請		第 9-3-2-15 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (15/28)	
日本原子力発電株式会社		





— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

工事計画認可申請	第 9-3-2-16 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (16/28)
日本原子力発電株式会社	



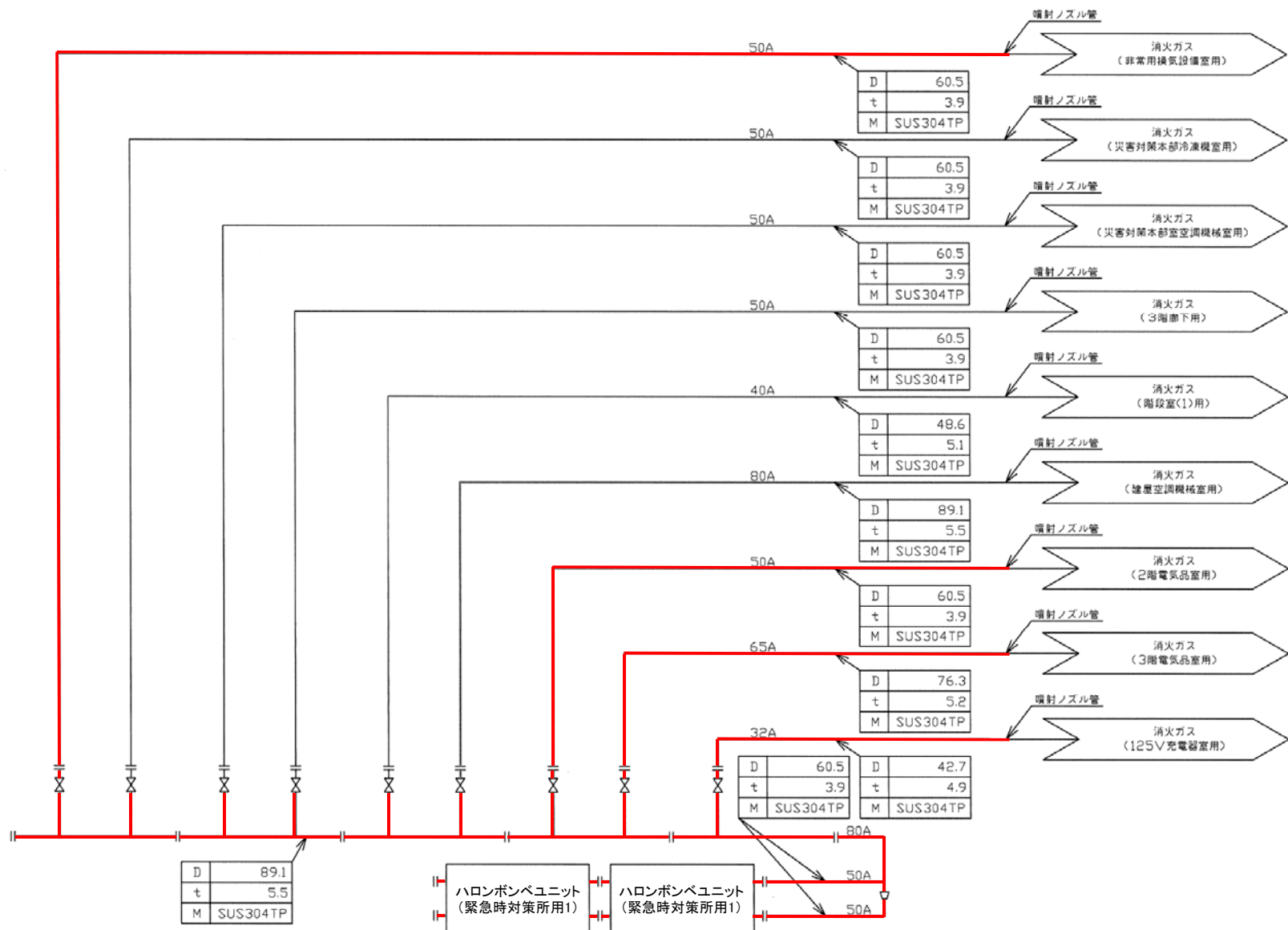
— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

工事計画認可申請		第 9-3-2-17 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (17/28)		
	日本原子力発電株式会社		



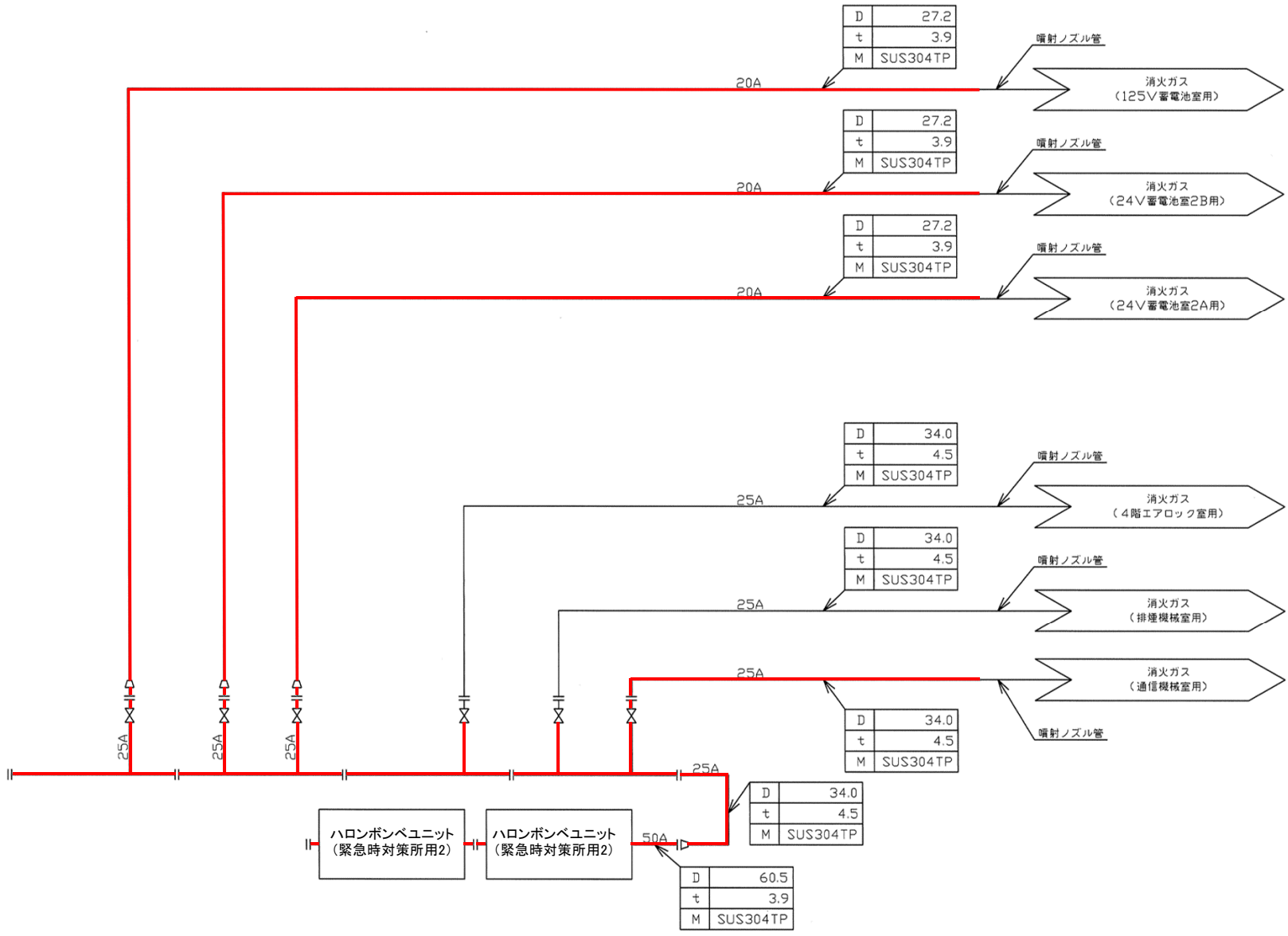
— 火災防護設備のうち消火設備 (消火系) (当該設備の申請範囲)

工事計画認可申請		第 9-3-2-18 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (18/28)	
日本原子力発電株式会社		



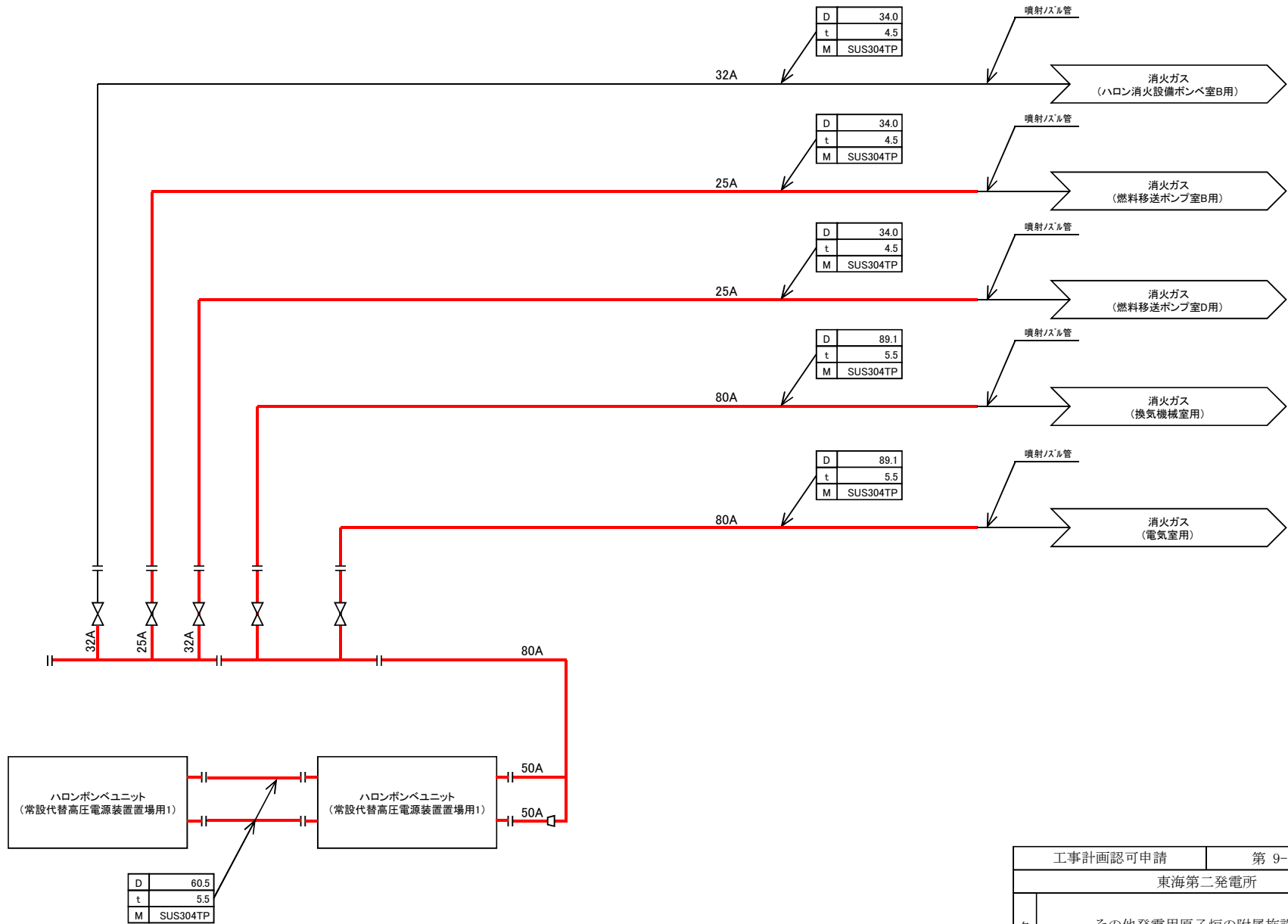
— 火災防護設備のうち消火設備 (消火系) (当該設備の申請範囲)

工事計画認可申請	第 9-3-2-19 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (19/28)
日本原子力発電株式会社	



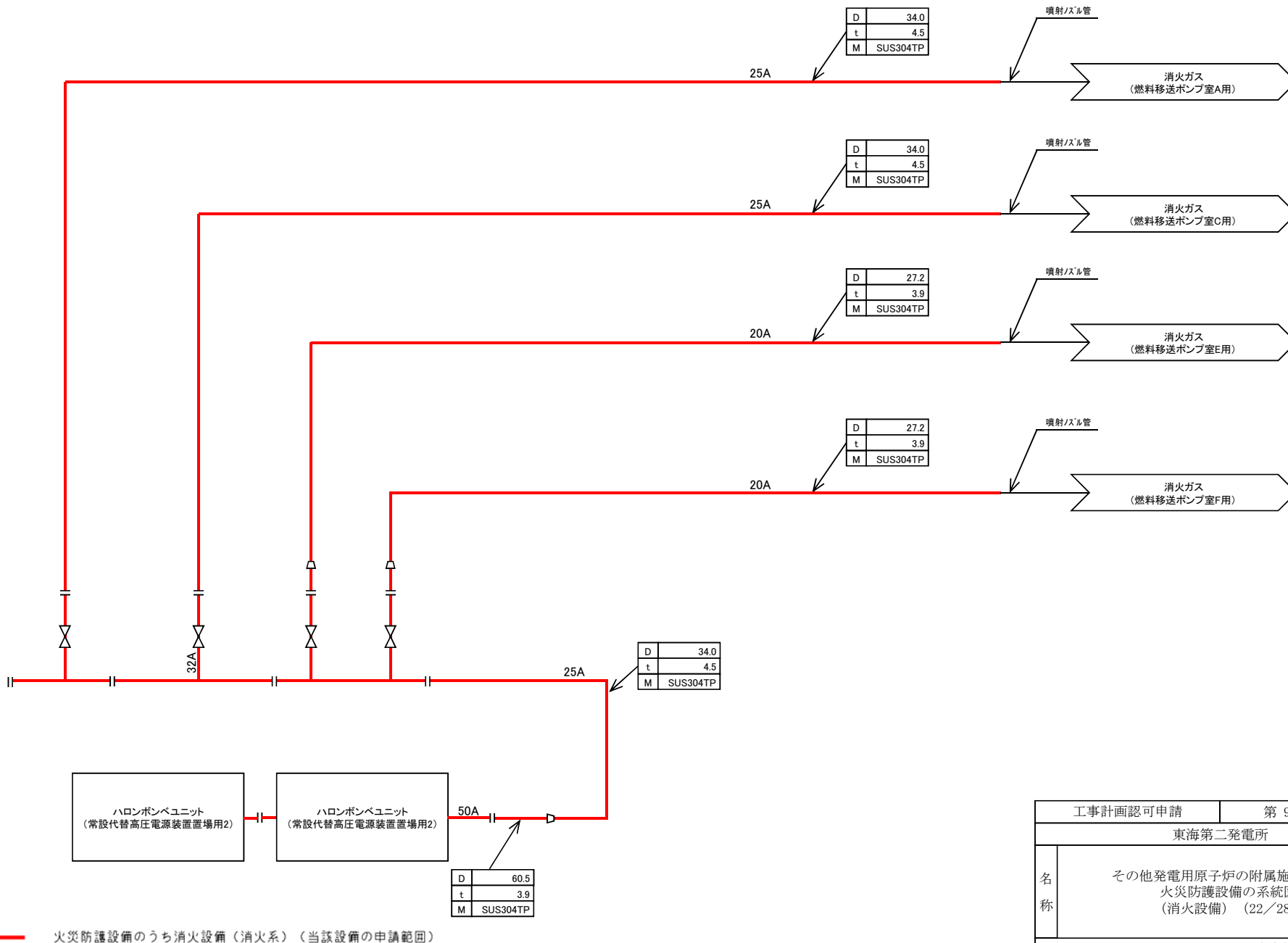
— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

工事計画認可申請		第 9-3-2-20 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (20/28)	
	日本原子力発電株式会社	

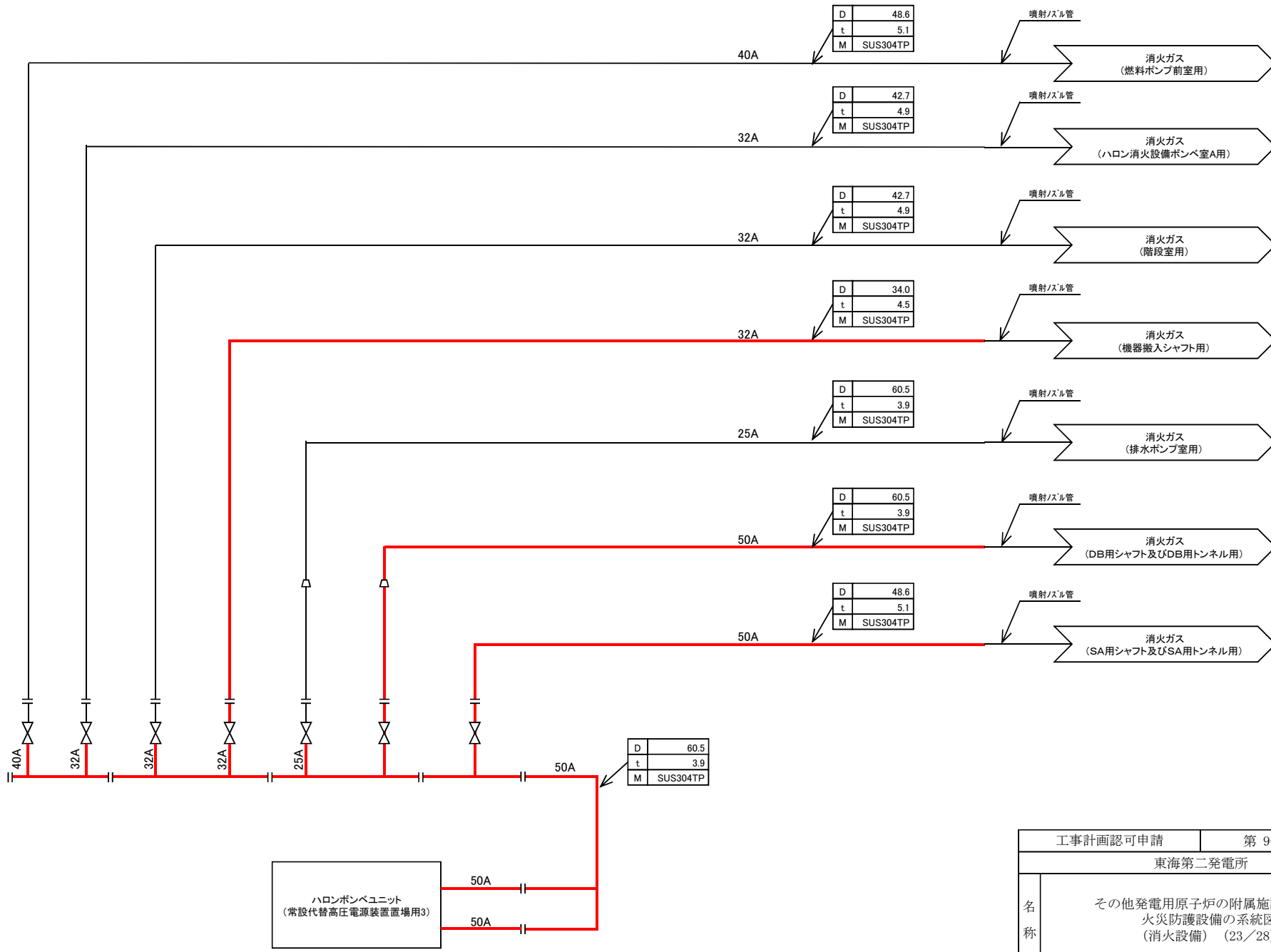


— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

工事計画認可申請	第 9-3-2-21 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (21/28)
日本原子力発電株式会社	



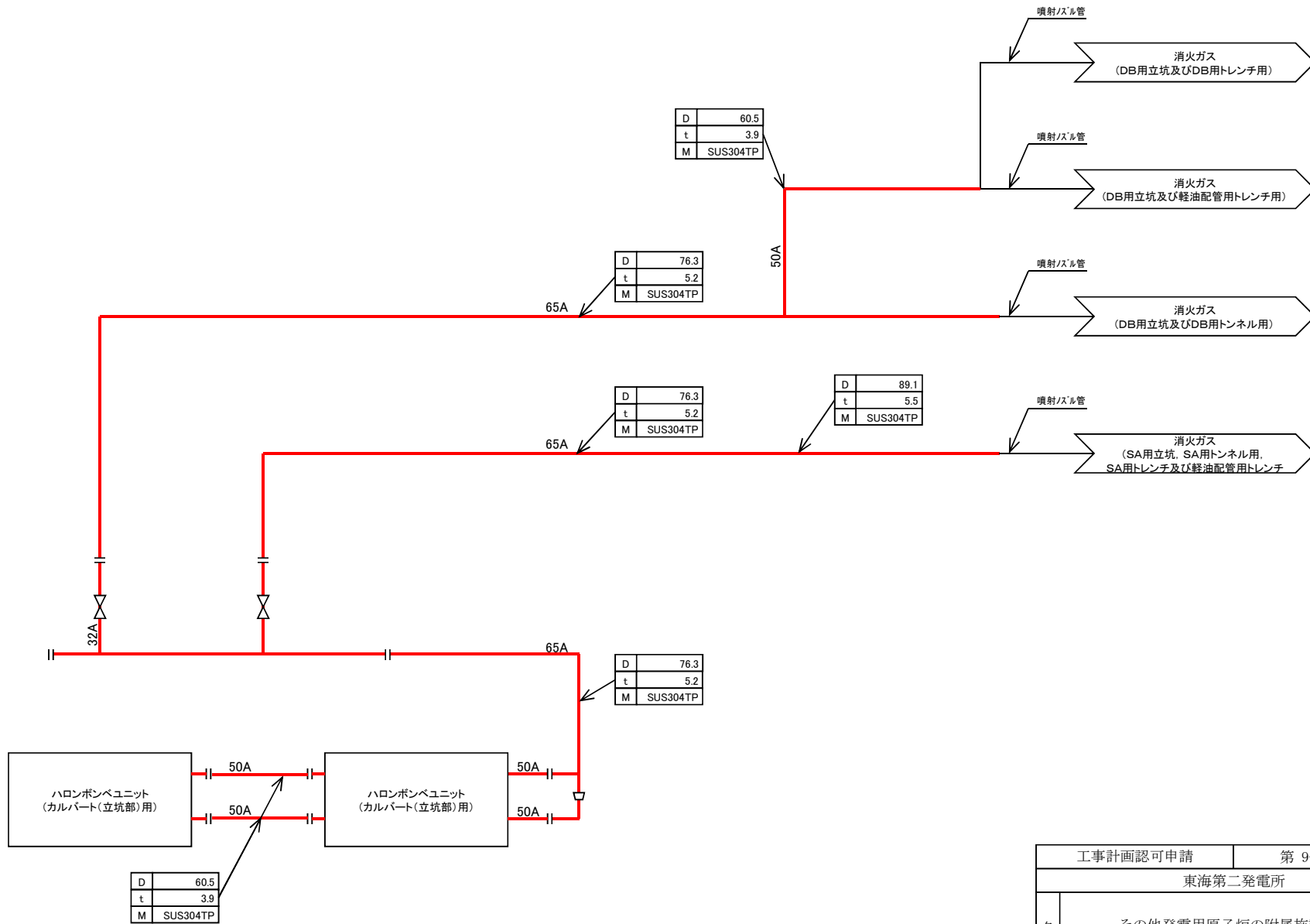
工事計画認可申請	第 9-3-2-22 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (22/28)
日本原子力発電株式会社	



— 火災防護設備のうち消火設備 (消火系) (当該設備の申請範囲)

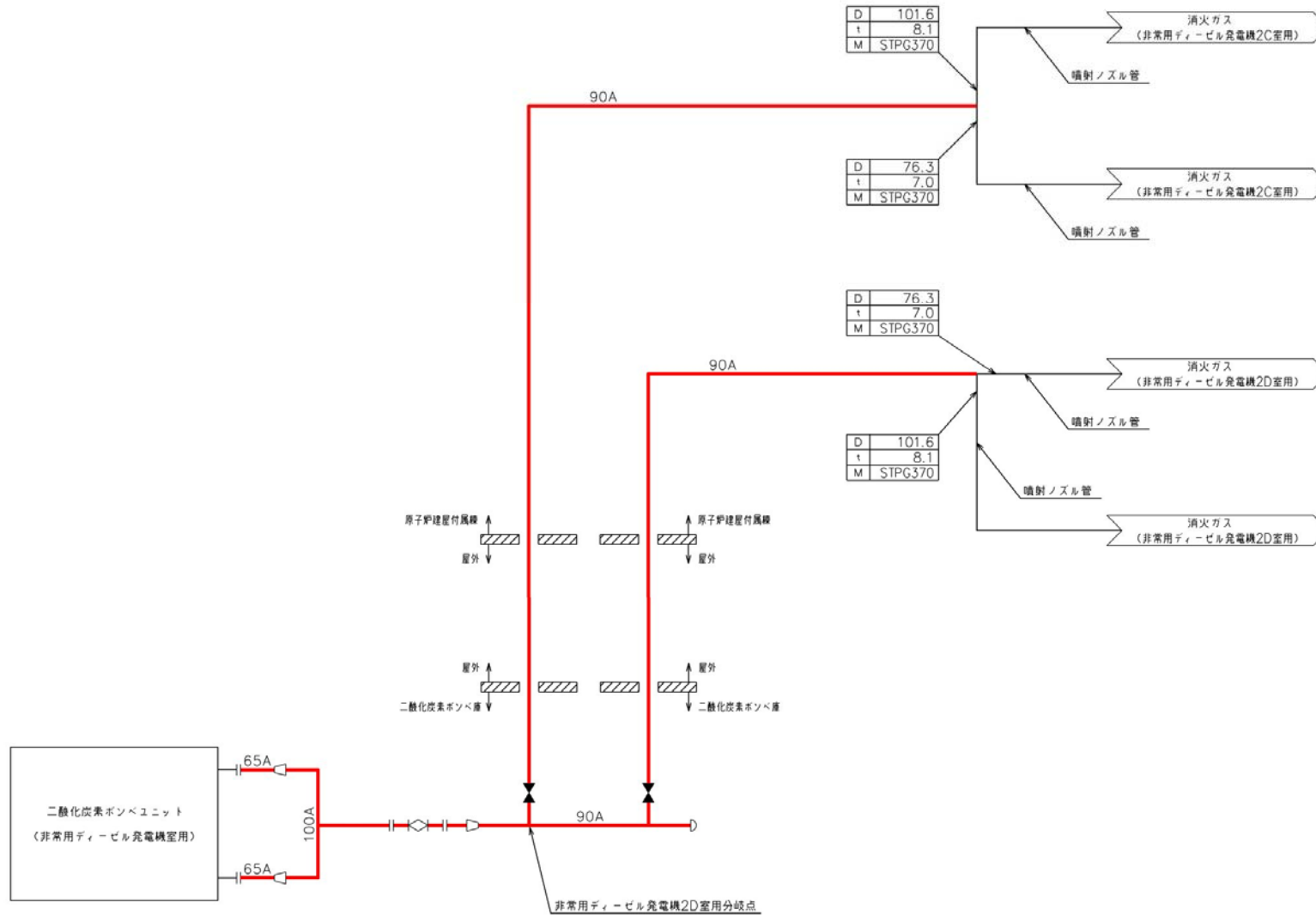
工事計画認可申請	第 9-3-2-23 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (23/28)
日本原子力発電株式会社	





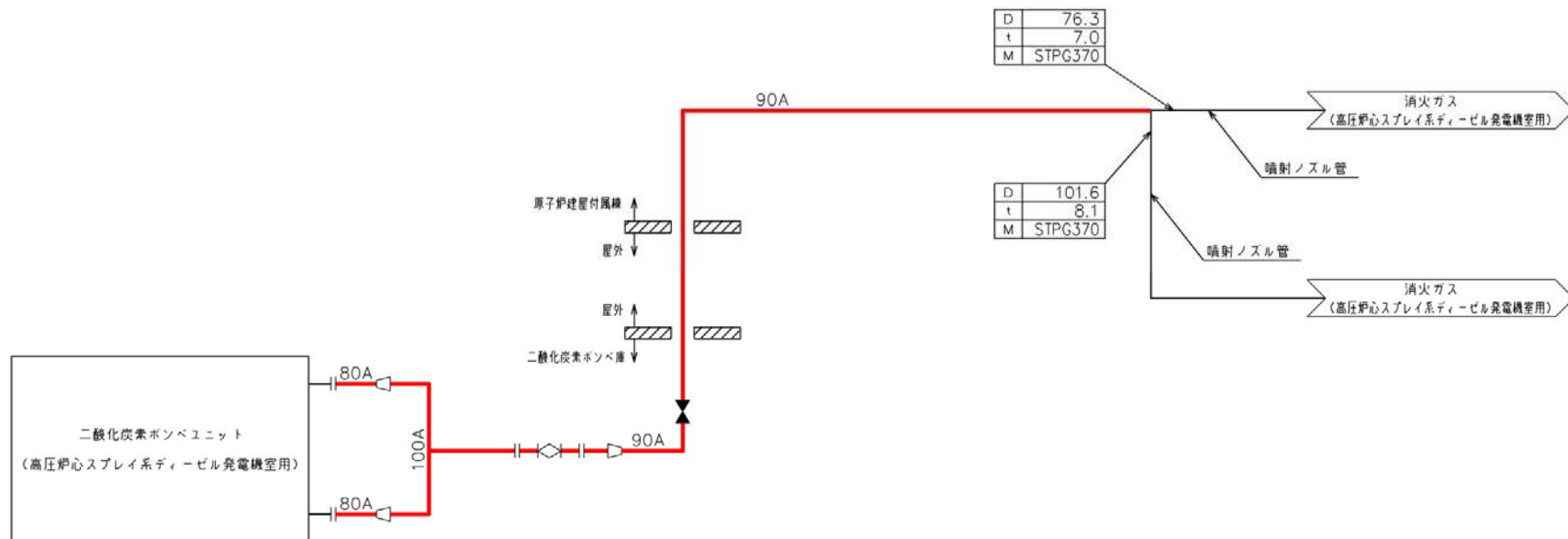
— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

工事計画認可申請	第 9-3-2-24 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (24/28)
日本原子力発電株式会社	



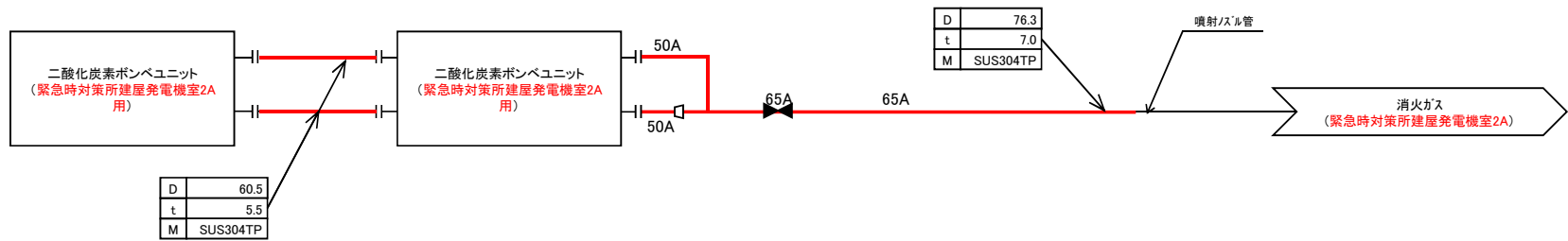
— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

工事計画認可申請		第 9-3-2-25 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (25/28)		
	日本原子力発電株式会社		



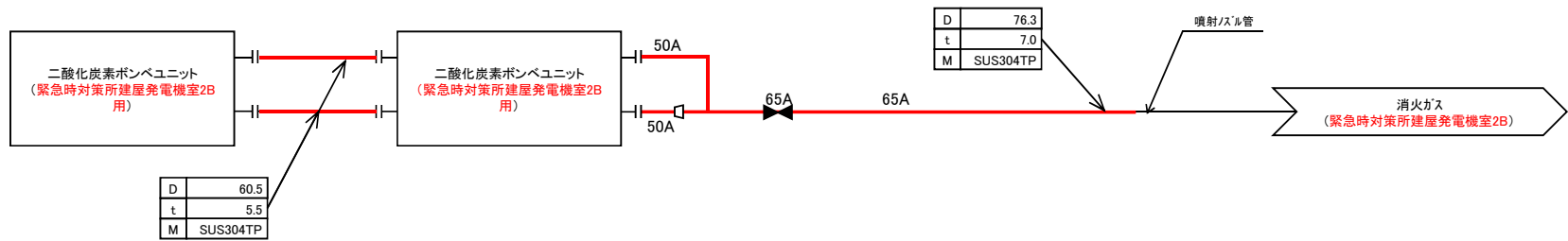
— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

工事計画認可申請		第 9-3-2-26 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (26/28)	
日本原子力発電株式会社		



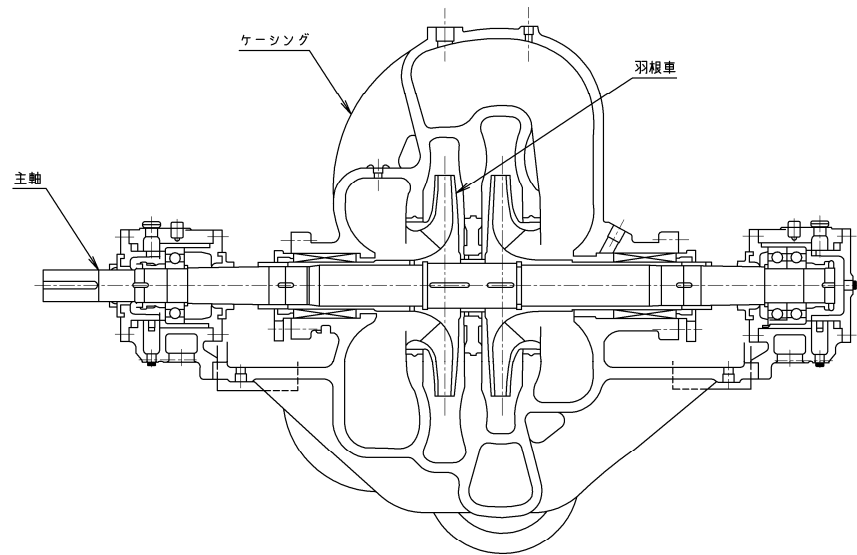
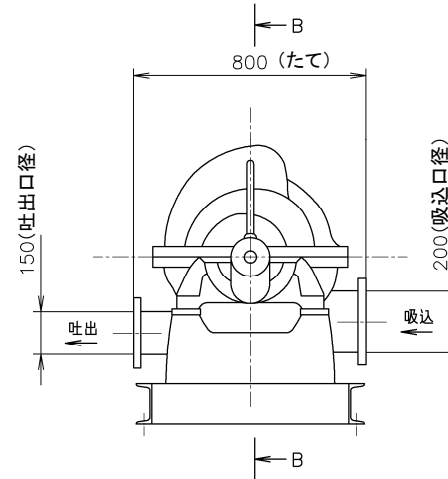
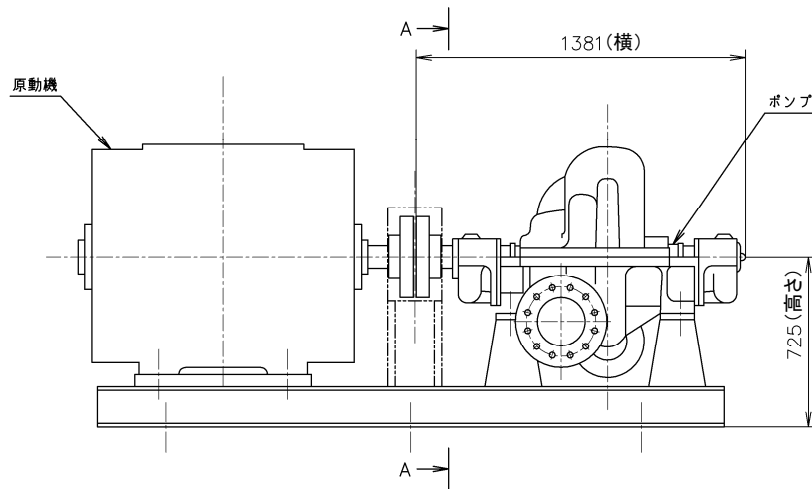
— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

工事計画認可申請		第 9-3-2-27 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (27/28)		
	日本原子力発電株式会社		



— 火災防護設備のうち消火設備（消火系）（当該設備の申請範囲）

工事計画認可申請		第 9-3-2-28 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備の系統図 (消火設備) (28/28)		
	日本原子力発電株式会社		



B~B断面図

A~A矢視図

主要目表				
ポンプ	種類	—	うず巻形	
	容量	m <sup>3</sup> /h/個	□以上 (227.1)	
	揚程	m	□以上 (89)	
	最高使用圧力	MPa	1.38	
	最高使用温度	℃	50	
	材料	ケーシング	—	FC30
	個数	—	—	1
	取付箇所	系統名	—	消火系
		設置床	—	タービン建屋 EL. 8200 mm
		溢水防護上の 区画番号	—	—
溢水防護上の 配慮が必要な 高さ		—	—	
原動機	種類	—	誘導電動機	
	出力	kW/個	110	
	個数	—	1	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

注1: 寸法はmmを示す。  
注2: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-1-1 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) 電動機駆動消火ポンプ	
	日本原子力発電株式会社	

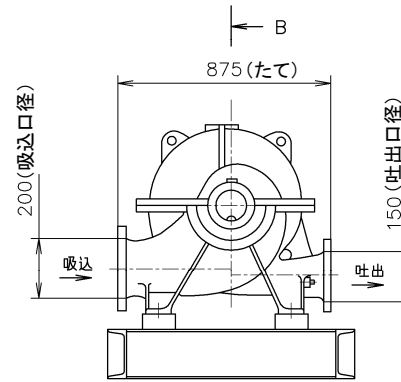
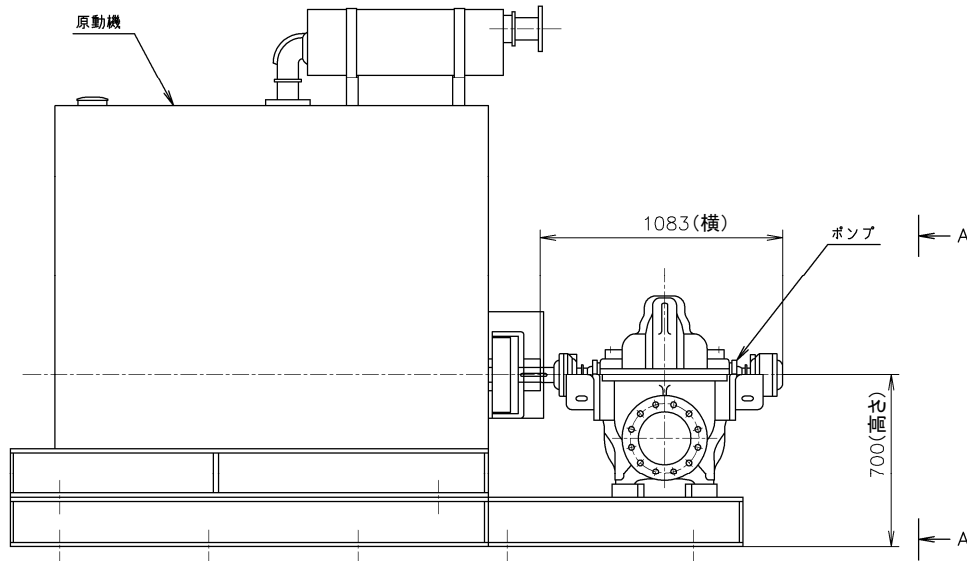
第9-3-3-1-1図「その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 電動機駆動消火ポンプ」の補足

(1) 電動機駆動消火ポンプの寸法許容範囲及び根拠

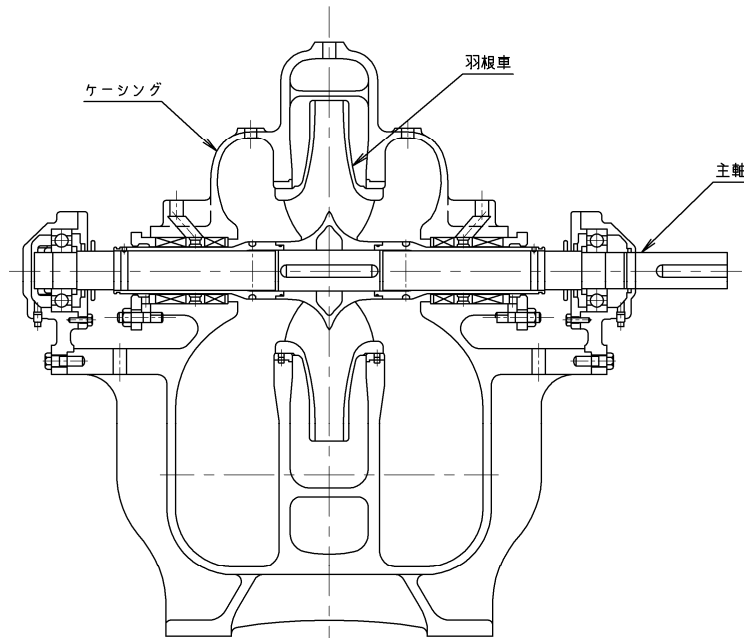
工事計画記載の電動機駆動消火ポンプに関する公称値の許容範囲及び許容範囲の根拠となる許容差は次のとおり。

[第9-3-3-1-1図 電動機駆動消火ポンプ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差(mm)	根拠
電動機駆動消火ポンプ	吸込口径		200			
	吐出口径		150			
	たて		800			
	横		1381			
	高さ		725			



A~A矢視図



B~B断面図

主要目表				
ポンプ	種類	—	うず巻形	
	容量	m <sup>3</sup> /h/個	□以上 (261)	
	揚程	m	□以上 (90)	
	最高使用圧力	MPa	1.38	
	最高使用温度	℃	50	
	材料	ケーシング	—	FC250
		個数	—	1
	取付箇所	系統名	—	消火系
		設置床	—	タービン建屋 EL. 8200 mm
		溢水防護上の 区画番号	—	—
溢水防護上の 配慮が必要な 高さ		—	—	
原動機	種類	—	ディーゼル機関	
	出力	kW/個	131	
	個数	—	1	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

工事計画認可申請		第 9-3-3-1-2 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ディーゼル駆動消火ポンプ	
	日本原子力発電株式会社	

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。



第9-3-3-1-2図「その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 ディーゼル駆動消火ポンプ」の補足

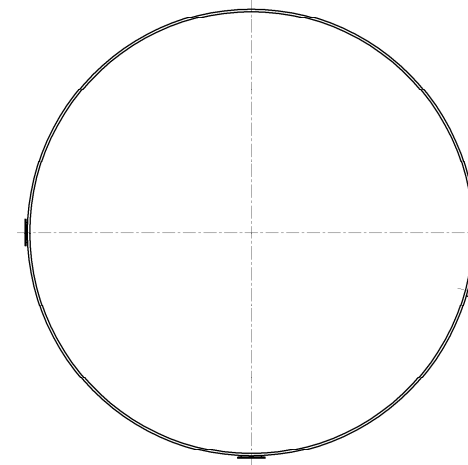
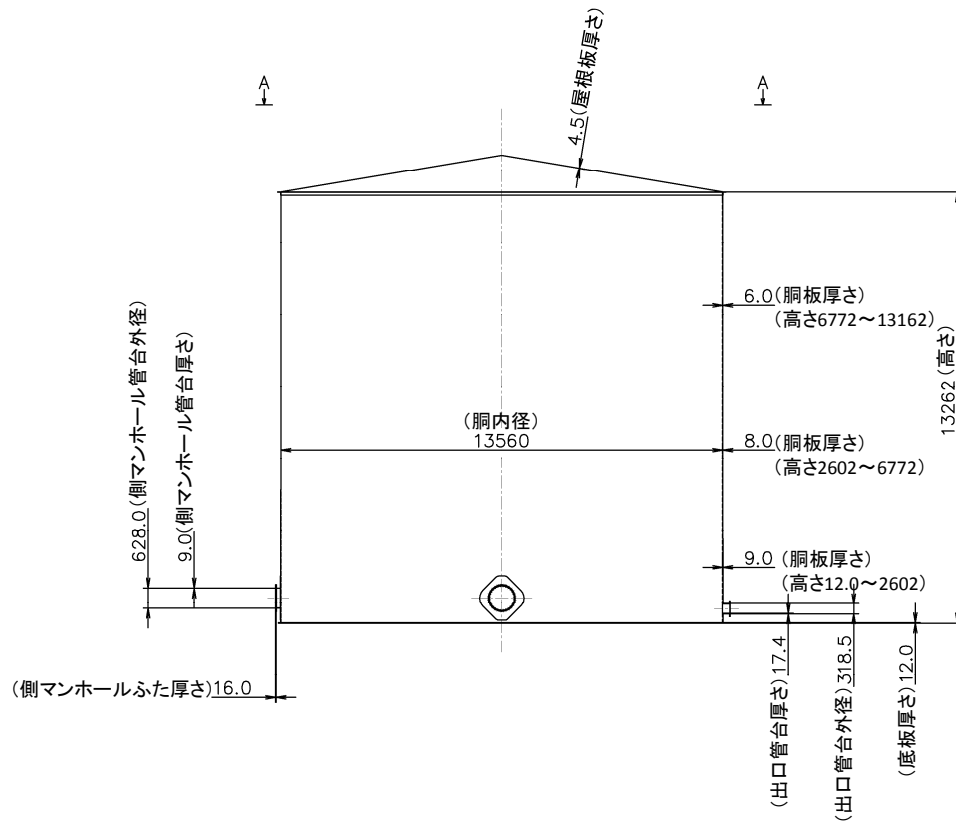
(1) ディーゼル駆動消火ポンプの寸法許容範囲及び根拠

工事計画記載のディーゼル駆動消火ポンプに関する公称値の許容範囲及び許容範囲の根拠となる許容差は次のとおり。

[第9-3-3-1-2図 ディーゼル駆動消火ポンプ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差(mm)	根拠
ディーゼル駆動消火ポンプ	吸込口径		200			
	吐出口径		150			
	たて		875			
	横		1083			
	高さ		700			

主要目表			
種	類	—	たて置円筒形
容	量	m <sup>3</sup> /個	1500以上 (1500)
最 高 使 用 圧 力	MPa	—	静水頭
最 高 使 用 温 度	℃	—	50
材 料	胴	板	—
	屋 根	板	—
	底	板	—
	側マンホール	ふた	—
取 付 箇 所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	屋外 EL. 11000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—



A~A矢视图

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-2-1 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ろ過水貯蔵タンク	
	日本原子力発電株式会社	

第9-3-3-2-1図「その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 ろ過水貯蔵タンク」の補足

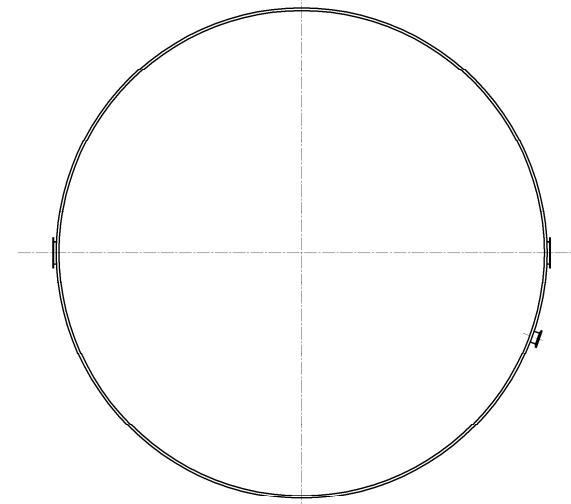
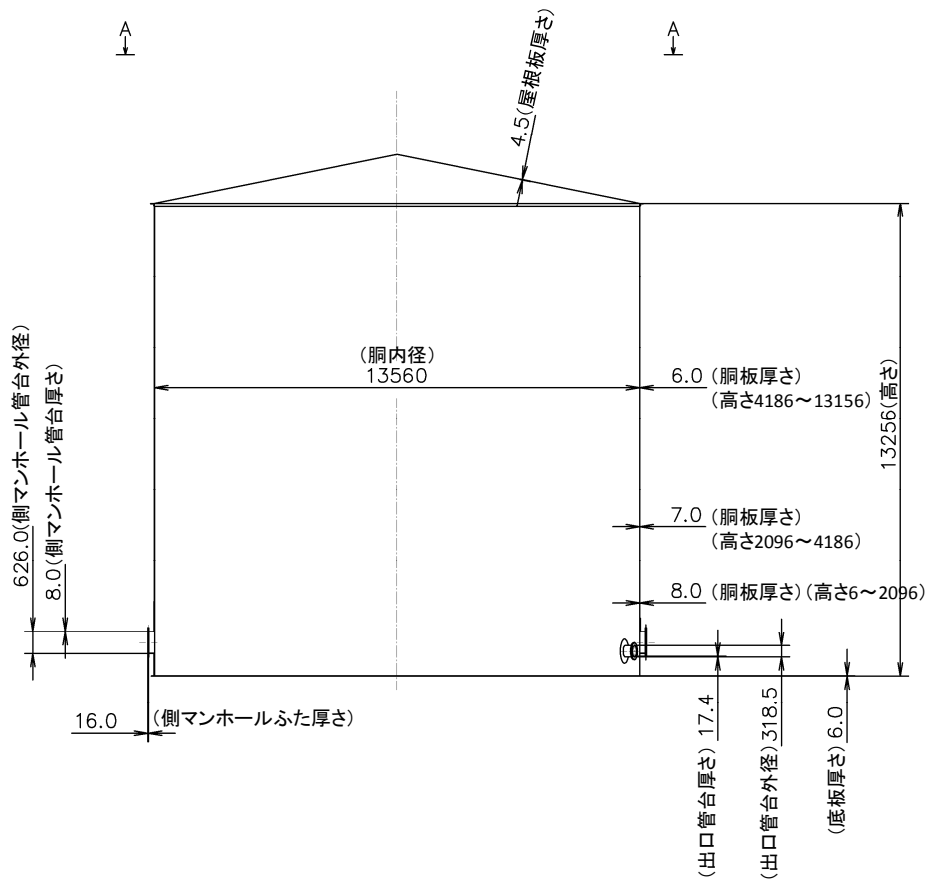
(1) ろ過水貯蔵タンクの寸法許容範囲及び根拠

工事計画記載のろ過水貯蔵タンクに関する公称値の許容範囲及び許容範囲の根拠となる許容差は次のとおり。

[第9-3-3-2-1図 ろ過水貯蔵タンク]

名称	寸法許容範囲(mm)			許容範囲の根拠		
	最大値	公称値	最小値	許容差(mm)	根拠	
ろ過水貯蔵タンク	胴内径	(13627.8) 13573.3	13560	(13492.2) 13546.7	(±67.8) ±13.3	設計・建設規格PVD-3010 (PVC-3910準用) より, 同一断面における最大内径と最小内径の差は1%以下, メーカー基準
	胴板厚さ	7.2	6.0	6.0	+1.2 -0.0	JISによる材料公差及び製造能力, メーカー基準
	屋根板厚さ	8.3	8.0	8.0	+1.3 -0.0	JISによる材料公差及び製造能力, メーカー基準
		10.6	9.0	9.0	+1.6 -0.0	JISによる材料公差及び製造能力, メーカー基準
		5.05	4.5	3.95	±0.55	JISによる材料公差
	底板厚さ	13.3	12.0	12.0	+1.3 -0.0	JISによる材料公差及び製造能力, メーカー基準
	出口管台外径	321.048	318.5	315.956	公称値±0.8 % (318.5±2.548)	JISによる材料公差
	出口管台厚さ	20.01	17.4	15.225	公称値+15.0 % -12.5 % (17.4+2.61) (17.4-2.175)	JISによる材料公差
	側マンホール管台外径	631.1	628.0	624.9	±3.1	メーカー基準
	側マンホール管台厚さ	9.65	9.0	8.35	±0.65	JISによる材料公差
	側マンホールふた厚さ	16.75	16.0	15.25	±0.75	JISによる材料公差
	高さ	13267	13262	13257	±5	メーカー基準

主要目表			
種	類	—	たて置円筒形
容	量	m <sup>3</sup> /個	1500以上 (1500)
最 高 使 用 圧 力	MPa	—	静水頭
最 高 使 用 温 度	℃	—	50
材 料	胴	板	—
	屋 根	板	—
	底	板	—
	側マンホール	ふた	—
取 付 箇 所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	屋外 EL. 11000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—



A~A矢视图

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-2-2 図	
東海第二発電所			
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) 多目的タンク (東海発電所と共用)		
	日本原子力発電株式会社		

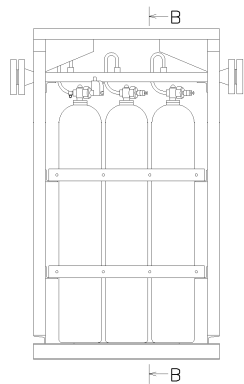
第9-3-3-2-2 図「その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 多目的タンク（東海発電所と共用）」の補足

(1) 多目的タンク（東海発電所と共用）の寸法許容範囲及び根拠

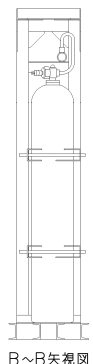
工事計画記載の多目的タンク（東海発電所と共用）に関する公称値の許容範囲及び許容範囲の根拠となる許容差は次のとおり。

[第9-3-3-2-2図 多目的タンク（東海発電所と共用）]

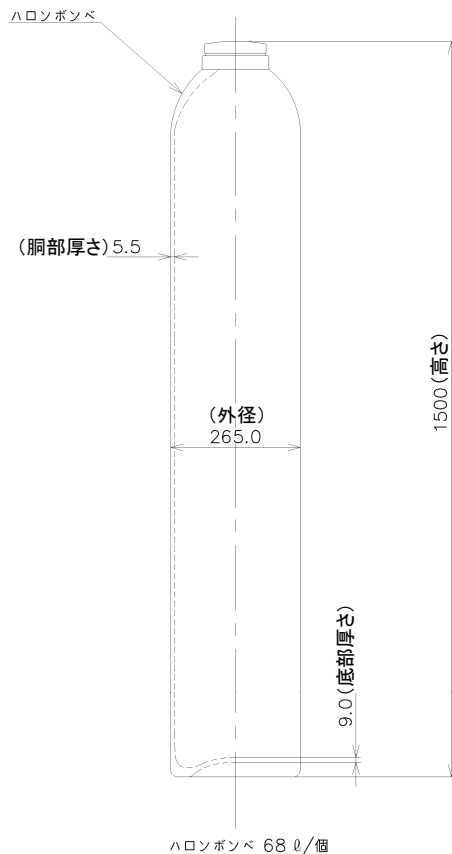
名称	寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠		
	最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠	
多目的タンク (東海発電所と共用)	胴内径	(13627.8) 13575	13560	(13492.2) 13545	(±67.8) ±15	設計・建設規格PVD-3010 (PVC-3910準用) より, 同一断面における最大内径と最小内径の差は1%以下 メーカー基準
	胴板厚さ	6.60	6.0	5.40	±0.60	JISによる材料公差
	屋根板厚さ	7.65	7.0	6.35	±0.65	JISによる材料公差
		8.65	8.0	7.35	±0.65	JISによる材料公差
		5.05	4.5	3.95	±0.55	JISによる材料公差
	底板厚さ	6.60	6.0	5.40	±0.60	JISによる材料公差
	出口管台 外径	321.048	318.5	315.952	公称値±0.8 % (318.5±2.548)	JISによる材料公差
	出口管台 厚さ	20.01	17.4	15.225	公称値 <sup>+15.0 %</sup> <sub>-12.5 %</sub> (17.4+2.61) (17.4-2.175)	JISによる材料公差
	側マンホール管台 外径	629.1	626.0	622.9	±3.1	メーカー基準
	側マンホール管台 厚さ	8.65	8.0	7.35	±0.65	JISによる材料公差
	側マンホールふた 厚さ	16.75	16.0	15.25	±0.75	JISによる材料公差
	高さ	13261	13256	13251	±5	メーカー基準



3本ユニット設置



B~B矢視図

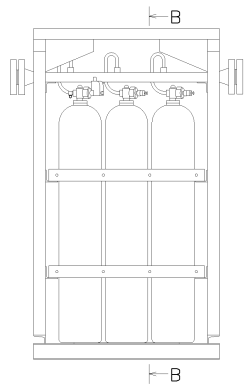


ハロンポンベ 68 ℓ/個

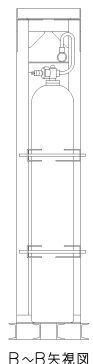
主要目表			
種 類	—	一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個	68以上 (68)	
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2	
最 高 使 用 温 度	℃	40	
材 料	—	マンガン鋼	
個 数	—	3	
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 38800 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

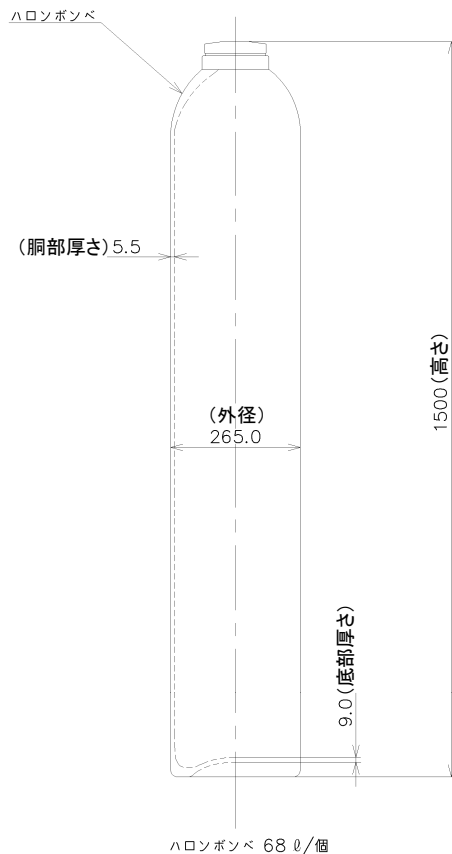
工事計画認可申請		第 9-3-3-3-1 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプA用)	
	日本原子力発電株式会社	



3本ユニット設置



B~B矢視図

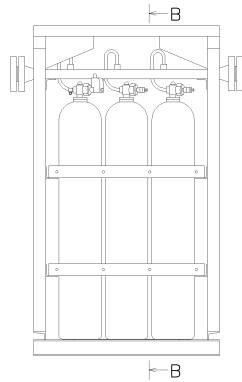


ハロンポンベ 68 ℓ/個

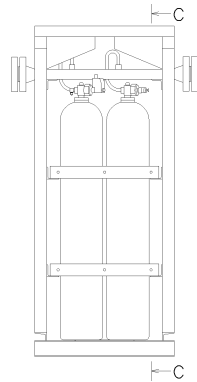
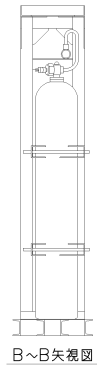
主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高	使用圧力	MPa 5.2
最	高	使用温度	℃ 40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	3
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 38800 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

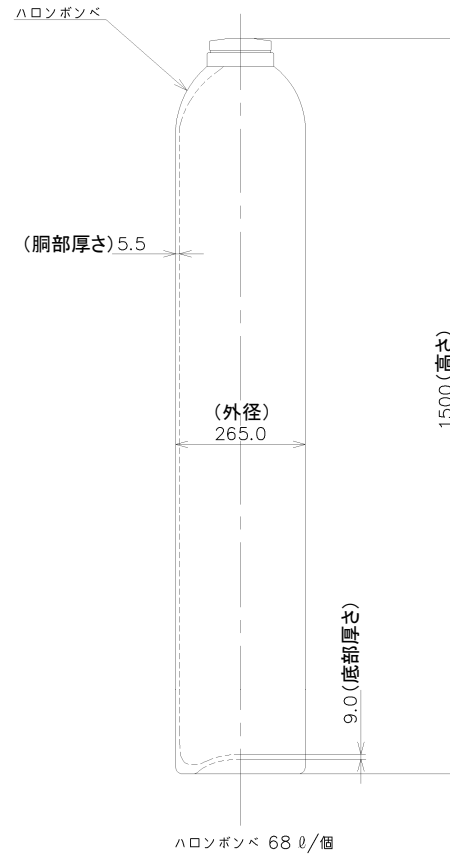
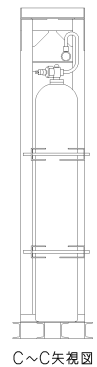
工事計画認可申請		第 9-3-3-3-2 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプB用)	
	日本原子力発電株式会社	



3本ユニット設置



2本ユニット設置

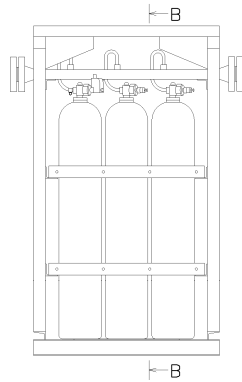


主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高 使用 圧 力	MPa	5.2
最	高 使用 温 度	℃	40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	5
取 付 箇 所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 38800 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配 慮 が 必 要 な 高	—	—

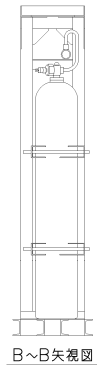
注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-3-3 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (MCC 2C-7用)	
	日本原子力発電株式会社	

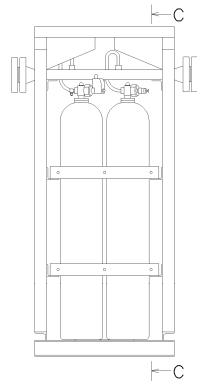




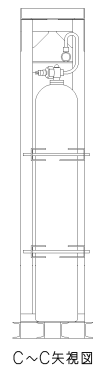
3本ユニット設置



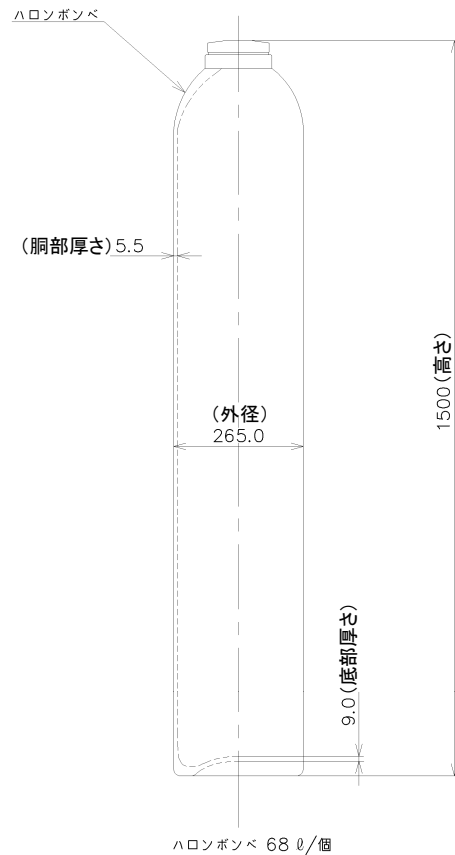
B~B矢視図



2本ユニット設置



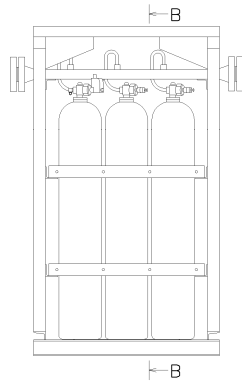
C~C矢視図



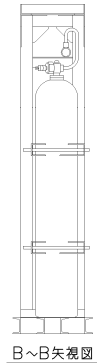
主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高 使用 圧 力	MPa	5.2
最	高 使用 温 度	℃	40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	5
取 付 箇 所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 29000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配 慮 が 必 要 な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

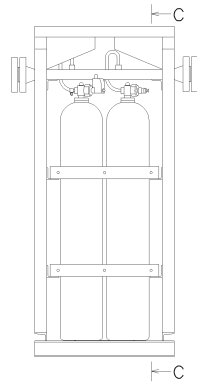
工事計画認可申請		第 9-3-3-3-4 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (原子炉再循環系低速度用電源装置A用)	
	日本原子力発電株式会社	



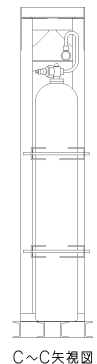
3本ユニット設置



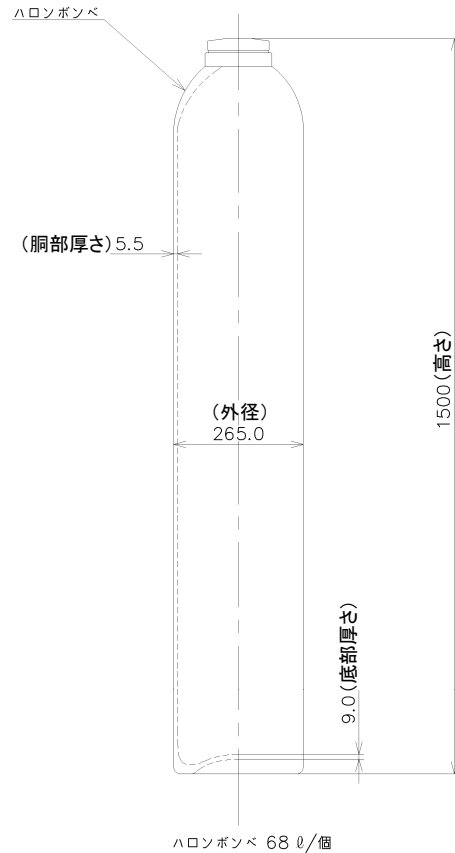
B~B矢視図



2本ユニット設置



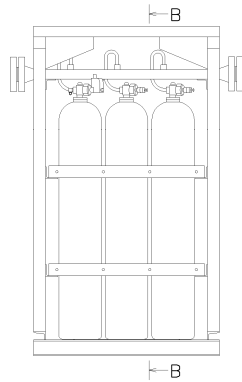
C~C矢視図



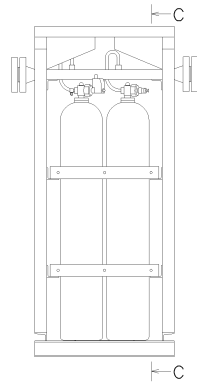
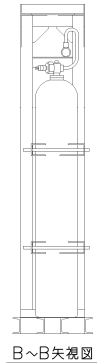
主要目表			
種 類	—	一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個	68以上 (68)	
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2	
最 高 使 用 温 度	℃	40	
材 料	—	マンガン鋼	
個 数	—	5	
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 29000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

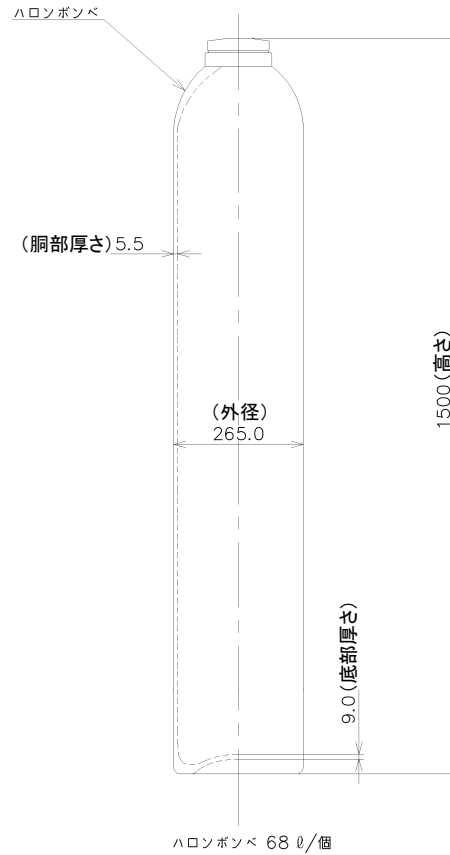
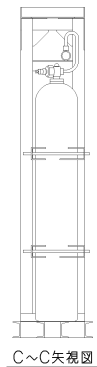
工事計画認可申請		第 9-3-3-3-5 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (原子炉再循環系低速度用電源装置B用)	
	日本原子力発電株式会社	



3本ユニット設置



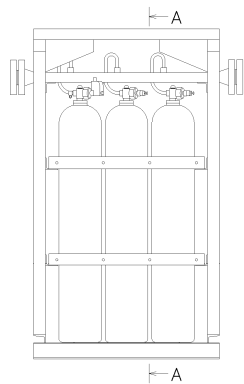
2本ユニット設置



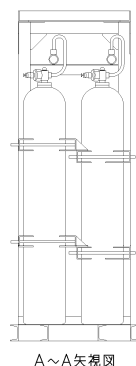
主要目表			
種 類	—	一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個	68以上 (68)	
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2	
最 高 使 用 温 度	℃	40	
材 料	—	マンガン鋼	
個 数	—	5	
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 29000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

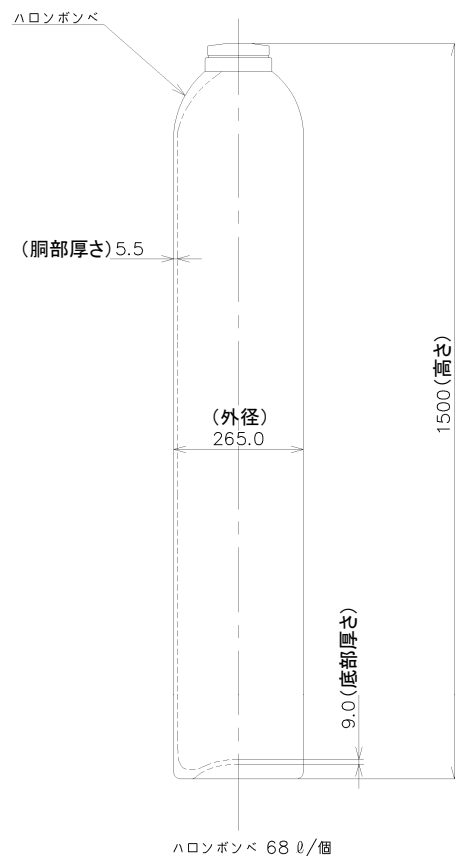
工事計画認可申請		第 9-3-3-3-6 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (MCC 2D-9用)	
	日本原子力発電株式会社	



6本ユニット設置



A~A矢視図



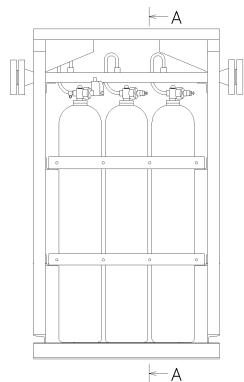
ハロンボンベ 68 ℓ/個

主要目表

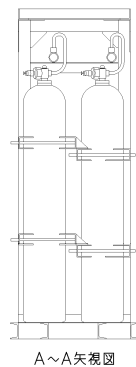
種 類		—	一般継目なし容器
容 量	ℓ/個	68以上	(68)
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
材 料	—	マンガン鋼	
個 数	—	5	
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 29000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

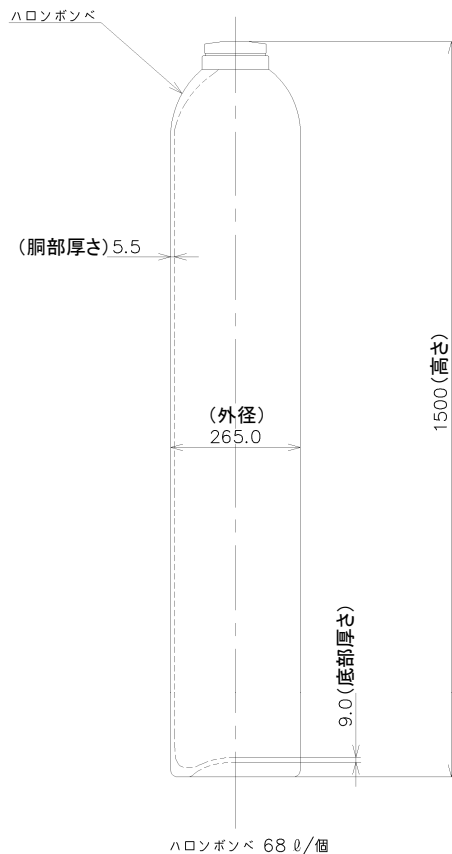
工事計画認可申請		第 9-3-3-7 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (MCC 2C-9用)	
	日本原子力発電株式会社	



6本ユニット設置



A~A矢視図

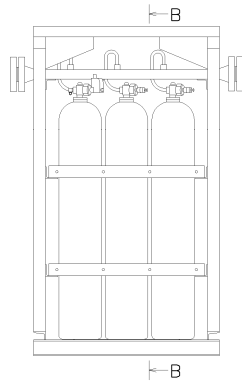


ハロンポンベ 68 l/個

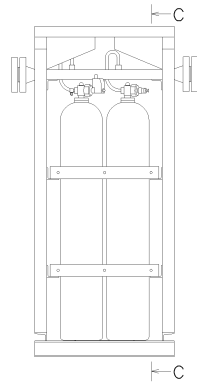
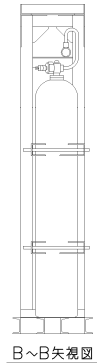
注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

主要目表		
種	類	一般継目なし容器
容	量	68以上 (68)
最	高 使用 圧 力	MPa 5.2
最	高 使用 温 度	℃ 40
材	料	マンガン鋼
個	数	4
取付箇所	系 統 名	消火系
	設 置 床	原子炉建屋原子炉棟 EL. 29000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	-
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	-

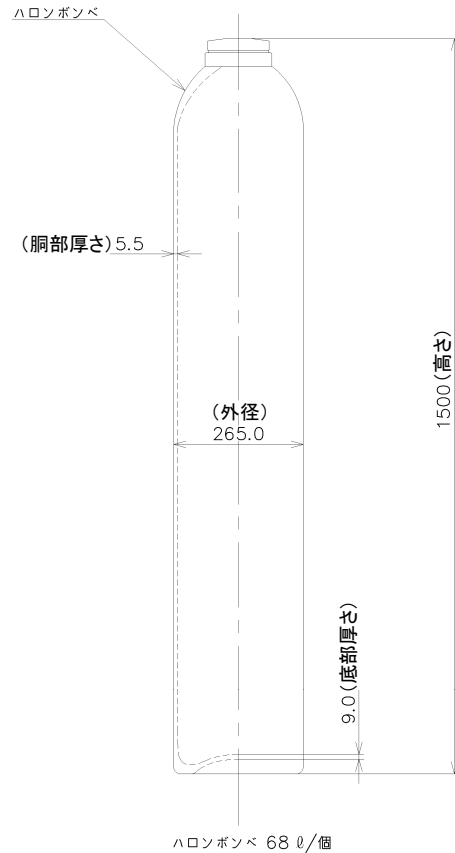
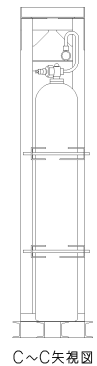
工事計画認可申請		第 9-3-3-8 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンポンベ (125V DC MCC 2A-2用)	
	日本原子力発電株式会社	



3本ユニット設置



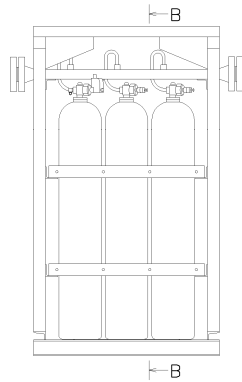
2本ユニット設置



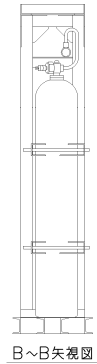
主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高	使用圧力	MPa 5.2
最	高	使用温度	℃ 40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	5
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 29000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

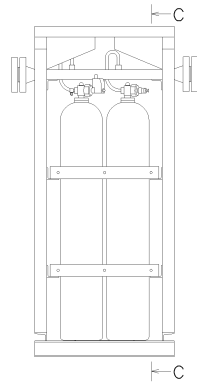
工事計画認可申請		第 9-3-3-3-9 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (MCC 2C-8用)	
	日本原子力発電株式会社	



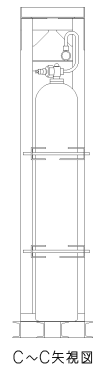
3本ユニット設置



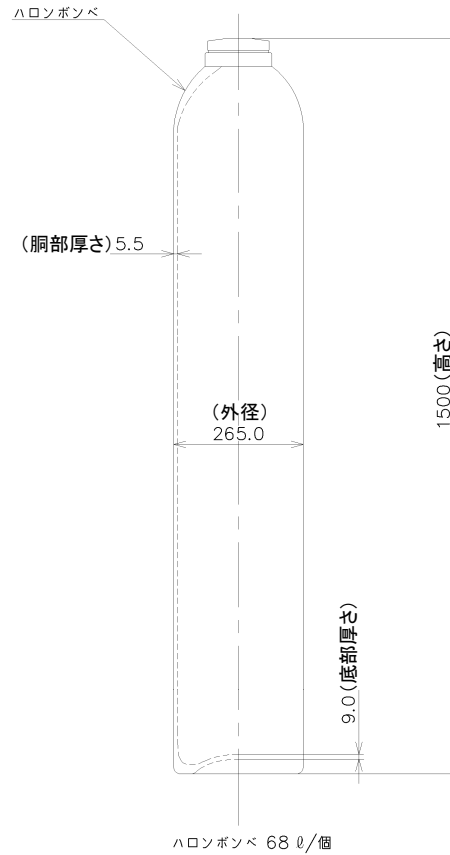
B~B矢視図



2本ユニット設置



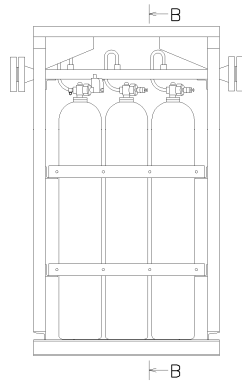
C~C矢視図



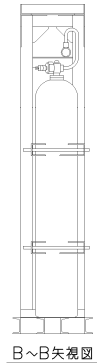
主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高 使用 圧 力	MPa	5.2
最	高 使用 温 度	℃	40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	5
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 20300 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

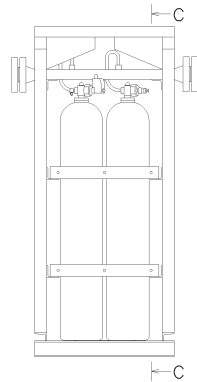
工事計画認可申請		第 9-3-3-10 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (MCC 2D-8用)	
	日本原子力発電株式会社	



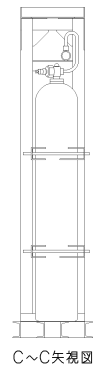
3本ユニット設置



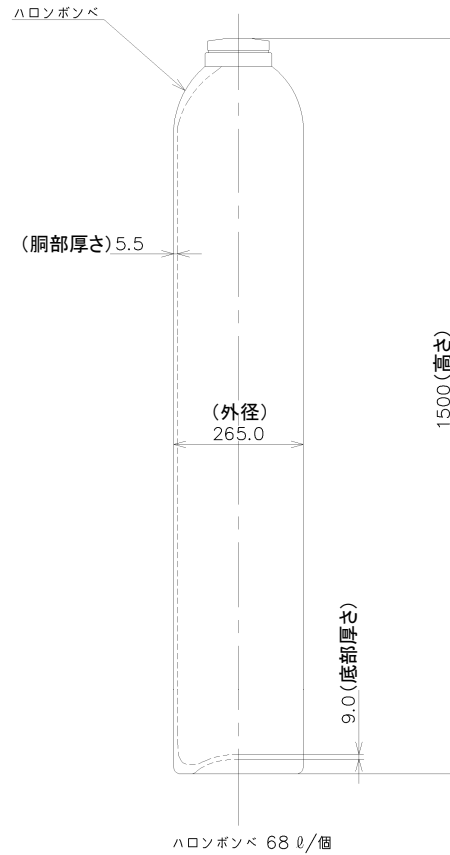
B~B矢視図



2本ユニット設置



C~C矢視図

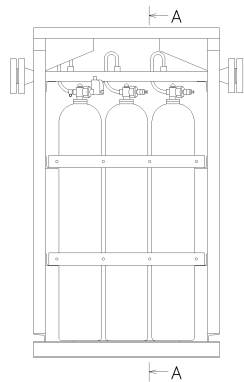


主要目表			
種 類	—	一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個	68以上 (68)	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
材 料	—	マンガン鋼	
個 数	—	5	
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 20300 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

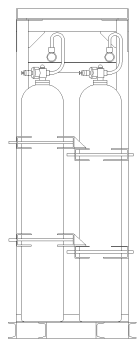
工事計画認可申請		第 9-3-3-3-11 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (MCC 2D-7用)	
	日本原子力発電株式会社	



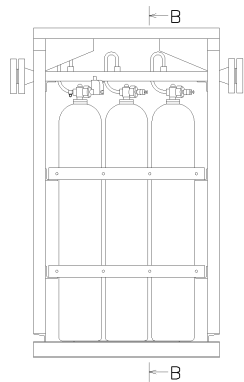


A

6本ユニット設置

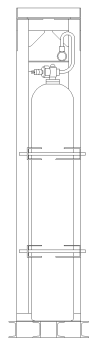


A~A矢視図

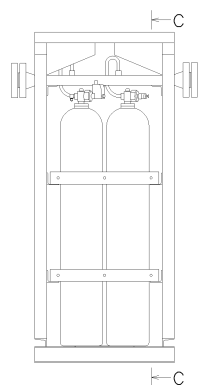


B

3本ユニット設置

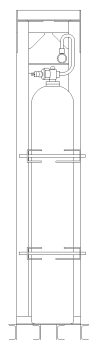


B~B矢視図

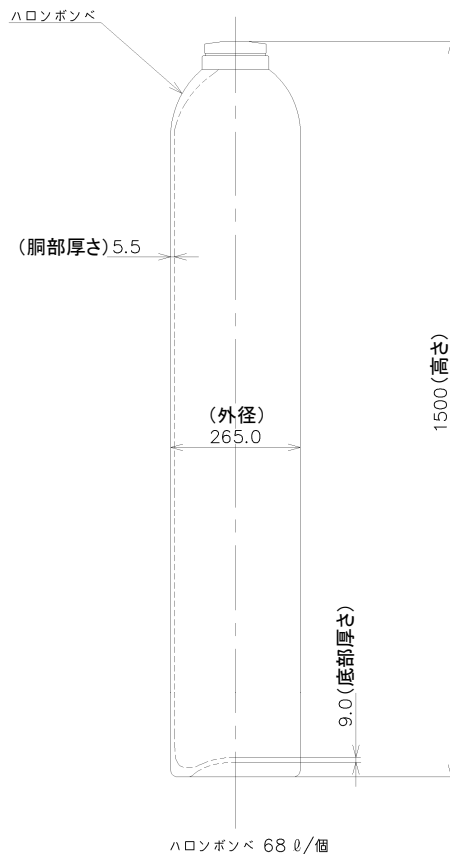


C

2本ユニット設置



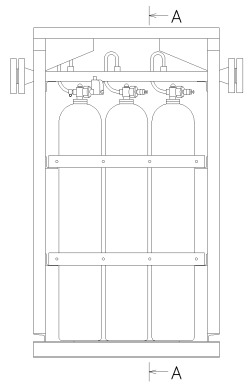
C~C矢視図



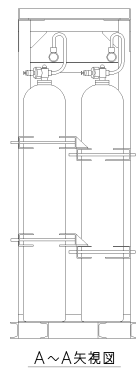
主要目表			
種類	—	一般継目なし容器	
容量	ℓ/個	68以上 (68)	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
材料	—	マンガン鋼	
個数	—	4	
取付箇所	系統名	—	消火系
	設置床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 20300 mm
	溢水防護上の 区画番号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

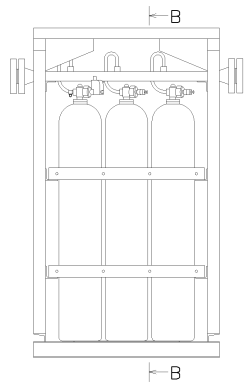
工事計画認可申請		第 9-3-3-12 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備)	
	ハロンボンベ (原子炉再循環系流量 制御弁用制御油圧発生装置A用)	
日本原子力発電株式会社		



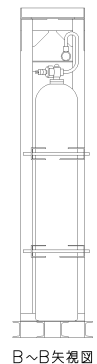
6本ユニット設置



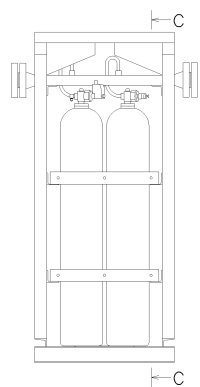
A~A矢視図



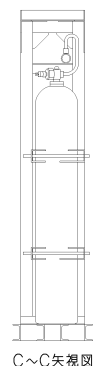
3本ユニット設置



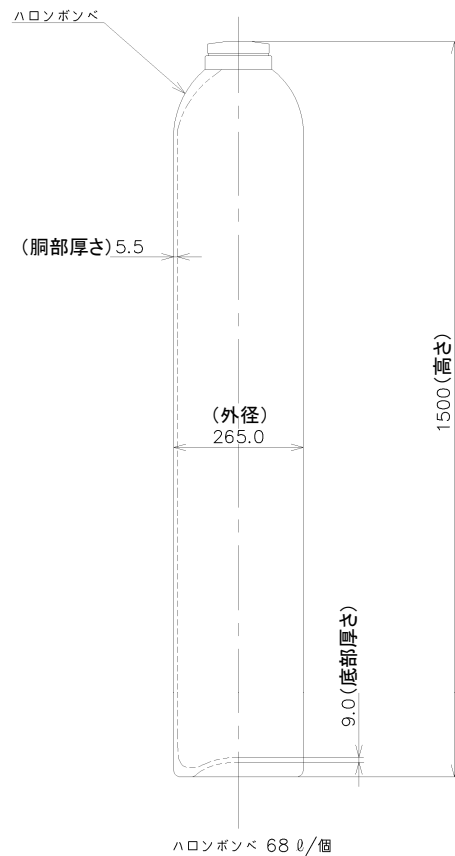
B~B矢視図



2本ユニット設置



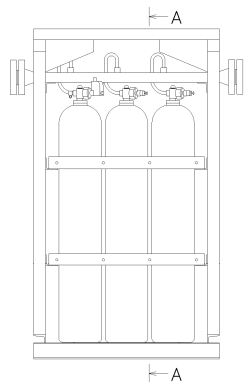
C~C矢視図



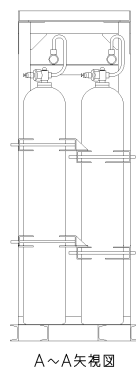
主要目表			
種類	—	一般継目なし容器	
容量	ℓ/個	68以上 (68)	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
材料	—	マンガン鋼	
個数	—	3	
取付箇所	系統名	—	消火系
	設置床	—	原子炉建屋廃棄物処理棟 EL. 23000 mm
	溢水防護上の 区画番号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—

工事計画認可申請		第 9-3-3-13 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンポンベ (プロセスコンピュータ室用)	
	日本原子力発電株式会社	

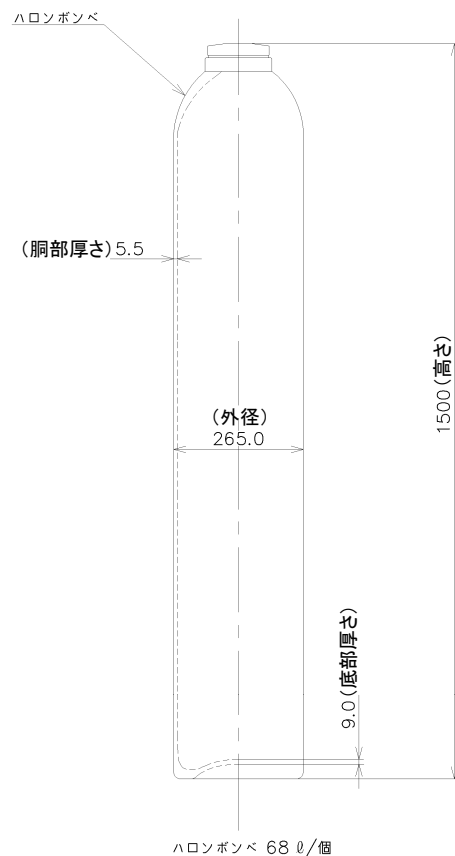
注1: 寸法はmmを示す。  
注2: 特記なき寸法は公称値を示す。



6本ユニット設置



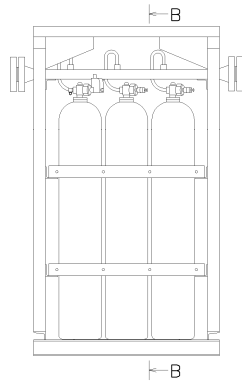
A~A矢視図



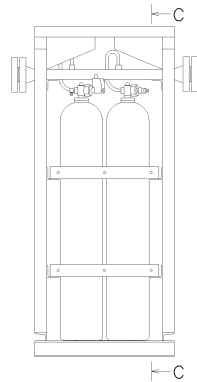
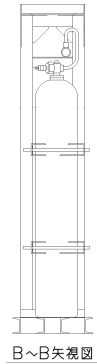
主要目表		
種 類	—	一般継目なし容器
容 量	ℓ/個	68以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
材 料	—	マンガン鋼
個 数	—	6
取付箇所	系 統 名	—
	設 置 床	—
	溢水防護上の 区 画 番 号	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—
系 統 名	—	消火系
設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 14000 mm
溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

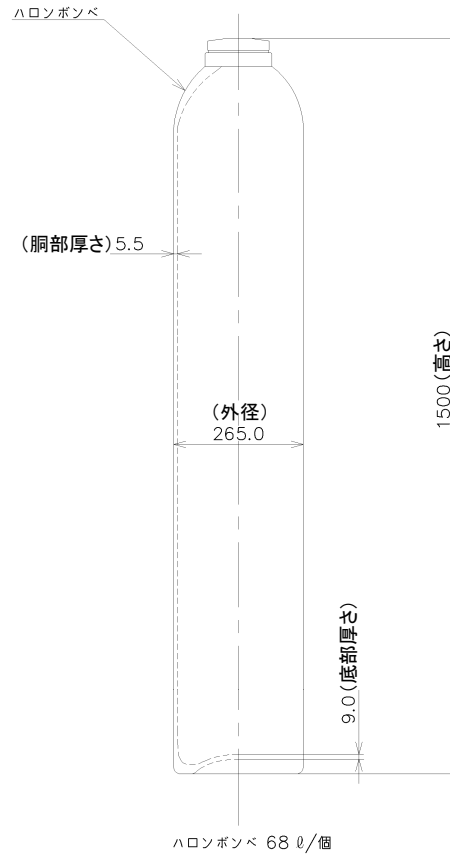
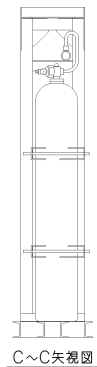
工事計画認可申請		第 9-3-3-14 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (残留熱除去系熱交換器A室用)	
	日本原子力発電株式会社	



3本ユニット設置



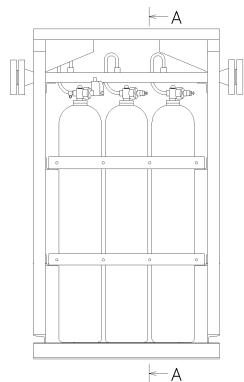
2本ユニット設置



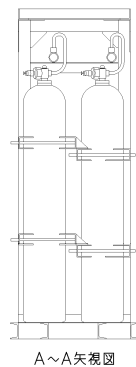
主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最	高 使 用 温 度	℃	40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	5
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 2000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

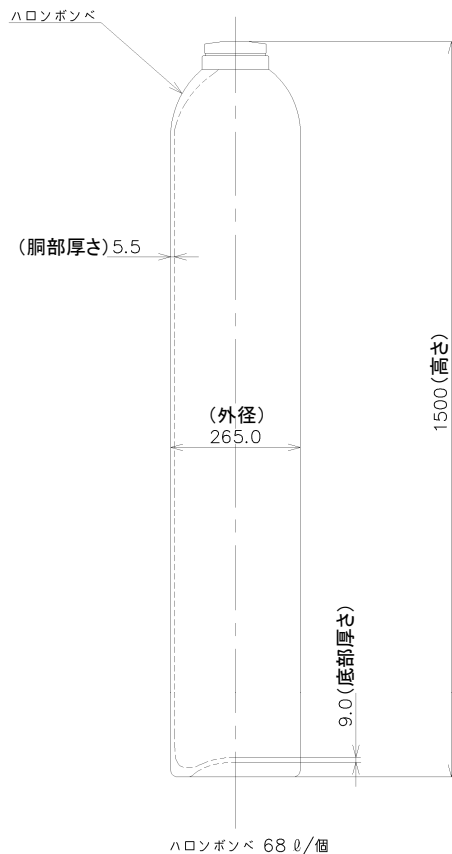
工事計画認可申請		第 9-3-3-15 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (125V DC MCC 2A-1用)	
	日本原子力発電株式会社	



6本ユニット設置



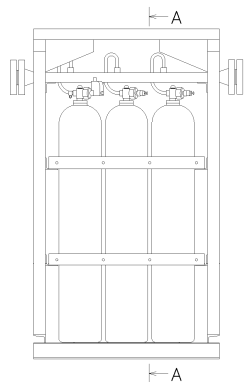
A~A矢視図



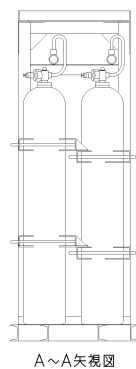
主要目表		
種 類	—	一般継目なし容器
容 量	ℓ/個	68以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
材 料	—	マンガン鋼
個 数	—	5
取付箇所	系 統 名	—
	設 置 床	—
	溢水防護上の 区 画 番 号	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—
系 統 名	—	消火系
設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 2000 mm
溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

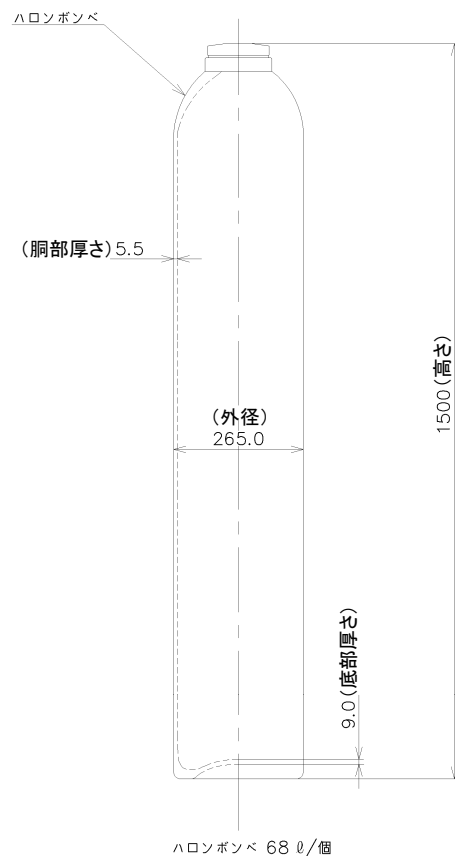
工事計画認可申請		第 9-3-3-16 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (制御棒駆動水ポンプA用)	
	日本原子力発電株式会社	



6本ユニット設置



A~A矢視図



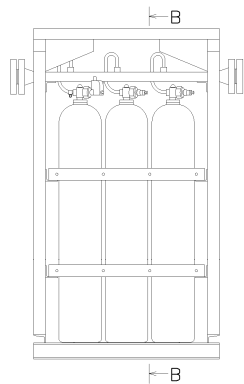
ハロンポンベ 68 l/個

主要目表

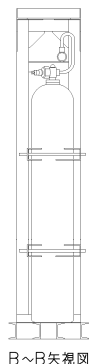
種 類		—	一般継目なし容器
容 量	ℓ/個	68以上	(68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2	
最 高 使 用 温 度	℃	40	
材 料	—	マンガン鋼	
個 数	—	5	
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 2000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

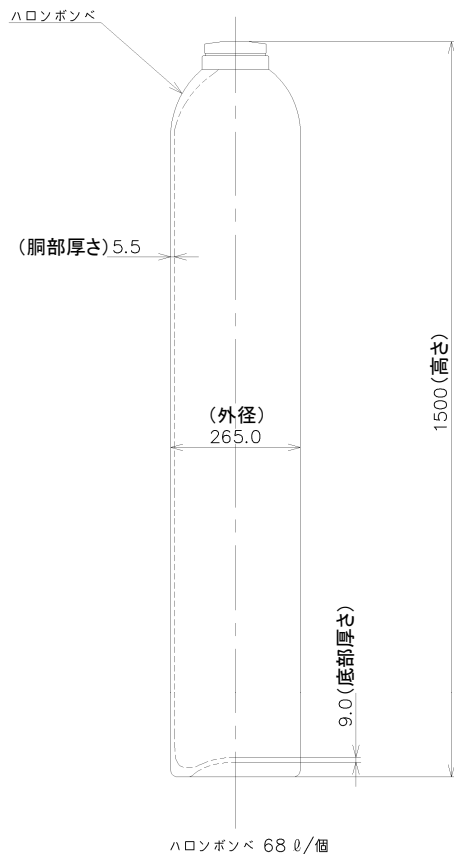
工事計画認可申請		第 9-3-3-17 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンポンベ (制御棒駆動水ポンプB用)	
	日本原子力発電株式会社	



3本ユニット設置



B~B矢視図

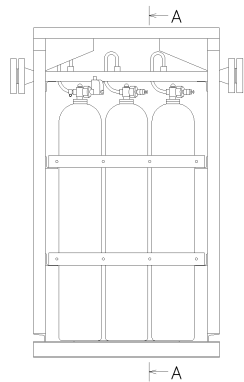


ハロンポンベ 68 ℓ/個

主要目表		
種 類	—	一般継目なし容器
容 量	ℓ/個	68以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
材 料	—	マンガン鋼
個 数	—	3
取付箇所	系 統 名	—
	設 置 床	—
	溢水防護上の 区 画 番 号	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—
	系 統 名	—
	設 置 床	—
	溢水防護上の 区 画 番 号	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—

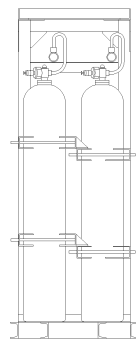
注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-18 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンポンベ (残留熱除去系ポンプA室用)	
	日本原子力発電株式会社	

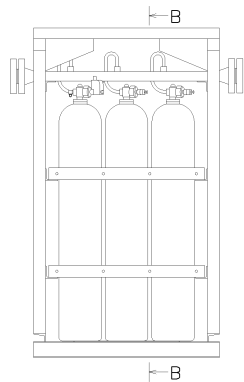


A

6本ユニット設置

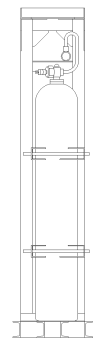


A~A矢視図

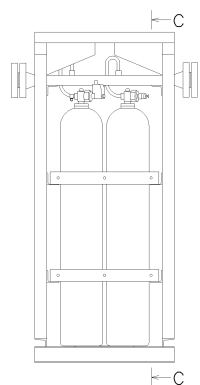


B

3本ユニット設置

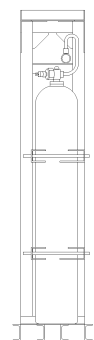


B~B矢視図

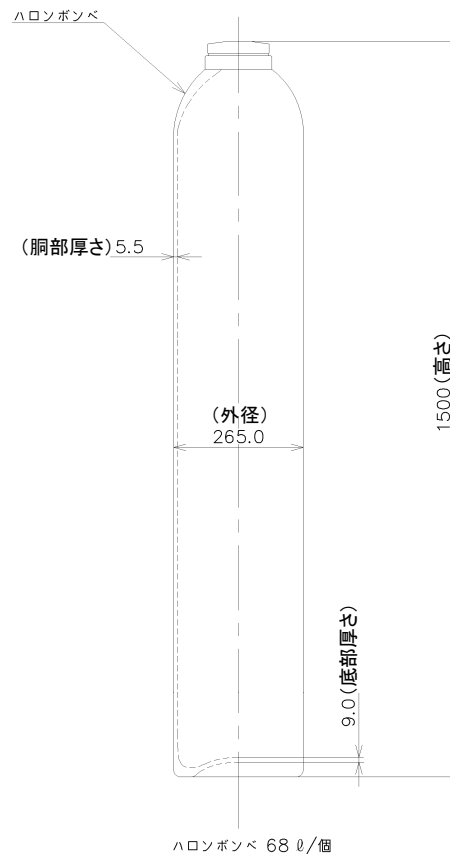


C

2本ユニット設置



C~C矢視図

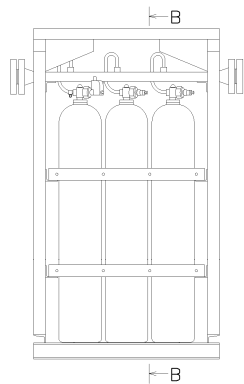


主要目表			
種 類	—	一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個	68以上 (68)	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
材 料	—	マンガン鋼	
個 数	—	7	
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. -4000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

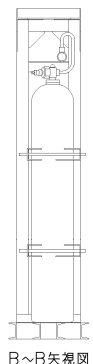
工事計画認可申請		第 9-3-3-19 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (低圧炉心スプレィポンプ用)	
	日本原子力発電株式会社	

注1: 寸法はmmを示す。  
注2: 特記なき寸法は公称値を示す。

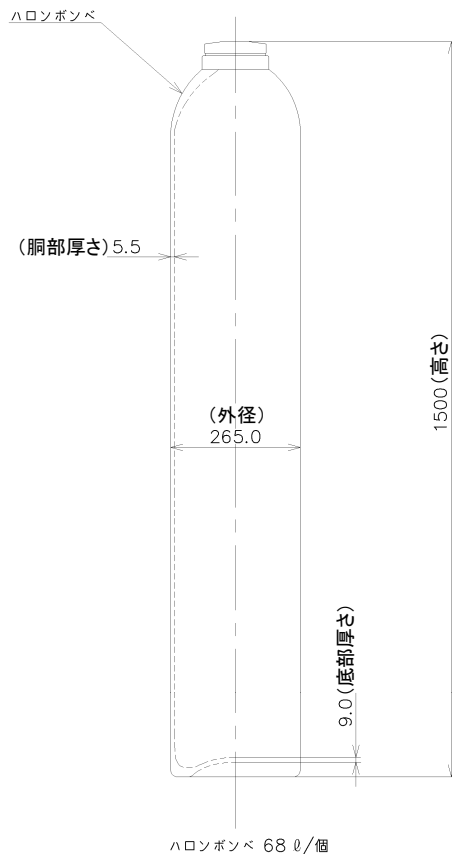




3本ユニット設置



B~B矢視図



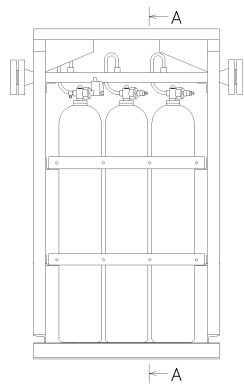
ハロンボンベ 68 ℓ/個

主要目表

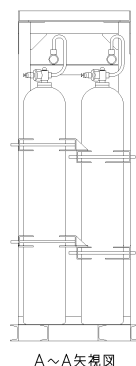
種 類		—	一般継目なし容器
容 量	ℓ/個	68以上	(68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2	
最 高 使 用 温 度	℃	40	
材 料	—	マンガン鋼	
個 数	—	6	
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. -4000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配 慮 が 必 要 な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

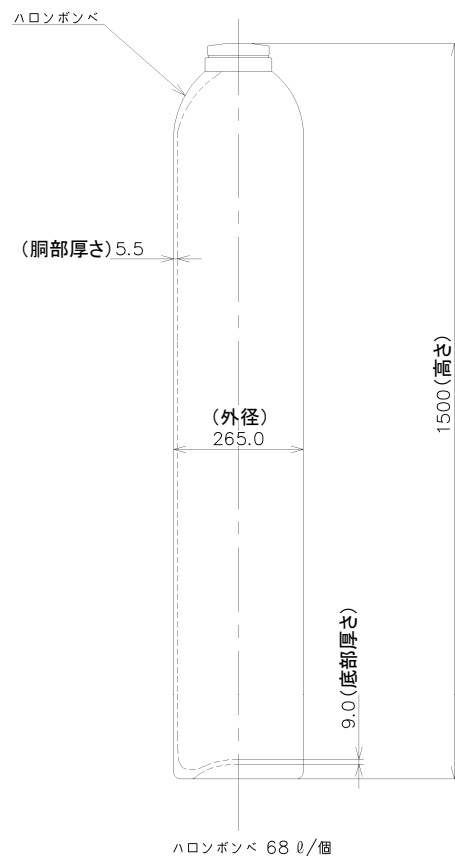
工事計画認可申請		第 9-3-3-20 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (残留熱除去系ポンプB用)	
	日本原子力発電株式会社	



6本ユニット設置



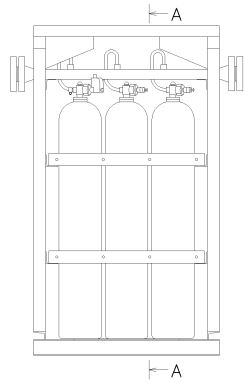
A~A矢視図



主要目表		
種 類	—	一般継目なし容器
容 量	ℓ/個	68以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
材 料	—	マンガン鋼
個 数	—	6
取付箇所	系 統 名	—
	設 置 床	—
	溢水防護上の 区 画 番 号	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—
	系 統 名	消火系
	設 置 床	原子炉建屋原子炉棟 EL. -4000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—

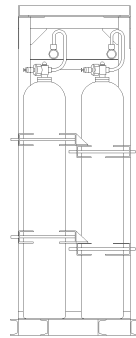
注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-3-21 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンポンベ (残留熱除去系ポンプC用)	
	日本原子力発電株式会社	

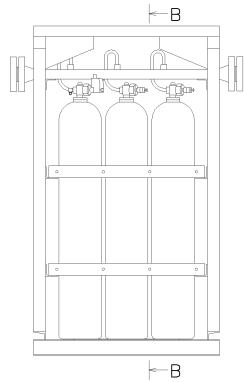


A

6本ユニット設置

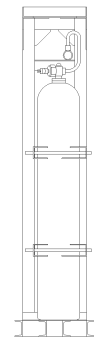


A~A矢視図

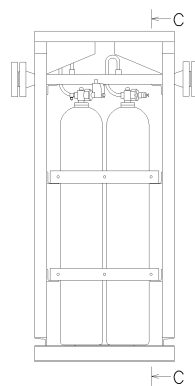


B

3本ユニット設置

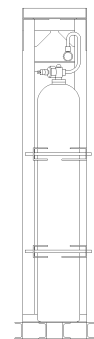


B~B矢視図

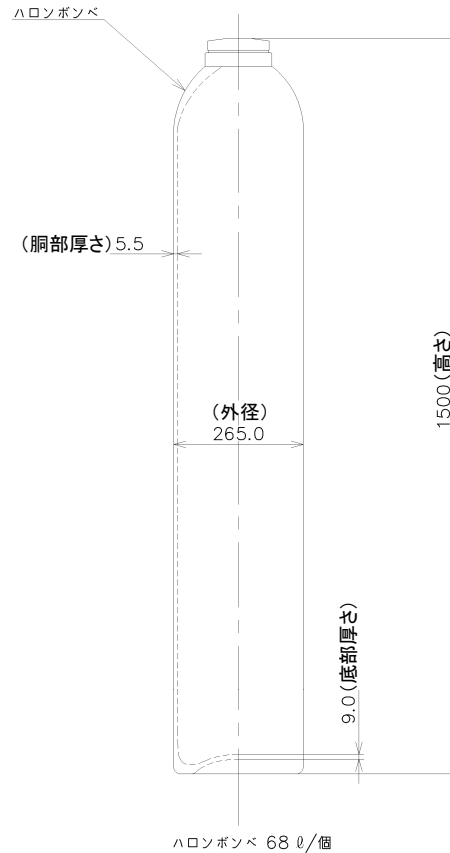


C

2本ユニット設置



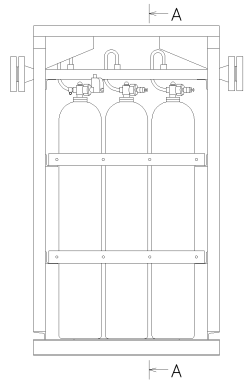
C~C矢視図



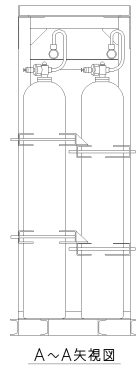
主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高	使用圧力	MPa 5.2
最	高	使用温度	℃ 40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	9
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. -4000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

工事計画認可申請		第 9-3-3-22 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (高圧炉心スプレイポンプ用)	
	日本原子力発電株式会社	

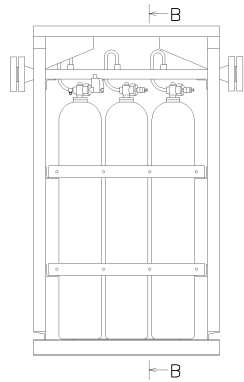
注1: 寸法はmmを示す。  
注2: 特記なき寸法は公称値を示す。



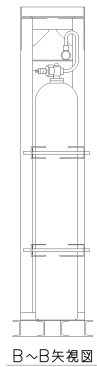
6本ユニット設置



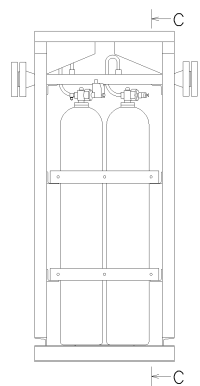
A~A矢視図



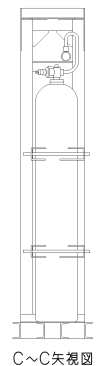
3本ユニット設置



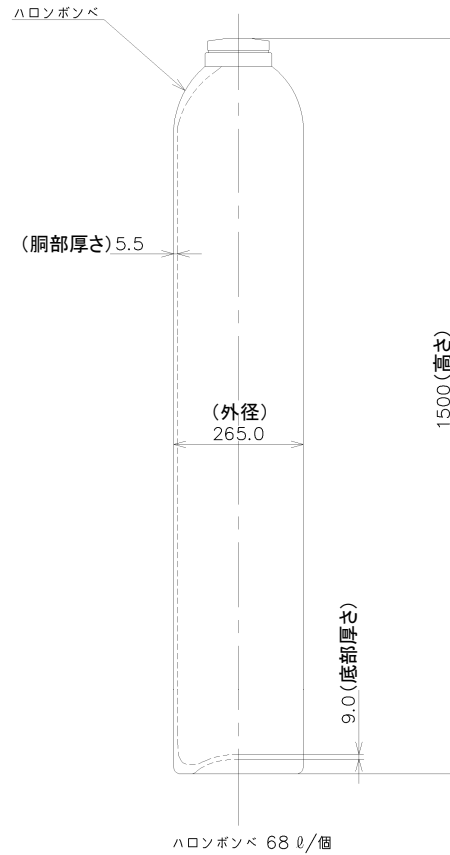
B~B矢視図



2本ユニット設置



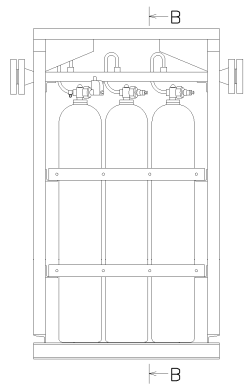
C~C矢視図



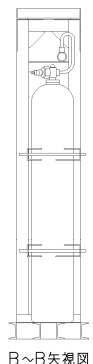
主要目表			
種類	—	一般継目なし容器	
容量	ℓ/個	68以上 (68)	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
材料	—	マンガン鋼	
個数	—	4	
取付箇所	系統名	—	消火系
	設置床	—	原子炉建屋付属棟 EL. -4000 mm
	溢水防護上の 区画番号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

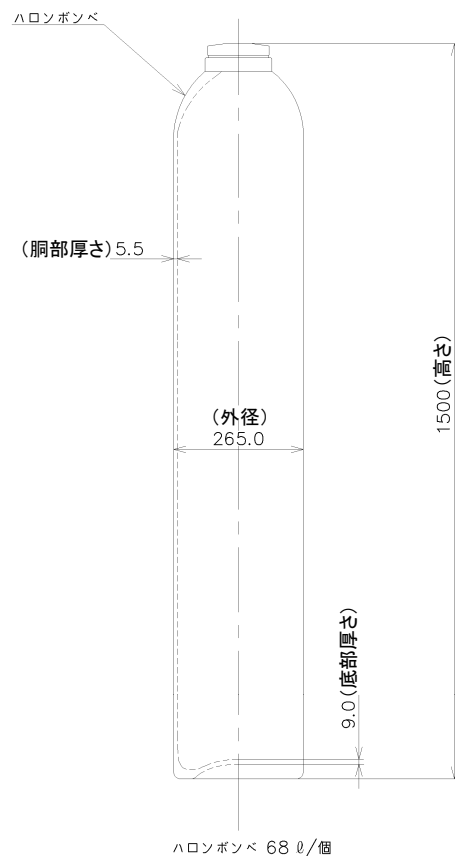
工事計画認可申請		第 9-3-3-23 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンポンベ (原子炉隔離時冷却系ポンプ室用)	
	日本原子力発電株式会社	



3本ユニット設置



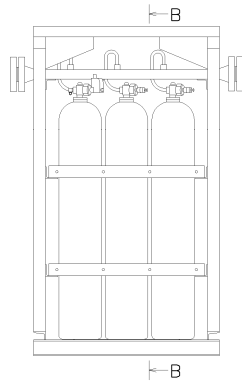
B~B矢視図



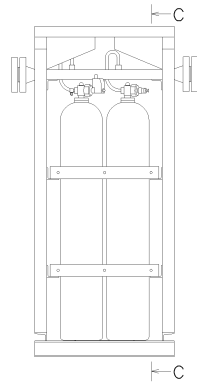
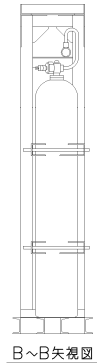
主要目表			
種 類	—	一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個	68以上 (68)	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
材 料	—	マンガン鋼	
個 数	—	6	
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋付属棟 EL. -4000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

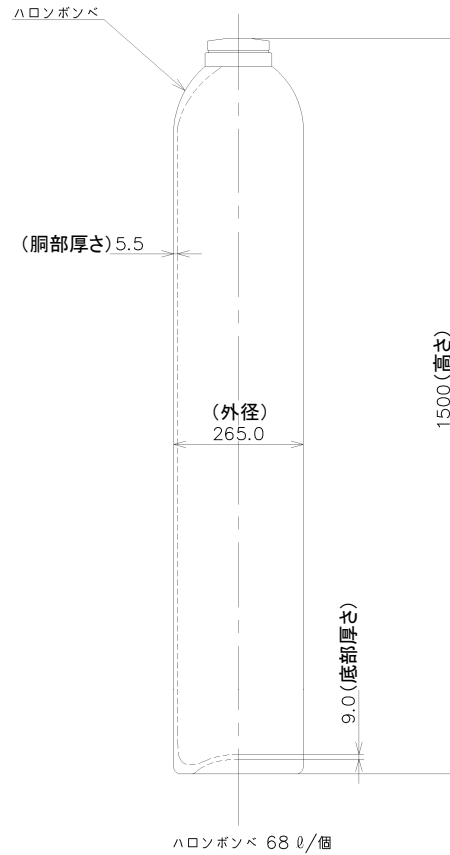
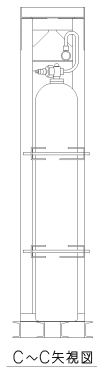
工事計画認可申請		第 9-3-3-3-24 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンポンベ (MCC 2C-3用)	
	日本原子力発電株式会社	



3本ユニット設置



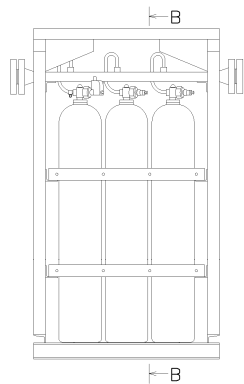
2本ユニット設置



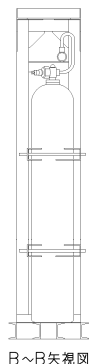
主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高 使用 圧 力	MPa	5.2
最	高 使用 温 度	℃	40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	5
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋付属棟 EL. -4000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

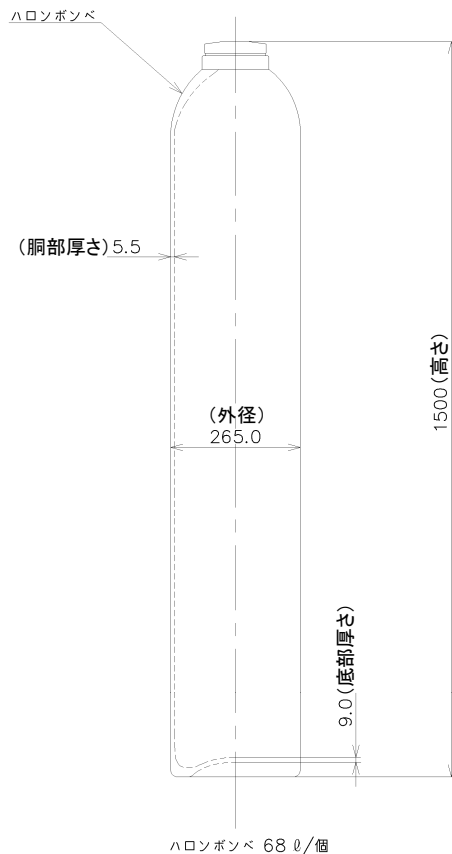
工事計画認可申請		第 9-3-3-25 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (MCC 2C-5用)	
	日本原子力発電株式会社	



3本ユニット設置



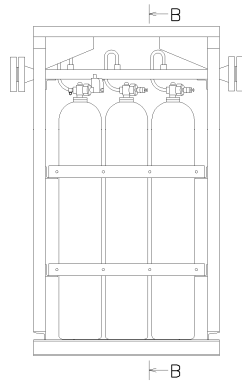
B~B矢視図



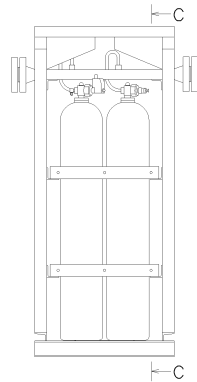
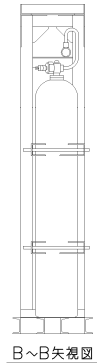
主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最	高 使 用 温 度	℃	40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	6
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋付属棟 EL. -4000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

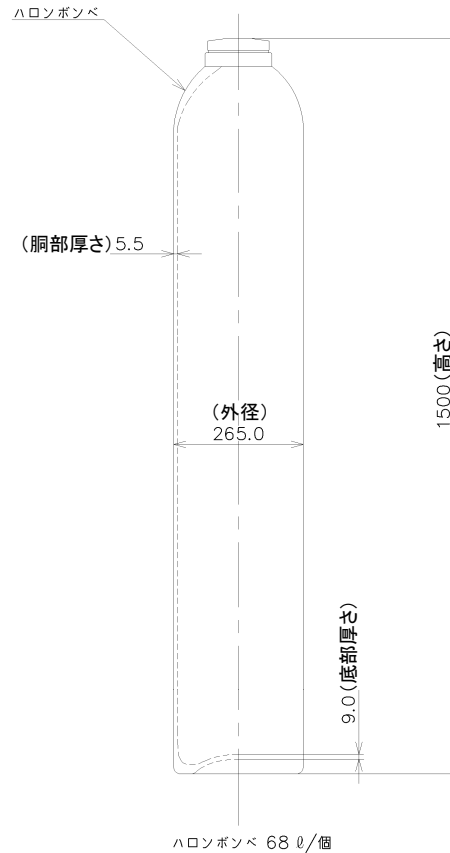
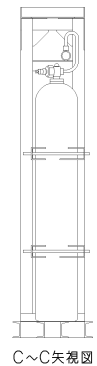
工事計画認可申請		第 9-3-3-26 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンポンベ (MCC 2D-3用)	
	日本原子力発電株式会社	



3本ユニット設置



2本ユニット設置

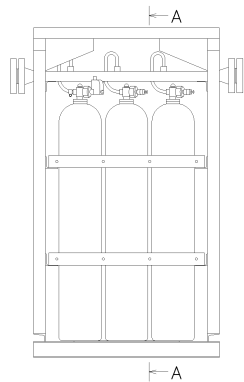


主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最	高 使 用 温 度	℃	40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	5
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋付属棟 EL. -4000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

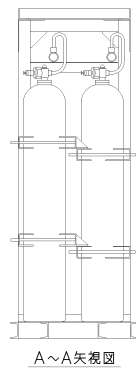
注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-27 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (MCC 2D-5用)	
	日本原子力発電株式会社	

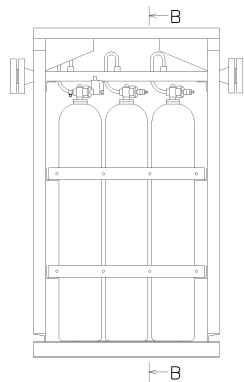




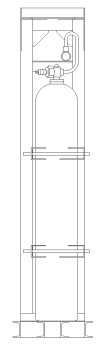
6本ユニット設置



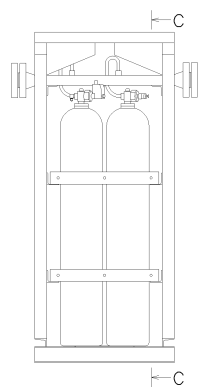
A~A矢視図



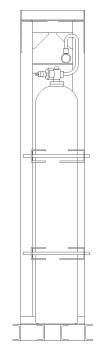
3本ユニット設置



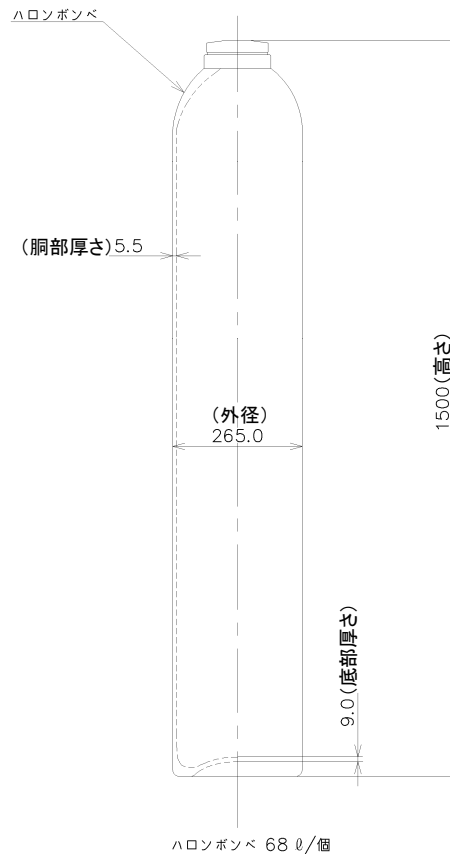
B~B矢視図



2本ユニット設置



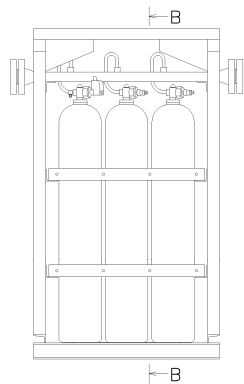
C~C矢視図



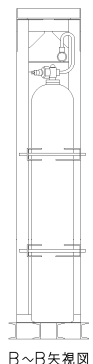
主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高 使用 圧 力	MPa	5.2
最	高 使用 温 度	℃	40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	39
取 付 箇 所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋付属棟 EL. 2500 mm EL. -4000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要なき 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

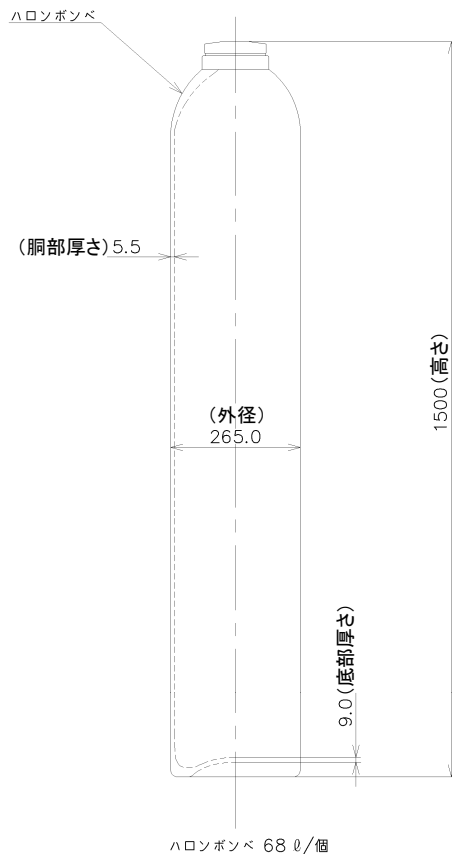
工事計画認可申請		第 9-3-3-28 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (電気室用)	
	日本原子力発電株式会社	



3本ユニット設置



B~B矢視図



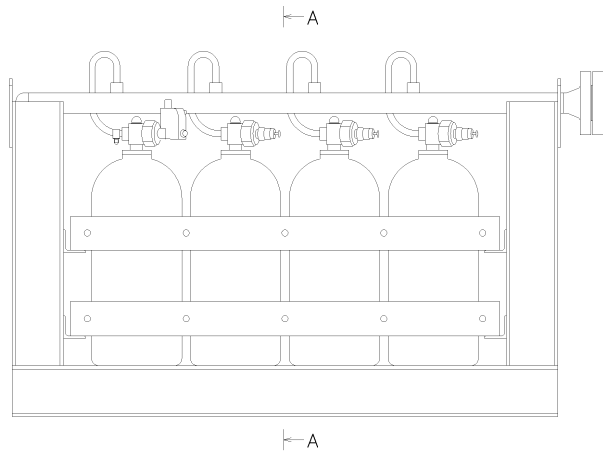
ハロンボンベ 68 ℓ/個

主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高	使用圧力	MPa 5.2
最	高	使用温度	℃ 40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	2
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

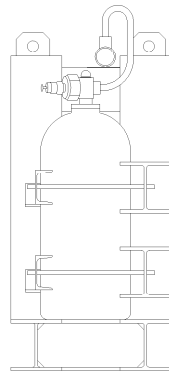
注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-3-29 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (A系蓄電池室用)	
	日本原子力発電株式会社	

主要目表			
種 類	—	一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個	24以上 (24)	
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2	
最 高 使 用 温 度	℃	40	
材 料	—	マンガン鋼	
個 数	—	3	
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高 さ	—	—



4本ユニット設置



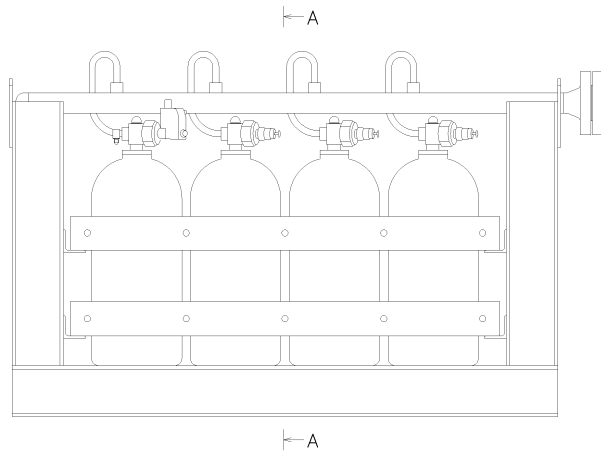
A~A矢視図



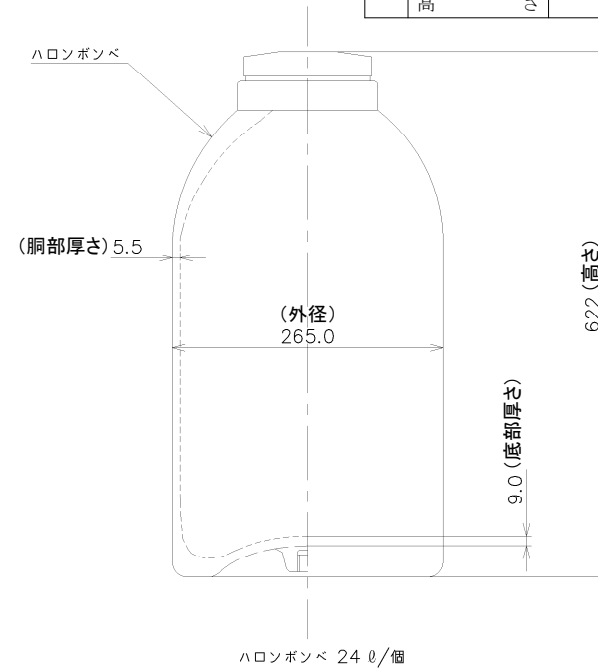
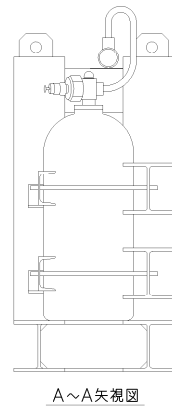
工事計画認可申請		第 9-3-3-30 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンポンベ (B系蓄電池室(北側)用)	
	日本原子力発電株式会社	

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

主要目表			
種 類	—	一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個	24以上 (24)	
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2	
最 高 使 用 温 度	℃	40	
材 料	—	マンガン鋼	
個 数	—	4	
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高 さ	—	—

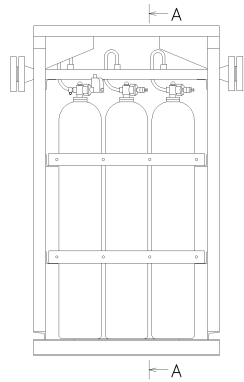


4本ユニット設置

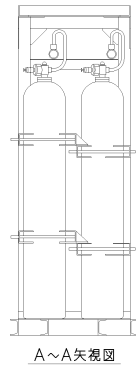


工事計画認可申請		第 9-3-3-31 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンポンベ (B系蓄電池室 (南側) 用)	
	日本原子力発電株式会社	

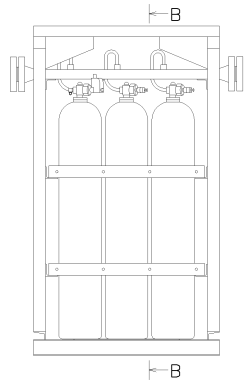
注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。



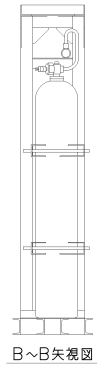
6本ユニット設置



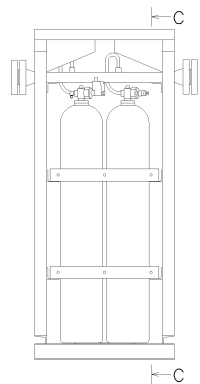
A~A矢視図



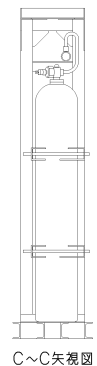
3本ユニット設置



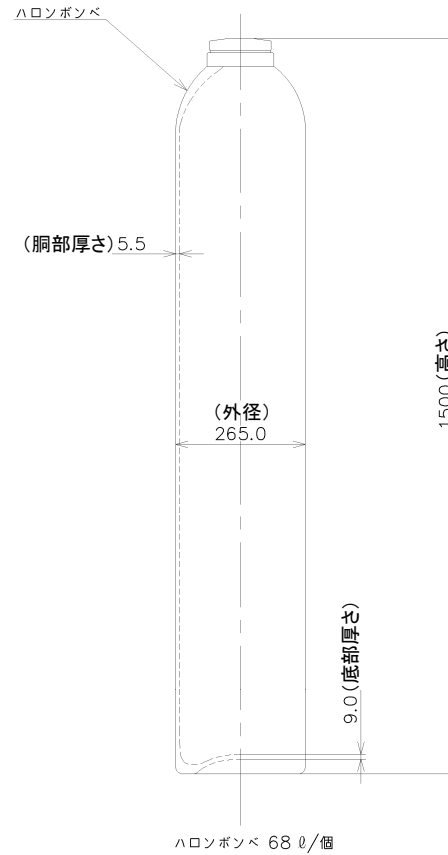
B~B矢視図



2本ユニット設置



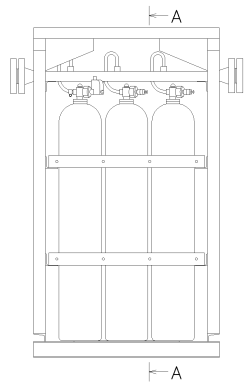
C~C矢視図



主要目表		
種 類	—	一般継目なし容器
容 量	ℓ/個	68以上 (68)
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
材 料	—	マンガン鋼
個 数	—	4
取付箇所	系 統 名	—
	設 置 床	—
	溢水防護上の 区 画 番 号	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—
系 統 名	—	消火系
設 置 床	—	原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

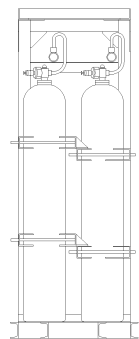
工事計画認可申請		第 9-3-3-32 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (非常用ガス再循環系排風機A用)	
	日本原子力発電株式会社	

注1: 寸法はmmを示す。  
注2: 特記なき寸法は公称値を示す。

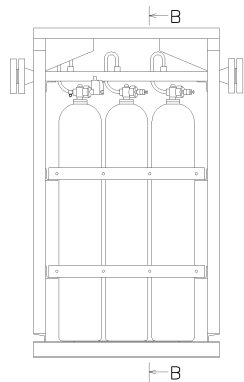


A

6本ユニット設置

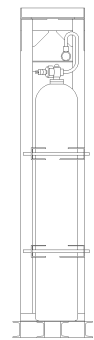


A~A矢視図

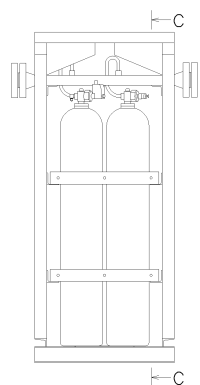


B

3本ユニット設置

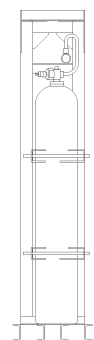


B~B矢視図

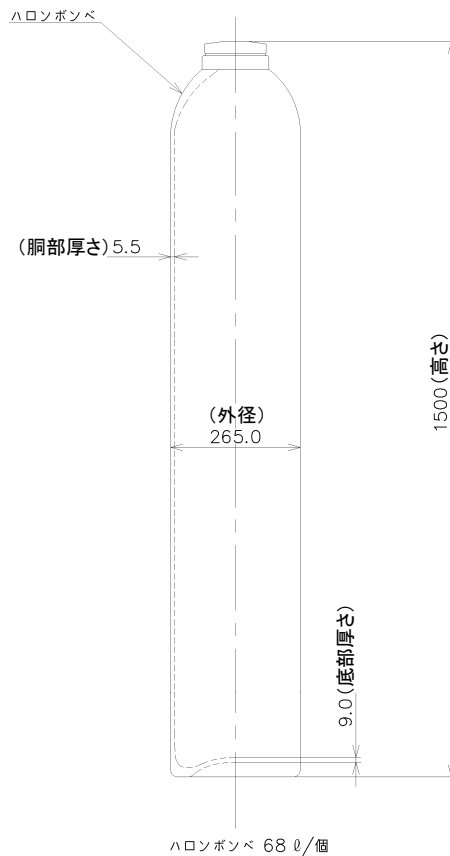


C

2本ユニット設置



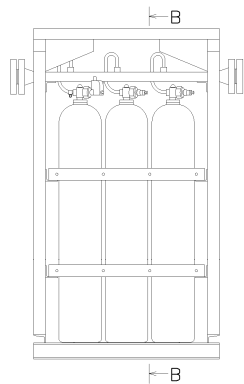
C~C矢視図



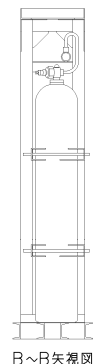
主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高	使用圧力	MPa 5.2
最	高	使用温度	℃ 40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	4
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

工事計画認可申請		第 9-3-3-33 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (非常用ガス再循環系排風機B用)	
	日本原子力発電株式会社	

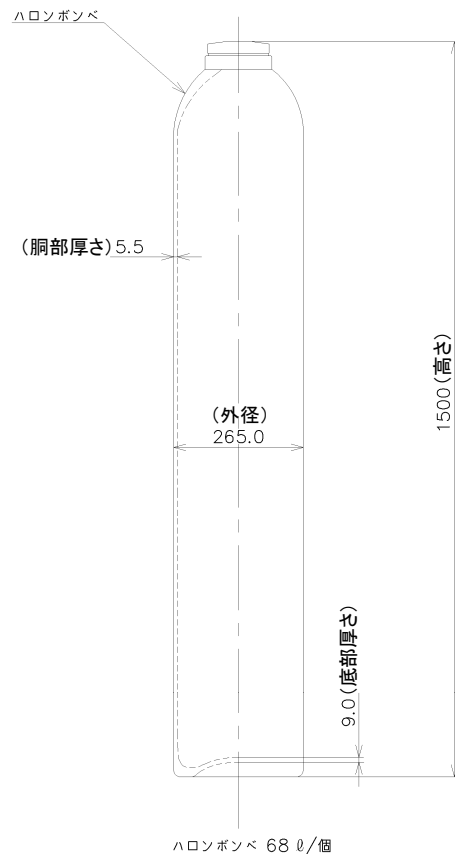
注1: 寸法はmmを示す。  
注2: 特記なき寸法は公称値を示す。



3本ユニット設置



B~B矢視図



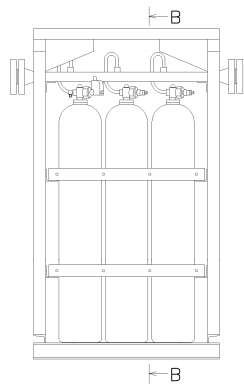
ハロンボンベ 68 ℓ/個

主要目表

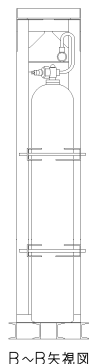
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高	使用	圧
力	MPa	5.2	
最	高	使用	温
度	℃	40	
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	3
取 付 箇 所	系	統	名
	—	—	消火系
	設	置	床
	—	—	原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢	水	防
	護	上	の
	区	画	番
	号	—	—
	溢	水	防
	護	上	の
	配	慮	が
	必	要	な
	高	さ	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

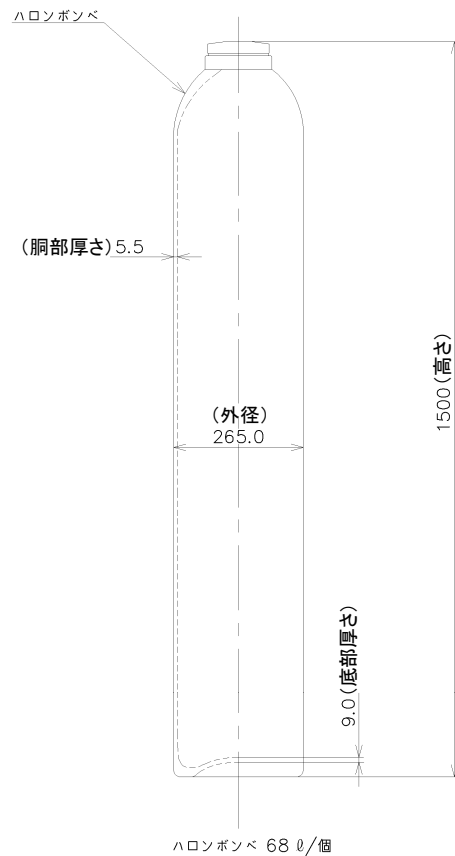
工事計画認可申請		第 9-3-3-34 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (非常用ガス処理系排風機A用)	
	日本原子力発電株式会社	



3本ユニット設置



B~B矢視図



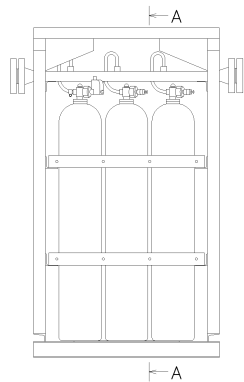
ハロンボンベ 68 ℓ/個

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

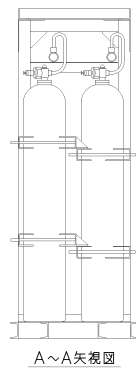
主要目表		
種	類	一般継目なし容器
容	量	68以上 (68)
最	高 使用 圧 力	MPa 5.2
最	高 使用 温 度	℃ 40
材	料	マンガン鋼
個	数	3
取付箇所	系 統 名	消火系
	設 置 床	原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	-
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	-

工事計画認可申請		第 9-3-3-35 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (非常用ガス処理系排風機B用)	
	日本原子力発電株式会社	

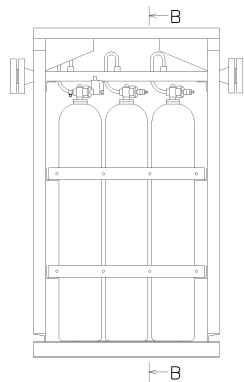




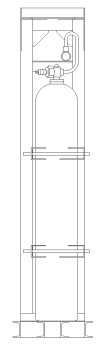
6本ユニット設置



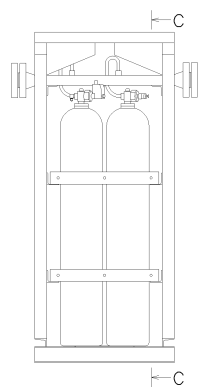
A~A矢視図



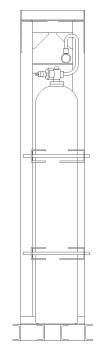
3本ユニット設置



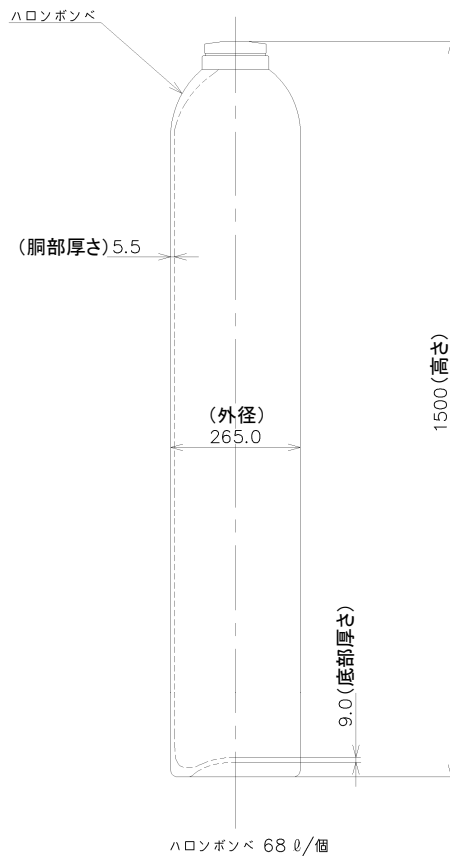
B~B矢視図



2本ユニット設置



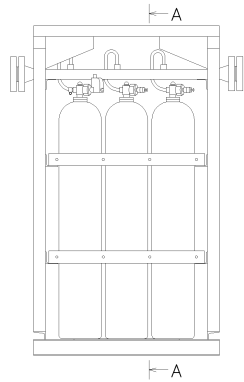
C~C矢視図



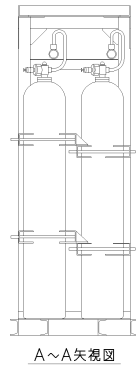
主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高	使用圧力	MPa 5.2
最	高	使用温度	℃ 40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	4
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

工事計画認可申請		第 9-3-3-36 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備)	
	ハロンボンベ (原子炉再循環系流量 制御弁用制御油圧発生装置B用)	
日本原子力発電株式会社		

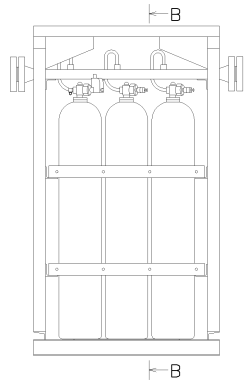
注1: 寸法はmmを示す。  
注2: 特記なき寸法は公称値を示す。



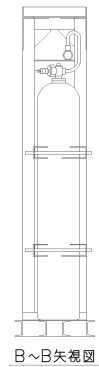
6本ユニット設置



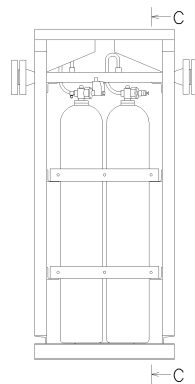
A~A矢視図



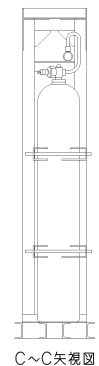
3本ユニット設置



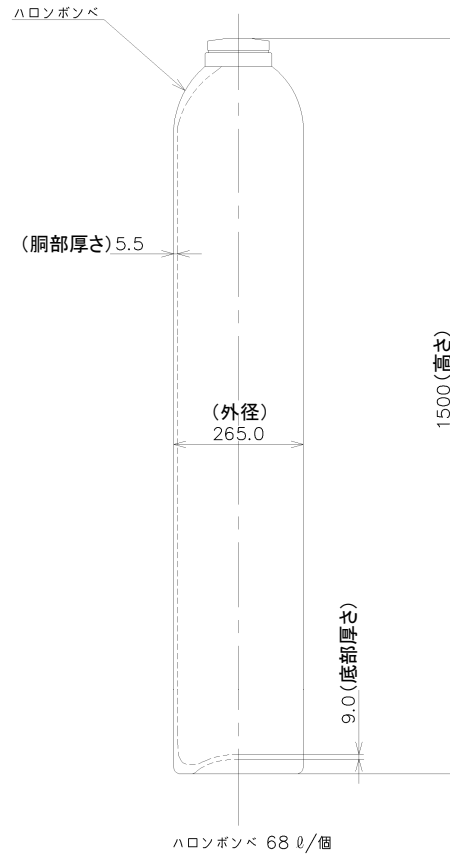
B~B矢視図



2本ユニット設置



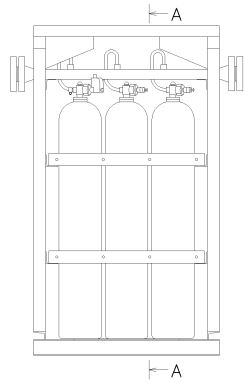
C~C矢視図



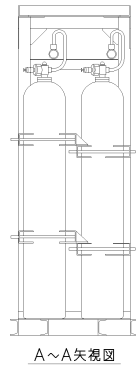
主要目表			
種 類	—	一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個	68以上 (68)	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
材 料	—	マンガン鋼	
個 数	—	30	
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

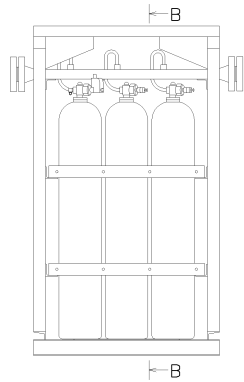
工事計画認可申請		第 9-3-3-37 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (空調機械室用)	
	日本原子力発電株式会社	



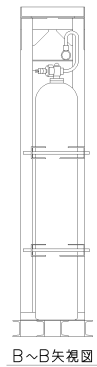
6本ユニット設置



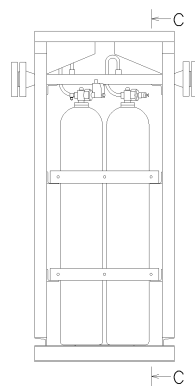
A~A矢視図



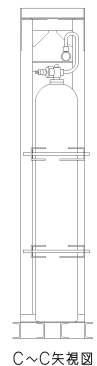
3本ユニット設置



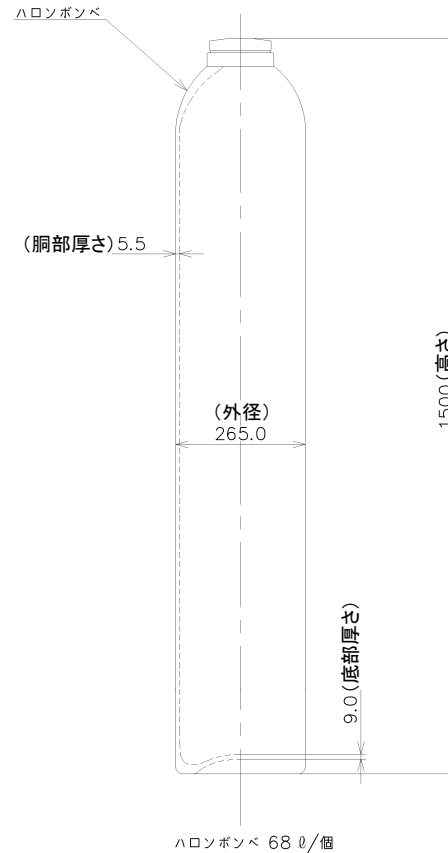
B~B矢視図



2本ユニット設置



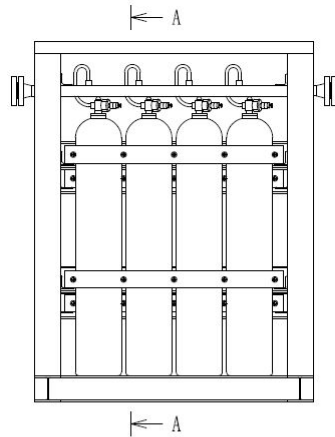
C~C矢視図



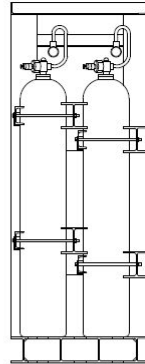
主要目表		
種 類	—	一般継目なし容器
容 量	ℓ/個	68以上 (68)
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
材 料	—	マンガン鋼
個 数	—	16
取付箇所	系 統 名	—
	設 置 床	—
	溢水防護上の 区 画 番 号	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—
系 統 名	—	消火系
設 置 床	—	二酸化炭素ボンベ庫 EL. 8100 mm
溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

工事計画認可申請		第 9-3-3-38 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (ケーブル処理室用)	
	日本原子力発電株式会社	

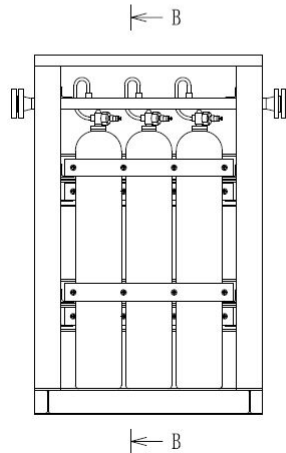
注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。



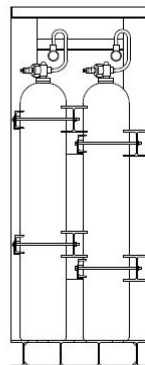
8本ユニット設置



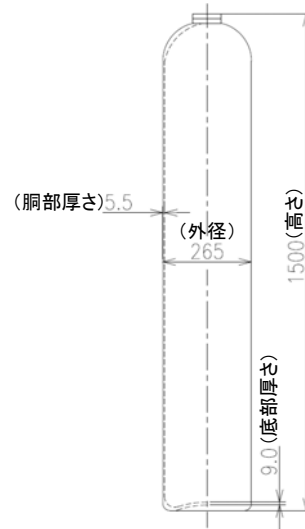
A~A 矢視図



6本ユニット設置



B~B 矢視図

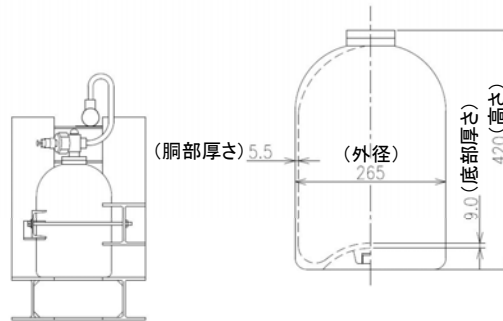
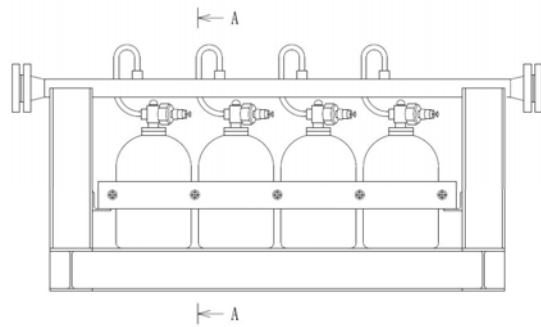


ハロンポンベ 68 l/個

主要目表			
種類	—	一般継目なし容器	
容量	ℓ/個	68以上 (68)	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
材料	—	マンガン鋼	
個数	—	14	
取付箇所	系統名	—	消火系
	設置床	—	緊急時対策所建屋 EL. 23300 mm
	溢水防護上の 区画番号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-39 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンポンベ (緊急時対策所建屋用1)	
	日本原子力発電株式会社	



A~A 矢視図

ハロンボンベ 14ℓ/個

4本ユニット設置

主要目表

種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	14以上 (14)
最	高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最	高 使 用 温 度	℃	40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	8
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	緊急時対策所建屋 EL. 23300 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

工事計画認可申請 第 9-3-3-40 図

東海第二発電所

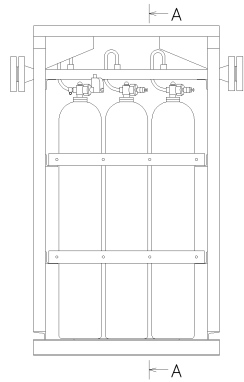
名  
称

その他発電用原子炉の附属施設  
火災防護設備の構造図  
(消火設備)  
ハロンボンベ  
(緊急時対策所建屋用2)

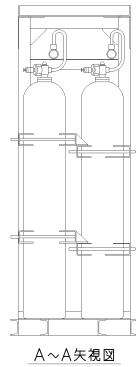
日本原子力発電株式会社

注1：寸法はmmを示す。

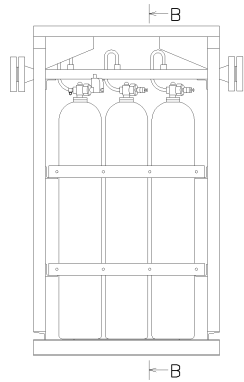
注2：特記なき寸法は公称値を示す。



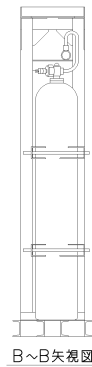
6本ユニット設置



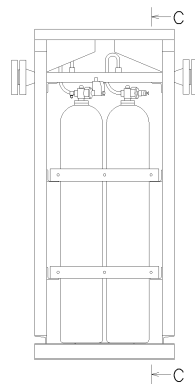
A~A矢視図



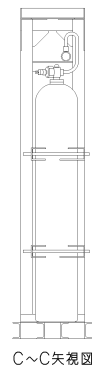
3本ユニット設置



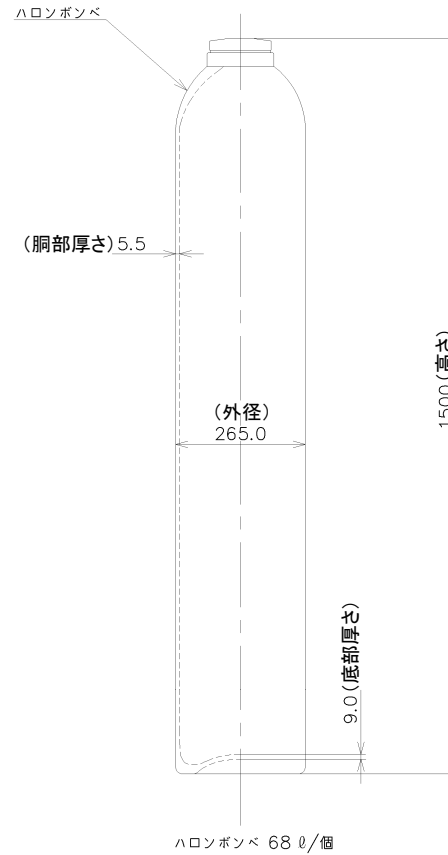
B~B矢視図



2本ユニット設置



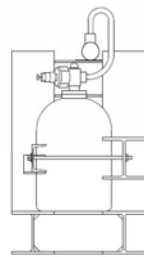
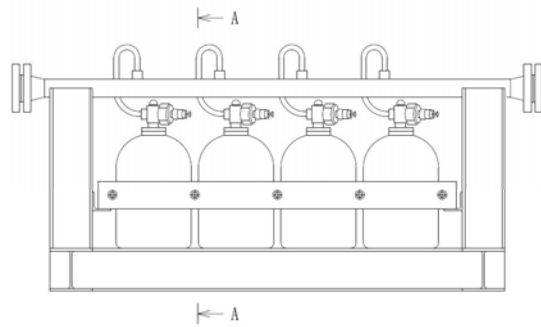
C~C矢視図



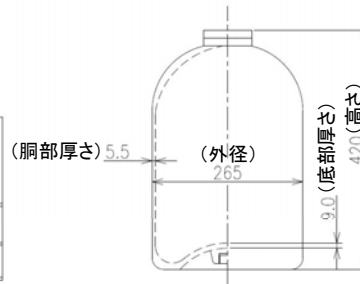
主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高	使用圧力	MPa 5.2
最	高	使用温度	℃ 40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	20
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	常設代替高圧電源装置置場 ハロン消火設備ポンベ室A EL. 2000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-3-41 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (常設代替高圧電源装置置場用1)	
	日本原子力発電株式会社	



A-A 矢視図



ハロンボンベ 14ℓ/個

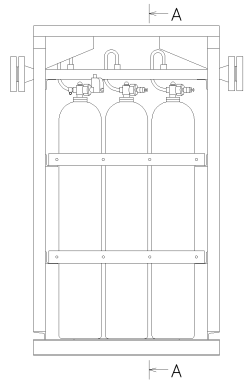
4本ユニット設置

主要目表

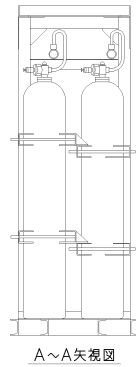
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	14以上 (14)
最	高	使用	圧
力		MPa	5.2
最	高	使用	温
度		℃	40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	8
取 付 箇 所	系	統	名
	—	—	消火系
	設	置	床
	—	—	常設代替高圧電源装置置場 ハロン消火設備ポンベ室A EL. 2000 mm
溢	水	防	護
上	の	区	画
—	—	番	号
—	—	—	—
溢	水	防	護
上	の	配	慮
—	—	が	必
—	—	要	な
—	—	さ	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

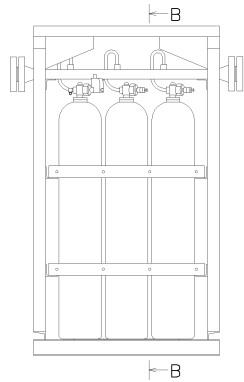
工事計画認可申請		第 9-3-3-3-42 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (常設代替高圧電源装置置場用2)	
	日本原子力発電株式会社	



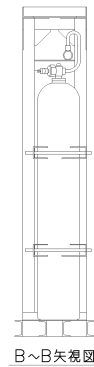
6本ユニット設置



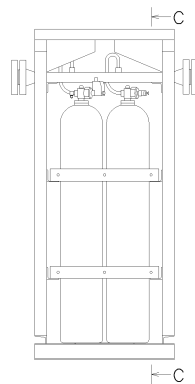
A~A矢視図



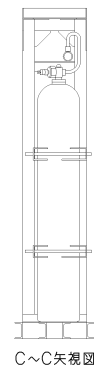
3本ユニット設置



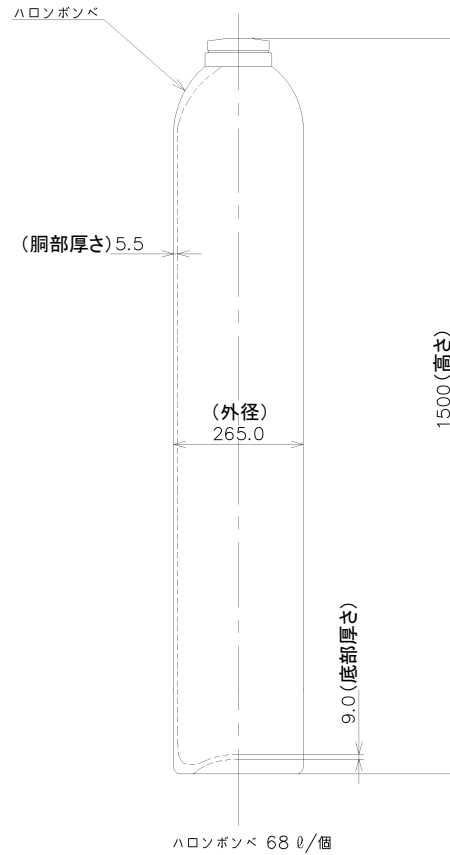
B~B矢視図



2本ユニット設置



C~C矢視図

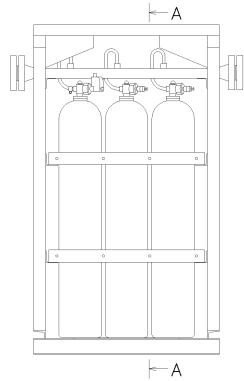


主要目表			
種類	—	一般継目なし容器	
容量	ℓ/個	68以上 (68)	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
材料	—	マンガン鋼	
個数	—	9	
取付箇所	系統名	—	消火系
	設置床	—	常設代替高圧電源装置置場 ハロン消火設備ポンベ室B EL. 2000 mm
	溢水防護上の 区画番号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—

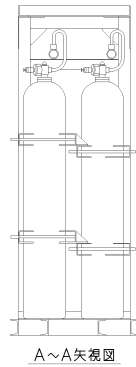
注1: 寸法はmmを示す。  
注2: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-3-43 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンポンベ (常設代替高圧電源装置置場用3)	
	日本原子力発電株式会社	

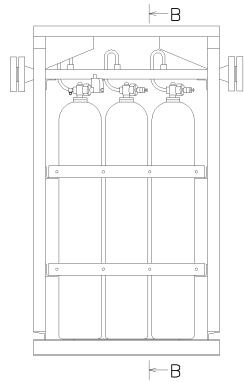




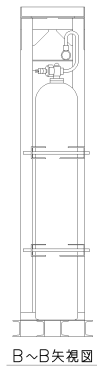
6本ユニット設置



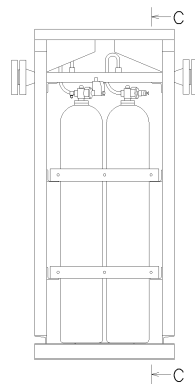
A~A矢視図



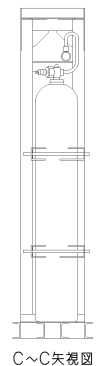
3本ユニット設置



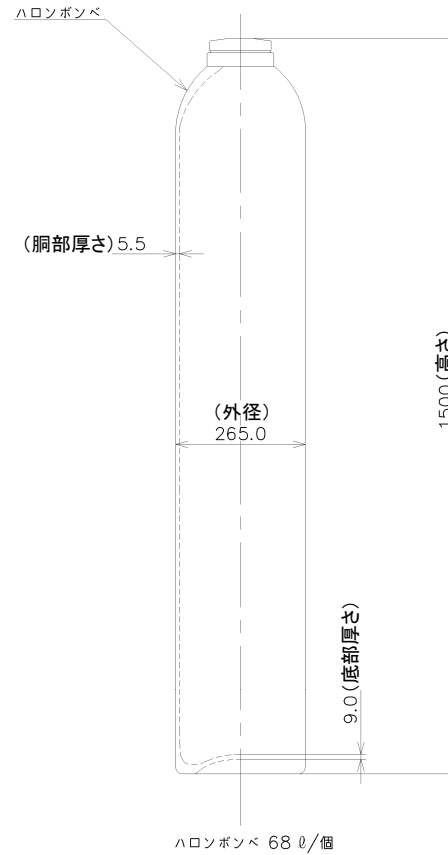
B~B矢視図



2本ユニット設置



C~C矢視図



主要目表			
種 類	—	一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個	68以上 (68)	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
材 料	—	マンガン鋼	
個 数	—	14	
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	常設代替高圧電源装置用 ハロン消火設備ポンベ室C EL. -8000 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1: 寸法はmmを示す。  
注2: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-3-44 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) ハロンボンベ (カルパート (立坑部) 用)	
	日本原子力発電株式会社	

第9-3-3-3-1 図から第9-3-3-3-44 図「その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 ハロンボンベ」の補足

(1) ハロンボンベの寸法許容範囲及び根拠

工事計画記載のハロンボンベに関する公称値の許容範囲及び許容範囲の根拠となる許容差は次のとおり。

[第9-3-3-3-1図 ハロンボンベ (ほう酸水注入系ポンプA用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンボンベ (ほう酸水注入系ポンプA用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm 1.0\%$ (265.0 $\pm 2.65$ )	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm 10.0$	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 $\begin{matrix} +\text{規定しない} \\ -1.1 \end{matrix}$	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 $\begin{matrix} +\text{規定しない} \\ -0 \end{matrix}$	メーカー基準

[第9-3-3-3-2図 ハロンボンベ (ほう酸水注入系ポンプB用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンボンベ (ほう酸水注入系ポンプB用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm 1.0\%$ (265.0 $\pm 2.65$ )	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm 10.0$	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 $\begin{matrix} +\text{規定しない} \\ -1.1 \end{matrix}$	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 $\begin{matrix} +\text{規定しない} \\ -0 \end{matrix}$	メーカー基準

[第9-3-3-3図 ハロンポンベ (MCC 2C-7用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (MCC 2C-7用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-4図 ハロンポンベ (原子炉再循環系低速度用電源装置 A 用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (原子炉再循環 系低速度用電源 装置A用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-5図 ハロンポンベ（原子炉再循環系低速度用電源装置B用）]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (原子炉再循環系低速度用電源装置B用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-6図 ハロンポンベ（MCC 2D-9用）]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (MCC 2D-9用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-7図 ハロンポンベ (MCC 2C-9用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (MCC 2C-9用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-8図 ハロンポンベ (125V DC MCC 2A-2用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (MCC 2C-9用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-9図 ハロンポンベ (MCC 2C-8用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (MCC 2C-8用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm$ 1.0 % (265.0 $\pm$ 2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm$ 10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-10図 ハロンポンベ (MCC 2D-8用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (MCC 2D-8用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm$ 1.0 % (265.0 $\pm$ 2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm$ 10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-11図 ハロンポンベ (MCC 2D-7用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (MCC 2D-7用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-12図 ハロンポンベ (原子炉再循環系流量制御弁用制御油圧発生装置A用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (原子炉再循環 系流量制御弁用 制御油圧発生装 置A用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-13図 ハロンポンベ (プロセスコンピュータ室用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (プロセスコン ピュータ室用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-14図 ハロンポンベ (残留熱除去系熱交換器A室用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (残留熱除去系 熱交換器A室用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準



[第9-3-3-3-15図 ハロンポンベ (125V DC MCC 2A-1用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (125V DC MCC 2A-1用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-16図 ハロンポンベ (制御棒駆動水ポンプA用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (制御棒駆動水 ポンプA用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-17図 ハロンポンベ (制御棒駆動水ポンプB用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (制御棒駆動水 ポンプB用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-18図 ハロンポンベ (残留熱除去系ポンプA室用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (残留熱除去系 ポンプA室用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-19図 ハロンポンベ（低圧炉心スプレィポンプ用）]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (低圧炉心スプレィポンプ用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm 1.0\%$ (265.0 $\pm 2.65$ )	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm 10.0$	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-20図 ハロンポンベ（残留熱除去系ポンプB用）]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (残留熱除去系 ポンプB用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm 1.0\%$ (265.0 $\pm 2.65$ )	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm 10.0$	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-21図 ハロンポンベ (残留熱除去系ポンプ用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (残留熱除去系 ポンプ用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-22図 ハロンポンベ (高圧炉心スプレイポンプ用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (高圧炉心スプレ イポンプ用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-23図 ハロンポンベ (原子炉隔離時冷却系ポンプ室用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (原子炉隔離時 冷却系ポンプ室 用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-24図 ハロンポンベ (MCC 2C-3用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (MCC 2C-3用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-25図 ハロンポンベ (MCC 2C-5用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (MCC 2C-5用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm 1.0\%$ (265.0 $\pm 2.65$ )	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm 10.0$	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 $\begin{matrix} +\text{規定しない} \\ -1.1 \end{matrix}$	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 $\begin{matrix} +\text{規定しない} \\ -0 \end{matrix}$	メーカー基準

[第9-3-3-3-26図 ハロンポンベ (MCC 2D-3用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (MCC 2D-3用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm 1.0\%$ (265.0 $\pm 2.65$ )	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm 10.0$	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 $\begin{matrix} +\text{規定しない} \\ -1.1 \end{matrix}$	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 $\begin{matrix} +\text{規定しない} \\ -0 \end{matrix}$	メーカー基準

[第9-3-3-3-27図 ハロンポンベ (MCC 2D-5用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (MCC 2D-5用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm$ 1.0 % (265.0 $\pm$ 2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm$ 10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-28図 ハロンポンベ (電気室用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (MCC 電気室 用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm$ 1.0 % (265.0 $\pm$ 2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm$ 10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-29図 ハロンボンベ (A系蓄電池室用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンボンベ (A系蓄電池室用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm$ 1.0 % (265.0 $\pm$ 2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm$ 10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-30図 ハロンボンベ (B系蓄電池室 (北側) 用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンボンベ (B系蓄電池室 (北側) 用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm$ 1.0 % (265.0 $\pm$ 2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	高さ	632.0	622	612.0	公称値 $\pm$ 10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準



[第9-3-3-31図 ハロンボンベ (B系蓄電池室 (南側) 用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンボンベ (B系蓄電池室 (南側) 用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm 1.0\%$ (265.0 $\pm 2.65$ )	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	高さ	632.0	622	612.0	公称値 $\pm 10.0$	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 $\begin{matrix} +\text{規定しない} \\ -1.1 \end{matrix}$	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 $\begin{matrix} +\text{規定しない} \\ -0 \end{matrix}$	メーカー基準

[第9-3-3-32図 ハロンボンベ (非常用ガス再循環系排風機A用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンボンベ (非常用ガス再循環系排風機A用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm 1.0\%$ (265.0 $\pm 2.65$ )	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm 10.0$	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 $\begin{matrix} +\text{規定しない} \\ -1.1 \end{matrix}$	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 $\begin{matrix} +\text{規定しない} \\ -0 \end{matrix}$	メーカー基準

[第9-3-3-33図 ハロンボンベ (非常用ガス再循環系排風機B用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンボンベ (非常用ガス再 循環系排風機B 用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-34図 ハロンボンベ (非常用ガス処理系排風機A用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンボンベ (非常用ガス再 循環系排風機A 用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-35図 ハロンポンベ (非常用ガス処理系排風機B用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (非常用ガス処理系排風機B用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-36図 ハロンポンベ (原子炉再循環系流量制御弁用制御油圧発生装置B用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (原子炉再循環系流量制御弁用制御油圧発生装置B用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-37図 ハロンポンベ (空調機械室用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (空調機械室 用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm$ 1.0 % (265.0 $\pm$ 2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm$ 10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-38図 ハロンポンベ (ケーブル処理室用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (ケーブル処理 室用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値 $\pm$ 1.0 % (265.0 $\pm$ 2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm$ 10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-39図 ハロンボンベ（緊急時対策所建屋用1）]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンボンベ (緊急時対策所 建屋用1)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-340図 ハロンボンベ（緊急時対策所建屋用2）]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンボンベ (緊急時対策所 建屋用2)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-41図 ハロンポンベ (常設代替高压電源装置置場用1) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (常設代替高压 電源装置置場用 1)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高压ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高压ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-42図 ハロンポンベ (常設代替高压電源装置置場用2) ]

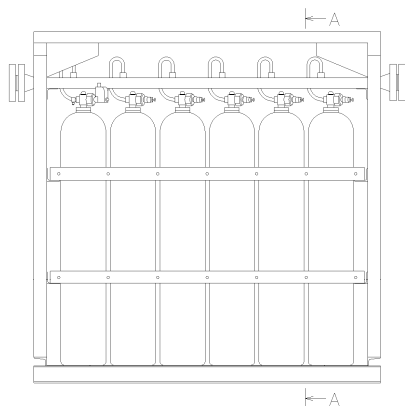
名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (常設代替高压 電源装置置場用 2)	外径		265.0		公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高压ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ		420		公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ		5.5		公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高压ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ		9.0		公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-43図 ハロンポンベ（常設代替高压電源装置置場用3）]

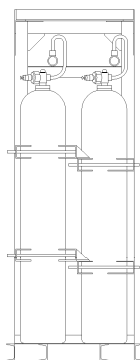
名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (常設代替高压 電源装置置場用 3)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高压ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高压ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-44図 ハロンポンベ（カルバート（立坑部）用）]

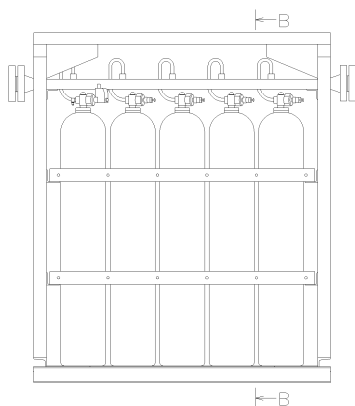
名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
ハロンポンベ (カルバート (立坑部) 用)	外径	267.65	265.0	262.35	公称値±1.0 % (265.0±2.65)	メーカー基準 高压ガス保安法 (容器 保安規則)
	高さ	1510	1500	1490	公称値±10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	5.5	4.4	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高压ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	9.0	9.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準



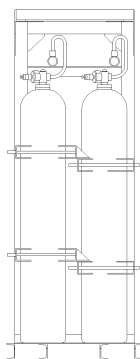
12本ユニット設置



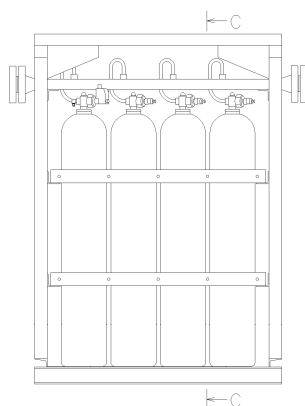
A~A矢視図



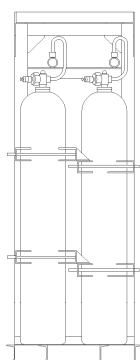
10本ユニット設置



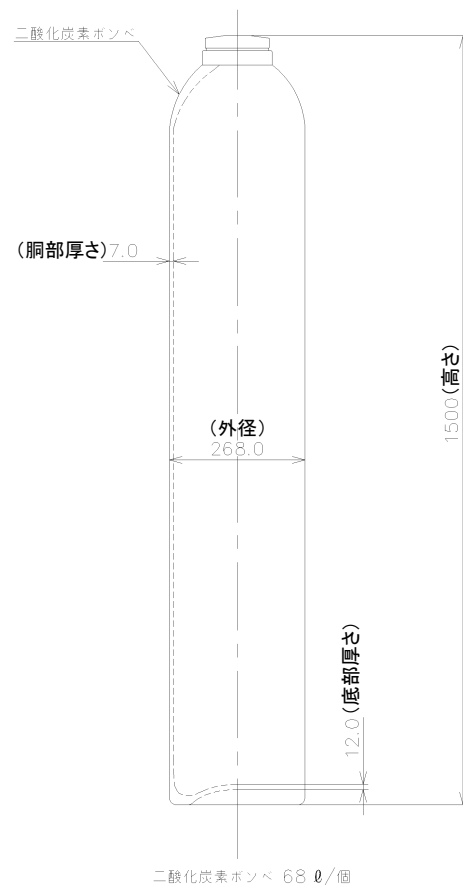
B~B矢視図



8本ユニット設置



C~C矢視図

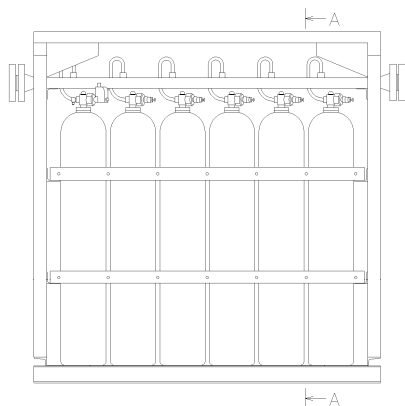


主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高	使用圧力	MPa 10.8
最	高	使用温度	℃ 40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	56
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	二酸化炭素ポンペ庫 EL. 8100 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

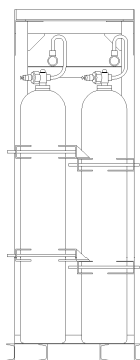
注1: 寸法はmmを示す。  
注2: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-45 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) 二酸化炭素ポンペ (非常用ディーゼル発電機室用)	
	日本原子力発電株式会社	

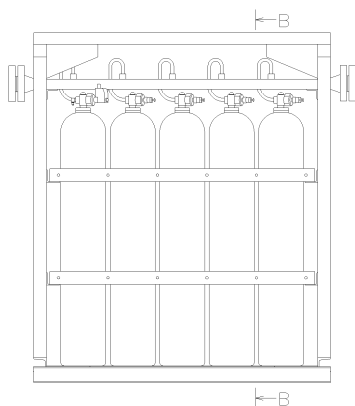




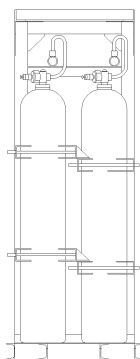
12本ユニット設置



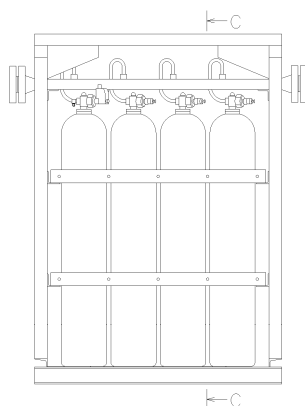
A~A矢視図



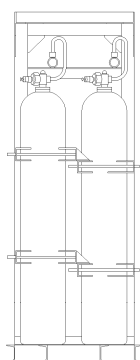
10本ユニット設置



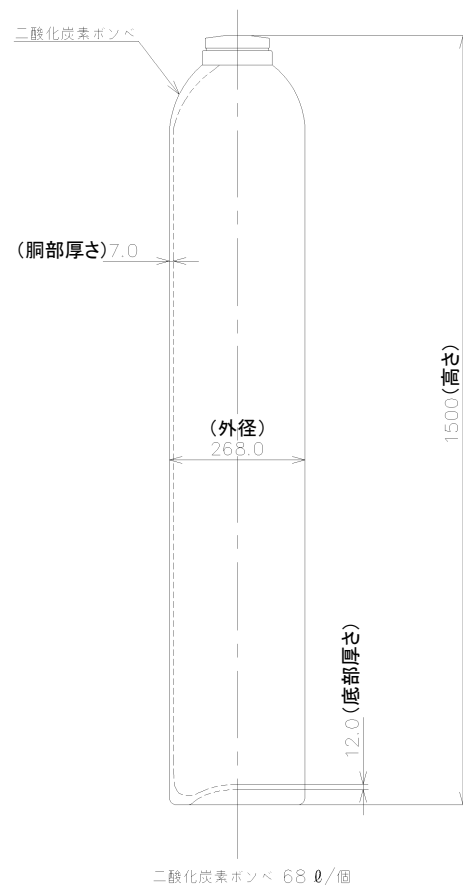
B~B矢視図



8本ユニット設置



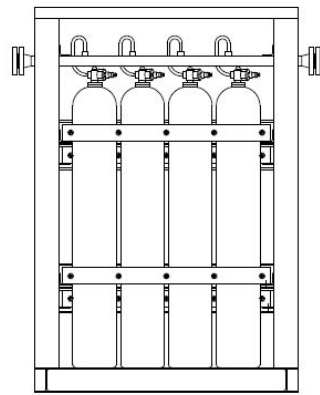
C~C矢視図



主要目表			
種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	68以上 (68)
最	高	使用圧力	MPa 10.8
最	高	使用温度	℃ 40
材	料	—	マンガン鋼
個	数	—	54
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	二酸化炭素ポンペ庫 EL. 8100 mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

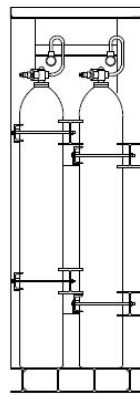
注1: 寸法はmmを示す。  
注2: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-46 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) 二酸化炭素ポンペ (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機室用)	
	日本原子力発電株式会社	

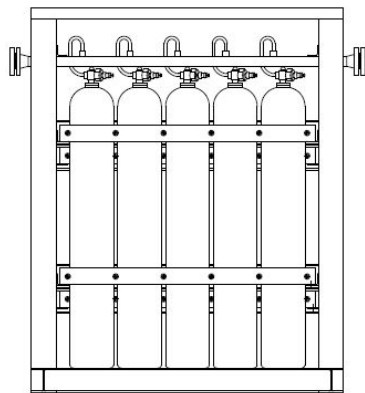


← A

8本ユニット設置

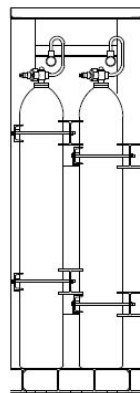


A~A 矢視図

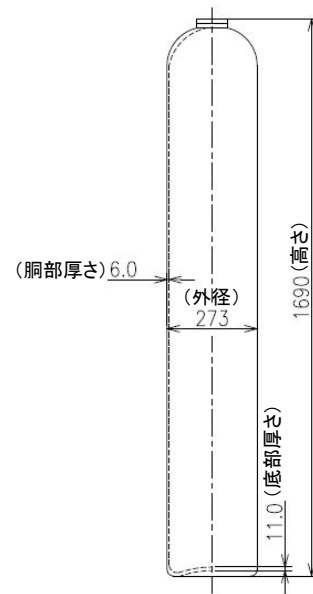


← B

10本ユニット設置



B~B 矢視図



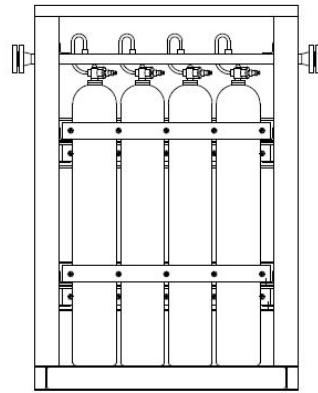
二酸化炭素ポンペ 82.5 ℓ/個

主要目表

種	類	—	一般継目なし容器
容	量	ℓ/個	82.5以上 (82.5)
最	高	使用	圧
力		MPa	10.8
最	高	使用	温
度		℃	40
材	料	—	クロムモリブデン鋼
個	数	—	18
取 付 箇 所	系	統	名
	—	—	消火系
	設	置	床
	—	—	緊急時対策所建屋 EL. 23300mm
	溢	水	防
	護	上	の
	区	画	番
	号	—	—
	溢	水	防
	護	上	の
	配	慮	が
	必	要	な
	高	さ	—

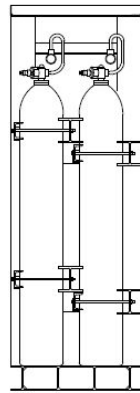
注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-3-47 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) 二酸化炭素ポンペ <b>(緊急時対策所建屋発電機室2A用)</b>	
	日本原子力発電株式会社	

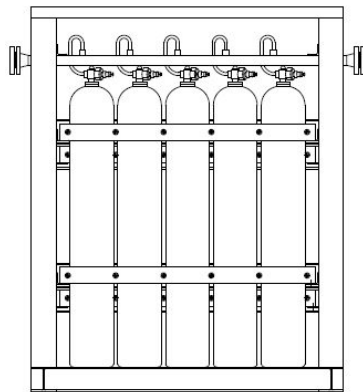


← A

8本ユニット設置

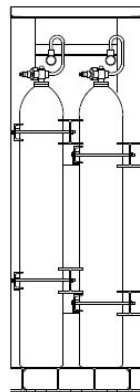


A~A 矢視図

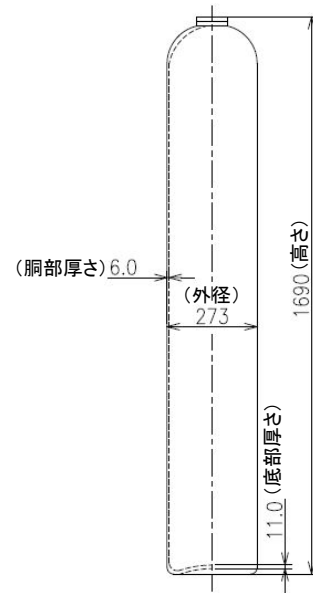


← B

10本ユニット設置



B~B 矢視図



二酸化炭素ポンペ 82.5 ℓ/個

主要目表			
種 類	—	一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個	82.5以上 (82.5)	
最 高 使 用 圧 力	MPa	10.8	
最 高 使 用 温 度	℃	40	
材 料	—	クロムモリブデン鋼	
個 数	—	18	
取付箇所	系 統 名	—	消火系
	設 置 床	—	緊急時対策所建屋 EL. 23300mm
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高	—	—

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請		第 9-3-3-48 図
東海第二発電所		
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 (消火設備) 二酸化炭素ポンペ (緊急時対策所建屋発電機室2B用)	
	日本原子力発電株式会社	

第9-3-3-3-45図から第9-3-3-3-48図「その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備の構造図 二酸化炭素ポンペ」の補足

(1) 二酸化炭素ポンペの寸法許容範囲及び根拠

工事計画記載の二酸化炭素ポンペに関する公称値の許容範囲及び許容範囲の根拠となる許容差は次のとおり。

[第9-3-3-3-45図 二酸化炭素ポンペ (非常用ディーゼル発電機室用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
二酸化炭素ポンペ (非常用ディーゼル発電機室用)	外径	270.68	268.0	265.32	公称値 $\pm$ 1.0 % (268.0 $\pm$ 2.68)	メーカー基準
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm$ 10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	7.0	5.9	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	12.0	12.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-46図 二酸化炭素ポンペ (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機室用) ]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
二酸化炭素ポンペ (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機室用)	外径	270.68	268.0	265.32	公称値 $\pm$ 1.0 % (268.0 $\pm$ 2.68)	メーカー基準
	高さ	1510	1500	1490	公称値 $\pm$ 10.0	メーカー基準
	胴部 厚さ	—	7.0	5.9	公称値 <sup>+規定しない</sup> -1.1	メーカー基準 高圧ガス保安法 (容器 保安規則)
	底部 厚さ	—	12.0	12.0	公称値 <sup>+規定しない</sup> -0	メーカー基準

[第9-3-3-3-47図 二酸化炭素ポンベ（緊急時対策所建屋発電機室2A用）]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
二酸化炭素ポンベ （緊急時対策 所建屋発電機室 2A用）	外径					
	高さ					
	胴部 厚さ					
	底部 厚さ					

[第9-3-3-3-48図 二酸化炭素ポンベ（緊急時対策所建屋発電機室2B用）]

名称		寸法許容範囲 (mm)			許容範囲の根拠	
		最大値	公称値	最小値	許容差 (mm)	根拠
二酸化炭素ポンベ （緊急時対策 所建屋発電機室 2B用）	外径					
	高さ					
	胴部 厚さ					
	底部 厚さ					